

平成15-17年度 国立教育政策研究所 政策研究課題リサーチ経費研究

生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する
総合的研究報告書 (Ⅱ)

—大学生のキャリア発達に関する質問紙調査—

平成18年3月

研究代表者 山田 兼尚

(国立教育政策研究所生涯学習政策研究部長)

はじめに

「1億総中流」と呼ばれた横並びの画一的な人生設計から、現在、個人が自己責任のもとに、多様なライフスタイルを自由に選択しうる時代へと変化しつつある。

人生への自由度が高まる一方で、少子高齢化社会の進展や産業・経済の構造的変化に伴う雇用形態の多様化・流動化等の近年の社会状況は、将来に対する不透明感を増大させている。そのような中で、自己を確立できず、自分の意志を明確に示すことができない社会的に未成熟な若者が増加し、晩婚化・未婚化、フリーターや早期離職などの一要因となっていることが指摘されている。自分で人生をデザインすることが求められる中で、これからの子どもたちは、どのように自分を規定し、また、どのような情報に基づき自分の人生設計を行うのか。子どもたちに学校教育を通じて育成できる能力とは何であるのか。教育関係者のみならず、保護者、産業界からも、このような多くの問いが喚起されよう。

子どもたちの職業観、勤労観を醸成するために、文部科学省は平成14年11月に「キャリア教育の推進に関する総合的研究協力者会議」を設置し、平成16年1月に報告書「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てるために」を作成した。報告書では、「キャリア」とは「個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積」と捉え、この「キャリア」の概念に基づいて、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度をそだてる教育」—すなわち「キャリア教育」を推進していくための基本的な方向について提言を行っている。

本研究は、このような社会的状況・背景のもと、当研究所の政策研究課題リサーチ経費(平成15～17年度)により、子どもから成人までを研究対象とし、「キャリア」概念の発達過程を追いながら、その発達を「社会」と「個人」の相互作用の視点で捉え、最終的には、社会から個人への支援として、何が求められているのかを明らかにしようとしたものである。

併せて、キャリア発達という現代的な教育課題を中心に据えながら、従来、児童・生徒(学校教育)と社会人を別個に対象として調査・研究されてきた領域を縦断的に扱い、職業のみならず家庭生活設計や人生観など個人のライフコースを視野に入れて生涯学習体系化の意義を探ろうとしている。

上記の目的を遂行するために次の三つの調査研究を行うことを企画した。

- (1) 児童・生徒のキャリア発達に関する質問紙調査
- (2) 成人(高卒以降)のキャリア発達過程に関するインターネットを介した質問紙調査
- (3) キャリア形成に関するインタビュー調査

(30代後半から高齢期にわたる人々で継続的な仕事を持ち様々な領域で元気に活躍している人々を対象にインタビュー調査)

本報告書は、上記(2)のうちの、大学生を対象とした調査研究をまとめたものである。この研究による調査結果、及び知見が今後の「キャリア教育」の基礎的な資料となれば幸いである。

平成18年3月

国立教育政策研究所長

矢野 重典

研究組織

研究代表者

山田 兼尚 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部長)

研究分担者

田浦 宏己 (国立教育政策研究所研究企画開発部長 *~平成17年6月)

白間 竜一郎 (国立教育政策研究所研究企画開発部長 *平成17年9月~)

宮下 和己 (国立教育政策研究所生徒指導研究センター総括研究官
・文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導調査官)

笹井 宏益 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

立田 慶裕 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官)

岩崎久美子 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官) **事務局

森本 愛 (国立教育政策研究所・研究協力者)

豊 浩子 (国立教育政策研究所・研究協力者)

加藤かおり (国立大学法人新潟大学・大学教育開発研究センター助教授)

澤野由紀子 (聖心女子大学文学部教育学科助教授)

椎名久美子 (独立行政法人大学入試センター・研究開発部助教授)

下村 英雄 (独立行政法人労働政策研究・研修機構職務・キャリア分析部門副主任研究員)

藤田 博康 (帝塚山学院大学大学院人間科学研究科助教授)

客員研究員

桐村晋次 (法政大学キャリアデザイン学部教授)

事務スタッフ

齋藤 文子

目 次

I. 調査の概要

1 調査実施の概要	山田 兼尚……………	1
2 調査結果の概要	山田 兼尚……………	3
3 インターネット調査の特徴	永森 慶子……………	43
【資料】 大学就職部から見た大学生の就職活動の現状について	島 和俊……………	49

II. 調査分析結果

1 「理想の職業（仕事）」を選ぶ背景	山田 兼尚……………	57
2 大学生のキャリア意識と自己認識	加藤かおり……………	73
3 大学生の就職活動とキャリア発達	下村 英雄……………	91
4 大学生のキャリア意識と心理社会的発達	藤田 博康……………	115

資 料

1 単純集計表
2 自由記述
3 調査票

I. 調査の概要

I - 1 調査実施の概要

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部部長

山田 兼尚

1 調査の社会的背景

労働政策研究・研修機構は「職業ガイダンスブック」（2004年6月）において、近年の若者の雇用をめぐる状況を次のように概観している。

- ・新規学卒就職者の学歴構成の変化（高学歴へのシフト）

1997～98年を境に、大卒就職者数が高卒就職者数を上回るようになった。数の上では、学卒就職者の主力は大卒へとシフトしつつある。

- ・求人への激減（量的不足）と人材需要の学歴間格差の拡大

高卒求人はこの10年で約8分の1に激減している。一方、大卒求人は高卒に比べて相対的に減少幅が小さく、就職の厳しさに関して学歴間の差が拡大している。

- ・正社員の減少、非正規雇用比率の上昇

企業が雇用拡大に慎重な姿勢を続け、正社員採用を絞り込んでおり、将来の基幹労働力となるべき若年層（新規学卒）のパート・アルバイト比率が上昇している。

- ・学卒無業者、フリーターの増加

厳しい就職状況を受けて、高卒時に就職希望から進学や無業へと転じる生徒も増えているが、さらに進学率の上昇により増加してきた大卒者等の相当割合が卒業時点で無業・フリーター化する傾向がみられる。

- ・高い離職率

職業に対する理解や目的意識が十分でなかったり、希望通りの求人がなく不本意な就職をしたりするケースが増えていること、また、職場自体も若者を育成する余裕を失って魅力が減退していることなどもあり、若者の職場定着への求心力が低下しつつある。

- ・若年失業率の上昇

長期的に若年失業率の上昇が続いているため、職業経験や専門能力を蓄積できない若者が累積し、その層が次第に上の年代に繰り上がりつつある。

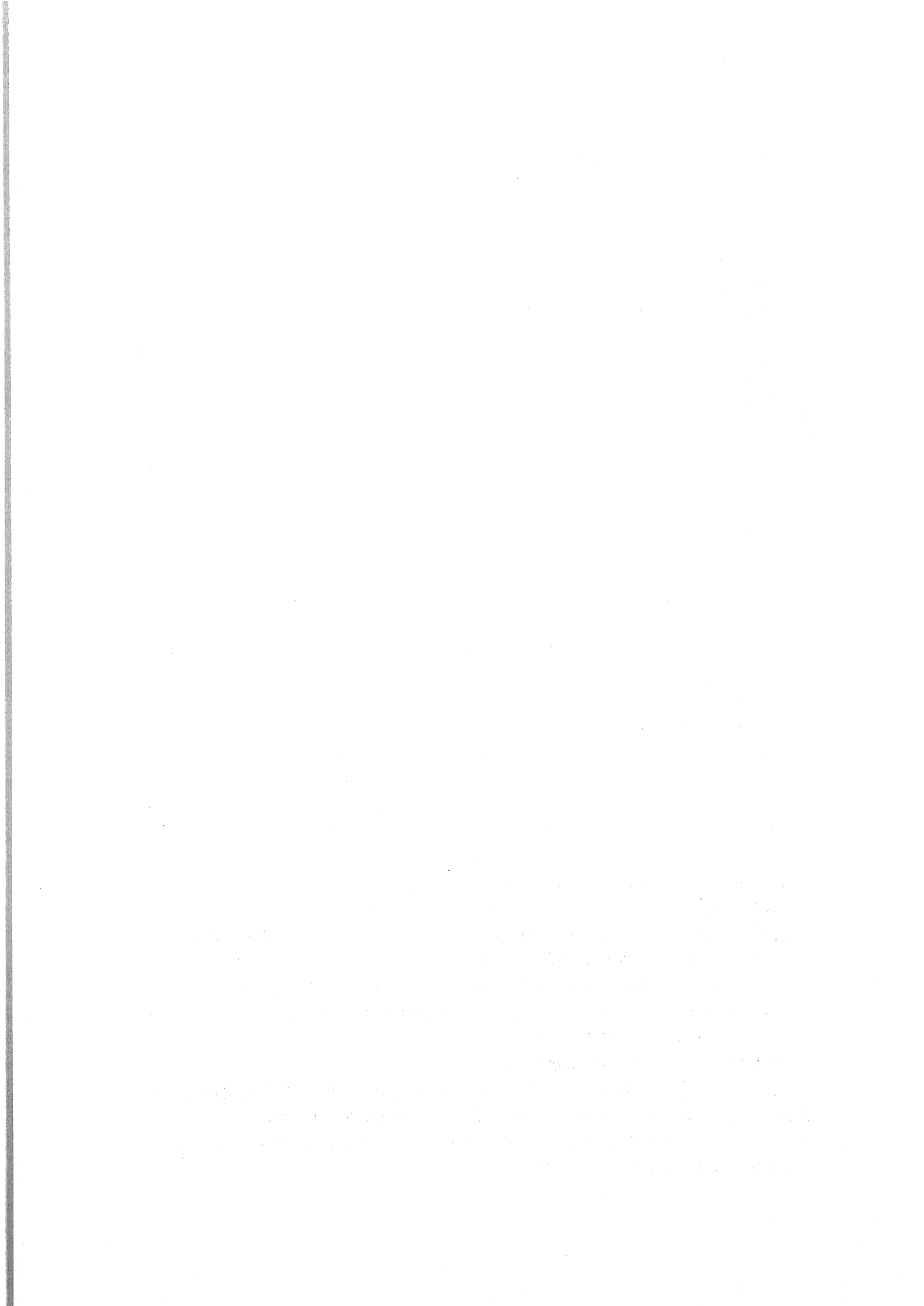
また、大学生独自の課題として、就職活動の長期化が指摘されている。

- ・就職活動の長期化

就職活動のスケジュールを学校側が把握し易い高校生と異なり、大学生等の就職活動は、競争の激化とともに長期化・早期化する傾向がみられる。大学生の場合、3年生の後半に就職活動がスタートし、最終学年が始まる頃には事実上就職先が内定している学生がいる一方、なかなか内定が得られなければ卒業間際まで1年以上にわたり就職活動を続けるケースもあり、学業への影響だけでなく、時間的・精神的負担も大きい。

2 調査の目的／調査対象者／実施期間

上記のような社会的背景にあって、最近の大学生の就職活動の状況、希望職業、職業観・就労観・人生観や職業・就職に関連する大学生生活の過ごし方、性格傾向等の実態を把握するために、インターネットによる質問紙調査を、平成16年7月末に、大学4年生を調査対象者として実施した（調査票「将来の職業についての調査」を参照）。



I - 2 調査結果の概要

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部部長

山田 兼 尚

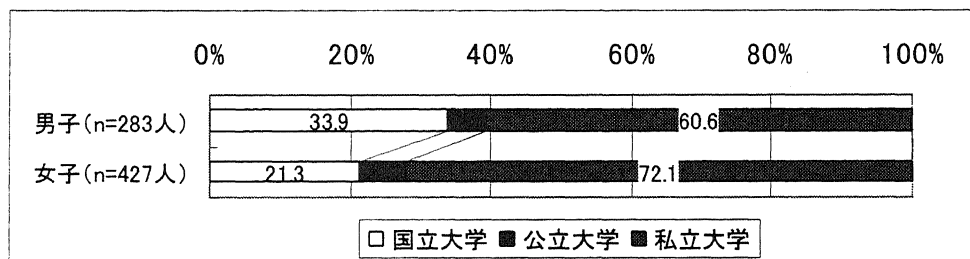
1 調査対象者の属性

(1) 性別・在籍大学（設置者）（図1参照）

回答の得られた調査対象者数は、男子大学生（以下-男子）383人（国立130人、公立21人、私立232人）、女子大学生（以下-女子）427人（国立91人、公立28人、私立308人）人で、その比率を図1に示した。

これらの対象者数の性別毎の設置者別の在籍率を平成16年度の文科省学校基本調査の結果（大学生合計の設置者別在籍比率）と比較すると、男子では、国立・公立大学がやや多く、私立大学がやや少ない傾向にある（ χ^2 検定の結果で有意差が認められた）。したがって、男子の結果を解釈する際に、この点を考慮して考察する必要があるだろう。女子の場合は、男子のような傾向はみられていない。

図1 性別・在籍大学



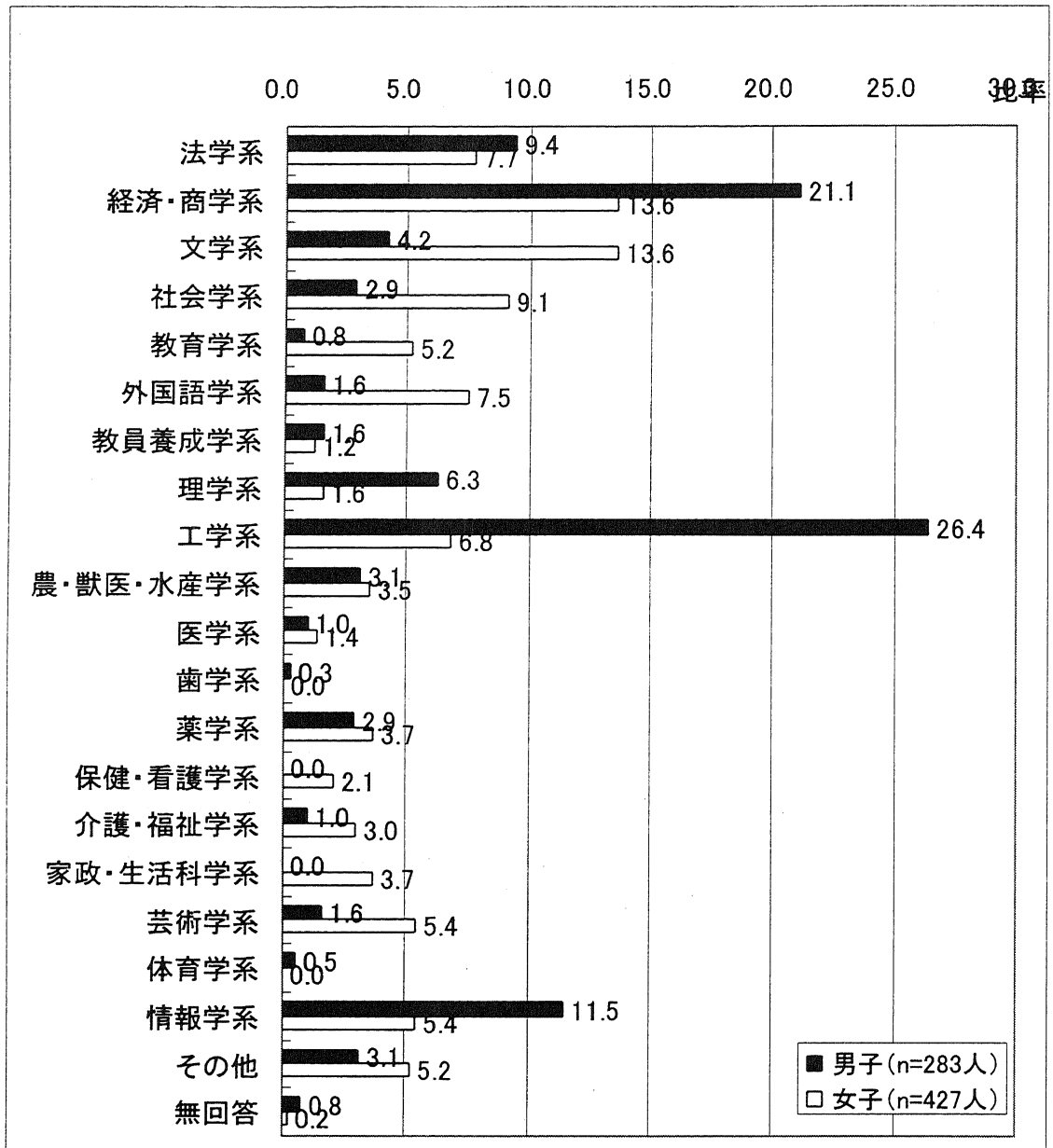
(2) 在籍学科（図2参照）

次に調査対象者の大学における在籍学科の結果を示したのが図2である。

在籍率の上位3位までに注目すると、男子では、「工学系」が26%、「経済・商学系」が21%、「情報学系」が12%で、これら三つの学科で全体の約6割を占めている。

一方、女子では、「経済・商学系」と「文学系」が共に14%、「社会学系」が9%で、これらの三つの学科で占める割合は全体の37%で、女子の在籍学科は男子と比較して多岐に亘っている傾向が伺われる。すなわち、他の学科の中で在籍率が5%以上であるのは、男子では、「法学系」が9%、「理学系」が6%の2学科であるのに対して、女子の場合は、「法学系」と「外国語学系」が共に8%、「工学系」が7%、「芸術学系」、「情報学系」、「教育学系」が共に5%の6学科である。

図2 在籍学科

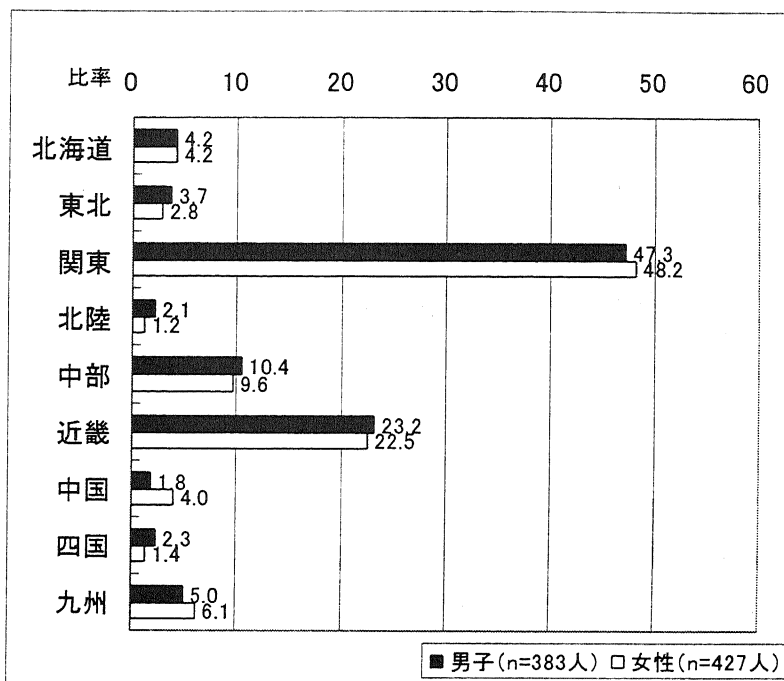


(3) 出身地域分類 (図3参照)

図3に調査対象者の出身地域分類を示した。

東京都 (20%)、神奈川県 (13%)、埼玉県 (7%) を中心とする「関東」地域、大阪府 (8%)、兵庫県 (5%)、京都府 (4%) を中心とする「近畿」地域が多く、これら2地域で、調査対象者全体の約7割を占めている。「中部」地域で多いのは、愛知県 (6%) である。

図3 出身地域

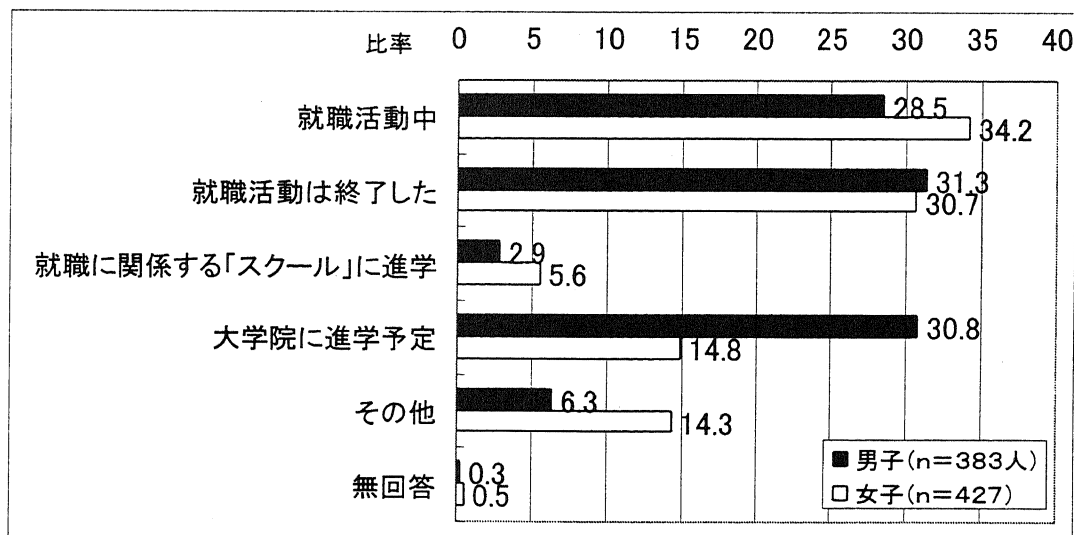


2 就職活動

(1) 就職活動の状況 (問2-図4参照)

調査実施時期である大学4年生の7月末時点での就職活動状況を図4に示した。

図4 就職活動の状況

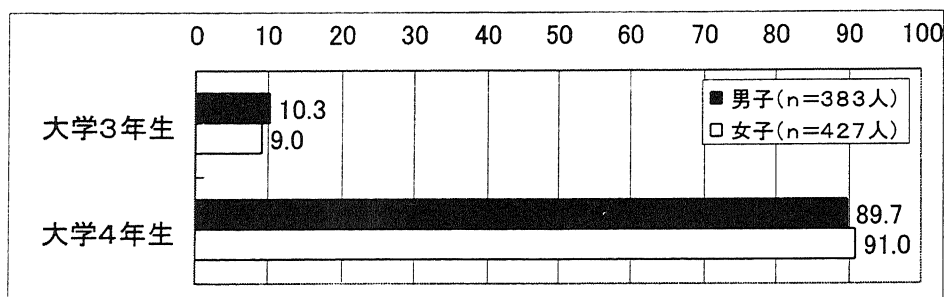


- ・「就職活動終了」、「就職活動中」が共に、男女とも約3割である。
- ・「大学院進学予定」は、男子が3割で、女子の約2倍である。

(2) 内定時期 (問2 - 図5参照)

「就職活動」を終了した、すなわち就職内定を得た学年を図5に示した。

図5 就職内定時期

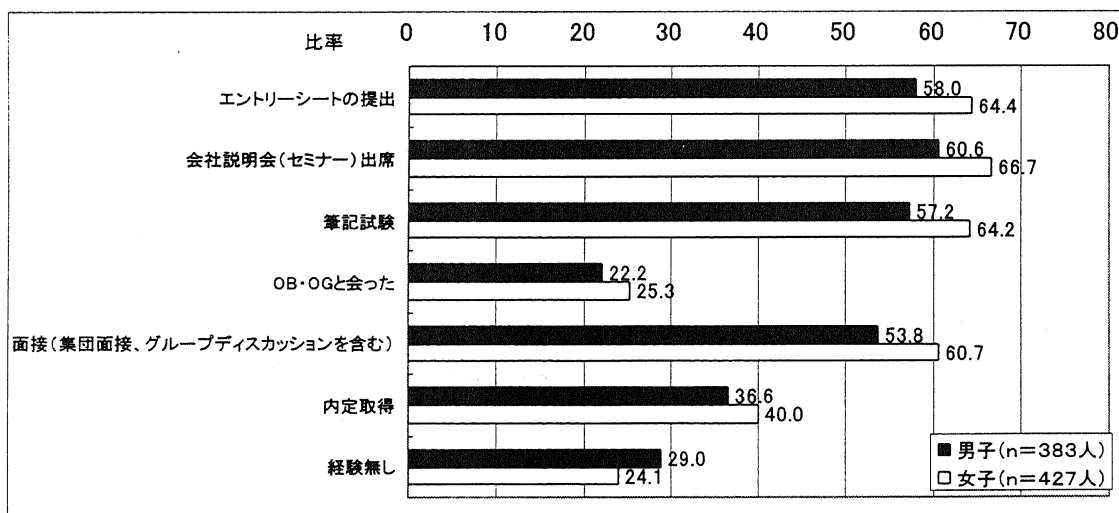


・大学3年生の時期に就職が内定した学生は、男女ともに約1割である。

(3) 就職活動の内容 (問3 - 図6参照)

就職活動の内容として、①エントリーシートの提出、②会社説明会(セミナー)出席、③筆記試験、④OB・OGと会った(人数)、⑤面接(集団面接、グループディスカッションを含む)した会社(のべ面接回数)、⑦内定取得(数)を取り上げ、これらの就職活動のを行ったとする回答率(複数回答)を図6に示した。

図6 就職活動の状況(「行った」の回答率)



・どの就職活動の内容も、女子の方が「行った」とする回答率が男子よりやや高い傾向にある。すなわち、「筆記試験」、「面接」、「エントリーシートの提出」、「会社説明会出席」は、女子の方が6~7%高い。

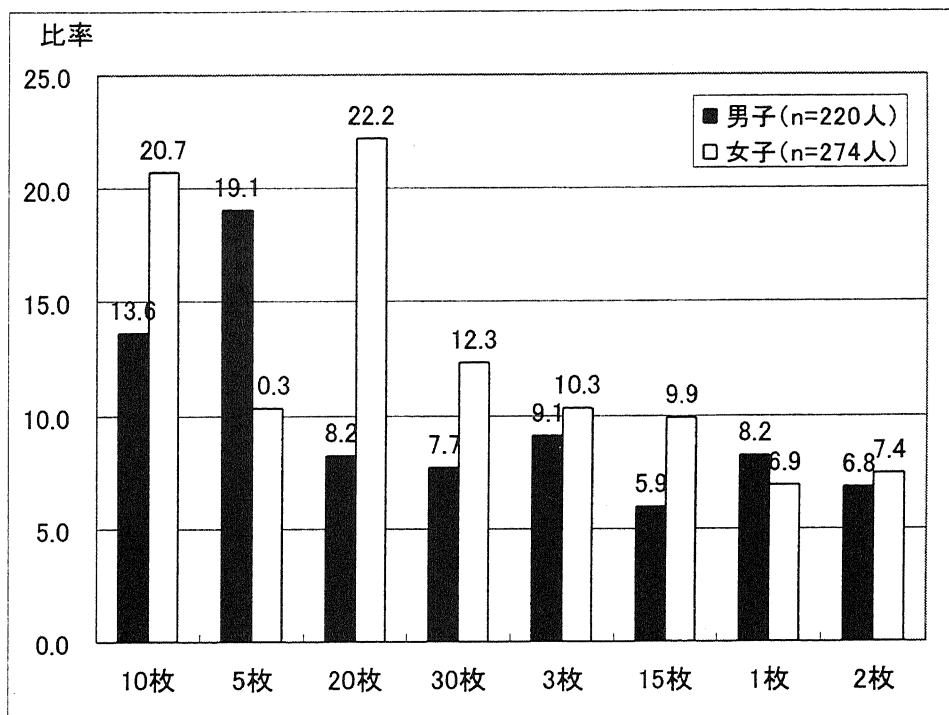
・上述のことは、女子の方が男子より、就職がやや厳しいことを反映しているのかもしれない。

・就職活動の「経験無し」と回答している学生は、「現在行っていないがこれから行う予定」や大学院進学・留学、教員・公務員志望、資格取得、留年などが主な理由となっている。

①エントリーシートの提出枚数（問3-図7参照）

提出したエントリーシートの枚数を図7に示した（男女計で多い枚数順に示してある）。

図7 エントリーシートの提出枚数

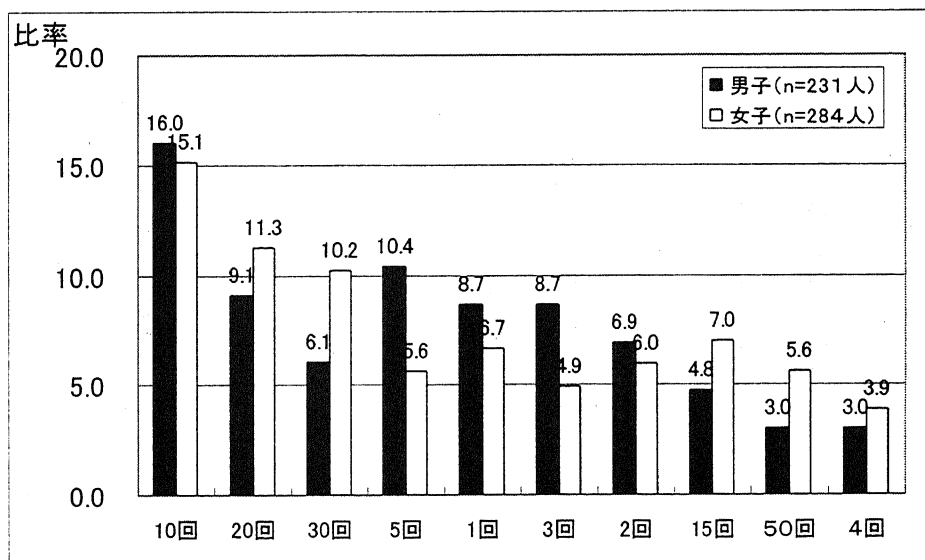


- ・エントリーシートの提出枚数は、女子の方が多い。
- ・女子では、20枚、10枚が20%を超えているのに対して、男子は、5枚が19%、10枚が14%である。

②会社説明会（セミナー）出席回数（問3-図8参照）

会社説明会（セミナー）への出席回数を図8に示した（男女計で多い出席回数順に示してある）。

図8 会社説明会（セミナー）出席回数

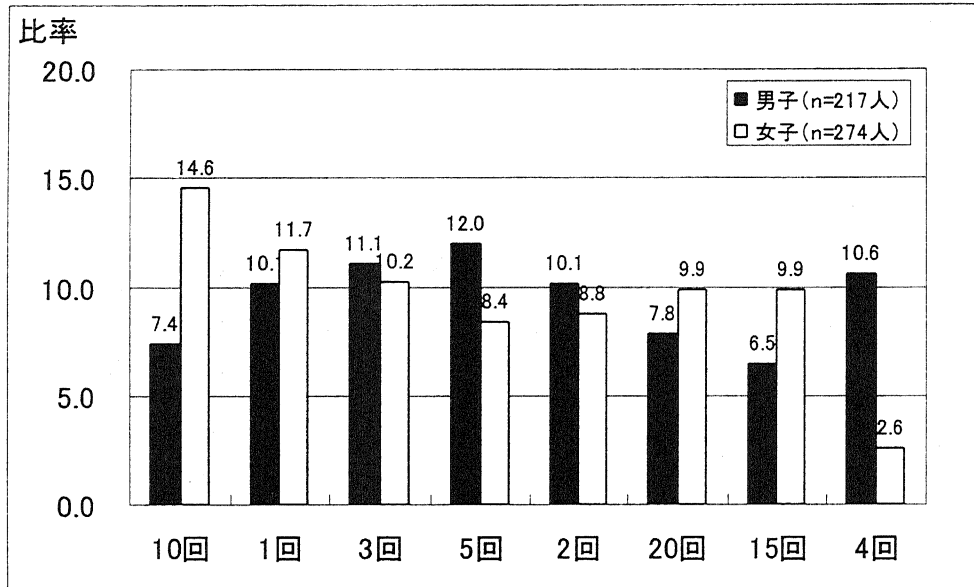


- ・男女共に10回が最も多く15%強である。
- ・男女を比較すると、男子は5回未満が多いのに対して、女子は20回、30回が10%を超えている。

③筆記試験受験回数（問3－図9参照）

筆記試験受験回数を図9に示した（男女計で多い受験回数順に示してある）。

図9 筆記試験受験回数

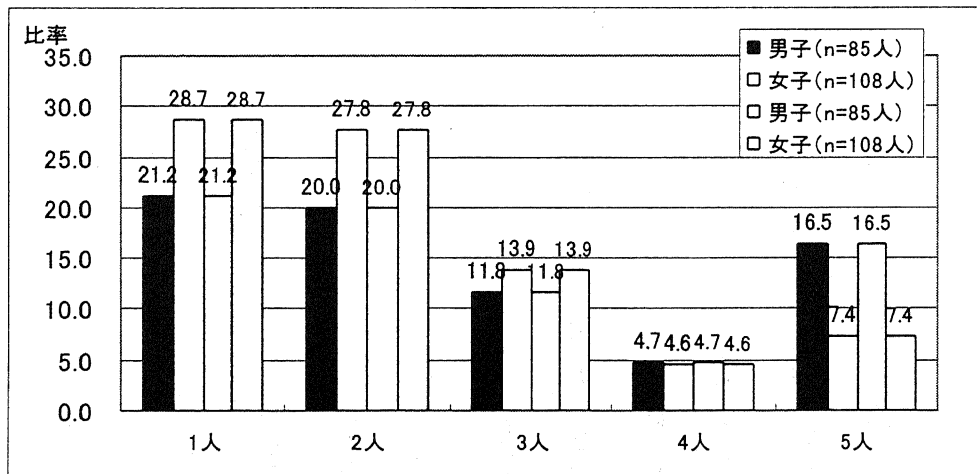


- ・男子は5回未満が多い傾向にあるのに対して、女子は10回、15回、20回が10%近い。

④OB・OGと会った人数（問3－図10参照）

OB・OGと会った人数を図10に示した（男女計で多い人数の順に示してある）。

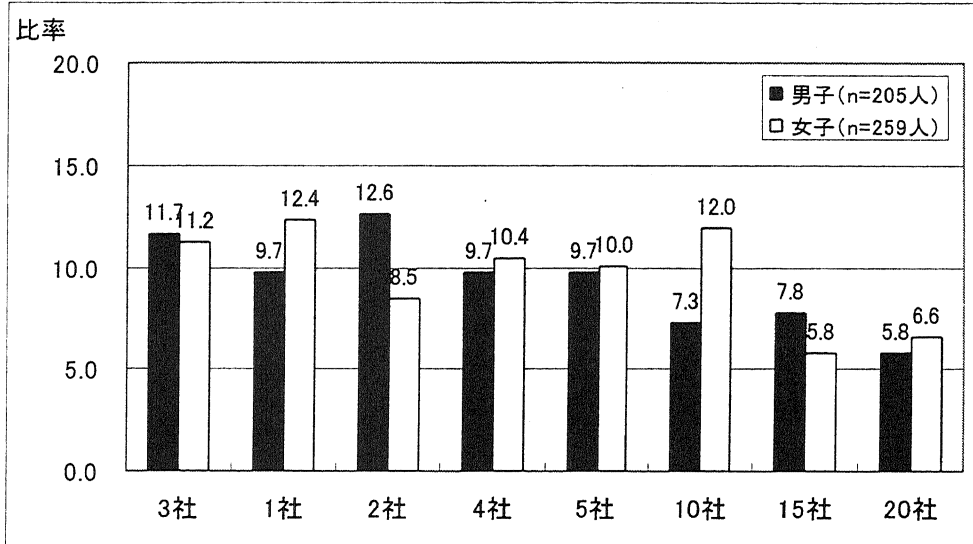
図10 OB・OGと会った人数



- ・1人あるいは2人のOG・OBに会った女子は30%近くあるのに対して、男子のそれは約20%である。

⑤面接（集団面接、グループディスカッションを含む）した会社（問3－図11参照）
 面接した会社数を図11に示した（男女計で多い会社数の順に示してある）。

図11 面接した会社数

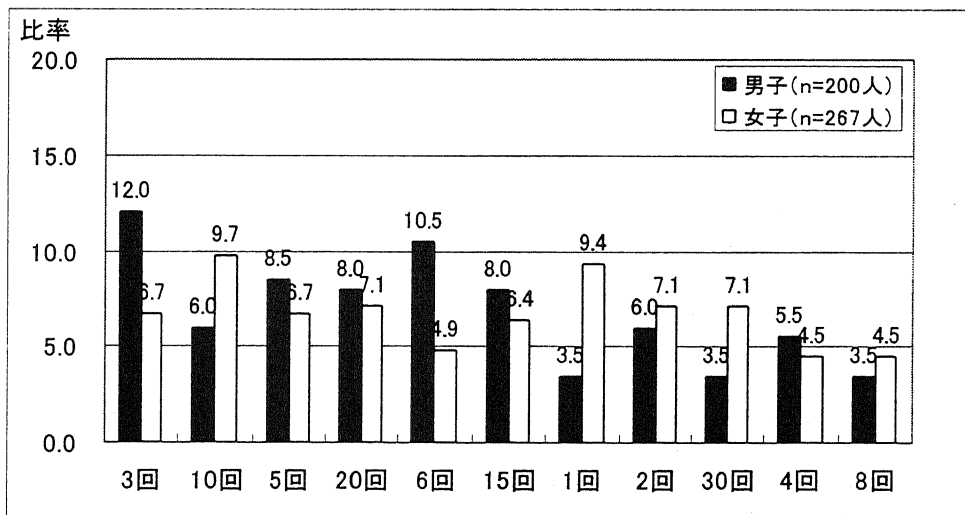


・面接した会社数は1社～5社が男女共に概ね各10%前後である。

⑥延べ面接回数（問3－図12参照）

延べ面接回数を図12に示した（男女計で多い回数順に示してある）。

図12 延べ面接回数

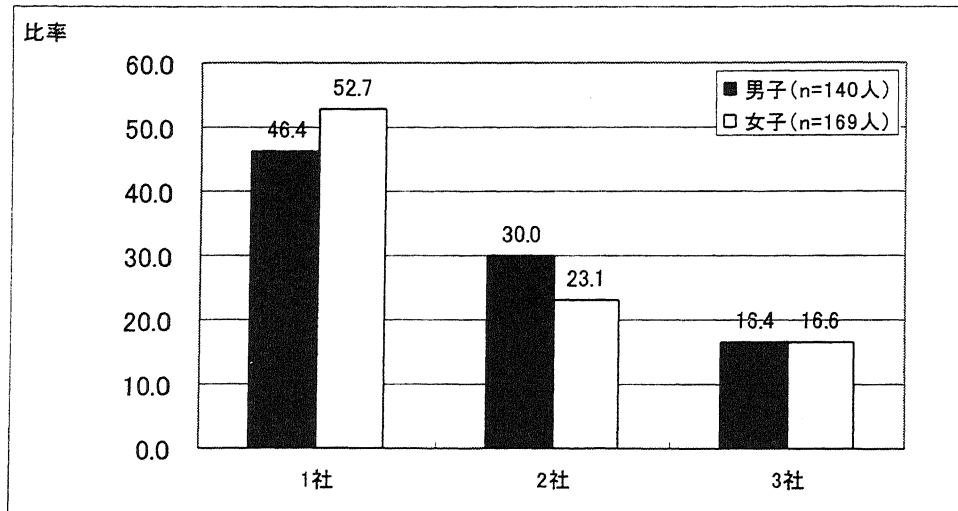


・男子では、3回、6回が10%強、女子は10回、1回が10%弱である

⑦内定取得数（問3－図13参照）

内定取得数を図13に示した。

図13 内定取得数



・男女共に3社までの内定取得者は約90%を占めている。

(4) 就職活動で苦労した事項 (問4-表1参照)

「就職活動を行っていて大変だったこと」について自由記述により回答を求め、その分類結果(複数分類あり)を、男女別に回答数の多い事項の順に表1に示した。また、男女計の割合の多い順に、「対有効回答数」の比率を図14に示した。

表1 就職活動で苦労した事項

事項	男子(度数)	対有効 回答数	対全数
自己分析	43	18.3	11.2
交通費	42	17.9	11.0
面接	38	16.2	9.9
時間管理	31	13.2	8.1
選考試験	24	10.2	6.3
移動	19	8.1	5.0
精神的不安	16	6.8	4.2
情報収集	15	6.4	3.9
スーツ	11	4.7	2.9
エントリーシート	9	3.8	2.3
暑さ	3	1.3	0.8
大変だった	3	1.3	0.8
就活の開始時期	2	0.9	0.5
不況	2	0.9	0.5
体調管理	1	0.4	0.3
男女差	0	0.0	0.0
回答数	259	110.2	67.6
有効回答数	235	100.0	61.4

事項	女子(度数)	対有効 回答数	対全数
交通費	68	23.4	15.9
自己分析	56	19.2	13.1
面接	49	16.8	11.5
時間管理	41	14.1	9.6
選考試験	36	12.4	8.4
エントリーシート	30	10.3	7.0
精神的不安	21	7.2	4.9
移動	20	6.9	4.7
スーツ	13	4.5	3.0
情報収集	8	2.7	1.9
暑さ	4	1.4	0.9
男女差	4	1.4	0.9
不況	4	1.4	0.9
体調管理	2	0.7	0.5
大変だった	2	0.7	0.5
就活の開始時期	1	0.3	0.2
回答数	359	123.4	84.1
有効回答数	291	100.0	68.1

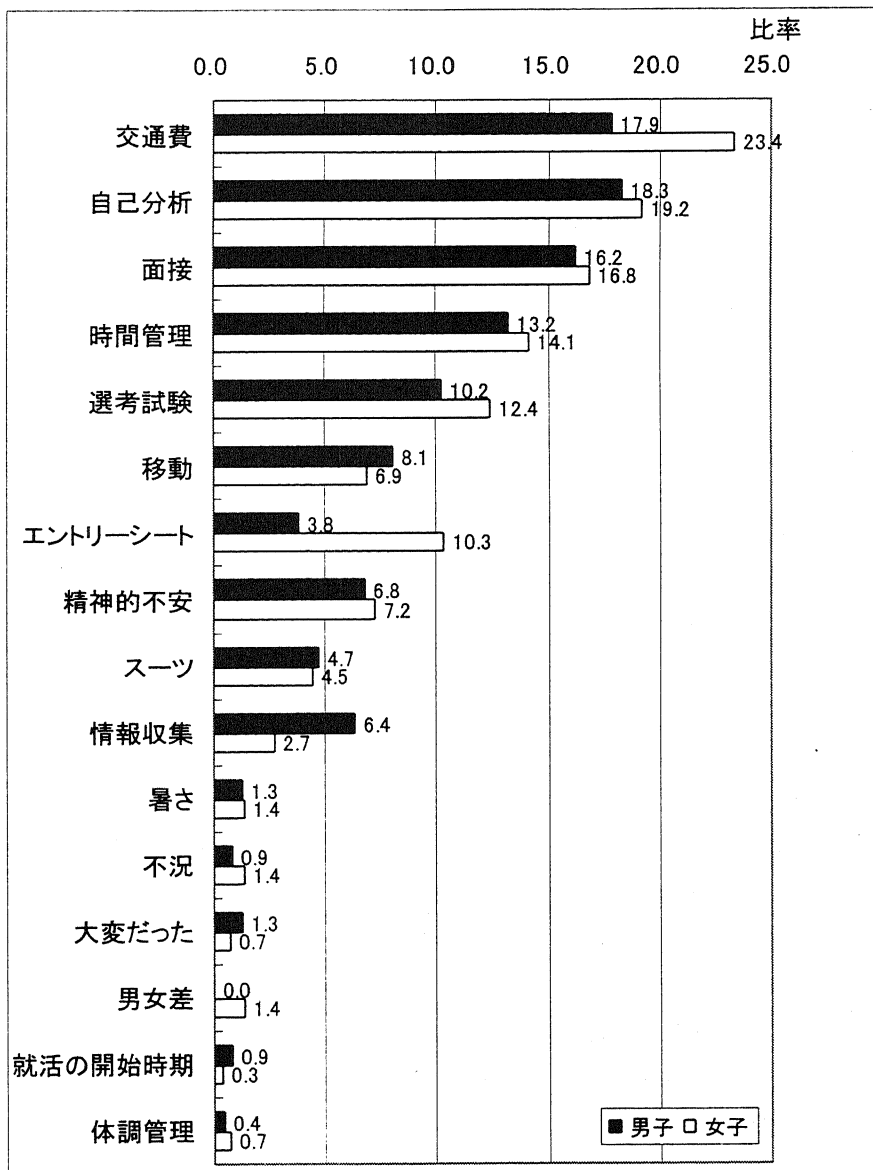
特になし	26		6.8
就職活動をしていない	56		14.6
無記入	66		17.2
無効回答数	148		38.6
全数	383		100.0

特になし	19		4.4
就職活動をしていない	53		12.4
無記入	64		15.0
無効回答数	136		31.9
全数	427		100.0

表1より、次のような点を指摘することができる。

- ・男子の61%、女子の68%が、一つ以上の苦勞した事項について記述しており（有効回答数）男子は平均で1.1、女子は1.2の事項を記述している。
- ・男女共にも、上位5位に含まれる事項は同様で、「自己分析」「交通費」「面接」「時間管理」「選考試験」である。女子の「エントリーシート」を加え、これらの事項はいずれも10%以上、指摘されている。
- ・男子の場合、上記5位までに指摘されている事項の回答数に対する割合は69%、女子の場合は、上記6位までのそれは78%である。従って、大学生が就職活動で苦勞した事項は、男子は上位五つの事項で約7割、女子は上位六つの事項で約8割を占めていることになる。
- ・5%未満ではあるが、日頃、着慣れていない「スーツ」や「暑さ」の指摘もみられている。

図14 就職活動で苦勞した事項



また、「大変だった」は、この一語に尽きるという印象であったので、少数ではあるが、分類項目としてとりあげている。

表2に、男女共に上位5位までの分類事項のそれぞれの回答例を示した。詳細については、pp. 163-185を参照されたい。

表2 就職活動で苦労した事項一回答例

事項	性別	回答
自己分析	男子	自分自身をしること 自己理解が大変でした
	女子	自己PRがうまくできない。
	女子	第一志望の企業の選考に途中で敗退し、その後1ヶ月ほど途方にふてしまったこと。自分が何をやりたいのか、どんなところで働きたいのか分からなくなってしまったこと。
	男子	どの会社が自分にマッチしているのか、将来何がしたいのか、悩んだ。
	女子	途中で飽きてしまったこと。自分と向き合わねばならないこと。体調が悪くて挫折したこと。
交通費	男子	交通費が掛かったこと。
	女子	交通費が沢山かかること。
	女子	交通費がかかる、お金がかかるので説明会を断念した会社もあった。
	男子	就職活動で遠隔地に行く際の交通費や土地勘がないために試験場所が見つかりにくかったことです。
	女子	地方に住んでいるため、面接や試験を受けに行く交通費などの捻出が大変だった。
面接	男子	面接でキツイ質問をされること。
	男子	集団面接をしている時に、周りの学生が無理をした言葉遣いをしていて自分もそういう風な堅苦しい言葉遣いにならなければならないと思ったことが大変でした。
	女子	面接の時の緊張を抑えることが大変だった。
	男子	面接対策
	女子	グループディスカッションや集団面接で何を見られているのかわからず、落ち続けたことがあった。途中で希望職種を変更したため、他の人より出遅れた。
時間管理	男子	たくさんの会社を同時に受けていたのでスケジュールが重なることもあった。
	女子	1日に何社もはしごしなければならないので、時間をうまく調整するのが大変でした。あとお昼食べる時間なかったのでやせて大変でした。
	男子	時間(スケジュール)調整が難しい。大学の授業に影響が大きい。
	女子	毎日毎日予定がはいつて忙しいこと。そして、日程が重なるかもしれない予定のたない状態。
	男子	経団連の覚え書きのせいで、4月前半に選考が集中し、数社の企業の先行が同時にある日が多くて日程調整が大変だった。
選考試験	女子	筆記試験が一番大変でした。学校では高校までで習ったことが出ると言っておいて、実際は応用問題ばかりで理解できずそのせいで何度も落ちました。本当、今ではトラウマというくらい筆記試験がだめです。
	男子	「縁があったら連絡します」というように結果が分かるのが遅く、判断基準が不明瞭な点。
	女子	筆記試験。対策をあまりしてなかったの。
	男子	勉強する科目がたくさんあったこと。
	女子	一般常識問題が全般的すぎて、よく分からないものが多かった。勉強に苦しんだ。

3 就きたい職業について

(1) 就きたい職業の分類 (問5-表3、図15-1、2参照)

就職しようとしている職業を自由記述により回答を求め、その分類結果(複数分類あり)を、男女別に回答数の多い職業の順に表3に示した。また、男女別に上位10位までの就きたい職業の分類を図15-1、2に示した。

表3 就きたい職業の分類

職業	男子	対有効回答数	対全数
コンピュータ関係	63	20.5	16.4
技術職	48	15.6	12.5
公務員	34	11.0	8.9
研究者	32	10.4	8.4
営業職	22	7.1	5.7
金融関係	16	5.2	4.2
教師	13	4.2	3.4
販売職	8	2.6	2.1
建築関係	6	1.9	1.6
マスコミ関係	6	1.9	1.6
会計士	5	1.6	1.3
広告関係	5	1.6	1.3
コンサルタント関係	5	1.6	1.3
福祉関係	5	1.6	1.3
法曹関係	5	1.6	1.3
医療関係	4	1.3	1.0
医者	3	1.0	0.8
警察官	3	1.0	0.8
事務職	3	1.0	0.8
心理職	3	1.0	0.8
不動産関係	3	1.0	0.8
薬剤師	3	1.0	0.8
音楽関係	2	0.6	0.5
サービス業	2	0.6	0.5
税理士	2	0.6	0.5
大学関係	2	0.6	0.5
デザイン関係	2	0.6	0.5
農業関係	2	0.6	0.5
編集者	2	0.6	0.5
空港関係	1	0.3	0.3
芸能関係	1	0.3	0.3
司書	1	0.3	0.3
進学	1	0.3	0.3
著述業	1	0.3	0.3
美容関係	1	0.3	0.3
回答数	315	102.3	82.2
有効回答数	308	100.0	80.4

職業	女子	対有効回答数	対全数
コンピュータ関係	42	11.8	9.8
営業職	31	8.7	7.3
教師	27	7.6	6.3
公務員	25	7.0	5.9
金融関係	23	6.5	5.4
事務職	22	6.2	5.2
販売職	20	5.6	4.7
研究者	16	4.5	3.7
医療関係	15	4.2	3.5
技術職	15	4.2	3.5
薬剤師	11	3.1	2.6
語学関係	9	2.5	2.1
サービス業	8	2.2	1.9
デザイン関係	8	2.2	1.9
福祉関係	8	2.2	1.9
編集者	8	2.2	1.9
芸能関係	7	2.0	1.6
会計士	6	1.7	1.4
看護婦	6	1.7	1.4
広告関係	6	1.7	1.4
コンサルタント関係	6	1.7	1.4
建築関係	5	1.4	1.2
美容関係	5	1.4	1.2
法曹関係	5	1.4	1.2
音楽関係	4	1.1	0.9
大学職員	4	1.1	0.9
医者	3	0.8	0.7
空港関係	3	0.8	0.7
司書	3	0.8	0.7
心理職	3	0.8	0.7
美術関係	3	0.8	0.7
警察官	2	0.6	0.5
税理士	2	0.6	0.5
著述業	2	0.6	0.5
不動産関係	2	0.6	0.5
マスコミ関係	2	0.6	0.5
進学	1	0.3	0.2
農業関係	1	0.3	0.2
回答数	369	103.7	86.4
有効回答数	356	100.0	83.4

職業不明	4		1.0
特になし	5		1.3
無回答	8		2.1
無記入	58		15.1
無効回答数	75		19.6
全数	383		100.0

職業不明	7		1.6
特になし	9		2.1
無回答	6		1.4
無記入	49		11.5
無効回答数	71		16.6
全数	427		100.0

自由記述に基づいて職業の分類しているため、具体的な職業名（仕事）、産業分類的なもの、〇〇関係としてまとめた分類もあるので、必ずしも正確な職業分類とは言えない。しかし、それだけ大学生に就きたいとする職業の捉え方に、あるいは近いのかもしれない。

図15-1 就きたい職業の分類／上位10位－男子

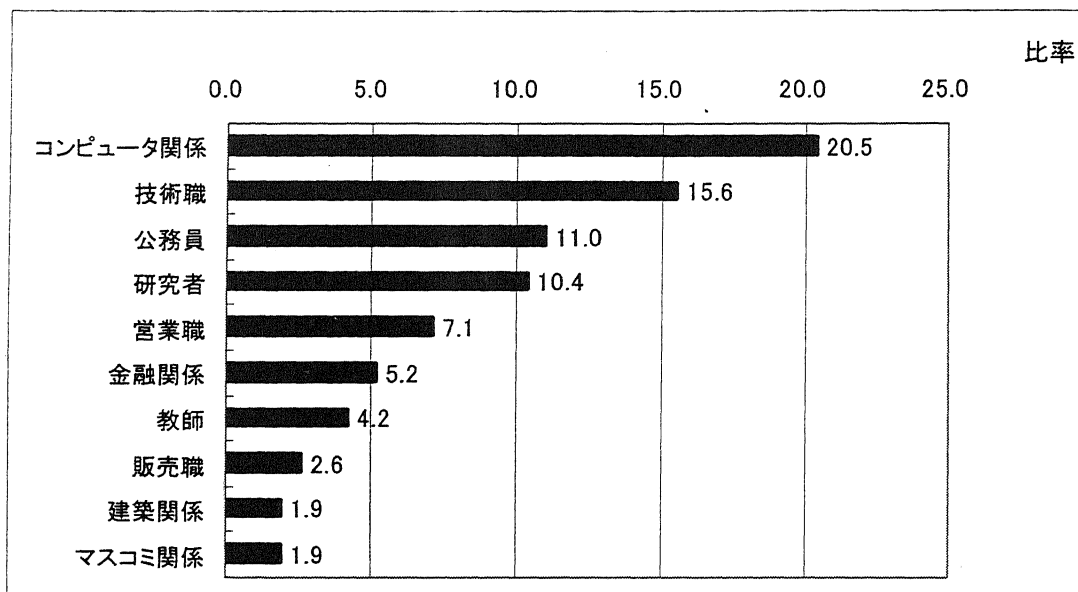


図15-2 就きたい職業の分類／上位10位－女子

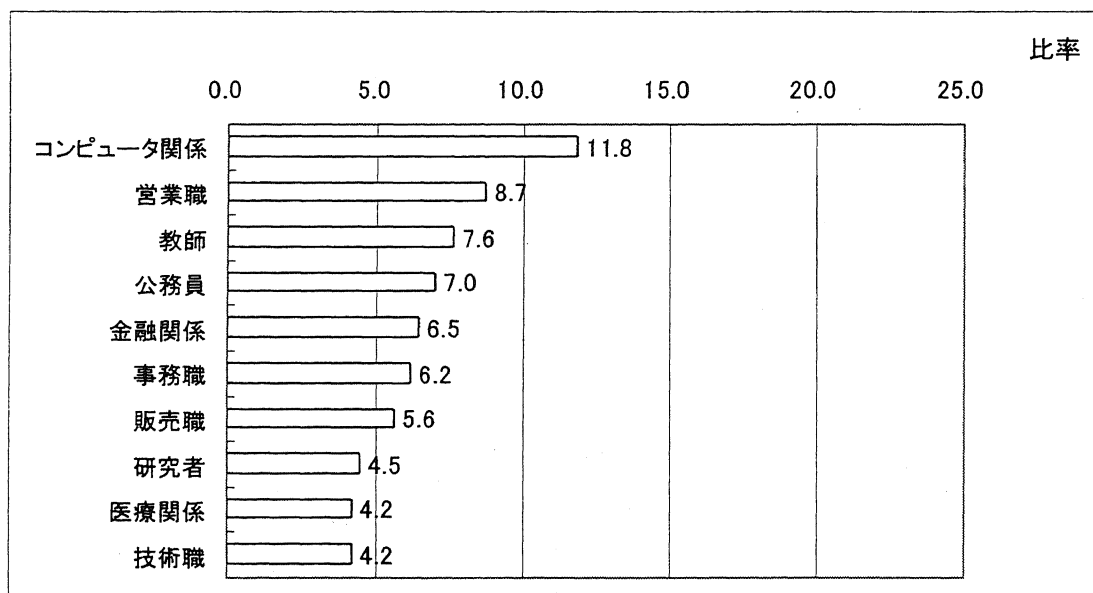


表3および図15-1, 2より、次のような点を指摘することができる。

・男女ともに80%以上が就きたい職業を記述している。複数の職業に分類されているケースは、調査時点で二つ以上の職業に応募しており、その選考結果が未だ不明の場合である。複数分類されたケースは、男子が3%、女子が4%である。

「無効回答」は、「答えたくない」、「考慮中」、「未定」などである。

・男女共に、就きたい職業の第1位が「コンピュータ関係」になっているが、これは、本調査が、インターネットを介して実施されたことを考慮する必要がある。

・上位10位までの就きたい職業に分類された比率は、男子が81%、女子が66%である。このことは、男子と比較して女の方が、就きたい職業が多岐に亘っていることを反映している。

(2) その職業に就きたい理由 (問6-表4参照)

上記の職業に就きたい理由について、自由記述で回答を求め、その分類(複数分類あり)をした結果を、男女別に回答数の多い順に表4に示した。

表4 職業に就きたい理由

理由	男子	対有効 回答数	対全数
大学の専攻学部・学科	48	15.8	12.5
興味関心	39	12.8	10.2
好き	36	11.8	9.4
適性	26	8.6	6.8
安定	20	6.6	5.2
対人関係	18	5.9	4.7
希望	17	5.6	4.4
自己開発	16	5.3	4.2
夢	16	5.3	4.2
社会的貢献	13	4.3	3.4
やりがい	12	3.9	3.1
物を作る	10	3.3	2.6
憧れ	7	2.3	1.8
経験	5	1.6	1.3
地元就職	5	1.6	1.3
将来性	5	1.6	1.3
収入	4	1.3	1.0
楽しさ	4	1.3	1.0
親の職業	3	1.0	0.8
出会い	3	1.0	0.8
専門性	3	1.0	0.8
他者の進め	2	0.7	0.5
社会的評価	2	0.7	0.5
内定取得	2	0.7	0.5
職場の雰囲気	2	0.7	0.5
楽そう	1	0.3	0.3
理由不明	1	0.3	0.3
回答数	320	105.3	83.6
有効回答数	304	100.0	79.4

理由	女子	対有効 回答数	対全数
興味関心	61	17.2	14.3
大学の専攻学部・学科	49	13.8	11.5
対人関係	36	10.1	8.4
夢	33	9.3	7.7
好き	32	9.0	7.5
適性	30	8.5	7.0
自己開発	22	6.2	5.2
安定	19	5.4	4.4
社会的貢献	15	4.2	3.5
希望	12	3.4	2.8
憧れ	12	3.4	2.8
やりがい	10	2.8	2.3
物を作る	8	2.3	1.9
職場の雰囲気	7	2.0	1.6
経験	6	1.7	1.4
社会的評価	6	1.7	1.4
楽しさ	5	1.4	1.2
親の職業	5	1.4	1.2
資格	5	1.4	1.2
平凡でない	4	1.1	0.9
地元就職	3	0.8	0.7
専門性	3	0.8	0.7
収入	2	0.6	0.5
楽そう	2	0.6	0.5
他者の進め	2	0.6	0.5
生き甲斐	1	0.3	0.2
内定取得	1	0.3	0.2
将来性	1	0.3	0.2
回答数	392	110.4	91.8
有効回答数	355	100.0	83.1

非該当	3		0.8
特になし	11		2.9
無回答	2		0.5
無記入	63		16.4
無効回答数	79		20.6
全数	383		100.0

非該当	5		1.2
特になし	9		2.1
無回答	2		0.5
無記入	56		13.1
無効回答数	72		16.9
全数	427		100.0

また、表5に「大学の専攻学部・学科」、「興味関心」、「好き」、「対人関係」に分類した回答例を示してある。

記述された理由の文章の中から、理由の「キ」となりそうな「検索語」を抽出して、それによって、理由の分類を行った。従って、かなり類似した分類項目（理由）も見られる。例えば、「大学の専攻学部・学科」、「興味関心」、「好き」、「適性」、「希望」、「夢」、「自己開発」「憧れ」などは、【自己実現】（自分の中にひそむ可能性を自分で見つけ十分に発揮していくこと。または、それへの欲求。－広辞苑による－）というような上位概念を分類項目（理由）として一括することが考えられよう。

本調査の間15で「就職先を決定する際に重視することは何か」という教示文で、「職業観」を捉えているので、それとの分析と関連させて今後検討を行うこととし、ここでは、大学生の生の回答により近い分類として結果を報告することに止める。

表5 職業に就きたい理由の回答例

理由	性別	回答例
大学の 専攻 学部・ 学科	女子	せっかく今まで学んだことを生かしたいから
	男子	大学の専攻がそれだから。
	男子	専攻とつながってますから。
	女子	看護学科専攻で看護師になるために勉強してきたから。
	男子	大学でプログラムを作る授業がありそこでSEの面白さを知ったから。
興味 関心	男子	その職に興味があるので。
	女子	プログラミングが得意だから。最先端の技術を取り入れて、みんなが使い易いシステムを作りたい。
	女子	きらきらしたもの、宝石に興味があるので。
	女子	始めは介護やケースワーカーなど現場の職業を希望していたが、大学でいろいろなことを学ぶうちに現場ではない部分から自分の興味のある分野に関わっていきたいと思ったから。
	男子	幼い頃からコンピュータに興味があり、今でもなお興味があるため。
好き	女子	小売業が好きだから
	男子	パソコンが好きだから
	男子	車が好きでその方面で貢献したいから。
	女子	パソコンを触るのが好き、プログラムを組み立てるのが好きだから
	女子	昔から本が好きで、出版前の本に携われる唯一の仕事だからです。
対人 関係	女子	色々な人と接することにより、色々な発見があると思うから。
	男子	人と接し、直接人の役にたちたいと考えているから。
	女子	子供が好きなので。4年間接客業をやってきて、おもしろかったの。
	男子	子ども達と触れ合うことによって、未来の主役の人格形成に携わっていきたい。
	女子	人と接する仕事がしたいから

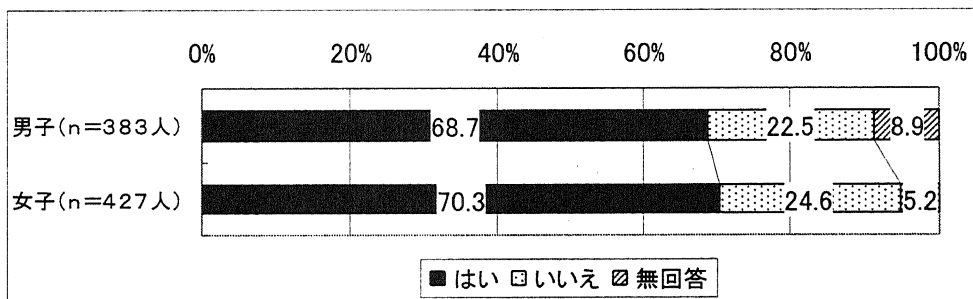
表4、5より次のような点を指摘することができる。

- ・男子の79%、女子の83%が理由を記述し、複数の理由を記述したものは、男子が5%、女子が10%である。
- ・男女共に、対有効回答数に対する比率が10%以上の理由に注目すると、「大学の専攻学部・学科」、「興味関心」、「好き」、女子は、「興味関心」、「大学の専攻学部・学科」、「対人関係」である。「対人関係」は「人と接する事が好き」という記述が多く見られる事から、「興味関心」、「好き」などと同様の範疇に入ると考えられよう。従って、上位3位に含まれている職業に就きたい理由として、【自己実現】を志向している理由が挙げられていると言えよう。
- ・さらに、男女別に上位10位までの理由に注目すると、その順位は若干異なっているが、そこに含まれている理由は、男女共に同様である。「安定」と「社会的貢献」の二つ理由を除いて、他の理由は【自己実現】を志向している理由（「適性」、「希望」、「夢」、「自己開発」）と考えられる。
- ・従って、多くの大学生は【自己実現】を志向している理由で、職業に就こうとしていると判断して良からう。

(3) 理想の職業か？（問7—図16参照）

就職しようとしている職業が、「本当に就きたい理想の職業であるか」の質問の結果を図16に示した。

図16 理想の職業か？



・男女共に約70%が「理想の職業」で「ある」と回答しているが、残りの約30%は「理想の職業」では「ない」あるいは「無回答」である。このことは、職業の「ミスマッチ」を生み出す背景となることが予想されようか。

(4) 就きたい職業について重視した情報源（問8—図17参照）

就職しようとした職業について、22の情報源をあげ、それぞれについて重視したか否かの2件法（「はい」「いいえ」）で回答を求め、その結果を図17に示した（情報源は、男女計で「はい」の回答率の高い順に示してあり、 χ^2 検定により回答率に男女間で有意差の認められた情報源には、** (p<0.01)、* (p<0.05) を記してある）。

図17より、次のような点を指摘することができる。

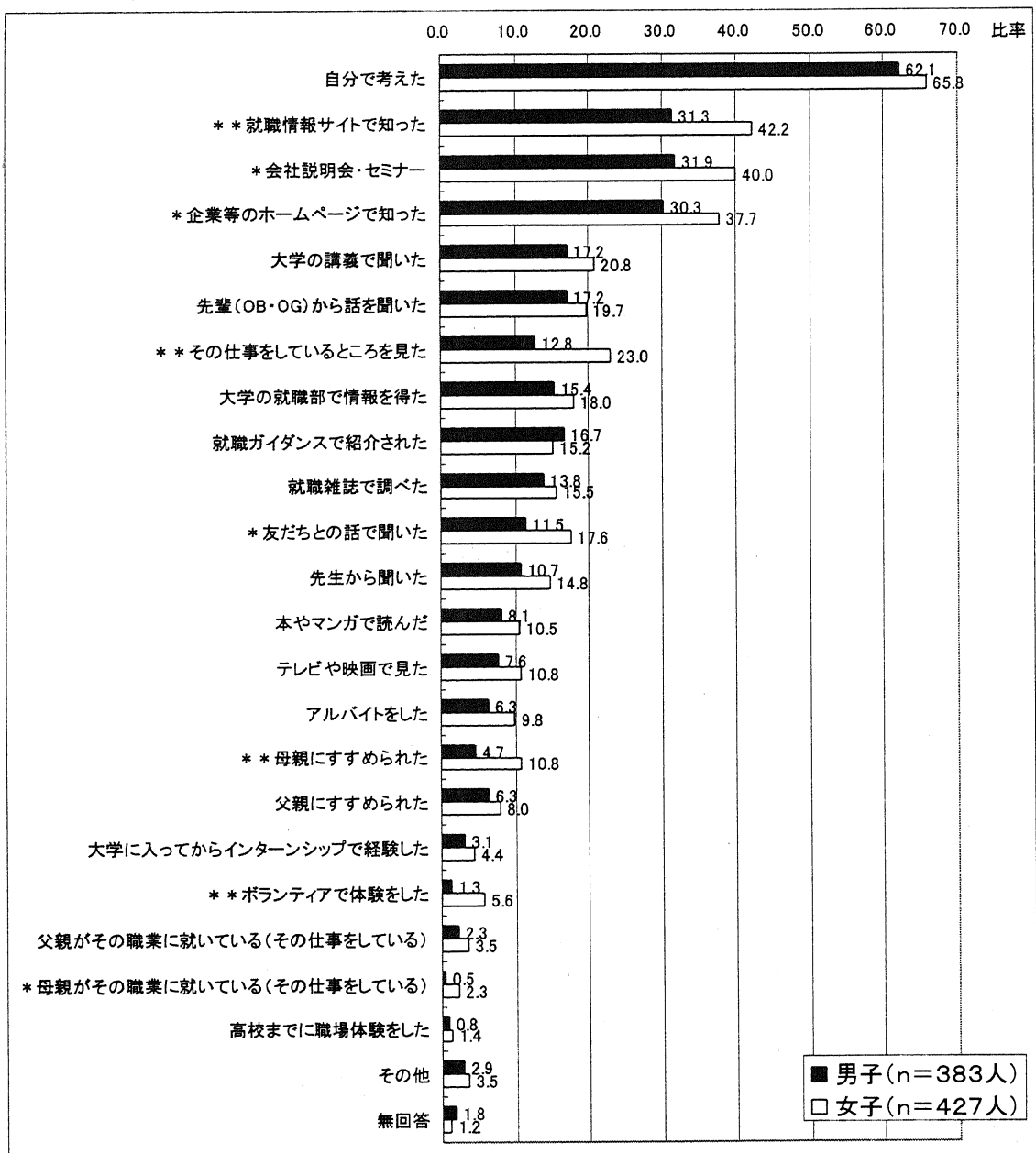
・どの情報源も女子の方が重視したとする回答率が高い。男女間で有意差が認められた情報源は次の八つである。

「就職情報サイトで知った」、「会社説明会・セミナー」、「企業等のホームページで知った」、

「その仕事をしているところを見た」、「友だちとの話で聞いた」、「母親にすすめられた」、「ボランティアで体験をした」、「母親がその職業に就いている(その仕事をしている)」・「自分で考えた」を情報源とすることが適切かという問題もあるが、この回答率が最も高く男女共に6割を超えている

- ・ 「自分で考えた」を除くと、「就職情報サイトで知った」、「会社説明会・セミナー」「企業等のホームページで知った」が、上位3位を占めており、いずれも女子が40%前後、男子が30%強である。「就職情報サイトで知った」、「企業等のホームページで知った」の回答率が高いのは、本調査がインターネットによる調査であることの影響を考慮しておく必要があるか。

図17 就きたい職業について重視した情報源



(5) 就きたい職業と両親の職業との関連 (問9-図18参照)

就職しようとしている職業が、両親の職業と同じか否かの問に対する回答率を図18-1に示した。また、同じ場合、父母のどちらと同じかの問の回答率を図18-2に示した。

図18-1 両親の職業との関連

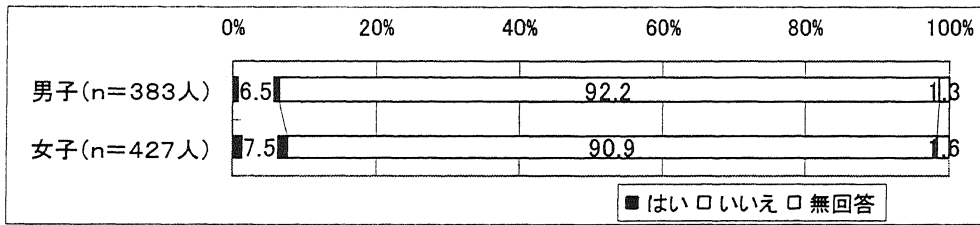
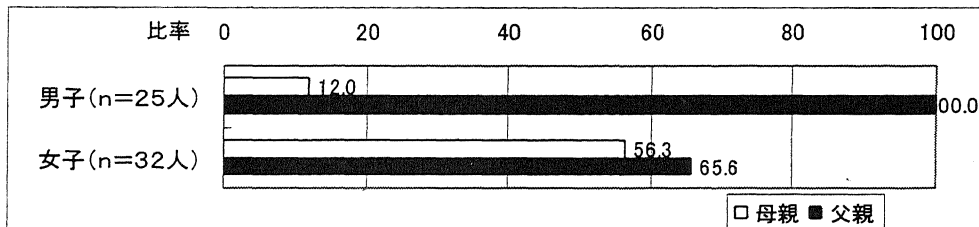


図18-2 父母の職業との関連

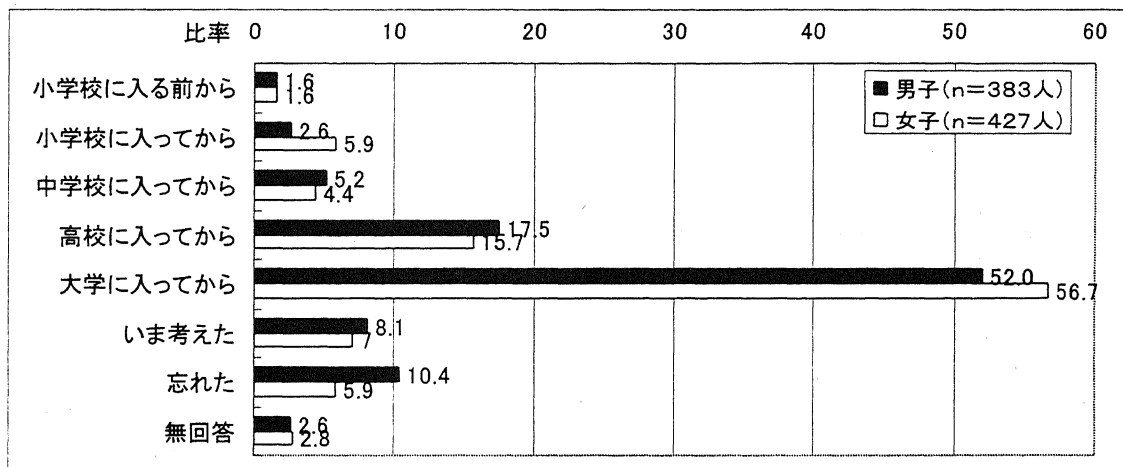


- ・男子の7%、女子の8%が、就職しようとしている職業が、両親の職業と同じであると回答している。
- ・男子の全員が父親の職業と同じであると回答している。女子は66%が父親の、56%が母親の職業と同じであると回答している。

(6) 職業に就きたいと思った時期 (問10-図19、19-1、19-2参照)

就職しようと考えている職業に就きたいと思った時期を尋ねた結果を図19に示した。

図19 職業に就きたいと思った時期



- ・男女間の回答率の差は小さく、男女共に50%以上が「大学に入ってから」、「高校に入ってから」が17%前後である。
- ・「小学校に入る前から」考えていたとする回答は2%未満、「小学校に入ってから」は男子が3%、女子が6%である。

次に、高校、大学のどの学年かをみたのが、図19-1（高校）、図19-2（大学）である。

図19-1 職業に就きたいと思った学年(高校)

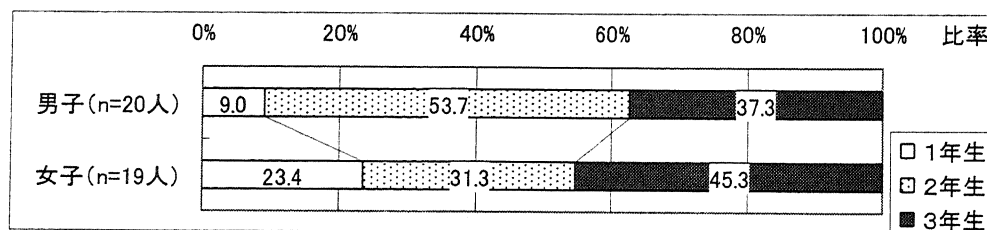
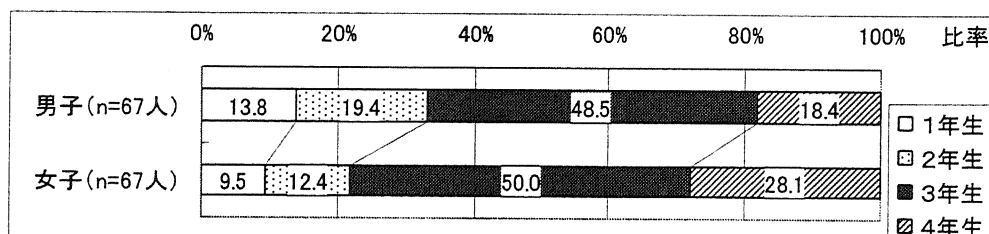


図19-2 職業に就きたいと思った学年(大学)



- ・高校では、男子は2年生の時期（54%）、女子は3年生の時期（45%）が最も多い。
- ・大学では、男女共に3年生の時期で50%がこの時期に就きたい職業を考えていたという結果である。

(7) 職業に就くために行った（行っている）努力（問11-図20参照）

就職しようとしている職業につくためにどのような努力を行った（行っている）かを把握するために、10項目を用意し、それらについて「とても努力している」「まあ努力している」「あまり努力していない」「全然努力していない」の4選択肢で回答求めた。結果を図20に示した（男女計の「とても努力している」の回答率の多い順に項目は並べ替えてある。

・回答率の男女差について、 χ^2 検定により検討したところ、「6）専門的な技能や技術をみがく」、「9）スタイルや容姿を良くする」の2項目において有意差（ $P < 0.05$ ）が認められた。すなわち項目6では男子の方が、項目9では、女子の方が努力している傾向にある。他の8項目においては、男女差は認められなかった。

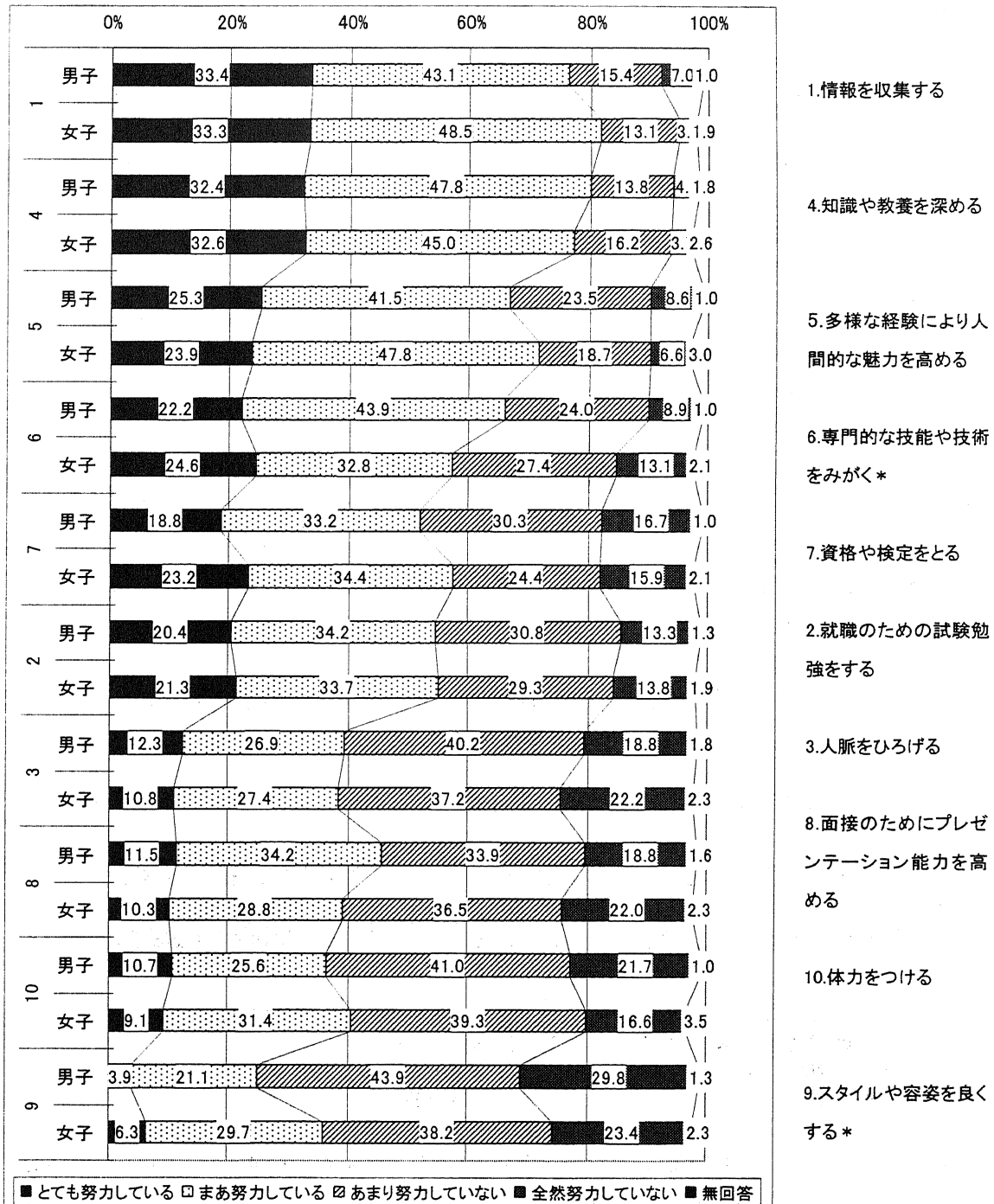
・「とても努力している」の回答率の最も高い項目は、「1）情報を収集する」、「4）知識や教養を深める」で男女共に約3分の1、「まあ努力している」の回答率と合計すると、80%前後となる。

・次いで、「5）多様な経験により人間的な魅力を高める」、「6）専門的な技能や技術をみがく」が高く、男女共に約4分の1前後である。これらの項目の回答率から、就こうとしている職業に関する情報を収集することと、自分自身の資質/能力を高めることに努力が払われていることがうかがえる。

・「7）資格や検定をとる」、「2）就職のための試験勉強をする」のそれは、男女共に20%前後である。

・上述した「9）スタイルや容姿を良くする」の「とても努力している」の回答率は、最も低く5%前後である。

図20 職業に就くために行った(行っている)努力

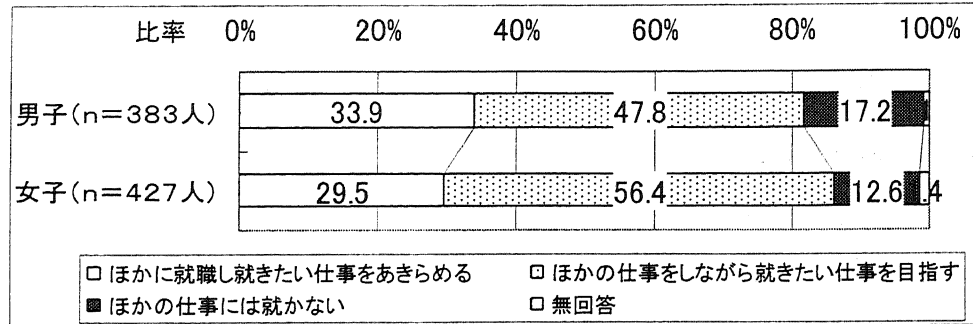


* (χ^2 検定 $p < 0.05$)

(8) 就きたい仕事(職業)に就けなかった場合の対応(問12-図21、21-1参照)

就きたい仕事(職業)に就けなかった場合の対応を、「1. ほかに就職し就きたい仕事をあきらめる」「2. ほかの仕事をしながら就きたい仕事を目指す」「3. ほかの仕事には就かない」の3選択肢で回答を求め、その結果を図21に示した。

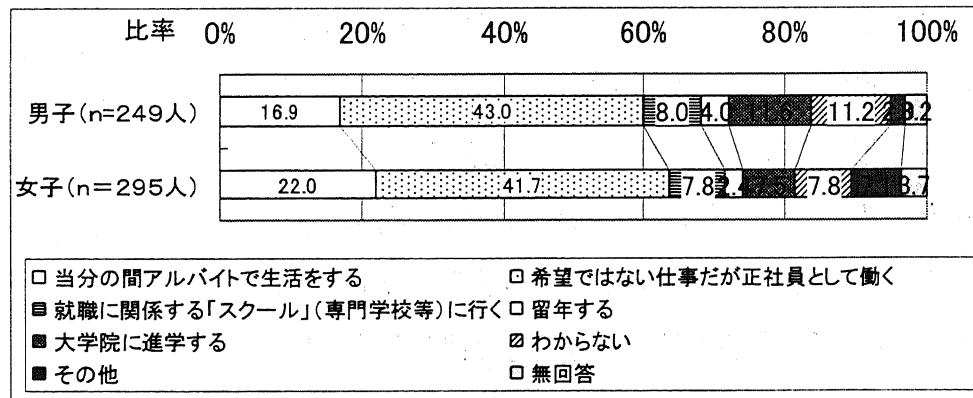
図21 就きたい仕事につけなかった場合の対応



- ・ χ^2 検定の結果、回答率に男女差が認められ ($p < 0.05$)、女子の方が「2. ほかの仕事をしながら就きたい仕事を目指す」(女子56%、男子48%)と回答している傾向がうかがわれる。
- ・ 「1. ほかに就職し就きたい仕事をあきらめる」は、男子が34%、女子が30%である。

次に、「2. ほかの仕事をしながら就きたい仕事を目指す」「3. 他の仕事には就かない」と回答した調査対象者に、大学卒業後、どのような進路をとるかを、「1. 当分の間アルバイトで生活をする」「2. 希望ではない仕事だが正社員として働く」「3. 就職に関する<スクール>(専門学校等)に行く」「4. 留年する」「5. 大学院に進学する」「6. わからない」「7. その他」の7選択肢で回答を求めた結果を図21-1に示した。

図21-1 「就きたい仕事を目指す」/「他の仕事につかない」場合の大学卒業後の進路予定

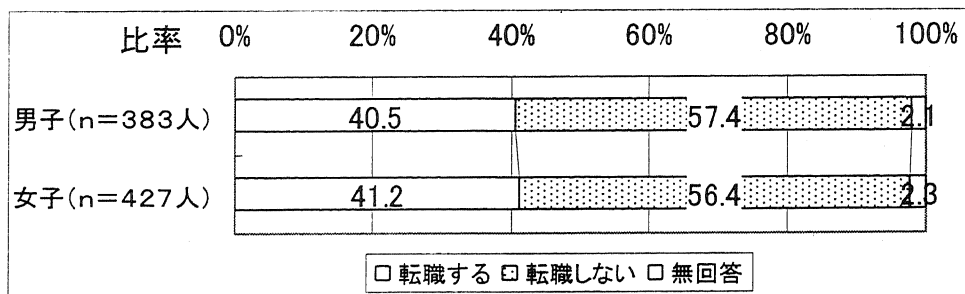


- ・ 男女共に、40%強が「希望ではない仕事だが正社員として働く」と回答し、次いで、「当分の間アルバイトで生活をする」が20%前後である。
- ・ 「大学院に進学する」は、男子が12%、女子は8%、「就職に関する<スクール>(専門学校等)に行く」は、男女共に8%である。

(9) 転職の予想 (問13-図22参照)

数年経って「転職」すると思うかの問に対する回答結果を図22に示した。

図22 転職の予想

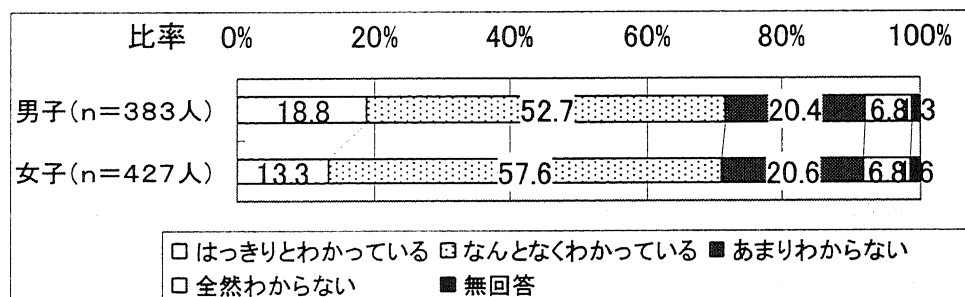


・男女共に約40%が数年経って「転職」すると思うと回答している。

(10) 適性職業の認知 (問14-図23参照)

自分がどんな職業に向いていると思うかについて、「1. はっきりと分かっている」「2. 何となく分かっている」「3. あまり分からない」「4. 全然分からない」の4選択肢により、適性職業の認知を捉え、その結果を図23に示した。

図23 適性職業の認知



・「はっきりと分かっている」の回答率は、男子が19%、女子が13%である。「何となく分かっている」の回答率とを合計すると男女共に約70%となる。

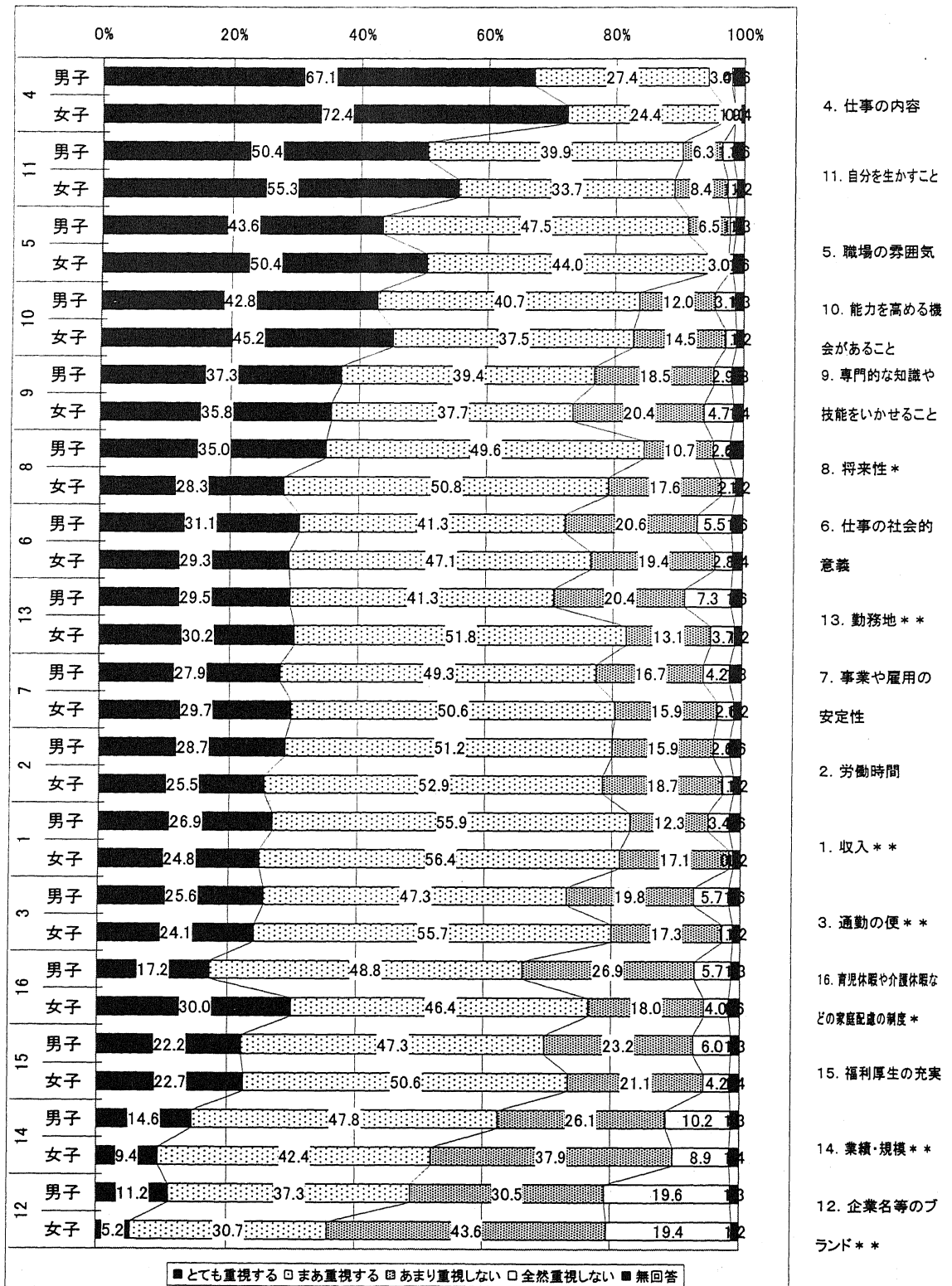
・ということは、男女共に約30%が、「あまり分からない」あるいは「全然分からない」と回答していることになる。

4 職業観/仕事・就業観/不労観/人生・社会観について

(1) 職業観 (問15-図24参照)

就職先を決定する際に重視することは何かという問により、16の項目をあげ、それぞれについて、「とても重視する」「まあ重視する」「あまり重視しない」「全然重視しない」の4選択肢により回答を求め職業観を捉え、結果を図22に示した(男女計の「とても重視している」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある)。図24より次のような点を指摘することができる。

図24 職業観(就職先を決定する際に重視すること)



* * (χ^2 検定 $p < 0.01$) * (χ^2 検定 $p < 0.05$)

・「とても重視する」の回答率が高い項目は、男女共に「仕事の内容」（約70%）、「自分を生かすこと」（約54%）で、このことは、仕事の内容に対する自分の適性と自己実現を重視している傾向にあると言えよう。また、「専門的な知識や技能をいかせること」（約45%）、「能力を高める機会があること」（約37%）も上位に位置づけられており、自己実現を求めている傾向がうかがえる。

・就職先の条件としては、「職場の雰囲気」（約48%）が最も重視されて、次いで「将来性」（男子36%、女子29%）、「勤務地」（約30%）である。

・反対に「とても重視している」の回答率の低いのは、「企業名等のブランド」（男子11%、女子5%）、「業績・規模」（男子15%、女子9%）である。

・ χ^2 検定の結果、男女間の回答率に有意差が認められた項目に注目すると、男子は、「将来性」、「収入」、「業績・規模」、「企業名等のブランド」、女子は、「勤務地」、「通勤の便」、「育児休暇や介護休暇などの家庭配慮の制度」を重視している傾向にある。

（2）仕事・就労観（問16—図25参照）

仕事・就労観を捉えるために、13項目を用意し、「とてもそう思う」「まあそう思う」「あまりそう思わない」「全然そう思わない」の4選択肢で評定を求め、結果を図25に示した（男女計の「とてもそう思う」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある）。図25より次のような点を指摘することができる。

・「2. 希望する仕事につくために、どういう勉強をすればよいかを考えなければならない」の肯定回答率（「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計—以下同様）は、男女共に高く80%を超えている。この項目は、男女間の回答率（4選択肢の各回答率—以下同様）に有意差が認められ、女子の方が、男子よりもこの項目を肯定する傾向にある。

・「12. 組織はいつまでも自分を守ってくれない」の肯定回答率は、男子が69%、女子が77%である。男女間の回答率に有意差が認められ、女子の方が、男子よりもこの項目を肯定する傾向にある。

・「4. 金に困らなければ、わざわざ望まない仕事につく必要はない」の肯定回答率は、男女共に約64%である。男女間の回答率に有意差は認められない。

・「7. キャリアアップのための転職は当然である」の肯定回答率は、男子56%、女子64%である。男女間での回答率の有意差は認められていない。

・「1. 仕事は人生における生きがいである」の肯定回答率は、男子66%、女子70%である。男女間の回答率に有意差が認められ、女子の方が、男子よりもこの項目を肯定する傾向にある。

・「13. 働かなくても非難されない風潮がフリーターを増加させている」の肯定回答率は、男子57%、女子53%である。男女間での回答率の有意差は認められていない。

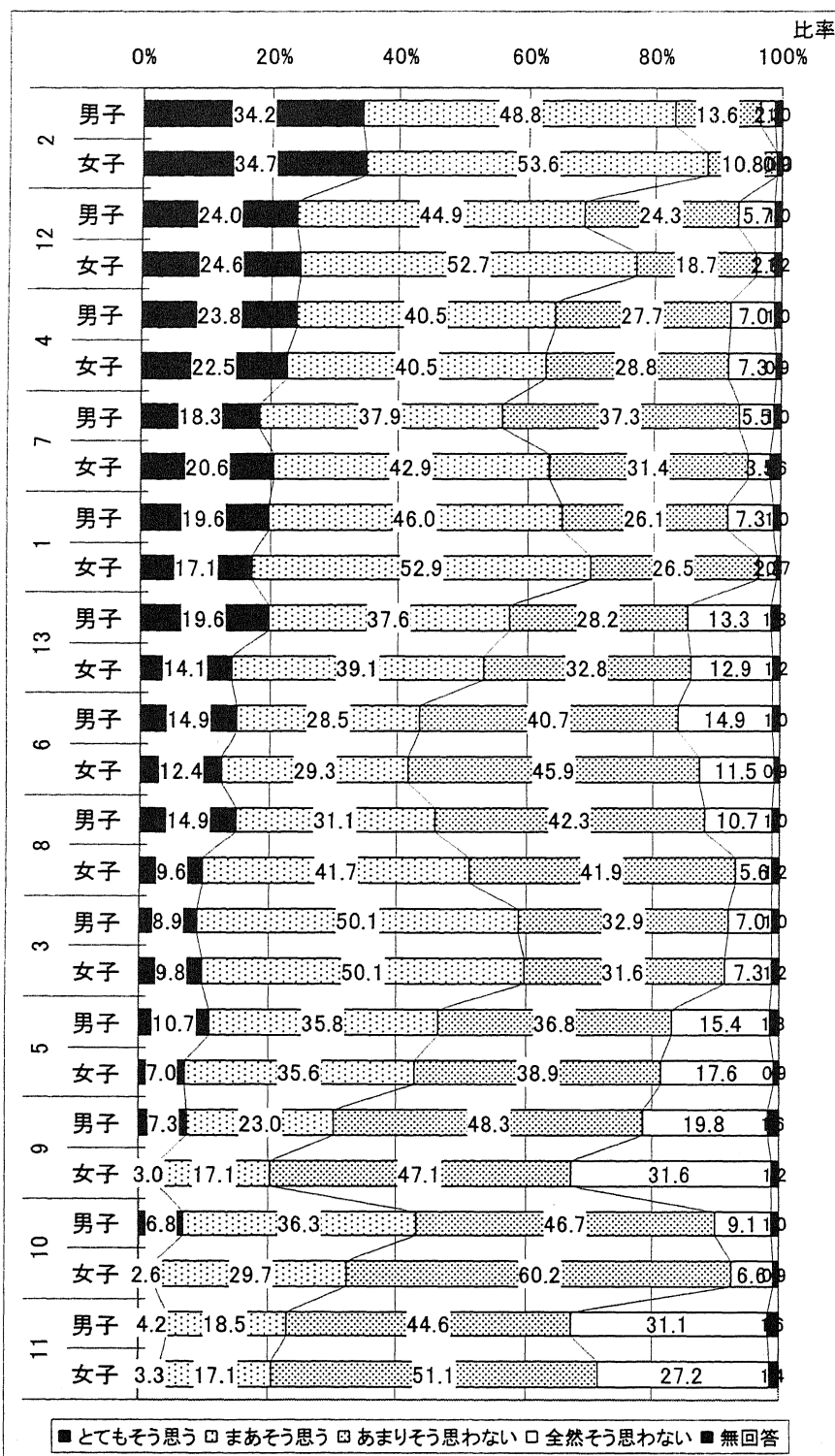
・「6. 同じ組織で一生働くのはつまらない」の肯定回答率は男女共に約42%である。男女間での回答率の有意差は認められていない。

・「8. 出世のために能力以上の無理をする必要はない」の肯定回答率は男子46%、女子は51%である。男女間の回答率に有意差が認められ、女子の方が、男子よりもこの項目を肯定する傾向にある。

・「3. たとえ、望む仕事につけなかったとしても、我慢して働くべきである」の肯定回答率は男女共に約60%である。男女間での回答率の有意差は認められていない。

・「5. 就職は有力なコネ（知り合いがいること）で決まる」の肯定回答率は男子47%、女子43%である。男女間での回答率の有意差は認められていない。

図25 仕事・就労観



- 2. 希望する仕事につくために、どうい勉強をすればよいかを考えなければならない**
- 12. 組織はいつまでも自分を守ってくれない*
- 4. お金に困らなければ、わざわざ望まない仕事につく必要はない
- 7. キャリアアップのための転職は当然である
- 1. 仕事は人生における生きがいである*
- 13. 働かなくても叱咤されない風潮がフリーターを増加させている
- 6. 同じ組織で一生働くのはつまらない
- 8. 出世のために能力以上の無理をする必要はない**
- 3. たとえ、望む仕事につけなかったとしても、我慢して働くべきである
- 5. 就職は有力なコネ(知り合いがいること)で決まる
- 9. ベンチャー企業につとめたい**
- 10. 組織の業績をあげるためにはチームワークよりも、構成員の能力や資質が大切である**
- 11. 職場の人と個人的なつきあいをしたくない

** (χ²検定 p<0.01) * (χ²検定 p<0.05)

- ・「9. ベンチャー企業につとめたい」の肯定回答率は男子30%、女子20%である。男女間の回答率に有意差が認められ、男子の方が、女子よりもこの項目を肯定する傾向にある。
- ・「10. 組織の業績をあげるためにはチームワークよりも構成員の能力や資質が大切」の肯定回答率は、男子43%、女子32%である。男女間の回答率に有意差が認められ、男子の方が、女子よりもこの項目を肯定する傾向にある。
- ・「11. 職場の人と個人的なつきあいをしたくない」の肯定回答率は男女共に約20%である。男女間の回答率に有意差が認められない。

(3) 不就労観（問19－図26参照）

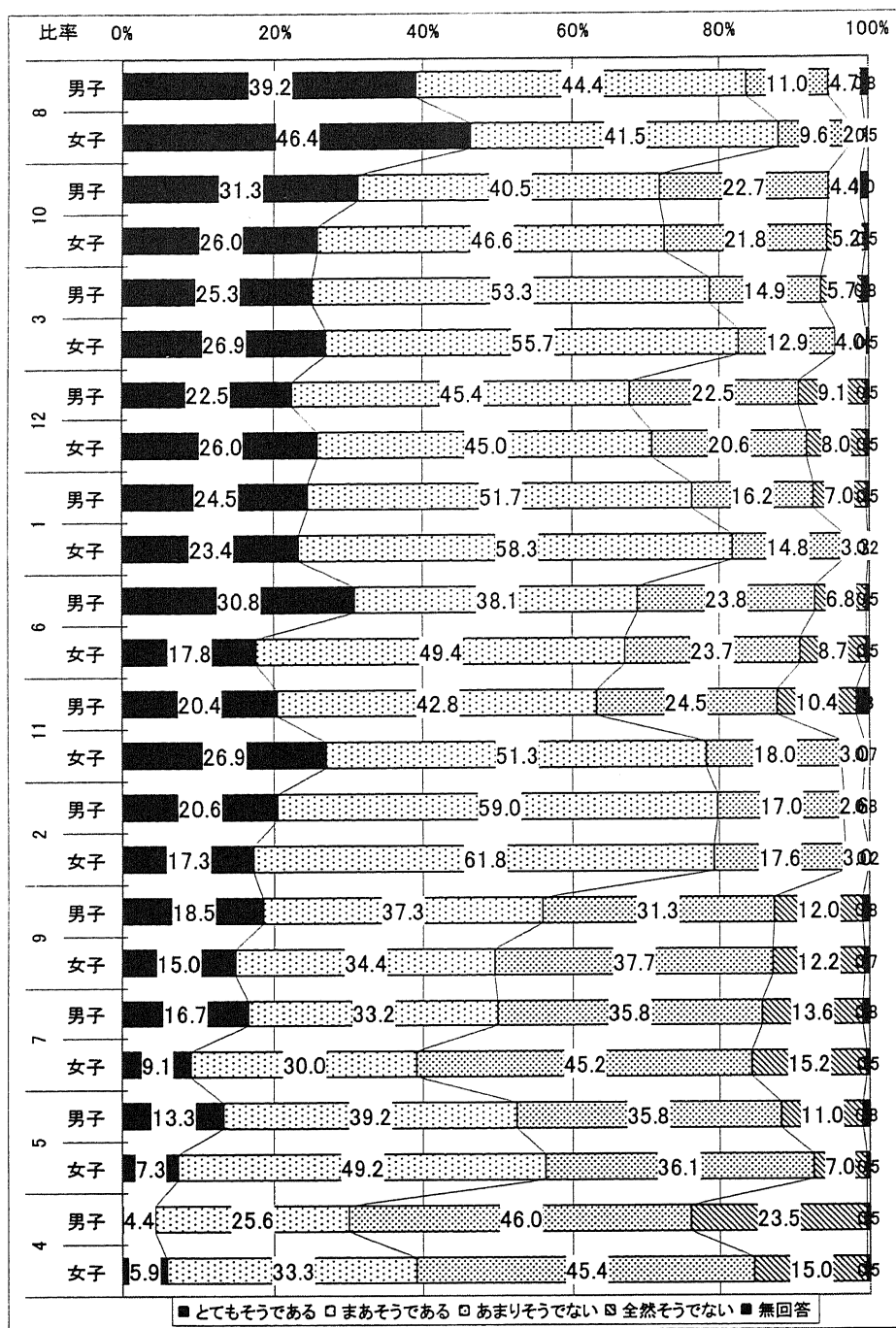
「仕事についていない人がいる」理由として12項目を用意し、「とてもそうである」「まあそうである」「あまりそうでない」「全然そうでない」の4選択肢によって評定を求め不就労観を捉え、結果を図26に示した（男女計の「とてもそうである」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある）。

・肯定回答率（「とてもそうである」と「まあそうである」の合計）の高い項目（男女計の回答率が79～86%の範囲）は、「何をしたらいいか、わからないから」、「就きたい職業がないから」、「働くところをやめさせられたから」、「働きたくても、働くところがないから」の4項目である。

「何をしたらいいか、わからないから」は、個人的理由、他の3項目は、外的理由（本人に働く意志はある）ある。肯定回答率の高い項目では、不就労の理由として外的理由を指摘している傾向にある。

・男女間での4選択肢の回答率が、6項目において有意差が認められた。すなわち、「働きたくても、働くところがないから」「他にしたいことがあるから」「人と仲良くできないから」「健康ではないから」の4項目は女子の方が、「だらしがないから」「仕事をする能力がないから」の2項目は男子の方が、不就労の理由として指摘している傾向にある。不就労の理由について、概して女子は外的理由を男子は個人的理由を指摘している傾向にある。

図26 不就労観



- 8. 何をしたらいいか、わからないから
- 10. 働くのが嫌いだから
- 3. 就きたい職業がないから
- 12. 働かなくても、暮らしていけるから
- 1. 働きたくても、働くところがないから*
- 6. だらしがないから**
- 11. 他にしたいことがあるから**
- 2. 働くところをやめさせられたから
- 9. 仕事を一つに決められないから
- 7. 仕事をする能力がないから**
- 5. 人と仲良くできないから**
- 4. 健康ではないから**

** (χ^2 検定 $p < 0.01$) * (χ^2 検定 $p < 0.05$)

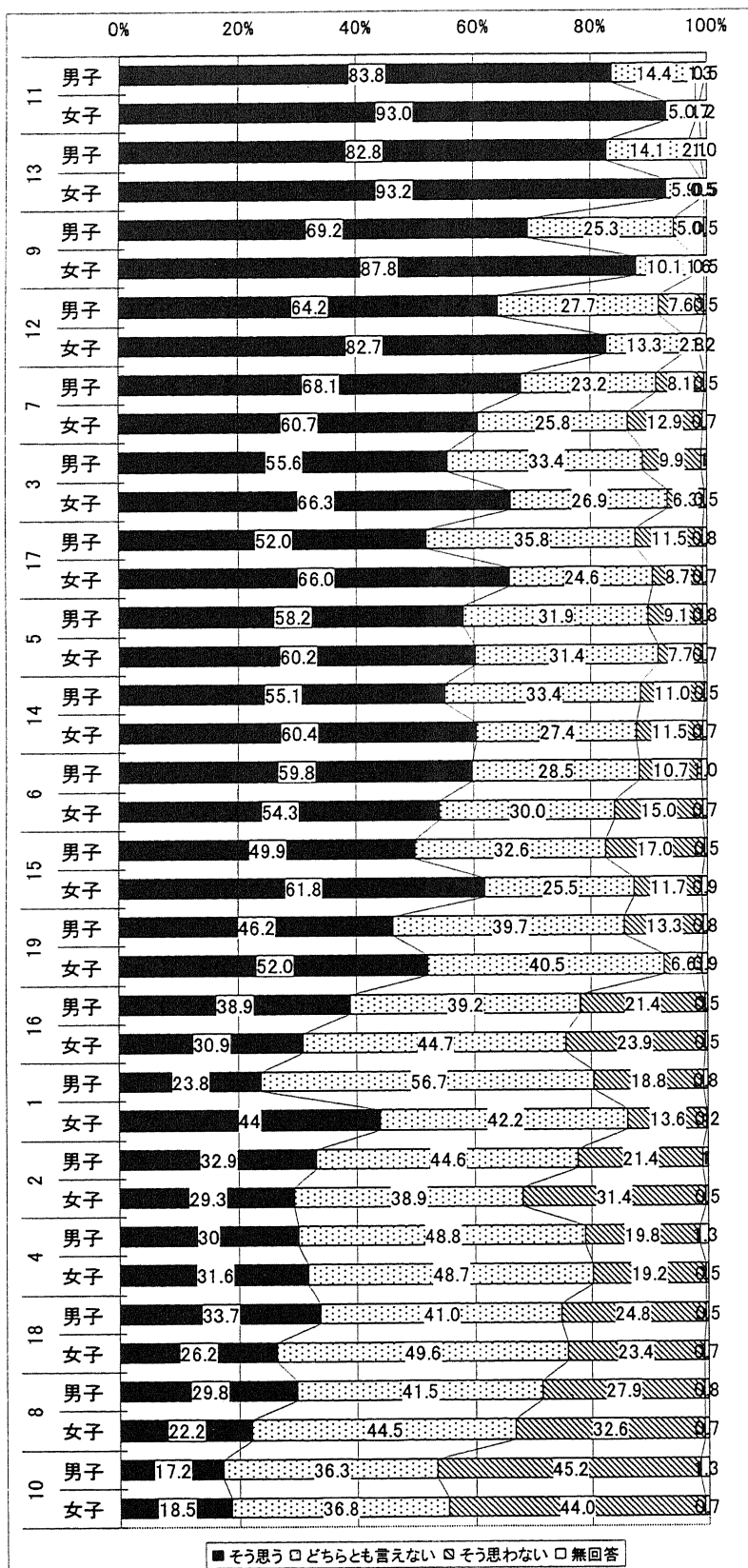
(4) 人生観・社会観（問23—図27参照）

社会観・人生観を把握するために用意した19項目について、「そう思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」の3選択肢で評定を求め、図27にその結果を示した（男女計の「そう思う」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある）。

図27より次のような点を指摘することができる。

- ・「そう思う」の回答率が、男女共に80%を超えている項目は、「努力することは大事である」、「約束の時間は、守らなければならない」の2項目である。一方、「そう思う」の回答率が、男女共に20%未満であるのは、「先のことを今考えても仕方ない」の1項目である。
- ・社会観／人生観を捉える19項目の中で、13項目において男女間で3選択肢の回答率に有意差が認められた。
- ・男子は女子と比較して、「子どもを育てるべきだ」、「女の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である」、「今の世の中はこつこつ働いても評価されない」、「これからの世の中は夢や希望に満ちている」とみている傾向にある。
- ・一方、女子は男子と比較して、「努力することは大事である」、「約束の時間は、守らなければならない」、「毎日を大切に生きることが大事である」、「人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない」、「男の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい」、「平凡でも安定した暮らしをしたい」、「仕事をするには、都会のほうが都合がよい」、「社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ」とみている傾向にある。

図27 社会観／人生観



- 11. 努力することは大事である**
- 13. 約束の時間は、守らなければならない**
- 9. 毎日を大切に生きることが大事である**
- 12. 人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない**
- 7. 子どもを育てるべきだ*
- 3. 男の人は、ずっと続けられる職業を持つたほうがよい**
- 17. 平凡でも安定した暮らしをしたい**
- 5. 高齢者の世話は、できるだけしなければいけない
- 14. 今の社会は、貧富の差が大きい
- 6. 結婚はしたほうがいい
- 15. 仕事をするには、都会のほうが都合がよい**
- 19. 社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ**
- 16. 社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である
- 1. 女の人は、ずっと続けられる職業を持つたほうがよい**
- 2. 女の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である**
- 4. 男の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である
- 18. 今の世の中はこつこつ働いても評価されない*
- 8. これからの世の中は夢や希望に満ちている*
- 10. 先のことを今考えても仕方がない

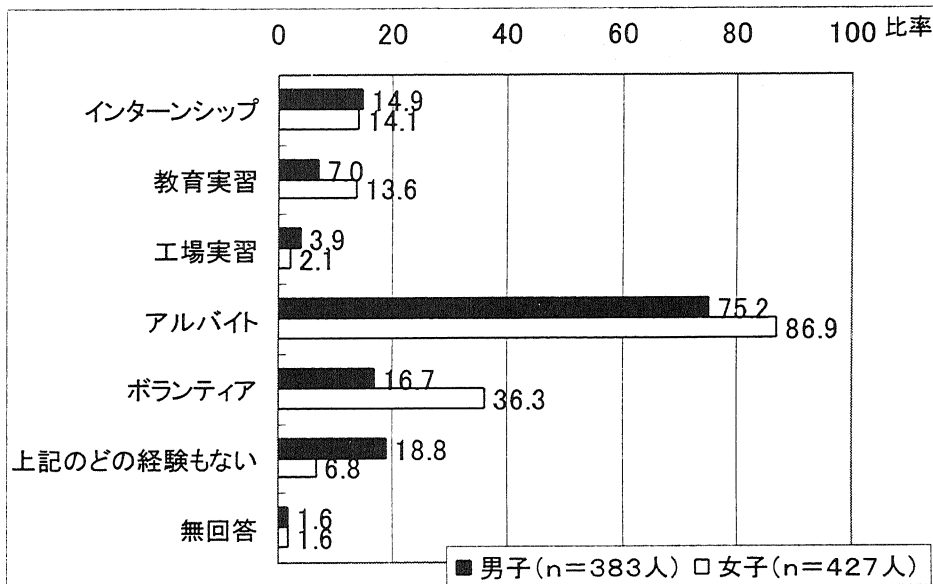
** (χ²検定 p<0.01) * (χ²検定 p<0.05)

5 インターンシップ、教育実習、工場実習、アルバイト、ボランティアについて

(1) インターンシップ等の経験 (問17-図28参照)

大学在学時における、インターンシップ、教育実習、工場実習、アルバイト、ボランティアの経験についての複数選択で回答を求め、その結果を図28に示した。

図28 インターンシップ、教育実習、工場実習、アルバイト、ボランティアの経験 (有りの回答率)

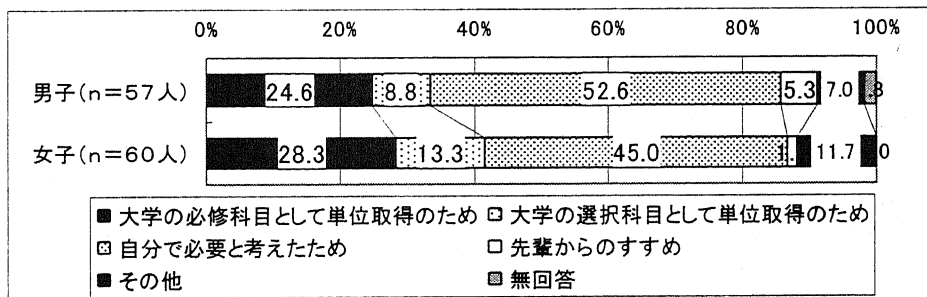


- ・男女共にアルバイトの経験が最も多く、男子が75%。女子が87%、次いでボランティアで男子17%、女子は男子の倍以上の36%である。いずれも女子の方がこれらを経験している割合が多い。
- ・「どの経験もない」の回答は男子19%、女子7%である。

(2) インターンシップをした「きっかけ」/受け入れ先の決定者 (問17-1、2-図29-1、2参照)

インターンシップ経験者に、それをした「きっかけ」について聞いた (問17-1) 結果を図29-1に示した。

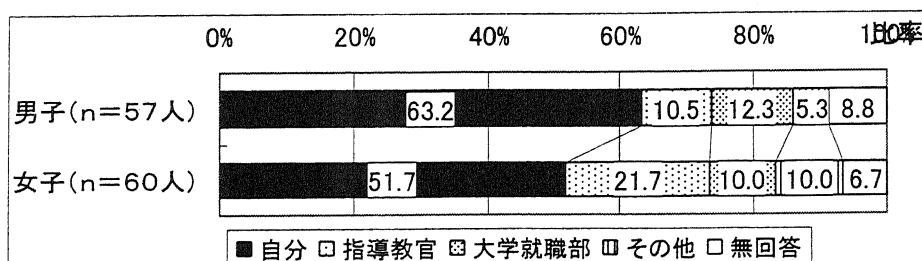
図29-1 インターンシップをした「きっかけ」



- ・「自分で必要と考えたため」が男女共に最も多く、男子53%、女子45%、次いで「大学の必修科目として単位取得のため」で、男子25%、女子28%である。

また、インターンシップの受け入れ先を誰が決めたかについての質問（問17-2）についての結果を図29-2に示した。

図29-2 インターンシップの受け入れ先の決定者



- ・男女共に、「自分」が最も多く男子63%、女子52%である。
- ・次いで男子では「大学就職部」が12%であるのに対して、女子は「指導教官」が22%という結果である。

(3) インターンシップ、アルバイト、ボランティアの効果（問18-表6、図30、31、32 参照）

インターンシップ、アルバイト、ボランティアの経験したことについての効果を把握するために9項目を用意し、「とてもそうである」「まあそうである」「あまりそうでない」「全然そうでない」の4選択肢によって評定を求め、その結果を図30（インターンシップ）、図31（アルバイト）、図32（ボランティア）に示した（男女計の「とてもそうである」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある）。また、表6に図30、31、32の内容の一部をまとめて示した（肯定回答率は「とてもそうである」「まあそうである」の合計の回答率である）。

表6 インターンシップ、アルバイト、ボランティアの効果

順位	性別	肯定回答率	インターンシップ	肯定回答率	アルバイト	肯定回答率	ボランティア
1	男子	70.2	4. 視野が広がった	82.3	4. 視野が広がった*	81.2	4. 視野が広がった
	女子	75.0		90.0		88.4	
2	男子	57.9	2. 仕事の厳しさを知った	79.9	8. 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ**	71.9	5. 働く意味を感じた
	女子	65.0		86.0		65.2	
3	男子	56.1	5. 働く意味を感じた	80.9	7. 忍耐力がついた	68.8	7. 忍耐力がついた
	女子	55.0		79.8		68.4	
4	男子	54.4	1. 就きたい仕事について基礎知識を得た	77.8	5. 働く意味を感じた	70.3	6. 人脈がひろがった
	女子	58.3		78.4		63.8	
5	男子	61.4	8. 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ*	78.5	2. 仕事の厳しさを知った	67.2	8. 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ
	女子	63.3		80.6		61.3	
6	男子	47.4	6. 人脈がひろがった*	74.3	9. 人間関係の難しさを知った	57.8	2. 仕事の厳しさを知った
	女子	43.3		77.7		59.3	
7	男子	49.1	7. 忍耐力がついた	64.2	6. 人脈がひろがった	48.4	9. 人間関係の難しさを知った
	女子	56.6		67.4		59.3	
8	男子	47.4	9. 人間関係の難しさを知った	37.5	3. その仕事に向いていないことがわかった	34.4	1. 就きたい仕事について基礎知識を得た
	女子	56.7		34.5		39.4	
9	男子	28.0	3. その仕事に向いていないことがわかった	29.5	1. 就きたい仕事について基礎知識を得た	36.0	3. その仕事に向いていないことがわかった
	女子	31.6		30.5		36.8	

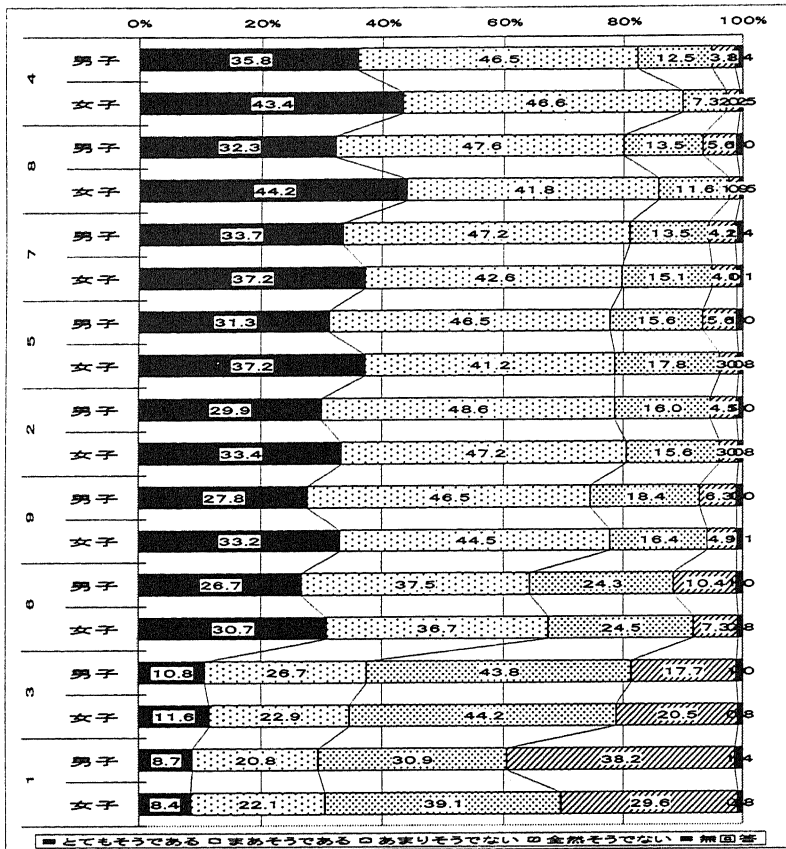
表6より次のような点を指摘することができる。

- ・肯定回答率は、三つのどの経験にも共通して「視野が広がった」が第1位で、「インターンシップ」は男女共に70%以上、「アルバイト」は男子82%、女子90%、「ボランティア」は男女共に80%を超えている。「アルバイト」では、男女間で回答率に有意差が認められ、女子の方が男子よりも、この項目を肯定する傾向にある。
- ・肯定回答率の第3位までをあげると、「インターンシップ」では「仕事の厳しさを知った」、「働く意味を感じた」、「アルバイト」では、「挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ」、「忍耐力がついた」、「ボランティア」では、「働く意味を感じた」「忍耐力がついた」である。
- ・「アルバイト」と「ボランティア」の効果は、概して共通した傾向がみられ、「インターンシップ」の効果は、前二者とやや異なっている傾向にある。
- ・すなわち、「インターンシップ」では「仕事の厳しさを知った」の肯定回答率が第2位であるのに対して、「アルバイト」では第5位、「ボランティア」では第6位である。また、「忍耐力がついた」のそれは、「インターンシップ」が第7位であるのに対して、「アルバイト」、「ボランティア」では第3位に位置づけられている。さらに「就きたい仕事について基礎知識を得た」は、「インターンシップ」が第4位であるのに対して、「アルバイト」は第9位（最下位）、「ボランティア」は第8位である。
- ・肯定回答率の低いのは、「その仕事に向いていないことがわかった」で、「インターンシップ」、「ボランティア」で第9位、「アルバイト」で第8位である。
- ・概して、「インターンシップ」は、働くことの内容（仕事）に、「アルバイト」「ボランティア」は、働くという行動そのものに効果（影響）をもたらしている傾向がうかがえる。

図30 インターンシップの効果

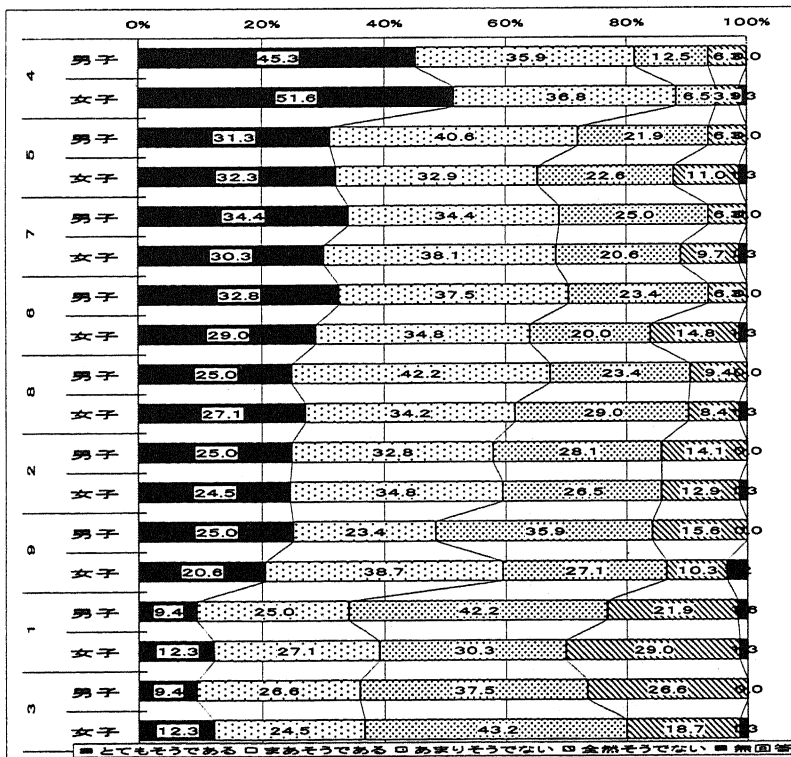


図31 アルバイトの効果



- 4. 視野が広がった*
- 8. 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ**
- 7. 忍耐力がついた
- 5. 働く意味を感じた
- 2. 仕事の厳しさを知った
- 9. 人間関係の難しさを知った
- 6. 人脈がひろがった
- 3. その仕事に向いていないことがわかった
- 1. 就きたい仕事について基礎知識を得た

図32 ボランティアの効果



- 4. 視野が広がった
- 5. 働く意味を感じた
- 7. 忍耐力がついた
- 6. 人脈がひろがった
- 8. 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ
- 2. 仕事の厳しさを知った
- 9. 人間関係の難しさを知った
- 1. 就きたい仕事について基礎知識を得た
- 3. その仕事に向いていないことがわかった

** (χ^2 検定 $p<0.01$) * (χ^2 検定 $p<0.05$)

6 資質・能力／性格傾向／行動傾向

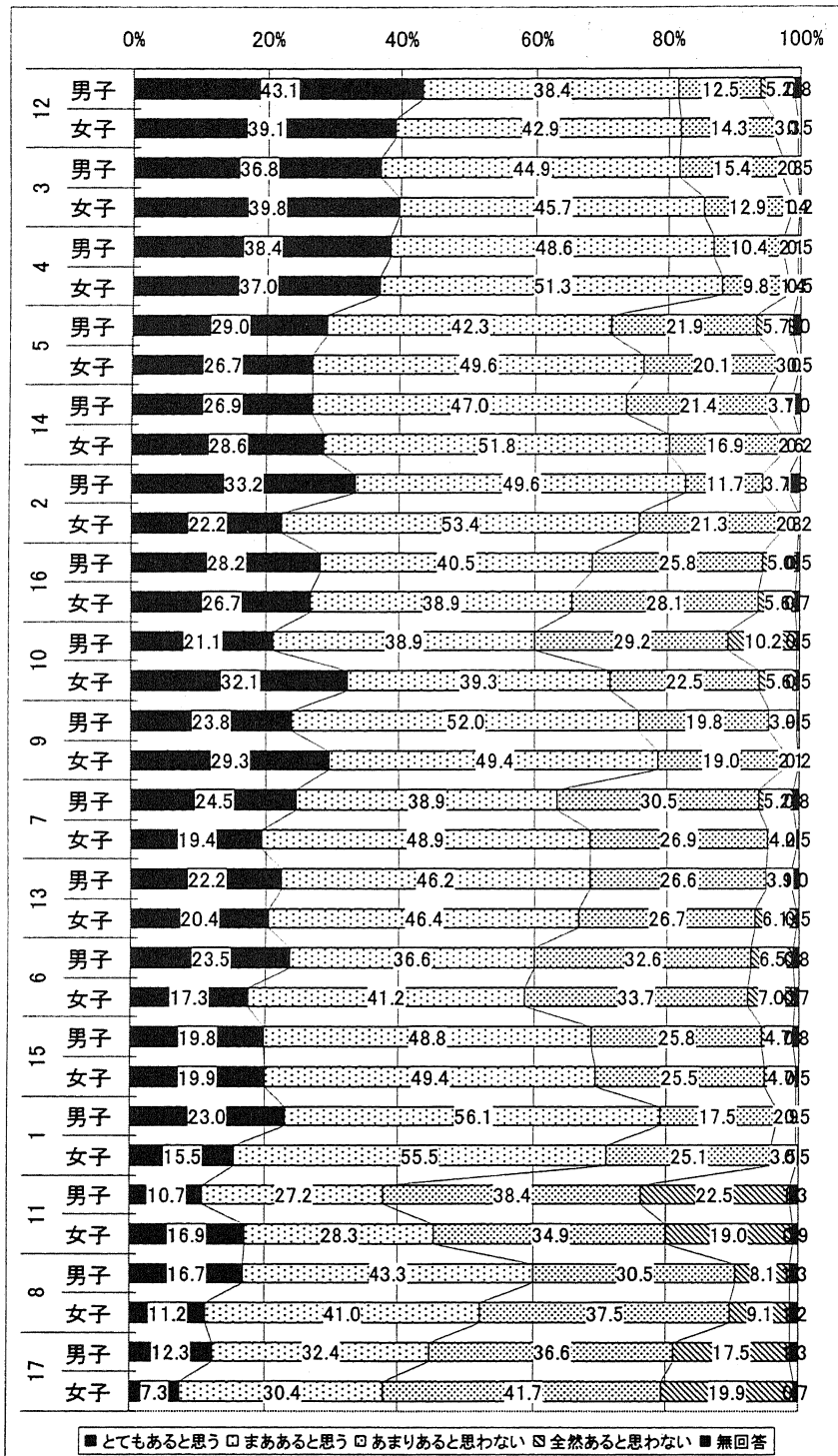
(1) 大学時代に身に付いた資質・能力（問20－図33参照）

大学時代に身に付いたと思われる資質・能力を把握するために、17項目を用意し、「とてもあると思う」「まああると思う」「あまりあると思わない」「全然あると思わない」の4選択肢で評定を求め、結果を図33に示した（男女計の「とてもあると思う」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある）。

図33より次のような点を指摘することができる。

- ・「とてもあると思う」の回答率の高い項目は、「コンピュータ活用能力」「常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力」「情報を収集する力」の3項目で男女共に40%前後である。
- ・「コンピュータ活用能力」、「情報を収集する力」の2項目の肯定回答率（「とてもあると思う」と「まああると思う」の合計の回答率）は、前者が88%、後者82%である（いずれも男女計）このことは、本調査がインターネットを介して行われたことに関連している可能性のあることを考慮する必要があるか。
- ・逆に否定回答率（「あまりあると思わない」と「全然あると思わない」の合計の回答率）は、「体力」、「語学力」が60%弱、「交渉力」、「人脈形成力」が40%台という結果である。
- ・男女間で、4選択肢の回答率に有意差の認められた項目は4項目あり、「論理的に考えられる力」、「問題を発見する力」は男子の方が、「異文化を受容する力」、「自己表現力」は女子の方が身に付いたと回答している傾向にある。

図33 大学時代に身に付いた資質・能力



- 12. コンピューター活用能力
- 3. 常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力
- 4. 情報を収集する力
- 5. 人間関係を円滑にする力
- 14. 行動力・実行力
- 2. 論理的に考えられる力*
- 16. 専門能力
- 10. 異文化を受容する力*
- 9. 状況の変化に柔軟に対応する力
- 7. 自己表現力*
- 13. 熱意・意欲を維持する力
- 6. 人脈形成力
- 15. 意見や利害の対立を調整する力
- 1. 問題を発見する力**
- 11. 語学力
- 8. 交渉力
- 17. 体力

** (χ^2 検定 $p < 0.01$) * (χ^2 検定 $p < 0.05$)

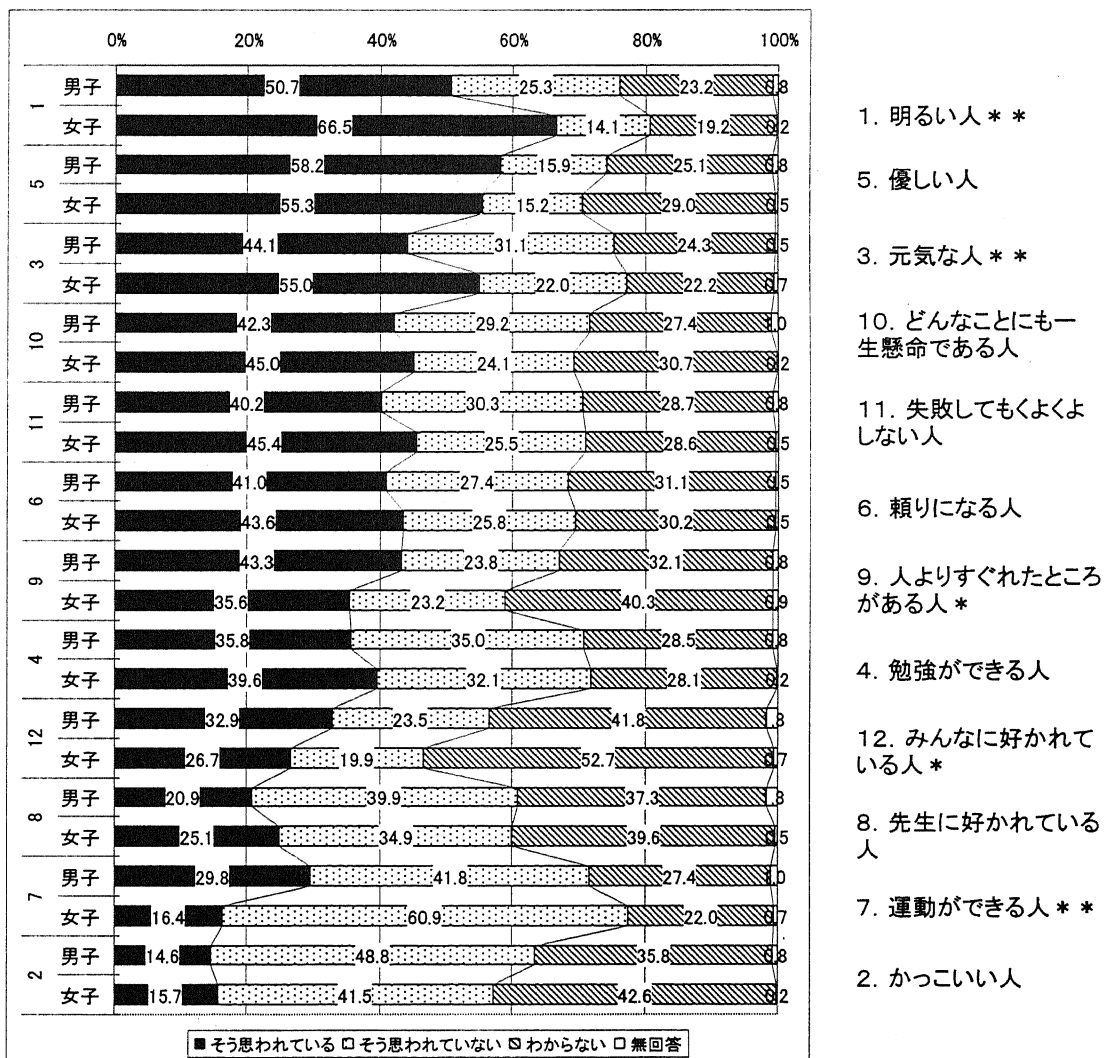
(2) 性格傾向 (問21—図34参照)

性格傾向が職業選択とどのような関連があるかを検討するために、大学の友人から、自分自身が「どのように見られていると思うか」という間により、用意した性格を表現する12項目について、「そう思われている」「そう思われていない」「わからない」の3選択肢で評定を求め、性格傾向を捉え、図34にその結果を示した(男女計の「そう思われている」の回答率の高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある)。

図34より次のような点を指摘することができる。

・「そう思われている」の回答率が50%を超えている項目は、男子では、「優しい人」(58%)「明るい人」(51%)、女子では、「明るい人」(67%)、「優しい人」(55%)、「元気な人」(55%)である。

図34 性格傾向



** (χ^2 検定 $p < 0.01$) * (χ^2 検定 $p < 0.05$)

・男女間で3選択肢の回答率に有意差が認められた項目は、5項目あり、「人よりすぐれたところがある人」、「みんなに好かれている人」、「運動ができる人」は男子の方が、「明るい人」、「元気な人」は女子の方が、そのような性格傾向をもっていると回答している傾向にある。

(3) 行動傾向 (問22-図35参照)

性格傾向と同様、行動傾向が職業選択とどのような関連があるかを検討するために、用意した行動傾向を表現する18項目について、「非常にそうである」「まあそうである」「どちらともいえない」「あまりそうでない」「全然そうでない」の5選択肢で評定を求め、行動傾向を捉え、図35にその結果を示した(男女計の「非常にそうである」の回答率の-05 高い順に項目は並べ変えてあり、男女間の回答率の χ^2 検定の結果も示してある)。

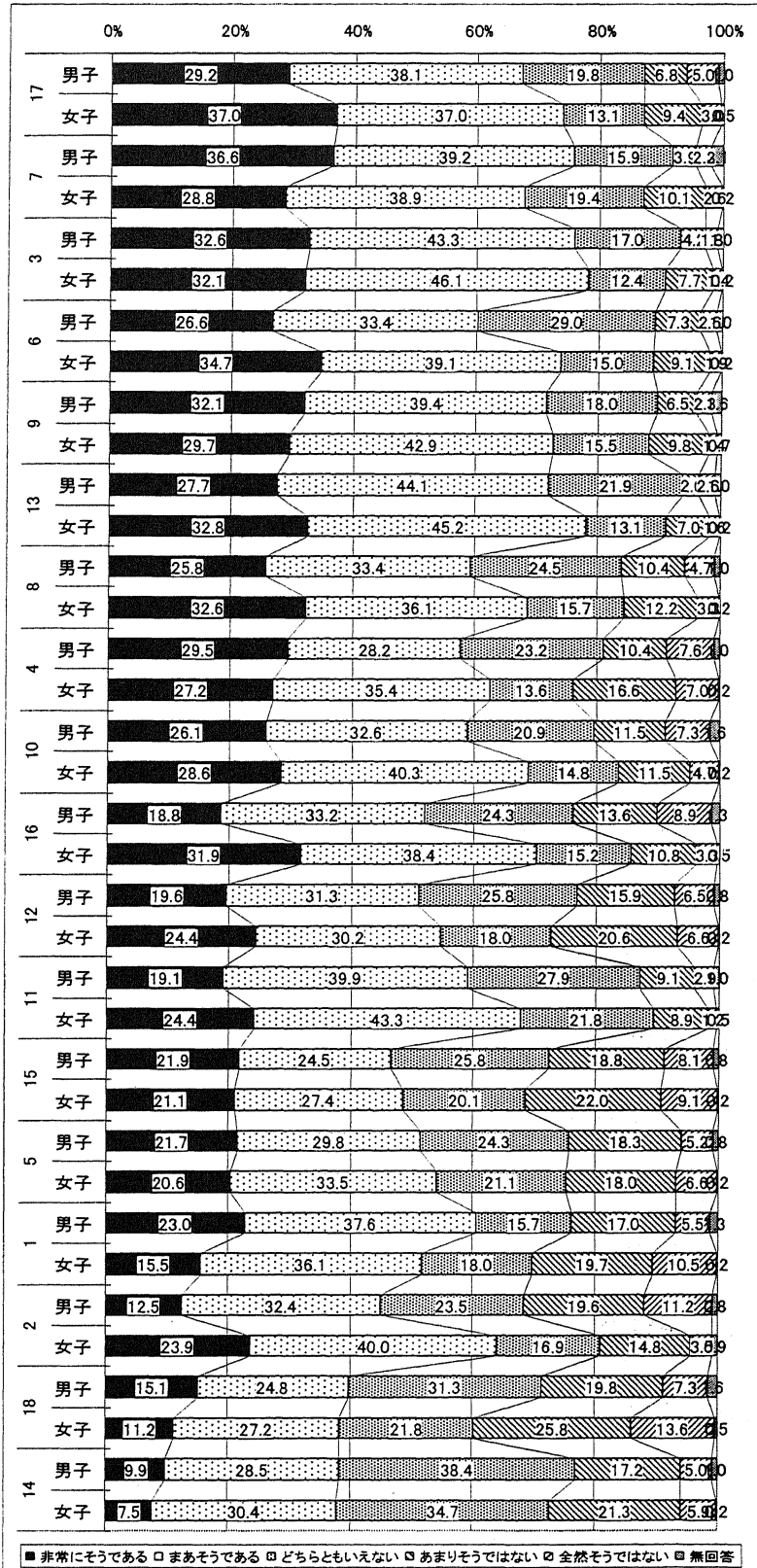
図35より次のような点を指摘することができる。

・行動傾向を捉える18項目の中で、12項目において男女間で5選択肢の回答率に有意差-05 が認められた。

・男子は女子と比較して、「ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ」、「人よりも計画性のある方だ」「グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ」という行動傾向が認められる。

・一方、女子は男子と比較して、「自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある」、「家族や友人に対する愛情が深い方だ」、「相手の話をよく聞いて気持ちを受けとめようとする方だ」、「身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある」、「自分が生まれてきた意味について考えることがある」、「人間の運命というものを感じることもある」、「自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ」、「10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う」、「きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ」という行動傾向が認められる。

図35 行動傾向



17. 自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある *

7. ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ * *

3. 「これは何だろう」「なぜこうなるのだろう」という疑問をもつ

6. 家族や友人に対する愛情が深い方だ * *

9. 何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたくなる

13. 相手の話をよく聞いて、気持ちを受けとめようとする方だ * *

8. 身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある *

4. 自分が生まれてきた意味について考えることがある * *

10. 人間の運命というものを感じることもある *

16. 自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ * *

12. 10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う *

11. 誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする

15. どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう

5. 他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ

1. 人よりも計画性のある方だ * *

2. きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ * *

18. グループの中心になって、他の人を引っばっていこうとする方だ * *

14. 間違っただけをしている人を見たら、きちんと注意する

* * (χ^2 検定 $p < 0.01$) * (χ^2 検定 $p < 0.05$)

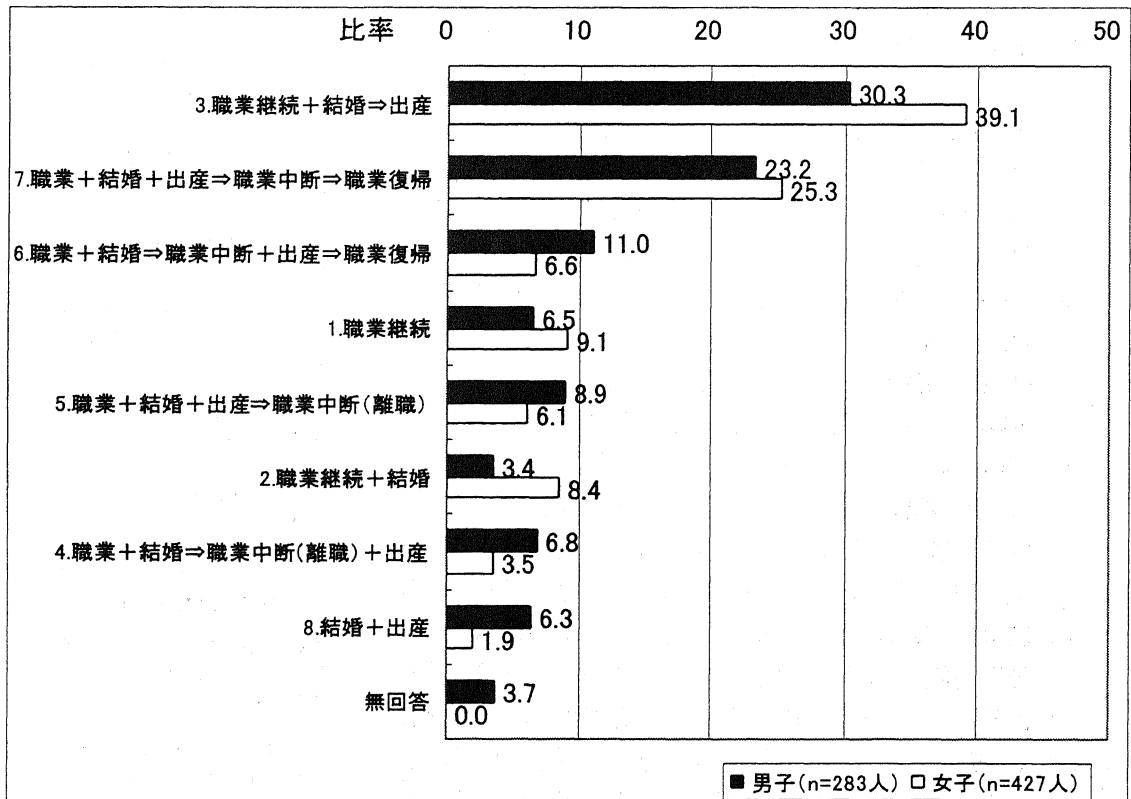
7 女性のライフスタイル (問26-図36参照)

女性の職業、結婚、出産について、以下に示す人生の8つのタイプをあげ、女性の場合は、自分はどのタイプを、男性の場合は、どのタイプの女性をパートナーに選ぶかについて回答を求め、結果を図36に示した (男女計の回答率の高い順にライフスタイルは並べ替えてある)。

図36 女性のライフスタイル

- 女性のライフスタイル (8つのタイプ)**
1. 職業継続 (結婚しない、職業を持ち続ける)
 2. 職業継続+結婚 (結婚し、出産しない、職業を持ち続ける)
 3. 職業継続+結婚⇒出産 (結婚し出産する、職業を持ち続ける)
 4. 職業+結婚⇒職業中断 (離職) + 出産 (結婚で職業をやめる)
 5. 職業+結婚+出産⇒職業中断 (離職) (結婚し出産で職業をやめる)
 6. 職業+結婚⇒職業中断+出産⇒職業復帰
(結婚で職業を離れ出産し、子どもが一定の年齢に達したら再び職業につく)
 7. 職業+結婚+出産⇒職業中断⇒職業復帰
(結婚し出産で職業を離れ、子どもが一定の年齢に達したら再び職業につく)
 8. 結婚+出産 (結婚し出産する、職業につかない)

図36 女性のライフスタイル

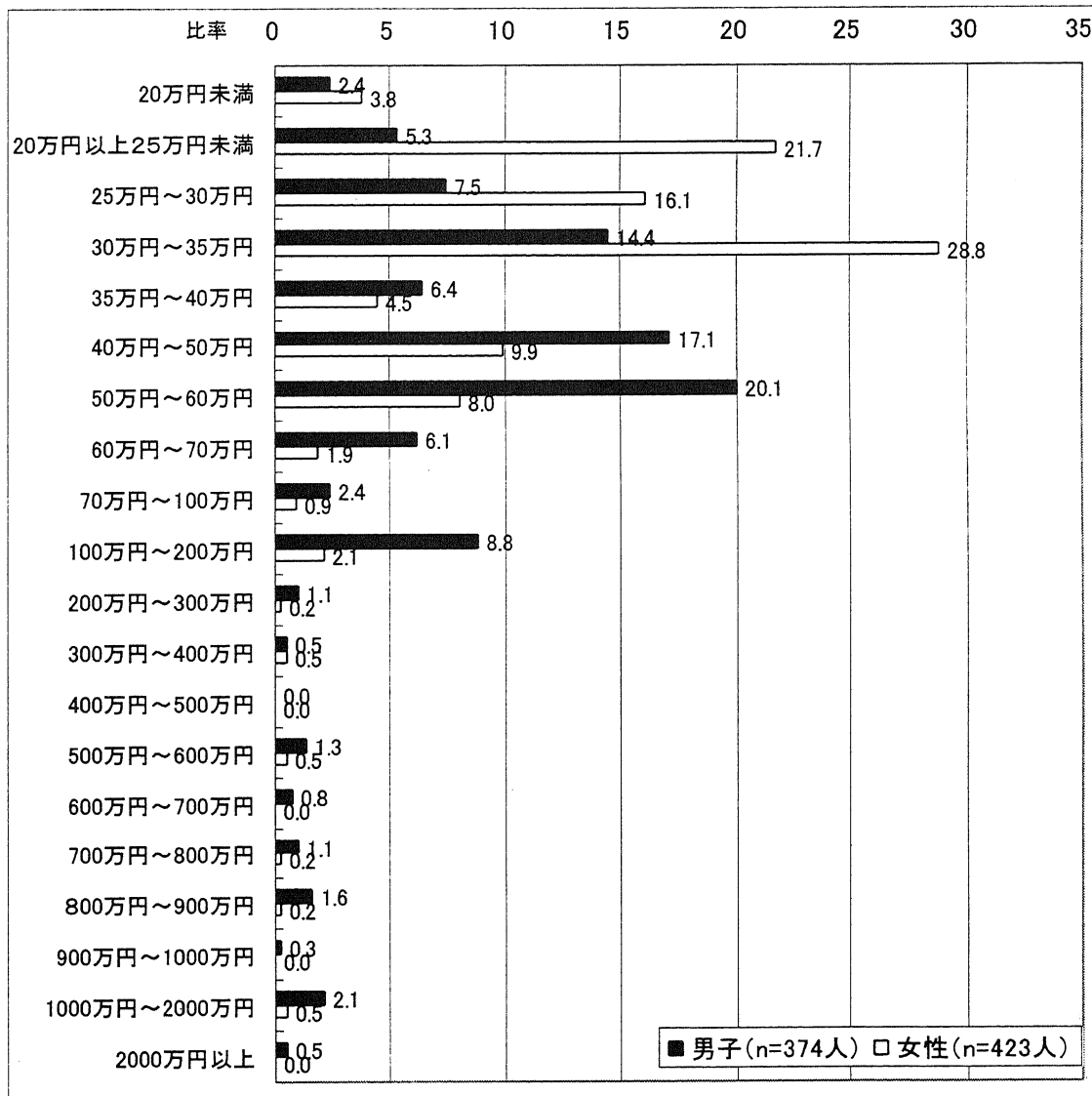


・男女共に、タイプ3（結婚し出産する、職業を持ち続ける）の回答率が最も高く、女子39%、男子30%、次いでタイプ7（結婚し出産で職業を離れ、子どもが一定の年齢に達したら再び職業につく）で、女子25%、男子23%である。結婚、出産し、職業継続（タイプ3）か中断して復帰（タイプ7）のいずれかを選ぶのが女子64%、男子54%で、半数以上を占めていることになる。

7 希望する月収（問24—図37参照）

「将来、安定した暮らしをするために、毎月、だいたいどのくらい給料をもらいたいか」、具体的にその金額を「万円」単位で聞いた結果を図37に示した。

図37 希望する月収



・男子の平均値は114万円、中央値（メディアン）40万円、最頻値（モード）は50万円、女子の平均値は45万円、中央値（メディアン）30万円、最頻値（モード）は30万円という結果である。

I-3 インターネット調査の特徴

マイボイスコム株式会社チーフリサーチャー

永 森 慶 子

1 インターネット調査の概要

本章では、インターネットを利用した調査（以下「インターネット調査」と表記）の特徴、背景、問題点などについて述べる。インターネット調査には様々な形態があり明確な定義づけはされていないが、Web ページ調査や電子メール調査などの定量調査が主流となっている。また、Web ページ調査は、回答の集め方によりオープン型とクローズド型に分類される。

1) Web ページ調査

Web ページ調査は、調査実施者が Web ページに調査票を表示し回答者がページにアクセスし回答する、という手順で行う。データは、サーバー上にデジタルデータとして保存される。

①オープン型

オープン型は、その調査票の場所（URL）がオープンに公開され、誰でも回答できるようになっている調査である。大量のサンプルを集めることができる一方、回答者条件のコントロールができない、回収数の予測が困難、守秘性の高い内容には向かないなどのデメリットがある。

②クローズド型

クローズド型は、あらかじめメールアドレスがわかっている個人を対象に調査の協力を依頼する。調査票の場所（URL）は対象者のみに告知し、ID やパスワードを入力しないと回答できないようにするなど、公開の範囲を限定する。

対象者は、あらかじめ募集したアンケート用モニターや、調査以外の目的で集めた顧客リストなどから抽出する。これらは募集時に性別や年代などの属性情報も登録されていることが多く、目的に合ったサンプル抽出が可能である。

アンケートモニターへの依頼は、あらかじめ抽出した対象者にメールで直接送る方法や、モニター全員に Web ページの調査票を公開する方法などがある。

2) 電子メール調査

電子メール調査は、調査票を組み込んだ電子メールを対象者に送り、回答者が回答を打ち込み返信する、という手順で行う。対象者抽出方法などはクローズド型と同様である。

その他に定性調査として、ネットグループインタビューとして、メーリングリストやチャット、電子掲示板などを用いて、参加者が各自の意見を自由に述べるものなどがある。

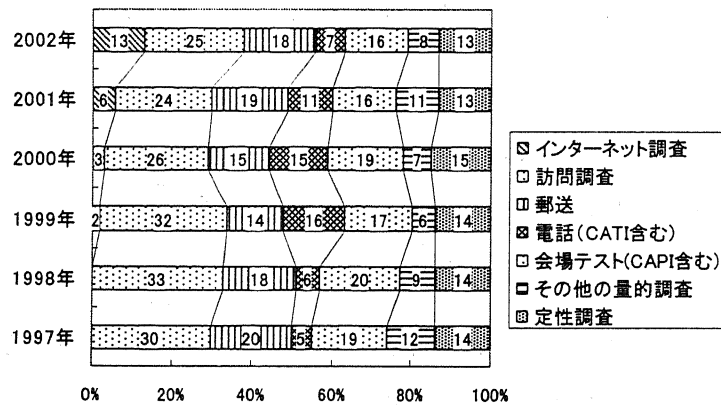
2 インターネット調査の背景

インターネット調査は、インターネットが普及しはじめた 1996 年頃から登場し、後述のように、従来調査に比べてコスト・スピードの面で優位であることから注目を集めた。

日本でのアドホック調査に占めるインターネット調査比率をみると、1999 年 1.5% (約 9 億円)、2000 年 3.2% (約 20 億円)、2001 年 5.5% (約 39 億円)、2002 年 13.0% (約 88 億円) と、年々増加傾向を示している ((社)日本マーケティング・リサーチ協会「経營業務統計実態調査」)。特に、インターネット調査を自動化し、調査実施者が簡単にアンケートを設定し実施できるデスクトップ・リサーチ (DTR) が登場すると、簡単に早く安く実施できるというインターネット調査の特徴を広めることとなり、さらに普及が進んだ。

当初はインターネットユーザーがまだ少なく、対象者属性の偏りが大きな課題であった。しかし、インターネットの人口普及率は 2002 年末 54.5% (6,942 万人)、2003 年末に 60.6% (7,730 万人)、世帯普及率は 88.1% と着実に増えており、極端な偏りは以前に比べ解消されてきている (総務省「平成 15 年通信利用動向調査」)。また、ブロードバンドの普及も相まって、調査環境も整いつつある。

図表1 日本における調査手法別売上高構成比(*アドホック調査に占める比率)



(社)日本マーケティング・リサーチ協会「経營業務統計実態調査」より

3 インターネット調査のメリット・特徴

インターネット調査は、その実施方法や対象者がインターネットを用いるという点で従来の調査にはない特徴を持っている。以下に、インターネット調査の特徴といわれている点を述べる。

1) 安い・早い・効率がよい

インターネットの特性により、大量かつ広域の対象者に一括かつ瞬時に調査票を送付・回収できる。また、調査員を介さずデジタル化された状態で処理できるため、郵送調査に比べ時間・コストが削減できる。「安く」「早く」「効率よく」できることが最大のメリットである。

2) 回答者が都合の良い時間に回答できる

訪問調査などの回収率の低下が課題となっているが、インターネット調査は回答者が都合の良い時間に回答できるため、在宅率が低い層（若年層、有職者など）の回収が期待できる。

3) 追跡調査が効率よく行える

インターネットの双方向性を活用した追跡調査・継続調査が効率よく行える。例えば、スクリーニング調査で集めたサンプルのうち、条件該当者だけに再度調査を行うといった2段階の調査も容易であり、「〇〇の商品を購入した人」といった出現率が低い属性の抽出などもすばやく行うことができる。

4) 自由記述設問の書き込みが充実

インターネット調査はキーボードで回答を入力するため、郵送調査など手書きで入力する場合に比べ、自由記述設問に対する記入率が高い傾向がみられる。また、回答結果がデータ化された状態で回収されるため、その後の分析がしやすい。

5) 音声・画像・動画の提示が容易

ブロードバンドの普及に伴い音声や画像・動画などと連動した調査設計が可能になり、調査内容の幅が広がっている。

その他、携帯電話によるアンケートシステムも開発され、モバイルユーザーを対象とする調査も可能になってきている。

4 インターネット調査の課題

インターネット調査の普及に伴い、調査手法としての問題点も明らかになりつつある。現在、課題として主に議論されていることを以下に述べる。

1) 調査の精度

①母集団の代表性

母集団となる「メールアドレス所有者」の特定が難しく母集団属性が不明確なため、厳密なサンプリング調査は困難である。

②属性の偏り

○インターネットユーザーの属性の偏り

対象者がインターネットユーザーに限定されるため、高齢者が少ないなど母集団の属性に偏りがある。

○アンケートモニター登録者の偏り

対象者自身が応募する形で集めたモニター組織を用いる場合、無作為抽出に比べ、アンケート好きな人や景品を目当てにする懸賞マニアに偏る可能性がある[能見 2000, 大隅 2003]。

③不正回答

複数のメールアドレスが所有できることなどにより、何度も回答する「重複回答」、全て1を入力するなどの「パターン回答」、年齢などをごまかす「なりすまし回答」などが容易である。こうした不正回答を防ぐため、チェック用の設問を設けるなどの対策が必要である。

2) テーマの範囲が限定される

①厳密には、一般生活者を代表した母集団ではないため、一般生活者全体の傾向の把握や、社会全体の傾向を見る世論調査には向かないなど、テーマの範囲が限られる。

②調査票を自由に誰でも閲覧できるため、新製品開発についての調査など、守秘性の高いものには向かない。

インターネット調査は、調査の目的やテーマ、実施方法によっては、従来の調査手法の問題点をカバーできる可能性も持っている。最近では、住民基本台帳の閲覧制限や在宅率の低下などによって従来型の調査環境が悪化しつつあり、それを補う新たな手法としてインターネット調査に対する期待も高まっている。

そうした中で、上記のような課題をどう解決していくか、インターネット調査において信頼できる結果を得るにはどのようなやり方がよいか、従来の調査手法とどのように使い分けていくかなど、調査手法としての研究が進められているところである。前述のような特性や留意点を踏まえ、調査の目的から鑑みて適した手法であるかを検討した上でインターネット調査の実施にあたることが望ましい。

<引用・参考文献>

能見 正 2000「双方向性ネットワークを利用した調査手法とその影響」郵政研究所月報9月号,72-97頁

(社)日本マーケティング協会 2003『マーケティングリサーチの現状 2002 年度調査報告書』

吉村宰・大隅昇 2003「インターネット調査の質の評価を考える」(ISM シンポジウム『インターネット調査の現状を検証する』予稿集)

資料：大学就職部から見た大学生の就職活動の現状について

東海大学就職部長

島 和俊¹

1. 就職活動の概況：早期化と長期化

まず初めに、企業が今、大学生に対してどんな能力を求めているか、採用のときのポイントは何かといった観点から大きく就職活動の概況、次に、就職部がそのために何をやっているか、そして、最後に現在の就職したがる若者の現状について少し触れたいと思います。

まず就職活動の概況ということで、就職活動はいつごろから行われ、いつごろまで続くかという点、主流は、3年生の10月から4年生の7月ぐらいまでです。分野の違う方は、あるいは驚かれるかもしれませんが、日経『就職ナビ』の就職活動モニター調査によりますと、「就職活動をいつ開始したか」というアンケートに対して、「10月前半に開始した」というのが26.5%。そして「9月以前」というのが20.6%。そして「10月後半」が19.2%ですから、大半が10月末までに始めているということです。

実は、もっと早いケースもあります。8月早々から大企業ではインターンシップが始まります。大体7月上旬が締め切りというところが多いのです。このインターンシップは、松下電器とか日立製作所とか、大企業が多くやっているのですが、例えばABCと成績を付けておき、Aの学生が応募してくれたら最終面接から、Bですともうちょっと、Cですと一般の方と同じということをやります。そういう意味では、実は8月から就職活動は始まっていると考えることもできるわけです。

そういう意味で、早期化というのが非常に曖昧になってきています。従いまして、大学のほうでも、就職ガイダンスをいつから始めるかということが話題になるのですが、私どもでも、4分の3ぐらいが理工系の大学なので、やはり遅めで、しばらく前までは10月に就職活動を始めるのは、ちょっと早いかないという感じでした。ところが、世間の流れに合わせるために、昨年からは7月に開始いたしました。正確な統計はございませんが、7月に3年生向けのガイダンスを始める大学のほうが、多数になっていると聞いております。

こういった状況なので、11月の下旬になりますと、企業へのエントリーと申しまして、資料請求が始まります。これはほとんどインターネットを通じて、ホームページにアクセスをして、「資料を送ってください」と依頼するわけです。同時に登録するわけですから、エントリーなのでしょう。11月下旬までに、企業にエントリーをした学生が、昨年の場合、約9割おりました。就職活動をした学生は、1人約20社ということです。11月、12月から説明会が始まる場所もありますが、これは少数で会社説明会が2月、3月、とりわけ3月がピークになります。国立大学は、1月末から2月初めにかけて学期末試験がありますので、これが終わってから本格的に始めるので少し遅くなります。ただし一部の企業では1月中に始めるというところもあります。

¹ 国立教育政策研究所における講演記録（平成16年7月9日（金）、西館談話室）

そして4月になりますと、面接と内々定が出始めます。10月1日以降でないと、内定は出してはいけないということになっておりますので、一応、内々定と呼んでおりますが、事実上の内定です。

実は2、3年前まで、大手でも、3月に内定をいただくという例がございました。就職協定は97年まででつぶれました。そしてそれ以降、大学と企業との話し合いなどありましたが、今、日本経団連が就職に関して、企業の倫理憲章というのを設けて、これで「せめて最終学年になるまでは内定を出さないでおきましょう」という宣言をしたので、4月になるまで、内定を出すのを待っているというわけです。ただ、最終面接だけ残しておいて、あとは内々定を出し始めるというところがあります。

そして連休を挟みまして5月、6月とずっと内定が出るという状況です。それが7月の中旬ぐらいまで続き、夏休みに、がくっと落ちます。しかし決まらない学生は、もちろん9月以降も続くのです。

企業も、どうしても採れなかった、あるいは公務員試験と教員試験の結果が出るのが遅いので、これでいい人を探ったと思ったら、逆に蹴られてしまったというようなこともあり、後の補充も含めて、秋にも就職活動は細々と続いているというのが実情です。

2. 採用方法の変化：インターネットの普及とその利点

採用方法の変化ですが、以前と違いまして、今は企業の採用活動が圧倒的にインターネットを通じて、自由応募する方向に変わっております。理工系とか、金融機関のように、大学に推薦を求めてくるという例もあります。あるいは一部の伝統校の場合には、リクルーターがゼミとか、そういったところに行って、リクルートをする。これも続いております。

恐らく4分の3から8割ぐらいは、インターネットでやる。インターネットに一本化している企業も出始めております。私どもで毎年のように採っていただくところに、「求人票をください」と言うのと、「もう今年から自由応募で、インターネットに一本化しました」というところもあり、これが主流だということです。

このインターネットでエントリーだけではありませんで、入社試験をやってしまうところもあります。その場で、ミニ論文を書かせ、あるいは場合によっては簡単な適性テストをやって、それを送り返してもらうというケースも出始めています。もちろん各会社のセミナーをいつやりますとか、第1次選考をいつやりますという連絡も、全部インターネットでやり取りしています。4分の3以上が、そういうケースです。ただし理系や金融などのように大学推薦も、まだ残っておりますが、インターネットによるのが大方です。

コンピューターはほとんどの大学が必修にしています。ですから操作するのは、あまり抵抗はないようです。リクナビとか、日経ナビへの登録が、秋口から本格的に始まります。「どういふふうアクセスするんですか」ということを指導はしますが、学生はそれについてはほとんど抵抗なく、すぐできる状態です。非常に困ることは、最近インターネットで応募するのが多いものですから、学生が就職部に来る数が減ってきています。結局「何だ、自由応募でいいのか」ということになります。就職相談部に来ていれば、もうちょっといい成果が出たろうにと、われわれは思うのですが、面倒くさいといわって来ないわけです。

ウェブ上で、全部解決してしまうもので学生が何をどのくらい考えているのか自分の周りの学生は分かりますが、一般論として把握することはなかなか難しいということになります。

だれを指導するかということになりますと、優秀な学生は何もしなくても自分で就職活動をして、それなりのところに就職します。ですから推薦を除くと、あまり手をかけなくていいわけです。3年生の秋に就職活動をする意思の確認をします。1学年7,000名のうち、大体5,000名前後が就職の意思ありと回答するのです。これだけいれば、もっと相談に来るだろうと、こちらはてぐすねを引いて待っているのですが、あまり来ません。ですから、エントリーシートに自分の長所とか、セールスポイントを打ち出させるというケースもあるので、そういう準備をしておきなさいというような指導はしています。

私どもは学内にコンピューターがかなりあるのでそこを使ってもいいですし、それから大学のホームページ経由で就職部のほうにアクセスしていただければ、ウェブ上にセミナー案内などの就職情報を全部載せています。それから途中でぽんと入った求人も、全部ウェブ上でもう処理しています。ですからそこで情報を得て、就職活動に動くという仕組みなんです。

3. 採用の動向：求人倍率の地域格差

採用の動向ということですが、バブルの崩壊以来、あまり冴えなかった経済動向ですが、何とか景気回復のデータが出てきました。新聞社の調査でも、採用は今年の場合、製造業も非製造業も2割増やすということです。問題は地域により、求人倍率にかなり差があるということです。今日本の有効求人倍率といいまして、求人する人数に対して、求職する人数はどのぐらいか、最近の統計で、0.80倍であります。ところが0.80倍といいましても、北海道は0.33とか、沖縄も0.33とか、地域によってもものすごい差があるのです。

新卒の求人倍率というのは、必ずしも明確ではございませんが、多分理工系の場合には1.4から、1.5ぐらいだと思います。ですから計算上は、選ばなければ、どこかに勤められることになります。ただ実際には地域を選択し企業を選択しますから、そう簡単にいかない。文科系が恐らく1.1から、1.2ぐらいと言われております。ただし、これに地域差が加わります。そういう状況です。

私どもでも1学年7,000人の学生を抱えているのでUターンとなると、なかなか困難です。地域にもよります。静岡とか、東海などはかなりいい。長野もまあまあです。ところが北海道に帰りたいといっても北海道では仕事がない。こういう場合、大変苦勞します。

次に、企業の求める人材ということですが、厳選採用と書いておきましたが、要するに会社は去年、今年と、求人予定数は増やしているのですが、採用基準を満たさない人は採らないということです。去年も求人を増やすということだったのですが、結局目標を達成しなかった企業もかなり出ております。

これはどうしてかと言いますと、やはり採る以上は、一定の水準以上の学生を採りたいということです。「あなたは合いません。お辞めください」というわけにはいきませんので、そうするとできるだけ可能性がある学生を採っていきたい。ですから採用時期の関係でも、4月に1回切りまして、ともかくめがねにかなう人材を採って、ほかのところを落ちたりして、また応募してきて、自分のところに合いそうな人だったら採ります。5月に、また内定を出す。それでも駄目

だったらあきらめて、また6月にもう1回やって、それで1,000人採りたい。しかし800人しか該当する学生がいなかったら、今年はもうこれで終わりましたということになります。それが昨年の例です。

つまりそのぐらい、企業側としては、使えるかどうかということを重視しております。これは一方でリストラをしているくらいなので、新人について、かなり厳しい目があるというのは当然かと思えます。

4. 企業が求める能力：「コミュニケーション能力」

大卒文系、理系、短大に分けて、複数回答による企業の求める人材の能力についてのアンケート結果（図—1を参照）を見ると、「コミュニケーション能力」が、今年も昨年も1位でした。現在、この「コミュニケーション能力」が非常に重視されている。実は文科系は、かなり前からこのことは言われていたのですが、理科系でも「コミュニケーション能力」というのが非常に最近、重視されてきました。

図—1 企業が学生に求めるもの（複数回答）

順位	大卒文系		大卒理系		短大卒	
	能力	%	能力	%	能力	%
1位	コミュニケーション能力	73.9 (①)	コミュニケーション能力	65.5 (①)	コミュニケーション能力	58.0 (①)
2位	熱意	42.0 (②)	熱意	36.3 (③)	熱意	42.0 (③)
3位	バイタリティー	29.4 (③)	専門知識	31.0 (②)	明るさ	33.3 (②)
4位	基礎学力	23.5 (⑥)	バイタリティー	23.0 (⑤)	協調性	27.5 (⑤)
5位	協調性	21.0 (⑧)	発想の豊かさ	21.2 (④)	バイタリティー	20.3 (⑥)
6位	明るさ	20.2 (④)	基礎学力	21.2 (⑥)	基礎学力	20.3 (⑨)
7位	発想の豊かさ	15.1 (⑤)	協調性	19.5 (⑧)	身嗜み・マナー	15.9 (⑧)
8位	社交性	13.4 (⑩)	明るさ	17.7 (⑦)	一般常識	14.5 (④)
9位	一般常識	9.2 (⑦)	社交性	10.6 (⑩)	社交性	14.5 (⑩)
10位	信頼性	6.7 (⑱)	一般常識	9.7 (⑨)	機転	8.7 (⑱)

（資料出所）ディスコ「人と採用・企業アンケート」（2003年11月）※（ ）の○の中の数字は昨年同調査の順位

「コミュニケーション能力」とはということかと言いますと、相手の話を正確に聞き取って、また言うべきことを相手に正確に伝えるという能力です。プレゼンも含まれます。私は年代が全然違いますから、比較しようがありませんが、こんなことは大体聞き出したのは、恐らく10年ぐらい前からです。逆に言いますと、最近の若者はコミュニケーションが取れないのが増えているのではないかということです。企業から「コミュニケーション能力」と言われるたびに、いつも「コミュニケーション能力というものを簡単に説明できるかな」と思っております。つまり、コミュニケーション能力というのは何を意味しているか、企業によってかなり違います。かなり曖昧です。話せる人がほしいという意味でのコミュニケーション能力もありますが、鍛えて向上す

るものと、本来的なものがあります。これは協調性とか、明るさとか、発想の豊かさなどは、学んでいくらか改善するかもしれませんが、能力は何かと言われてもそう変わらないものです。

コミュニケーション能力は本来的に優れた人、セールスマンの能力が非常にある人と、そんなに向かない人はいるわけです。ですからただサービス業に限らず、やっぱり理科系でもかなりコミュニケーション能力を求めています。

最近、いろいろな意味で厳しくなってきました、例えば銀行に入って金融商品を売る場合、「あのとき、ああ言ったじゃないか」ということで説明不足だと訴えられます。ですから企業も敏感になっています。必要なことは言って相手の言うことをちゃんと聞いてくれる。当たり前みたいなことですが、かなりトラブルが起っています。

ですからコミュニケーション能力をいかに高めるかといいますが、訓練でできるものはできるだけ、先生方にも取り入れてくださいといっていますが、はっきり言って下手なものは下手ですね。

それと、希望する職業をいかにあきらめさせるかというのは、これはどこが、だれがやるんでしょうね。失敗の連続にありながら、50、60歳で、企業を伸ばす人もいます。そうすると「あなた、あきらめなさい」と、そういうふうに言っているのかということです。これが非常に難しい。大器晩成かもしれない。努力しているのを「やめなさい」というのは、なかなか言いにくいものです。

「コミュニケーション能力」とは確かに文系、理系を問わず、話の通じる、あるいは普通に話せる人がほしいのでしょう。そうすると、大学の教員の我々は人と話せない人を引き受けているのかということになります。結局、学生はメールとか、コンピューターのチャットで話すときは、会話の中でもくだけて、略した形でやっておりますから、面と向かって、緊張したら、まともに話せないというものが増えています。これでは社会活動ができません。企業はともかく新人であろうと、企業を代表して、お客さんに会うわけですから、その人がおかしいのではなくて、企業がおかしいと思われたら大変なので、これはやはり気を付けています。

以前ならば、全く気にしないで採用し、社内教育やOJTで学ばせたのです。ところが最近の企業は、教育・訓練費用を負担する余裕がありません。ですからある程度できるのを採りたいが本音です。昔は、初任者研修を少なくとも3ヶ月いたしました。今はそんな余裕はないです。せいぜい1カ月です。確かにそういう意味では、問題があるだろうということです。

文系で、2位に熱意とか、3位バイタリティーとか、基礎学力、協調性、明るさとかが挙がっています。この辺が20%以上の企業が要求している。理科系は、3位に専門知識が入っています。あるいは5位に、発想の豊かさが入っています。

私は、就職部長になって4年目ですが、企業の求める能力、あるいは順位も、そんなに大きく変わっておりません。

しかし、「どうやってコミュニケーション能力を養成したらいいでしょう」と言われると、大学でやることかなと考えます。昨日大学で、何百人か教員を集める機会があったので、ともかく「授業で何とか発表させてください。」「ディスカッションさせてください。」「ディベートを取り入れてください。」とさんざん要望しておきました。企業で選考のときに、ディベートをさせるというのが、最近非常に増えております。私のゼミでは合宿でディベートをさせておりますが、

やらないよりはましになります。

5. 就職部の活動内容：求人企業との接触、及び、地方求人の新規開拓

就職部の活動内容は、1つは求人企業との接触です。これは昔からのことですが、実績のある企業に、求人票を送ってくださいという求人依頼をします。それからこれは私ども独自にやっているんですが、Uターン。やはり地方出身がかなりいますので、地方を何年か計画で、地方求人の新規開拓などをやっております。

実は東海大学もひょんなことから新潟大学と提携することになりました。国立大学では就職担当の部署はあっても、就職活動についてご存じないので、私立大学とは、全然、雰囲気違います。そのかわり官庁とか、企業から、全部リクルーターが直接大学に来るようでした。新潟県はそんなに有効求人倍率は高くないので、やはり関東で探していかないと生き残れないのでしょう。別の国立大学から「うちともやってください」と言ってきたのですけれども、丁寧にお断りいたしました。

それから斡旋、推薦。これは数が減ってきましたが、今でも大手の銀行とか、神奈川県内の銀行は推薦依頼が来ます。それから理工系は、機械とか、電気などの学科ごとに求人が来ますのでマッチングさせています。大体、実績のあるところは採っていただく。まだ推薦も、そういう意味では残っています。

就職行事の開催と情報収集ということでは、就職ガイダンス。学部ごと、希望すればゼミで1コマ、1時間分いただいてガイダンスをやっております。あるいは業界ごと、業界研究会とか、企業研究会。これは比較的早めに、秋口にやるものですから、PRも兼ねて来ていただいております。

それから、文部科学省とか、厚生労働省とかが後押しし、日本経団連とか、神奈川経済同友会とかいろいろところでインターンシップをやっておりますが、学生は自ら応募するほど、積極的でないというのが問題です。いろいろなアプローチできるはずですが、なかなかやろうとしません。仕方ないものですから、5年ぐらい前から大学独自のものをやりましょうということで、全く意味不明ですけども「東海JOB-LEAGUE」とかいう名前で90社、110人ぐらいをお願いしております。すぐに就職に結び付かない形のほうがいいだろうという判断があり2年生の、春休みにやっています。ただどうしても大手が少ないので、なかなか応募者も増えない。

インターンシップに関しては、中小企業に行っても、同じところに就職するケースはあまりなく、結果としてかなりいいところに就職します。これはどういうことかと言いますと、やはり何かしなければという意識を持ちます。それからホテルにインターンシップに行ったのが、英語ができなければというので、夏休みにカナダに留学し、そして秋から就職活動をして熱意が認められ、一流ホテルに決まったというのがあります。そういうモチベーションを引き出すという意味では、意味があるのではないかと考えております。インターンシップが終わったら、学生向けに報告会をやってもらいPRもしております。

インターンシップは、就職のための準備です。ですから法学部とか、あるいは政治経済学部の政治学科が近くに自治体に行って、研修させてもらっているとか、あるいは経営学科の学生が、企業研修しているというのは、これは本来的に違っていて、私どもでは単位に認定しません。

インターンシップは大学によっては、単位に認定するところもございます。単位認定も考えたんですが、やはり問題がある。大体、成績をどうやってつけるのか疑問があります。どこにインターンに行って、どういう人に指導を受けたかで、ABCと分かれてしまった場合、それはちょっと責任を持ってない。それから期間も1週間の場合もひと月の場合もあります。ある大学でインターンシップを必修にした学部がありますが、続きませんでした。成績が、やはりばらばらで、おかしいじゃないかということになりました。それからもう1つは、インターンシップを引き受けるところがなくて、ラーメン屋さんのアルバイトをやって、それでもいいという話になって、もう成績も何もあったものではないということになりました。

ですからこれはやはり成績をつけないほうが、学生に対するインセンティブが弱くなるのは承知しているんですが、すっきりした形で安心できる。そのかわり事故があっては困りますので、保険には大学持ちで全員入れております、100名足らずですから。

学生への指導内容では、自己分析と称して、要するに自分の長所とか、短所をよく見直しなさいというようなことをさせます。自分の興味は何か。自分はどんなところへ行きたいか。行くのに能力が必要だったら、今からでも能力をつける努力をなさい。そういう指導をいたします。家族や友人との相談。自分はこういう人間だと思っているといっても、岡目八目的なところもあって、傍から見ていたほうが正確というのもあるから、いろいろな人からアドバイスを受けなさいということも指導いたします。また、業界研究とか、社会常識ぐらい持ってないと困りますということで、新聞を読みなさい、ただスポーツ新聞では駄目ですよという話をよくしております。最近、応募倍率の高いところは面接重視と称しておきながら、ペーパーテストで、まずふるうということで、ペーパーテストのレベルが、かなり高くなってきました。そこで自分の専門ぐらいは、しっかりやっておきなさいという話もしています。

6. 就職しない若者

最後に、就職しない若者。1つはフリーター問題。これはよく言われますように、全国の四年制大学で、卒業生の約3割が臨時とか、アルバイト的職種に就いていると言われております。もちろん就職をまるっきりしないのもありますから、それを入れると、もっと増えるということです。

フリーターといってもひとつは明確な目的を持っていてフリーターをしている人もいます。私のゼミにも役者になりたいという希望を持って、アルバイトをしながら俳優座の養成所に通っている者がいます。養成所に受かったので親が認めてくれたということらしい。

それから就職試験を受けて結局どこにも受からなかったが、極端な妥協をしたくないということで、フリーターになっているというのがあります。私のゼミは15人しかいませんが、明らかに就職浪人しますというのが3人います。教育実習を受けて帰ってきて、2人は教員にどうしてもなりたいといったのですが、教員試験に受からなかったので、翌年頑張りますということです。それから公務員試験の者も同じくおります。比較的、優秀な学生のほうがそうケースが多いのですが、受かる保証がないので困っております。

それからもう1つのタイプは、何をやっていいか分からない。モラトリアムを意識しているのかなとも思う反面、モラトリアムなんていう意識もないというか、自分で決めかねている。「大学を出て2、3年遊んで考えます」「外国留学、語学勉強してそれから考えます」という者です。

こちらが「本当にいいんですか」といいたくなるような者もおります。そういうのを入れて、3分の1ぐらい卒業生の中にフリーターになる者がいるのではないかとと言われております。

香山リカさんの『就職がこわい』（講談社）という本には、若者がどうも就職に踏み切れず、いろいろな意味で大人になりきれていないし、なりきった人なんてめったにいないということが書かれていますが、どうも大学を出たら自立するという意識が薄いのでしょうか。ですから「親も甘いんですよ」「出たら自分でやりなさいと言えば、もうちょっとましになるのに」という話を親御さんにいたします。

それから村上龍さんの『13歳のハローワーク』（幻冬社）。高い本の割には、随分ベストセラーになって、こっちもびっくりしました。戦後の日本人は12歳だと、マッカーサーに言われましたが、何かそんなところがあるのかなという気がします。

それから、玄田有史さんの『仕事の中の曖昧な不安』（中央公論新社）。これは労働経済学の立場から書かれていますが、若者にとって、就職がかなり厳しい状況であるという分析をしております。

それから最後に、離職率。これはぜひご承知いただきたい。就職後3年以内の離職率が、これは大学全体で約3割、3分の1が、元の企業にいないということです。フリーターになったという意味では、必ずしもないのですが、転職を含めて、約3割あるいは3分の1と言われております。1年以内に、最初の企業を辞めた率は私どもが押さえている数字で、16%。つまり無理して勤めても続かないという問題もあります。

あとは七五三という言葉。就職して大卒が3年で3割。高卒は5割、中卒は7割いつているのではないかとと言われております。ただこの割合は、あくまでも推定です。バブルの前までと、その後で違うと思いますが、バブルの前までは、逆に言うと、転職はそんなに簡単ではなかったのです。バブルで人手が足りなくなって、誰でも採ってくれるようになって、それがまたおかしくなる1つの理由になったわけです。

II. 調査分析結果

II-1 「理想の職業（仕事）」を選ぶ背景

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部部長

山田 兼尚

大学4年生の7月中旬の本調査時点において、就職しようと考えている職業（仕事）について、「その職業は、本当に就きたい理想の仕事ですか」（質問紙一問7）の回答結果は、表1に示すとおりである。

表1 本当に就きたい理想の仕事か？

	理想の仕事である	理想の仕事でない	無回答	計
男子	263	86	34	383
	(68.7)	(22.5)	(8.9)	(100.0)
女子	300	105	22	427
	(70.3)	(24.6)	(5.2)	(100.0)
計	563	191	56	810
	(69.5)	(23.6)	(6.9)	(100.0)

無回答を除くと、男女共に、ほぼ同様の回答傾向を示しており、「理想の仕事である」が約4分の3、「理想の仕事でない」が約4分の1という結果である。

本章では、就こうとしている職業が「理想の仕事である」（以下「理想群」とする）あるいは「理想の仕事でない」（以下「非理想群」とする）と回答した二つの群間にどのような差異が認められるかについて比較して、理想の職業を選ぼうとしている背景について検討する。

1. 就こうとしている職業（問5）

まず、自由記述による、就こうとしている職業（仕事）を分類し、上記、二群間の比較するために男女別に表2に示した

男女ともに、二群間の回答率の差が50%を超えている、就きたいとする学生が10人以上の職業に注目すると、男子では、「教師」「研究者」「コンピュータ関係」「公務員」「技術職」の五つ職業、女子では、「教師」「技術職」「薬剤師」「研究者」「医療関係」の五つの職業である。概して、専門性が要求される職業に就こうとしている学生は、理想の職業であると回答している傾向にある。

多くの職業において、「理想の仕事である」の回答率の方が高くなっている傾向にある。その中であって、（就きたいとする学生が10人以上の職業の中で）女子の「事務職」では、「理想の仕事でない」の回答率の方が高くなっている。

表2 就こうとしている職業

職業分類	男子(%)		計 (度)	職業分類	女子(%)		計 (度)
	理想群	非理想群			理想群	非理想群	
コンピュータ関係	77.8	22.2	63	コンピュータ関係	73.8	26.2	42
技術職	75.0	25.0	48	営業職	58.1	41.9	31
公務員	76.5	23.5	34	教師	100.0	0.0	27
研究者	87.5	12.5	32	公務員	72.0	28.0	25
営業職	59.1	40.9	22	金融関係	56.5	43.5	23
金融関係	68.8	31.3	16	事務職	36.4	63.6	22
教師	92.3	7.7	13	販売職	55.0	45.0	20
販売職	62.5	37.5	8	研究者	81.3	18.8	16
建築関係	71.4	28.6	7	医療関係	80.0	20.0	15
マスコミ関係	100.0	0.0	6	技術職	93.3	6.7	15
会計士	100.0	0.0	5	薬剤師	81.8	18.2	11
広告関係	100.0	0.0	5	語学関係	44.4	55.6	9
コンサルタント関係	100.0	0.0	5	サービス業	87.5	12.5	8
福祉関係	80.0	20.0	5	デザイン関係	87.5	12.5	8
法曹関係	60.0	40.0	5	福祉関係	87.5	12.5	8
医療関係	75.0	25.0	4	編集者	50.0	50.0	8
医者	66.7	33.3	3	芸能関係	100.0	0.0	7
警察官	100.0	0.0	3	会計士	100.0	0.0	6
事務職	66.7	33.3	3	看護婦	66.7	33.3	6
心理職	66.7	33.3	3	広告関係	100.0	0.0	6
不動産関係	33.3	66.7	3	コンサルタント関係	66.7	33.3	6
薬剤師	100.0	0.0	3	建築関係	80.0	20.0	5
音楽関係	100.0	0.0	2	美容関係	100.0	0.0	5
サービス業	100.0	0.0	2	法曹関係	100.0	0.0	5
税理士	100.0	0.0	2	音楽関係	100.0	0.0	4
大学職員	50.0	50.0	2	大学職員	100.0	0.0	4
デザイン関係	100.0	0.0	2	医者	100.0	0.0	3
農業関係	50.0	50.0	2	空港関係	100.0	0.0	3
編集者	100.0	0.0	2	司書	100.0	0.0	3
空港関係	100.0	0.0	1	心理職	100.0	0.0	3
芸能関係	0.0	100.0	1	美術関係	100.0	0.0	3
司書	100.0	0.0	1	警察官	100.0	0.0	2
進学	100.0	0.0	1	税理士	100.0	0.0	2
著述業	100.0	0.0	1	著述業	100.0	0.0	2
美容関係	100.0	0.0	1	不動産関係	100.0	0.0	2
				マスコミ関係	50.0	50.0	2
				進学	100.0	0.0	1
				農業関係	100.0	0.0	1

2. 情報源 (問8)

就こうとしている職業を決定しようとする際に、どのような情報源を重視したか否かを2件法で評定を求め、その結果を表3に示した。また、表3には、二群間の回答の偏りについて χ^2 検定を行った結果も示してある。

表3 情報源

情報源(問8)		理想群		非理想群		χ ² 検定果 * p<0.05 **p<0.01
		情報源 とした	しなか った	情報源 とした	しなか った	
母親にすすめられた	男子	4.9	95.1	4.7	95.3	
	女子	11.0	89.0	11.4	88.6	
父親にすすめられた	男子	5.7	94.3	7.0	93.0	
	女子	8.7	91.3	5.7	94.3	
本やマンガで読んだ	男子	9.1	90.9	7.0	93.0	
	女子	12.0	88.0	5.7	94.3	
テレビや映画で見た	男子	8.4	91.6	7.0	93.0	
	女子	12.7	87.3	5.7	94.3	*
大学の講義で聞いた	男子	17.9	82.1	19.8	80.2	
	女子	24.3	75.7	11.4	88.6	**
就職情報サイトで知った	男子	32.7	67.3	32.6	67.4	
	女子	38.3	61.7	51.4	48.6	*
企業等のホームページで知った	男子	32.3	67.7	30.2	69.8	
	女子	36.3	63.7	41.9	58.1	
就職ガイダンスで紹介された	男子	16.7	83.3	16.3	83.7	
	女子	14.3	85.7	20.0	80.0	
会社説明会・セミナー	男子	32.7	67.3	37.2	62.8	
	女子	37.0	63.0	49.5	50.5	*
大学の就職部で情報を得た	男子	16.0	84.0	16.3	83.7	
	女子	17.0	83.0	19.0	81.0	
就職雑誌で調べた	男子	14.8	85.2	12.8	87.2	
	女子	15.3	84.7	13.3	86.7	
その仕事をしているところを見た	男子	15.6	84.4	7.0	93.0	*
	女子	25.7	74.3	16.2	83.8	*
高校までに職場体験をした	男子	0.8	99.2	1.2	98.8	
	女子	1.7	98.3	1.0	99.0	
大学に入ってからインターンシップで経験した	男子	3.8	96.2	1.2	98.8	
	女子	4.7	95.3	3.8	96.2	
アルバイトをした	男子	6.5	93.5	5.8	94.2	
	女子	10.3	89.7	8.6	91.4	
ボランティアで体験をした	男子	1.5	98.5	1.2	98.8	
	女子	7.0	93.0	1.9	98.1	
父親がその職業に就いている(その仕事をしている)	男子	2.7	97.3	2.3	97.7	
	女子	3.0	97.0	5.7	94.3	
母親がその職業に就いている(その仕事をしている)	男子	0.8	99.2	0.0	100.0	
	女子	2.3	97.7	2.9	97.1	
友だちとの話で聞いた	男子	13.7	86.3	9.3	90.7	
	女子	17.3	82.7	18.1	81.9	
先輩(OB・OG)から話を聞いた	男子	18.3	81.7	16.3	83.7	
	女子	20.7	79.3	18.1	81.9	
先生から聞いた	男子	11.0	89.0	12.8	87.2	
	女子	15.7	84.3	13.3	86.7	
自分で考えた	男子	66.5	33.5	51.2	48.8	**
	女子	71.0	29.0	56.2	43.8	**

「自分」を情報源とすることに問題があろうが、男女共に「理想群」の方が、他に情報を求

めるのではなく、「自分で考えた」とする回答が「非理想群」より多い傾向にある。

また、男女共に「その仕事をしているところをみた」とする回答が「理想群」に多い傾向がある。

これらのことから、その仕事を目の当たりにし、自分で決める事が、理想の職業に就くことに結びつく可能性が考えられる。

女子では、「大学の講義で聞いた」、「テレビや映画で見た」の回答は「理想群」に多い傾向にあるが、「会社説明会・セミナー」、「就職情報サイトで知った」の回答は「非理想群」に多い傾向にある。女子の場合、「会社説明会・セミナー」、「就職情報サイト」の情報により理想の職業につく可能性は、やや少ない傾向にあると言えようか。

このような傾向は男子では、認められていない。

3. 両親の職業との関連 (問9)

表4に、本人が就こうとしている職業と両親の職業との異同を示した。男女共に、二群間に回答の偏りは認められてない (χ^2 検定結果)。各群において、親の職業と同じであるとする回答は、男女ともに7~9%の範囲である。

表4 両親の職業との関連

問9 両親の仕事と同じか	理想群		非理想群	
	はい	いいえ	はい	いいえ
男子	6.5	93.5	6.5	93.5
女子	7.4	92.6	8.7	91.3

4. 就こうとしている職業を決めた時期 (問10)

表5に、就こうとしている職業を決めた時期を示した。

男女共に、二群間に職業を決めた時期に差異が認められた (χ^2 検定 $p < 0.01$ $df = 6$)。表5中の太数字は、二群間での回答率の差がやや大きいことを示しており、男女共に、「理想群」の方が、早い時期に職業を決めている傾向にある。ちなみに、「大学」に入る前までに、就こうとしている職業を決めたとする回答率は、男女共に、約3分の1を占めているのに対して、「非理想群」は約14%である。

表5 就こうとしている職業を決めた時期

問10	その職業を決めた時期	小学校に入る前	小学校に入ってから	中学校に入ってから	高校に入ってから	大学に入ってから	いま考えた	忘れた
		男子	1.2	3.9	7.0	22.2	56.0	3.9
	非理想群	3.5	0.0	1.2	9.3	51.2	18.6	16.3
女子	理想群	2.0	8.2	5.8	17.3	58.2	4.1	4.4
	非理想群	1.0	1.0	1.0	11.5	59.6	15.4	10.6

5. 就きたい仕事に就けなかった場合の対応 (問12)

表6に、就きたい仕事に就けなかった場合の対応の仕方についての結果を示した。男女共に、二群間に回答の偏りは認められない (χ^2 検定 $p > 0.05$ $df = 2$)。

表6 就きたい仕事に就けなかった場合

問12 就きたい職業に就けなかった場合	理想群			非理想群		
	ほかに就職し就きたい仕事をあきらめる	ほかの仕事をしながらかきたい仕事をめざす	ほかの仕事には就かない	ほかに就職し就きたい仕事をあきらめる	ほかの仕事をしながらかきたい仕事をめざす	ほかの仕事には就かない
男子	31.9	49.4	18.6	41.9	45.3	12.8
女子	29.5	55.7	14.8	30.8	61.5	7.7

6. 転職の予想 (問13)

表7に、数年後の転職の予想についての結果を示した。男女共に、二群間に回答の偏りが認められた (χ^2 検定 $p < 0.01$ $df=1$)。転職すると思うとする回答率は、男女共に「非理想群」が約60%であるのに対し、「理想群」は約35%である。

「理想群」であっても、約35%が、数年後に転職することを予想していることは、注目されることではなかろうか。

表7 転職の予想

問13 転職の予想	理想群		非理想群	
	転職する	しない	転職する	しない
男子	36.5	63.5	61.6	38.4
女子	34.8	65.2	61.8	38.2

7. 適性職業の認知 (問14)

表8に、自分がどのような職業に向いているかどの程度、認知しているかの結果示した。男女共に、二群間に回答の偏りが認められた (χ^2 検定 $p < 0.01$ $df=3$)。

「はっきりとわかっている」と「なんとなくわかっている」の合計の回答率は、男女共に、「理想群」が約80%、「非理想群」が約60%という結果である。男子の「はっきりと分かっている」の回答率が「理想群」と「非理想群」の差が顕著であることが注目されよう。

表8 適性職業の認知

問14 適性職業の認知	理想群				非理想群			
	はっきりとわかっている	なんとなくわかっている	あまりわからない	全然わからない	はっきりとわかっている	なんとなくわかっている	あまりわからない	全然わからない
男子	23.8	54.8	17.6	3.8	5.8	52.3	27.9	14.0
女子	15.1	63.1	18.1	3.7	10.6	50.0	24.0	15.4

8. 職業に就くための努力 (問11)

表9に、職業に就くためにした(している)努力の内容(10項目)に関する結果を示した(表

中に、 χ^2 検定の結果も示してある)。

表9 職業につくための努力

問11 職業に就くための努力		理想群				非理想群				χ^2 検定結果 * p<0.05 **p<0.01
		とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	
情報を収集する	男子	37.6	44.9	12.2	5.3	24.4	43.0	22.1	10.5	**
	女子	38.0	48.1	11.8	2.0	21.9	54.3	17.1	6.7	**
就職のための試験勉強をする	男子	23.7	34.0	30.9	11.5	14.0	34.9	32.6	18.6	
	女子	27.6	33.3	27.6	11.4	6.7	35.2	39.0	19.0	**
人脈をひろげる	男子	14.6	29.6	39.2	16.5	8.1	17.4	48.8	25.6	*
	女子	13.9	28.8	37.3	20.0	2.9	26.7	42.9	27.6	**
知識や教養を深める	男子	37.2	48.3	12.6	1.9	23.5	50.6	16.5	9.4	**
	女子	39.5	44.2	13.6	2.7	18.1	51.4	24.8	5.7	**
多様な経験により人間的な魅力を高める	男子	29.7	44.1	19.8	6.5	18.6	34.9	32.6	14.0	**
	女子	28.5	50.2	16.3	5.1	13.7	48.0	28.4	9.8	**
専門的な技能や技術のみがく	男子	25.9	45.2	23.2	5.7	11.6	44.2	27.9	16.3	**
	女子	31.3	35.0	23.2	10.4	8.7	27.9	43.3	20.2	**
資格や検定をとる	男子	21.7	33.8	30.8	13.7	12.8	32.6	31.4	23.3	
	女子	27.7	35.5	20.9	15.9	14.3	34.3	36.2	15.2	**
面接のためにプレゼンテーション能力を高める	男子	12.3	37.5	32.6	17.6	9.3	24.4	41.9	24.4	
	女子	11.9	28.1	39.3	20.7	6.7	35.2	34.3	23.8	
スタイルや容姿を良くする	男子	3.8	21.8	43.9	30.5	5.8	18.6	46.5	29.1	
	女子	6.4	29.2	41.7	22.7	7.6	37.1	30.5	24.8	
体力をつける	男子	12.5	25.9	41.1	20.5	7.0	26.7	43.0	23.3	
	女子	10.9	34.1	40.3	14.7	5.8	28.2	44.7	21.4	

「情報を収集する」「人脈をひろげる」「知識や教養を深める」「多様な経験により人間的な魅力を高める」「専門的な技能や技術のみがく」の5項目において、男女共に、二群間の回答率に偏りが認められた。すなわち、これら5項目において、男女共に、「理想群」の方が「とても/まあ努力している」の回答率が高い傾向にある。

また、「就職のための試験勉強をする」「資格や検定をとる」の2項目では、女子において、「理想群」の方が、「とても/まあ努力している」の回答率が高い傾向にある。

二群間で、「とても/まあ努力している」の回答率の差が大きいのは、女子の「専門的な技能や技術のみがく」(30ポイント)、「就職のための試験勉強をする」(19ポイント)、男子の「多様な経験により人間的な魅力を高める」(20ポイント)、「人脈をひろげる」(19ポイント)である。

理想とする職業につくためには、当然のことながら、それなりの努力が必要であることを示唆する結果と言うようか。

9. 職業観 (問15)

表10に、就職先を決定する際に重視すること(16項目)、という観点から「職業観」を捉え、その結果を示した(表中に、 χ^2 検定の結果も示してある)。

表10 職業観

問15 職業観		理想群				非理想群				χ ² 検定結果 * p<0.05 **p<0.01
		とても重視す	まあ重視す	あまり重視し	全然重視しな	とても重視す	まあ重視する	あまり重視し	全然重視しな	
収入	男子	27.6	54.0	14.9	3.4	30.2	58.1	7.0	4.7	
	女子	27.8	54.5	17.4	0.3	17.3	63.5	18.3	1.0	
労働時間	男子	26.1	52.9	18.4	2.7	38.4	48.8	10.5	2.3	
	女子	24.8	52.3	20.8	2.0	27.6	55.2	16.2	1.0	
通勤の便	男子	27.2	43.7	22.6	6.5	26.7	52.3	15.1	5.8	
	女子	25.5	57.0	16.1	1.3	20.0	54.3	22.9	2.9	
仕事の内容	男子	72.4	24.9	2.3	0.4	61.6	30.2	7.0	1.2	
	女子	79.1	19.9	1.0	0.0	56.2	40.0	3.8	0.0	**
職場の雰囲気	男子	45.8	48.1	5.3	0.8	45.3	39.5	12.8	2.3	
	女子	52.7	43.2	3.4	0.7	44.8	51.4	1.9	1.9	
仕事の社会的意義	男子	34.5	44.4	16.9	4.2	25.6	31.4	33.7	9.3	**
	女子	34.0	47.1	17.5	1.3	21.0	45.7	25.7	7.6	**
事業や雇用の安定性	男子	29.2	50.4	16.2	4.2	33.7	43.0	18.6	4.7	
	女子	33.9	48.7	15.4	2.0	21.0	56.2	19.0	3.8	
将来性	男子	37.9	49.8	9.2	3.1	34.5	47.6	15.5	2.4	
	女子	31.5	52.3	14.8	1.3	20.0	48.6	26.7	4.8	**
専門的な知識や技能をいかせること	男子	42.9	40.2	15.3	1.5	26.7	34.9	30.2	8.1	**
	女子	43.4	35.4	17.5	3.7	18.1	43.8	29.5	8.6	**
能力を高める機会があること	男子	47.3	39.7	9.5	3.4	38.4	39.5	18.6	3.5	
	女子	52.0	34.9	12.4	0.7	29.5	44.8	21.0	4.8	**
自分を生かすこと	男子	57.9	36.4	4.6	1.1	38.4	46.5	10.5	4.7	**
	女子	63.4	28.9	7.0	0.7	34.3	50.5	11.4	3.8	**
企業名等のブランド	男子	10.7	39.3	29.8	20.2	12.8	36.0	32.6	18.6	
	女子	5.4	29.5	45.6	19.5	5.7	32.4	41.0	21.0	
勤務地	男子	30.3	39.8	21.8	8.0	33.7	41.9	16.3	8.1	
	女子	31.2	55.4	10.4	3.0	26.7	45.7	21.0	6.7	*
業績・規模	男子	16.8	45.4	25.2	12.6	11.6	51.2	30.2	7.0	
	女子	10.7	45.3	36.6	7.4	6.7	35.2	42.9	15.2	*
福利厚生の充実	男子	22.1	46.6	25.2	6.1	25.6	50.0	17.4	7.0	
	女子	25.9	48.8	21.2	4.0	15.2	59.0	21.9	3.8	
育児休暇や介護休暇などの家庭配慮の制度	男子	16.0	48.5	27.9	7.6	22.1	52.3	23.3	2.3	
	女子	33.7	46.8	16.5	3.0	22.1	50.0	22.1	5.8	

「仕事の社会的意義」「専門的な知識や技能をいかせること」「自分を生かすこと」の3項目において、男女共に、二群間の回答率に偏りが認められた。すなわち、これら3項目において、男女共に、「理想群」の方が「とても/まあ重視する」の回答率が高い傾向にある。

また、女子では、「仕事の内容」「将来性」「能力を高める機会があること」「勤務地」「業績・規模」の5項目においては、「理想群」の方が、「とても/まあ重視する」の回答率が高い傾向にある。男子では、前記の3項目以外に二群間での回答率の偏りは認められていない。

二群間で「とても/まあ重視する」の回答率の偏りが認められた項目は、「自己実現」に関わる項目（「専門的な知識や技能をいかせること」「自分を生かすこと」「仕事の内容」「能力を高める機会があること」）である。理想の職業に就こうとする背景には、自己実現の可能性を

重視している傾向にあることがうかがえよう。

二群間の「とても/まあ重視する」の回答率の差が大きいのは、男子では、「仕事の社会的意義」(22ポイント)、「専門的な知識や技能を生かせること」(22ポイント)、女子では、「専門的な知識や技能を生かせること」(17ポイント)、「将来性」(15ポイント)である。

10. 仕事・就労観(問16)

表11に、仕事・就労観(13項目)についての結果を示した(表中に、 χ^2 検定の結果も示してある)。

表11 仕事・就労観

問16 仕事・就労観		理想群				非理想群				χ ² 検定結果 * p<0.05 **p<0.01
		とても 思う	まあ 思う	あまり 思う	全然 思わ	とても 思う	まあ 思う	あまり 思う	全然 思わ	
仕事は人生における生きがいである	男子	24.8	45.0	24.4	5.7	9.3	48.8	29.1	12.8	**
	女子	20.7	52.8	24.1	2.3	6.7	54.3	34.3	4.8	**
希望する仕事につくために、どうい う勉強をすればよいかを考えな ければならない	男子	37.4	49.2	11.1	2.3	31.4	52.3	14.0	2.3	
	女子	41.3	49.7	9.1	0.0	18.1	65.7	16.2	0.0	**
たとえ、望む仕事につけなかったと しても、我慢して働くべきである	男子	9.9	53.1	30.5	6.5	8.1	46.5	36.0	9.3	
	女子	9.4	48.8	34.0	7.7	13.3	54.3	26.7	5.7	
お金に困らなければ、わざわざ望 まない仕事につく必要はない	男子	21.8	40.5	30.9	6.9	32.6	37.2	20.9	9.3	
	女子	22.1	42.3	27.9	7.7	21.9	37.1	34.3	6.7	
就職は有力なコネ(知り合いがいる こと)で決まる	男子	8.8	33.0	39.1	19.2	14.0	41.9	37.2	7.0	*
	女子	7.4	36.9	37.6	18.1	7.6	31.4	44.8	16.2	
同じ組織で一生働くのはつまらな い	男子	12.2	28.6	42.4	16.8	23.3	24.4	37.2	15.1	
	女子	11.7	30.2	46.0	12.1	13.3	27.6	47.6	11.4	
キャリアアップのための転職は当 然である	男子	16.8	38.5	38.9	5.7	24.4	34.9	36.0	4.7	
	女子	18.9	43.9	33.8	3.4	26.0	43.3	26.0	4.8	
出世のために能力以上の無理を する必要はない	男子	13.4	30.2	45.0	11.5	19.8	33.7	37.2	9.3	
	女子	8.8	43.4	41.1	6.7	13.3	36.2	47.6	2.9	
ベンチャー企業につとめたい	男子	6.5	22.6	49.4	21.5	10.6	21.2	49.4	18.8	
	女子	3.0	16.8	43.8	36.4	3.8	16.2	56.2	23.8	
組織の業績をあげるためにはチ ームワークよりも構成員の能力や資 質が大切である	男子	6.5	34.7	48.9	9.9	7.0	39.5	45.3	8.1	
	女子	2.7	30.9	59.1	7.4	2.9	30.5	61.9	4.8	
職場の人と個人的なつきあいをし たくない	男子	3.8	18.3	43.5	34.4	4.7	20.0	48.2	27.1	
	女子	2.4	16.2	52.0	29.4	6.7	19.0	52.4	21.9	
組織はいつまでも自分を守ってく れない	男子	24.4	43.1	25.2	7.3	29.1	45.3	23.3	2.3	
	女子	25.2	52.7	18.5	3.7	25.0	54.8	19.2	1.0	
働かなくても批難されない風潮がフ リーターを増加させている	男子	21.1	38.7	28.4	11.9	20.9	37.2	27.9	14.0	
	女子	15.2	41.4	32.0	11.4	13.3	33.3	35.2	18.1	

「仕事は人生における生きがいである」、「希望する仕事につくために、どういう勉強をすればよいかを考えなければならない」、「就職は有力なコネ（知り合いがいること）で決まる」の3項目において、二群間で、回答率の偏りが認められた。

すなわち、「仕事は人生における生きがいである」は男女共に、「希望する仕事につくために、どういう勉強をすればよいかを考えなければならない」は女子において、「理想群」の方が「とても／まあそう思う」の回答率が高い傾向にある。理想の職業に就くためには、仕事に対する積極的な態度が必要なことが示唆されていると言えようか。

一方、「就職は有力なコネ（知り合いがいること）で決まる」は男子において、「非理想群」の方が、「とても／まあそう思う」の回答率が高い傾向にあり、二群間のこの回答率の差は、14ポイントである。理想の職業に就こうとしても、就職はコネで決まってしまうから、理想の職業には就けないというような図式が推察されようか。

11. 大学で身に付いた能力（問20）

表12に、大学で身に付いた能力（17項目）についての評定結果を示した（表中に χ^2 検定の結果も示してある）。

「熱意・意欲を維持する力」、「行動力・実行力」、「専門能力」の3項目において、男女共に、二群間で回答の偏りが認められた。

また、男子では、「論理的に考えられる力」、「常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力」、「状況の変化に柔軟に対応する力」、「意見や利害の対立を調整する力」、「体力」の5項目で、女子では、「問題を発見する力」、「自己表現力」の2項目で、二群間で回答の偏りが認められた。女子の「自己表現力」を除いて、上記の8項目では、「理想群」の方が「とても／まああると思う」の回答率が、「非理想群」よりも高い傾向にある。

二群間の「とても／まああると思う」の回答率の差は、男女共に二群間で回答率に偏りが認められた、「熱意・意欲を維持する力」で、男子が20ポイント、女子が17ポイント、「行動力・実行力」で、男子が22ポイント、女子が10ポイント、「専門能力」では、男子が16ポイント、女子が23ポイントである。

そのほか、二群間の「とても／まああると思う」の回答率の差が大きいのは、男子の「意見や利害の対立を調整する力」で21ポイント、「体力」で20ポイントである。

「理想群」の方が、大学において少なからず能力が身に付いたと肯定的な評定している傾向にあると言えよう。

表12 大学で身に付いた能力

問20 大学で身に付いた能力		理想群				非理想群				χ ² 検定結果 * p<0.05 **p<0.01
		とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	
問題を発見する力	男子	25.9	55.5	15.6	3.0	17.4	54.7	25.6	2.3	
	女子	17.4	57.2	21.4	4.0	12.4	52.4	34.3	1.0	*
論理的に考えられる力	男子	35.1	52.5	8.1	4.2	31.8	43.5	22.4	2.4	**
	女子	23.7	55.9	18.1	2.3	21.0	46.7	29.5	2.9	
常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力	男子	39.2	47.5	11.0	2.3	34.9	34.9	27.9	2.3	**
	女子	43.5	42.5	12.7	1.3	32.4	54.3	12.4	1.0	
情報を収集する力	男子	39.2	50.6	8.4	1.9	41.9	39.5	16.3	2.3	
	女子	39.1	50.2	9.4	1.3	34.6	53.8	10.6	1.0	
人間関係を円滑にする力	男子	31.0	44.4	18.8	5.7	27.9	36.0	30.2	5.8	
	女子	29.5	47.3	20.8	2.3	23.8	53.3	18.1	4.8	
人脈形成力	男子	26.0	37.4	30.5	6.1	22.1	30.2	39.5	8.1	
	女子	19.8	40.3	32.6	7.4	13.5	45.2	34.6	6.7	
自己表現力	男子	27.9	39.3	27.5	5.3	22.1	34.9	37.2	5.8	
	女子	21.8	47.3	28.2	2.7	16.2	53.3	21.9	8.6	*
交渉力	男子	18.8	45.6	26.8	8.8	15.3	35.3	41.2	8.2	
	女子	12.5	43.4	37.0	7.1	10.6	36.5	38.5	14.4	
状況の変化に柔軟に対応する力	男子	27.8	52.1	16.7	3.4	18.6	45.3	30.2	5.8	*
	女子	32.8	48.2	17.4	1.7	21.9	51.4	24.8	1.9	
異文化を受容する力	男子	22.8	39.9	25.9	11.4	17.4	33.7	40.7	8.1	
	女子	34.9	37.6	22.8	4.7	23.8	44.8	22.9	8.6	
語学力	男子	11.5	28.4	34.9	25.3	10.6	23.5	47.1	18.8	
	女子	18.2	28.4	33.8	19.6	12.4	29.5	38.1	20.0	
コンピュータ活用能力	男子	43.9	39.3	10.7	6.1	47.7	31.4	17.4	3.5	
	女子	43.6	39.6	13.1	3.7	30.5	49.5	18.1	1.9	
熱意・意欲を維持する力	男子	25.7	48.7	21.8	3.8	15.1	39.5	40.7	4.7	**
	女子	25.2	47.0	22.8	5.0	8.6	46.7	37.1	7.6	**
行動力・実行力	男子	30.3	50.6	16.9	2.3	22.1	37.2	33.7	7.0	**
	女子	32.4	51.2	15.1	1.3	19.0	54.3	21.0	5.7	**
意見や利害の対立を調整する力	男子	21.0	53.4	21.0	4.6	19.8	33.7	40.7	5.8	**
	女子	21.8	49.7	24.5	4.0	18.1	50.5	25.7	5.7	
専門能力	男子	32.3	40.3	22.8	4.6	20.9	36.0	36.0	7.0	*
	女子	32.6	39.9	22.8	4.7	11.4	38.1	42.9	7.6	**
体力	男子	13.5	35.8	33.8	16.9	10.5	18.6	47.7	23.3	*
	女子	8.7	31.5	40.6	19.1	4.8	29.5	42.9	22.9	

12. 自己像 (問22)

表13に、自分が大学の友人からどのように見られているか(12項目)という観点からの自己像についての評定結果を示した(表中に、 χ^2 検定の結果も示してある)。

自己像については、男女共に共通して、二群間で回答率に偏りが認められた項目はなかった。

表13 自己像

問 21 自己像		理想群			非理想群			χ ² 検定結果 * p<0.05 **p<0.01
		そう思 わられて いる	そう 思わ れて いな	わか ら ない	そう思 われて いる	そう思 われて いない	わか ら ない	
明るい人	男子	54.4	25.5	20.2	45.3	24.4	30.2	
	女子	71.6	12.4	16.1	52.4	19.0	28.6	**
カッコいい人	男子	15.6	49.2	35.1	11.6	48.8	39.5	
	女子	13.7	41.5	44.8	20.0	41.0	39.0	
元気な人	男子	48.7	30.8	20.5	36.0	32.6	31.4	
	女子	60.7	19.5	19.8	44.2	28.8	26.9	*
勉強ができる人	男子	40.8	30.5	28.6	27.9	46.5	25.6	*
	女子	42.5	28.8	28.8	34.3	41.0	24.8	
優しい人	男子	65.0	14.4	20.5	49.4	18.8	31.8	*
	女子	56.0	15.1	28.9	57.1	14.3	28.6	
頼りになる人	男子	44.9	25.9	29.3	31.4	34.9	33.7	
	女子	47.0	22.5	30.5	39.0	31.4	29.5	
運動ができる人	男子	32.6	41.8	25.7	26.7	46.5	26.7	
	女子	18.5	60.7	20.8	13.3	60.0	26.7	
先生に好かれている人	男子	23.5	41.5	35.0	18.6	39.5	41.9	
	女子	27.2	32.6	40.3	24.8	36.2	39.0	
人よりすぐれたところがある人	男子	47.7	22.1	30.2	37.2	30.2	32.6	
	女子	38.9	21.1	39.9	30.1	27.2	42.7	
どんなことにも一生懸命である人	男子	46.2	27.5	26.3	32.6	38.4	29.1	
	女子	49.5	21.4	29.1	34.3	29.5	36.2	*
失敗してもくよくよしない人	男子	42.2	30.4	27.4	38.4	31.4	30.2	
	女子	45.6	25.2	29.2	41.0	27.6	31.4	
みんなに好かれている人	男子	36.4	23.6	39.9	27.9	24.4	47.7	
	女子	28.6	16.8	54.5	21.9	27.6	50.5	*

男子では、「勉強ができる人」、「優しい人」の2項目、女子では、「明るい人」、「元気な人」、「どんなことにも一生懸命な人」、「みんなに好かれている人」の4項目において、二群間に回答率の偏りが認められ、「理想群」の方が「そう思われている」の回答率が高い傾向にある。

二群間の「そう思われている」の回答率の差は、女子の「明るい人」が19ポイント、「元気な人」が17ポイント、「どんなことにも一生懸命である人」が15ポイント、男子の「優しい人」が16ポイントとなっている。女子の場合、積極性のある自己像が、理想的な職業選択に関与しているように推察される。

13. 行動傾向 (問22)

表14に、行動傾向について(18項目)の評定結果を示した(表中に、 χ^2 検定の結果も示してある)。

前記の「自己像」と同様、男女共に、共通して回答率に偏りが認められた項目はなかった。男子では、「間違っただけを覚えている人を見たら、きちんと注意する」、「どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう」、「グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ」の3項目において、女子では、「人よりも計画性のある方だ」、「家族や友人に

表14 行動傾向

問 22 行動傾向		理想群					非理想群					χ ² 検定 結果 * p< 0.05 **p
		非常に そう である	まあ そう である	どち らと もい えない	あまり そう では ない	全然 そう では ない	非常 にそ うで ある	まあ そう である	どち らと もい えない	あま りそ うで はない	全然 そう では ない	
人よりも計画性のある方だ	男子	25.3	37.9	14.6	18.0	4.2	19.8	41.9	14.0	15.1	9.3	
	女子	17.1	40.1	14.0	19.4	9.4	10.5	30.5	26.7	20.0	12.4	*
きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ	男子	12.5	31.2	24.7	19.0	12.5	15.1	33.7	19.8	22.1	9.3	
	女子	24.0	41.2	17.6	13.9	3.4	24.8	41.0	14.3	17.1	2.9	
「これは何だろう」「なぜこうなのだろう」という疑問をもつ	男子	35.9	43.1	16.4	3.8	0.8	26.7	50.0	14.0	5.8	3.5	
	女子	32.4	47.2	13.4	5.7	1.3	32.4	43.8	10.5	12.4	1.0	
自分が生まれてきた意味について考えることがある	男子	32.1	27.9	22.1	11.5	6.5	29.1	27.9	22.1	8.1	12.8	
	女子	25.4	34.8	14.7	17.1	8.0	30.5	36.2	11.4	16.2	5.7	
他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ	男子	24.0	30.9	21.8	18.3	5.0	19.8	24.4	30.2	19.8	5.8	
	女子	21.1	36.1	20.4	16.7	5.7	20.0	27.6	24.8	20.0	7.6	
家族や友人に対する愛情が深い方だ	男子	30.2	35.9	26.0	6.5	1.5	23.3	26.7	36.0	9.3	4.7	
	女子	37.5	40.8	13.0	6.7	2.0	27.6	37.1	19.0	15.2	1.0	*
ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ	男子	40.9	40.2	13.9	3.9	1.2	32.9	41.2	18.8	2.4	4.7	
	女子	30.4	41.1	16.7	9.4	2.3	24.8	33.3	27.6	11.4	2.9	
身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある	男子	29.0	30.9	25.6	10.7	3.8	23.3	43.0	16.3	10.5	7.0	
	女子	31.4	38.8	15.4	10.7	3.7	36.2	28.6	17.1	16.2	1.9	
何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたいくなる	男子	35.5	38.5	17.2	7.6	1.1	31.8	42.4	15.3	5.9	4.7	
	女子	30.8	44.8	13.7	10.4	0.3	26.0	40.4	22.1	7.7	3.8	*
人間の運命というものを感じる ことがある	男子	25.4	35.0	19.2	13.1	7.3	30.2	32.6	22.1	5.8	9.3	
	女子	32.1	36.8	13.4	12.4	5.4	21.9	50.5	15.2	9.5	2.9	
誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする	男子	21.4	43.9	24.8	8.0	1.9	16.3	33.7	31.4	14.0	4.7	
	女子	27.9	44.3	19.5	7.0	1.3	18.1	38.1	30.5	13.3	0.0	*
10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う	男子	24.0	30.5	24.4	15.6	5.3	12.8	31.4	29.1	16.3	10.5	
	女子	25.8	30.8	16.4	19.4	7.7	20.0	29.5	22.9	23.8	3.8	
相手の話をよく聞いて、気持ちを受けとめようとする方だ	男子	30.2	46.9	18.7	2.3	1.9	26.7	38.4	26.7	4.7	3.5	
	女子	35.8	42.8	13.4	6.4	1.7	26.7	50.5	14.3	8.6	0.0	
間違っただけをしている人を見たら、きちんと注意する	男子	11.5	32.8	36.3	16.4	3.1	8.1	20.9	40.7	19.8	10.5	*
	女子	8.4	31.1	32.4	23.1	5.0	5.7	29.5	39.0	19.0	6.7	
どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう	男子	25.5	27.4	25.1	15.6	6.5	19.8	15.1	24.4	27.9	12.8	**
	女子	23.1	29.4	19.4	19.1	9.0	15.2	24.8	21.9	29.5	8.6	
自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ	男子	18.8	35.2	22.2	15.3	8.4	24.4	30.2	23.3	10.5	11.6	
	女子	32.6	39.9	13.4	11.1	3.0	31.4	37.1	18.1	11.4	1.9	
自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある	男子	29.8	39.3	18.7	7.3	5.0	31.4	38.4	17.4	7.0	5.8	
	女子	34.2	37.9	12.4	11.7	3.7	43.8	34.3	15.2	4.8	1.9	
グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ	男子	16.2	30.0	26.2	21.5	6.2	15.1	15.1	39.5	19.8	10.5	*
	女子	13.1	29.5	20.8	23.2	13.4	7.6	22.9	23.8	33.3	12.4	

対する愛情が深い方だ」、「何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたくなる」、「誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする」の4項目において、二群間で回答の偏りが認められた。これらの行動傾向の項目それぞれにおいて、「理想群」の方が、「非常に／まあそうである」の回答率が「非理想群」より高い傾向にある。

14. 社会観／人生観（問23）

表15に、社会観／人生観について（19項目）の評定結果を示した（表中に、 χ^2 検定の結果も示してある）。

「毎日を大切に生きることが大事である」は男女共に、「男の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい」、「結婚はしたほうがいい」、「これからの世の中は夢や希望に満ちている」、「努力することは大切である」の4項目については男子で、「女の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい」、「高齢者の世話は、できるだけしなければいけない」の2項目については女子で、二群間に回答率の偏りが認められ、「理想群」の方が、それぞれの項目について、「そう思う」と回答している傾向にある。

二群間の「そう思う」の回答率の差の大きいのは、男子の「男の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい」で18ポイント、「結婚はしたほうがいい」で15ポイント、「これからの世の中は夢や希望に満ちている」で13ポイント、「毎日を大切に生きることが大事である」で13ポイントなどである。一方、女子では、「高齢者の世話は、できるだけしなければいけない」が18ポイント、「女の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい」が15ポイントなどである。

理想の職業（仕事）に就く背景には、「毎日を大切に生きる」こと、男女それぞれ「ずっと続けられ職業をもつ」ことの必要性が推察される。また、男子では、「将来に対する明るい見通し」をもつこと、「努力」することが、その背景にあると推察される。

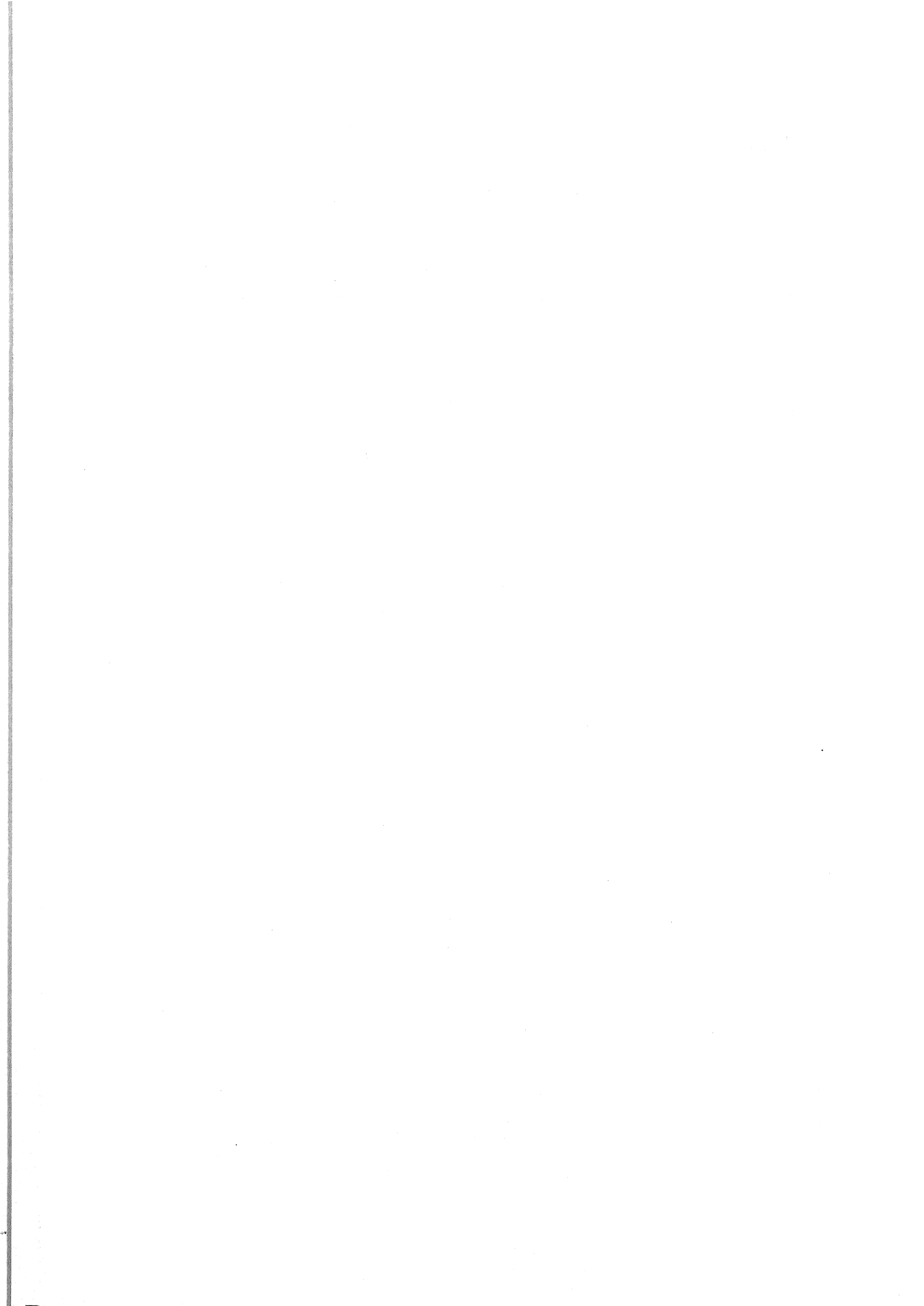
表15 社会観／人生観

問23 社会観／人生観		理想群			非理想群			χ ² 検定 結果 * p<0.05 **p<0.01
		そう 思う	どち らとも 言え ない	そう思 わない	そう思 う	どちら とも言 えな い	そう思 わな い	
女の人は、ずっと続けられる職業を持つ たほうがよい	男子	25.2	54.2	20.6	23.3	62.8	14.0	
	女子	47.8	39.5	12.7	33.3	49.5	17.1	*
女の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、 ごはんを作ったりすることが大切である	男子	34.9	43.3	21.8	29.1	47.7	23.3	
	女子	30.8	39.8	29.4	30.8	39.8	29.4	
男の人は、ずっと続けられる職業を持つ たほうがよい	男子	62.8	29.1	8.0	45.3	41.9	12.8	*
	女子	68.1	27.2	4.7	61.9	26.7	11.4	
男の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、 ごはんを作ったりすることが大切である	男子	32.2	48.3	19.5	25.9	50.6	23.5	
	女子	32.6	50.3	17.1	28.6	46.7	24.8	
高齢者の世話は、できるだけしなければ いけない	男子	61.8	29.0	9.2	54.7	38.4	7.0	
	女子	65.8	27.2	7.0	48.1	40.4	11.5	* *
結婚はしたほうがいい	男子	65.6	25.2	9.2	50.6	35.3	14.1	*
	女子	55.6	30.0	14.5	50.5	30.5	19.0	
子どもを育てるべきだ	男子	70.3	21.7	8.0	66.3	25.6	8.1	
	女子	63.8	24.8	11.4	53.8	28.8	17.3	
これからの世の中は夢や希望に満ちている	男子	33.6	42.0	24.4	20.9	38.4	40.7	* *
	女子	22.2	45.1	32.7	22.9	41.0	36.2	
毎日を大切に生きることが大事である	男子	75.3	21.3	3.4	62.8	29.1	8.1	*
	女子	90.9	8.1	1.0	81.9	15.2	2.9	*
先のことを今考えても仕方がない	男子	17.6	34.0	48.5	18.8	41.2	40.0	
	女子	19.1	34.9	46.0	18.3	41.3	40.4	
努力することは大事である	男子	87.8	11.8	0.4	81.4	15.1	3.5	*
	女子	95.3	4.4	0.3	91.3	7.8	1.0	
人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない	男子	68.4	24.3	7.2	58.1	32.6	9.3	
	女子	84.4	12.5	3.1	81.0	17.1	1.9	
約束の時間は、守らなければならない	男子	85.9	13.0	1.1	81.2	15.3	3.5	
	女子	95.0	4.7	0.3	89.5	9.5	1.0	
今の社会は、貧富の差が大きい	男子	54.0	34.2	11.8	58.1	30.2	11.6	
	女子	63.0	25.6	11.4	55.2	31.4	13.3	
仕事をするには、都会のほうが都合がよい	男子	50.2	29.7	20.2	54.7	36.0	9.3	
	女子	62.8	24.7	12.5	61.0	26.7	12.4	
社会的に評価される地位や立場に就くこ とは大事である	男子	41.1	36.9	22.1	32.6	43.0	24.4	
	女子	34.2	42.6	23.2	24.8	49.5	25.7	
平凡でも安定した暮らしをしたい	男子	53.1	35.1	11.8	54.7	33.7	11.6	
	女子	68.1	23.5	8.4	63.5	28.8	7.7	
今の世の中はこつこつ働いても評価されない	男子	33.1	41.1	25.9	36.0	39.5	24.4	
	女子	26.6	48.5	24.9	28.6	52.4	19.0	
社会保険制度は自分の将来の生活のた めに必要だ	男子	51.3	36.9	11.8	38.8	41.2	20.0	
	女子	53.5	39.7	6.7	50.0	44.2	5.8	

15. 【要約】

以上、調査票の質問の順にほぼ従って、「理想群」と「非理想群」の比較・検討を行った。その結果、就きたい職業が理想な仕事であるか否の背景には、二群間の相対的に比較において、概略、次のような点—「理想群」の傾向—を指摘することができよう。

- ① 就こうとしている職業は、専門性が要求される職業である（表2）。
- ② 就こうとしている職業についての情報源については、その職業（仕事）を目の当たりにすることであり、他に情報を求めることなく、自分でその職業を決定している傾向にある（表3）。
- ③ 就こうとしている職業を、早い時期（大学入学前）に決めている傾向にある（表5）。
- ④ 数年後の転職の予想の回答率は、「理想群」が男女共に約35%であるのに対して、「非理想群」は約60%である（表7）。
- ⑤ 自分がどんな職業に向いているか認知している傾向にある（表8）。
- ⑥ 当然のことながら、職業につくための努力をして傾向にある（表9）。
- ⑦ 自己実現の可能性を重視する職業観をもっている傾向にある（表10）。
- ⑧ 「仕事は人生における生きがいである」とする仕事・就労観をもっている傾向にある（表11）。
- ⑨ 大学において、少なからず能力が身に付いたと肯定的な評定をしている傾向にある（表12）。
- ⑩ 女子の場合、積極性のある自己像をもっている傾向にある（表13）。
- ⑪ 社会／人生観として、「毎日を大切に生きる」こと、男女それぞれ「ずっと続けられ職業をもつ」ことを指摘している傾向にある。また、男子では、「将来に対する明るい見通し」をもつこと、「努力」することを指摘している傾向にある（表15）。



Ⅱ-2 大学生のキャリア意識と自己認識

国立大学法人新潟大学大学教育開発研究センター助教授

加藤 かおり

1. はじめに

本論は、大学生のキャリア意識と自己認識との関係性についてキャリア発達の調査結果より分析し、考察を行う。

近年の大学生について、キャリア意識すなわち自分がどのような職業につきたいのか、どのような将来を目指したいのかという意識が低い、といわれる。そして、大学教育においては、学生のキャリア意識の低さが、大学生活における目的意識、学習動機や活動意欲の低さと関係しているとして、これらを喚起するための初年次教育や低学年からのキャリア教育への取り組みが注目されている。

キャリア意識や学習への動機づけの問題は、学習する主体としての自分（学生）と、一般社会や学問の世界という自分を取り巻く世界とに、どのようにつながりを持たせるのかという課題である。この課題の前提には、「自分は何者か」「自分には何（どんな職業）がふさわしいのか」について悩み、決断を先延ばしにしつつも、自分の手で何かをつかもうともがく若者としての大学生像がある。このような大学生像自体は、それほど新しいものではない。自分自身を振り返ってみても、学生時代に決して確固たるキャリア意識があったわけではない。悩みもがき、いろいろと試しては失敗を繰り返しながら、大学生時代という猶予期間を経て、ようやく自分と社会との接点を見つけてきたように思う。

しかしながら、昨今、身近な大学生との交流の中で、悩みもがく「自分」というもののあり方、認識が変わってきているのではないかと感じるようになった。

たとえば、将来何になりたいかと質問すると、とりあえず何になりたいと答える（正解を答えることについては、非常に素直で優等生でもある）。では、なぜそれになりたいのかと聞くと、考えたことがないと言う。考え悩んでいるから、答えがでない、決断できないというのは違う。とりあえずの答えを持っている、持っていないにかかわらず、これまでの人生で「自分の本当にしたことを考える」ことをしたことがないし、「自分の意思で決断し選択する」経験が乏しいのである（何を選ぶと損をするかは知っているらしい）。「定められたレースの上を走ることに慣れきってしまった若者」（注 1）に、多様な選択肢を用意して自分で考えて決めるという習慣があるはずがない。

かといって、彼らが全く悩んでいないわけではない。むしろ、「～でなければならない」「こうあるべきだ」と真面目に考えすぎている傾向もある。深く関わりもせずに自分に合わない、自分にはできないなどと「決めつける」など神経質でデリケートな面もある。自分というものの認識や理解に関心がないわけではないが、狭くて浅い他との関わりの中で自分を捉えようとするためか、自分への認識も浅い。自己認識が浅く狭い、すなわち自分が不確かであれば、社会との接点も見出しにくい。自己認識が浅いから社会と結びつかないのか、社会と結びついていないから自

己認識が弱いのかという問題はあるが、いずれにしても学生のキャリア意識が自己認識のあり方と関わっていることは確かであろう。

本論は、大学生のキャリア意識と自己認識との関わりを中心に調査結果を分析し、キャリア教育など学生のキャリア意識を高める教育的なアプローチの前提となるような現代の学生理解の一端となることを試みるものである。

2. 分析の方法（分析に用いた選択項目）

分析には、まず大学生のキャリア意識を示している項目として、問 14「あなたは、自分がどんな職業にむいているかどのくらいわかっていますか。」に対する回答「はっきりとわかっている」「なんとなくわかっている」「あまりわからない」「全然わからない」を用いた。厳密に言えば、自分に向いている職業がはっきりとわかっているから、キャリア意識が高いと断言することは難しいし、何を基準にキャリア意識が高いというか、この場での判断は迷うところでもある。ただし、「その職業（就職しようとしている職業）は、本当に就きたい理想の仕事ですか（問 7）」や「あなたは数年たって転職すると思いますか（問 13）」の質問に対する回答とのクロスをとってみると、「はっきりとわかっている」人ほど「理想の職業である」「数年たって転職すると思わない」とする割合が高いことなどから、ここで「自分に向いている職業がわかっている」人は、就こうとする職業が理想に近く、すなわち自分のしたい仕事であり、少なくとも数年以上はその仕事を続けていこうという意思がある人と言える（表 1、表 2）。したがって、現時点でのキャリア意識の高さを表す一つの目安ということではできそうである。

自己認識については、2つの項目、①友人からみた自分についての自己評価（問 21「あなたは、大学の友人たちからどのように見られていると思いますか」に対する回答「そう思われている」「そう思われていない」「わからない」）、②自分自身の思考や行動に対する評価（問 22「あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか」より抜粋した項目、以下の図を参照）を分析に用いた。

表 1 「その職業は、本当に就きたい理想の仕事ですか」 (%)

自分がどんな職業に向いているか、	「はい」	「いいえ」	無回答
「はっきりとわかっている」 n=129	82.9	12.4	4.7
「なんとなくわかっている」 n=448	73.9	21.7	4.5
「あまりわからない」 n=166	60.2	29.5	10.2
「全然わからない」 n=55	38.2	50.9	10.9

表 2 「あなたは、数年たって転職すると思いますか」 (%)

自分がどんな職業に向いているか、	「はい」	「いいえ」	無回答
「はっきりとわかっている」 n=129	36.4	62.0	1.6
「なんとなくわかっている」 n=448	39.5	60.0	0.4
「あまりわからない」 n=166	46.4	51.8	1.8
「全然わからない」 n=55	52.7	45.5	1.8

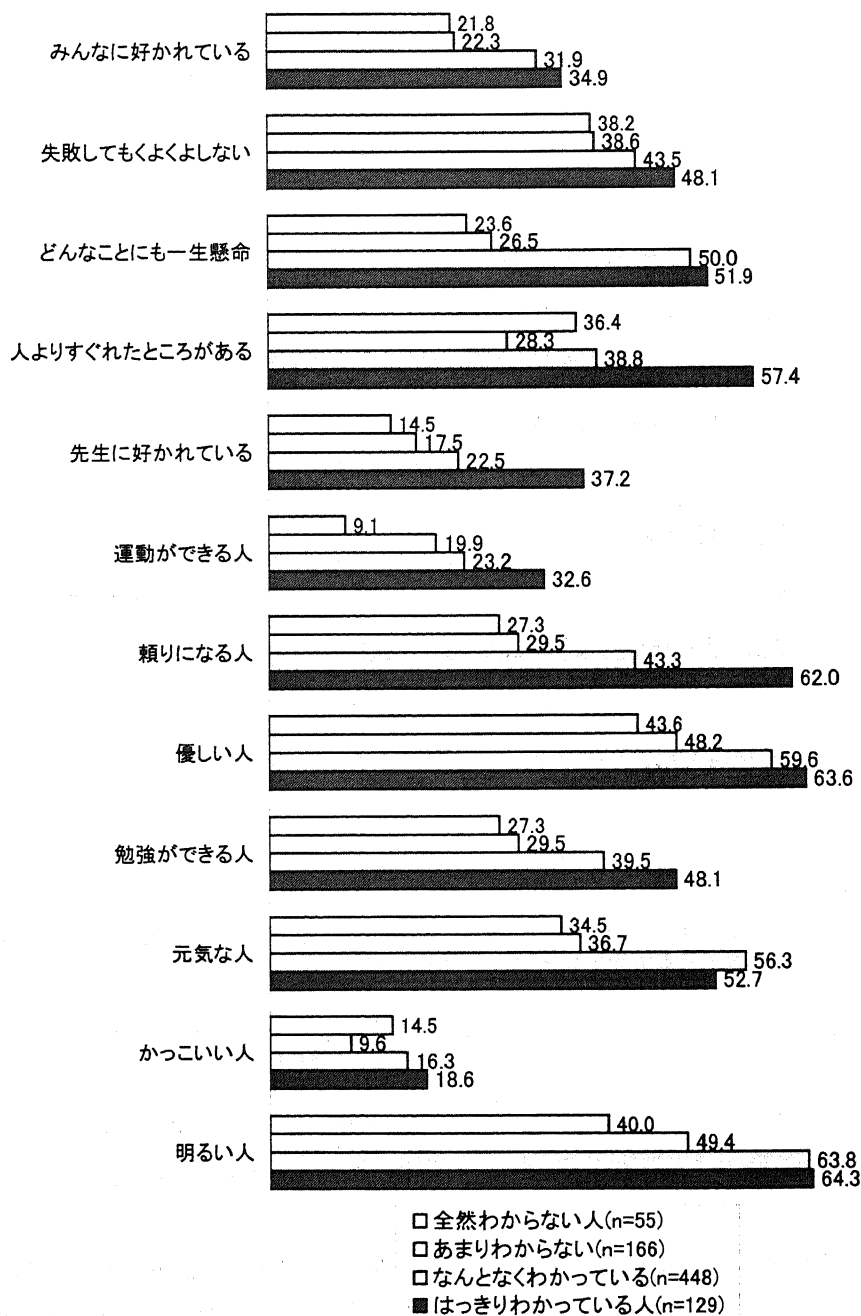
3. キャリア意識と友人から見た自分についての自己評価

(1) キャリア意識の低い学生は、友人から見た自分への自己認識において否定的な面がある。

まず、キャリア意識（問 14）別に、自己認識（問 21「あなたは、大学の友人たちからどのように見られていると思いますか（他人から見た自分）、についてみてみよう。

自分がどんな職業に向いているのか、「はっきりとわかっている」キャリア意識の高い学生、「なんとなくわかっている」学生、「あまりわからない」学生、そして「全然わからない」キャリア意識の低い学生ごとに、「大学の友人たちから（自分について）そう思われている」と思う割合を表したのが図 1 である。

図1 キャリア意識別「友人からそう思われている」割合%

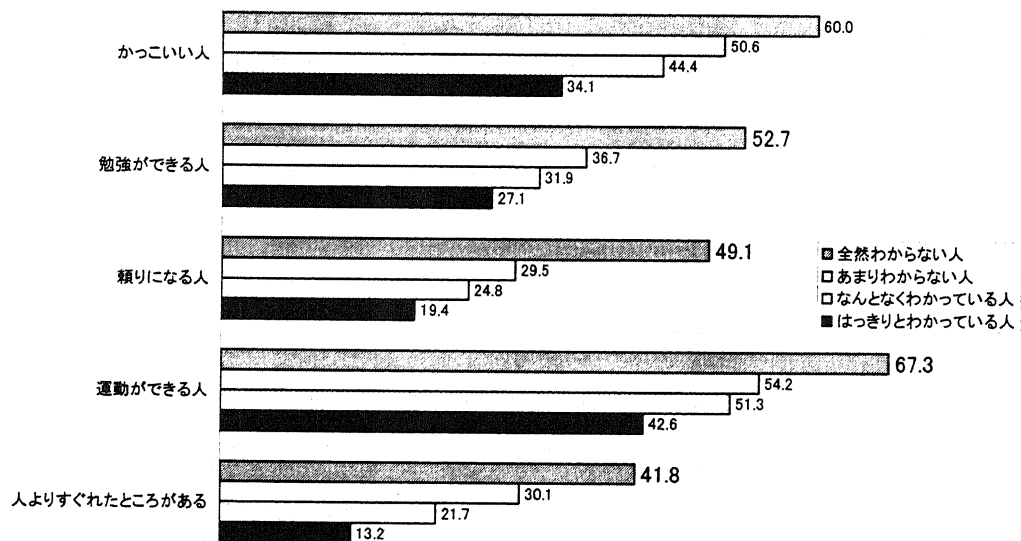


全体的には、すべての項目について、キャリア意識の高い学生は、友人から見た自分への自己評価において肯定的であり、キャリア意識の低い学生は自己評価において否定的であると言える。キャリア意識の高い学生に最も多く見られた自己肯定のキーワードは、「明るい」(64.3%)、「優しい」(63.6%)、「頼りになる」(62.0%)である。キャリア意識の低い学生において自己肯定する割合の高かった項目は、「優しい」(43.6%)、「明るい」(40.0%)、「失敗してもくよくよしない」(38.2%)である。

キャリア意識の高い学生と意識の低い学生でも最も差が見られた項目は、「頼りになる人」(36.7ポイント差)であった。ついで、「どんなことにも一生懸命である人」(28.3ポイント差)、「明るい人」(24.3ポイント差)であった。(図1)。キャリア意識の差にかかわらず、肯定する人が少なかった項目は「かっこいい人」であった。

キャリア意識の低い学生で「友人からそう思われていない」と最も否定的であった項目は、「運動ができる人」67.3%、「かっこいい人」60.0%、「勉強ができる人」52.7%であった(図2)。

図2 キャリア意識別「自分は友人からそう思われていない」割合%



(2)男性では、キャリア意識の低い学生ほど、友人から見られる自分に否定的な傾向が強く見られる。

性別ごとに、「友人からそう思われている」と思う自己肯定の割合をみると次のようであった。

まず、男性では、全体的にキャリア意識の高さと自己評価の高さが比例するように、キャリア意識の高い学生ほど、友人から見られる自分に肯定的な評価をし、意識の低い学生は否定的な傾向が見られた。

自分に向いている職業が「はっきりしている」男子学生は、「明るい人」(66.7%)、「優しい人」(65.3%)に加えて、「人よりすぐれたところがある」(65.3%)、「頼りになる人」(62.5%)と思われ

ていると自己評価する。ただし、「かっこいい人」(23.6%)と思われていると評価することには抵抗があるようだ。

一方、向いている職業が「全然わからない」男子学生は、元気さや明るさなど否定的な傾向が強いながらも、「失敗してもくよくよしない」(42.3%)し「優しい人」(30.8%)であると肯定する。また、「勉強ができる」(19.2%)「運動ができる」(3.8%)とは思われていなくても、「みんなに好かれている」(30.8%)し「人よりすぐれたところがある」(30.8%)というプライドの高い側面も見られる(図3)。

(3)女性では、キャリア意識の高さは強さや堅実さと関係している。

女性では、男性と比較するとキャリア意識による自己評価の差が小さく、キャリア意識の低い学生が否定的であるとは言えない複雑さが見られた。

たとえば、一番「明るい人」「元気な人」「どんなことにも一生懸命」だと思われていると自己評価するのは、キャリア意識別で一番層の厚かった「自分に向いている職業がなんとなくわかっている」学生であるが、この層では「頼りになる人」(45.1%)「人よりすぐれたところがある」(34.6%)であるとはあまり自己評価していない点で、「はっきりとわかっている」学生と傾向が異なっている(図4)。一方、自分に向いている職業が「全然わからない」学生でも、「優しい人」(55.2%)、「明るい人」(51.7%)、「元気な人」(48.3%)である上に「人よりすぐれたところがある」(41.0%)と自己肯定的な反面、「みんなに好かれている」とはあまり思っておらず(13.8%)、対人関係での自信のなさがうかがえる。

(4)同じキャリア意識が低い学生において、性別で傾向が異なる。

さらに、同じキャリア意識の低い学生について性別にみると、「みんなに好かれている」、「失敗してもくよくよしない」の項目以外の項目、特に「優しい人」「明るい人」「元気な人」「勉強ができる人」などの項目では、女性の方が肯定的であり、自己評価の低い傾向は男性に強く見られる(図5)。

したがって、男性と女性では、自分に向いている職業が全然わからないという状態は同様であっても、なぜわからないのかという事情が異なることが推察される。

図3 キャリア意識別男性の「友人からそう思われている」割合%

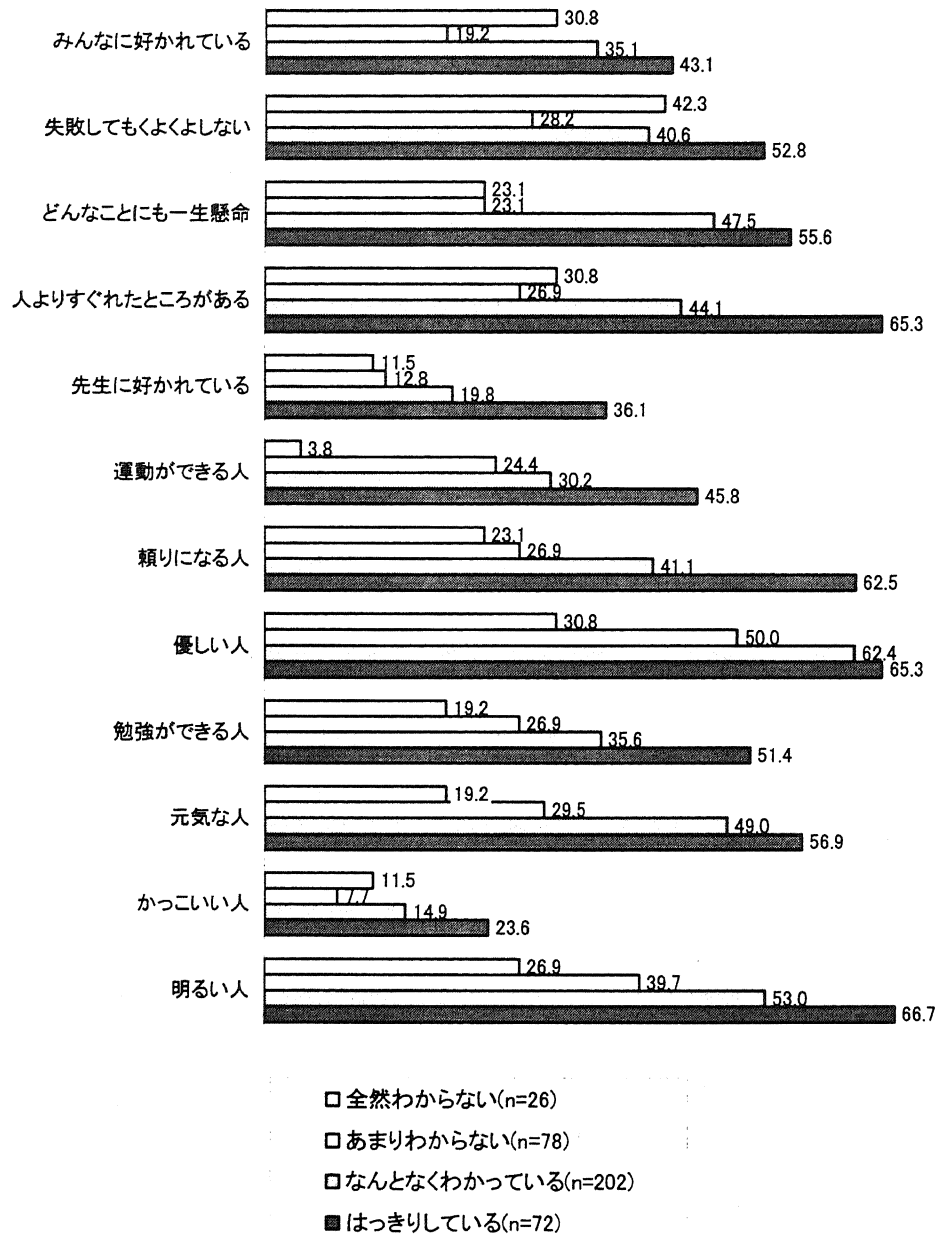
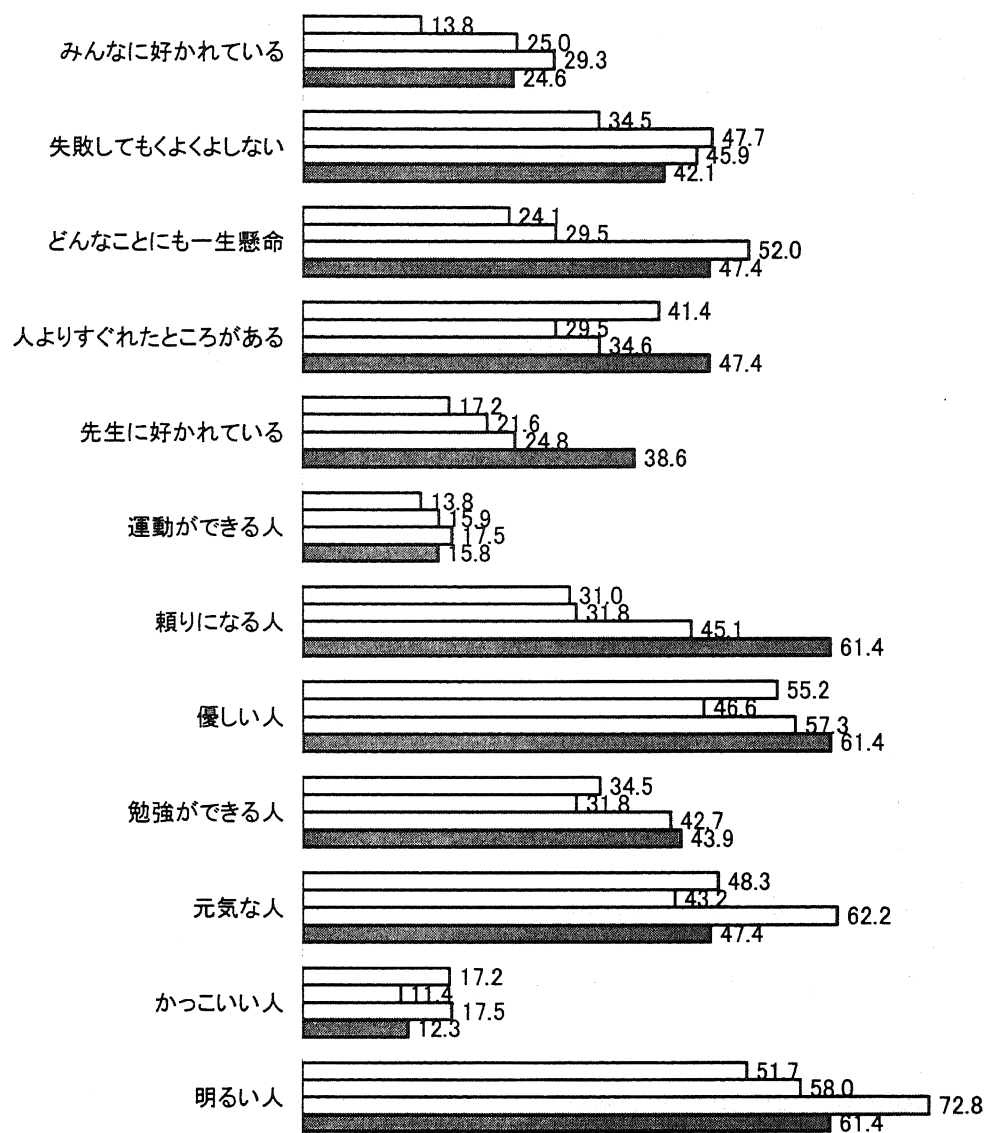
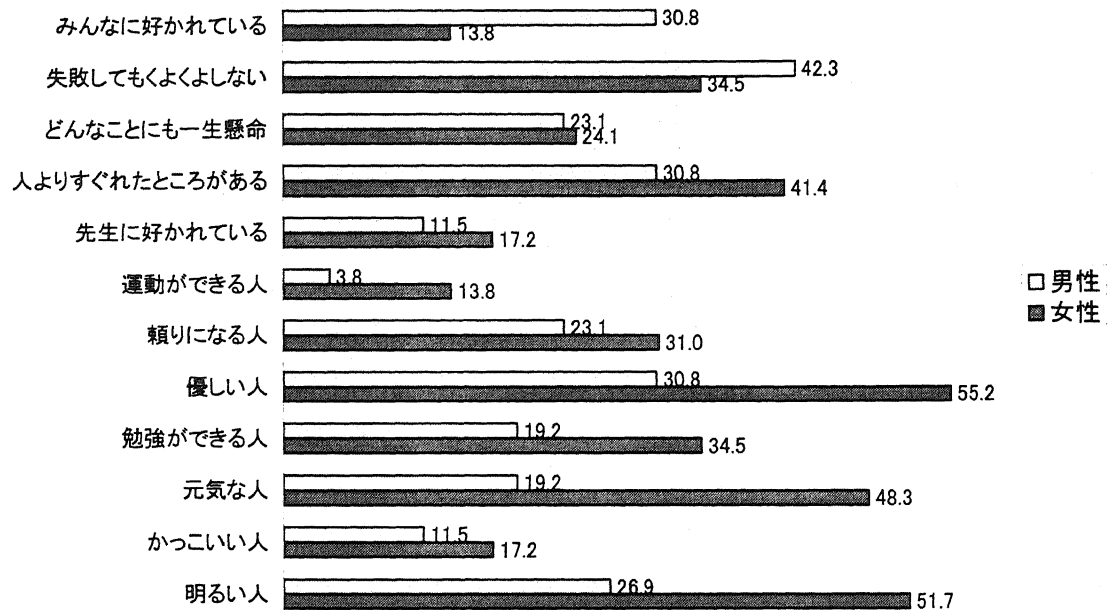


図4 キャリア意識別女性の「友人からそう思われている」割合%



- 全然わからない(n=29)
- あまりわからない(n=88)
- なんとなくわかっている(n=246)
- はっきりしている(n=57)

図5 性別に見たキャリア意識低い学生の「友人からそう思われている」割合%



4. キャリア意識と自分の行動や思考に対する自己評価

次に、自分自身に対する認識（問 22 「あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか」）とキャリア意識について見てみよう。

(1)概して、キャリア意識の高い人は自己評価も高い。

自分の向いている職業が「はっきりわかっている」人と「全然わからない」人（以下キャリア意識別）での自己評価をみると、キャリア意識の高い学生の方が、概して物事の仕組みに関心をもち、主体的かつ積極的に取り組んだり、こだわりを持っていたり、自己主張を行うなどの点で自己評価も高くなっている。「自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある」という割合は、キャリア意識の低い学生の方がやや高い。これらの状況は、性別にみるとさらに相違が現れる。

(2)男性では、キャリア意識の高い人低い人で物の仕組みや関わりについての関心に相違がある。また、キャリア意識の低い人は、生き方について悩むことも少ない。

男性では、キャリア意識の高い人はすべての項目において自己評価が高いというように、キャリア意識の差と自己評価の差との間に相関がみられる。中でも、「これはなんだろう、なぜこうなるのだろうという疑問をもつ」や「ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ」、「何かかわったことにきつくと、その原因や理由をつきとめたくなる」という、物の仕組みや関わりに関心をもちることについて、キャリア意識の高い人と低い人で大きな相違がある。たとえば、キャリア意識の低い男子学生は、物事や他にたいしてこだわりや執着、愛情が薄い傾向があると言える。

キャリア意識の差にかかわらず「自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある」という

学生の割合は高い。

(3)女性のキャリア意識は、物の仕組みへの関心、他人に対する強さと関わりがあり、キャリア意識の低い人は生き方で悩んでいる人が多い。

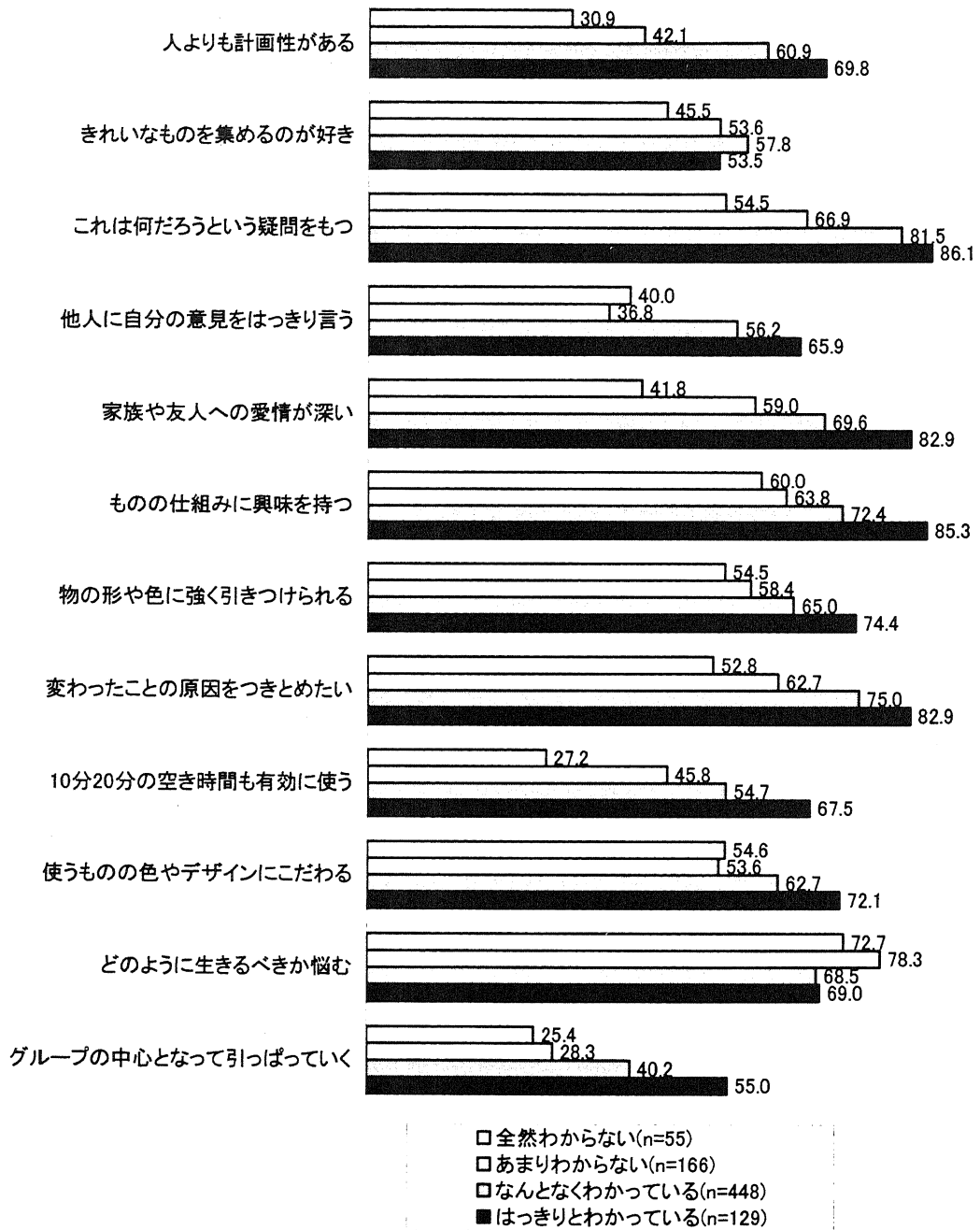
一方、女性では、男性と同様に、キャリア意識の低い学生の方が、自己評価も低い傾向は見られるものの、たとえば、「きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ」や「身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある」「自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ」などの物の外見にこだわることについては、キャリア意識別の評価に大きな相違はない。

その半面、「ものの仕組みがどうなっているのか、興味をもつ方だ」などの物の成り立ちに対する好奇心や探究心、「他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ」「グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ」などの他人に対する強さの点において、キャリア意識の低い人では評価も低くなる傾向がみられた。加えて、「自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある」についてキャリア意識の低い人の方がそう思っている割合(55.2%)がキャリア意識の高い人(42.1%)よりも高い(図7)。この割合は、男女あわせても一番高く、女性においては、生き方への悩みやこだわりが、どのようなキャリアを選択すればよいかに迷いを生じさせる要因となっていることが推察される。

(4)キャリア意識の低い学生では男女とも共通して「計画性」、「時間の使い方」、「他への愛情」、「リーダーシップ」についての自己評価の低さが見られる。

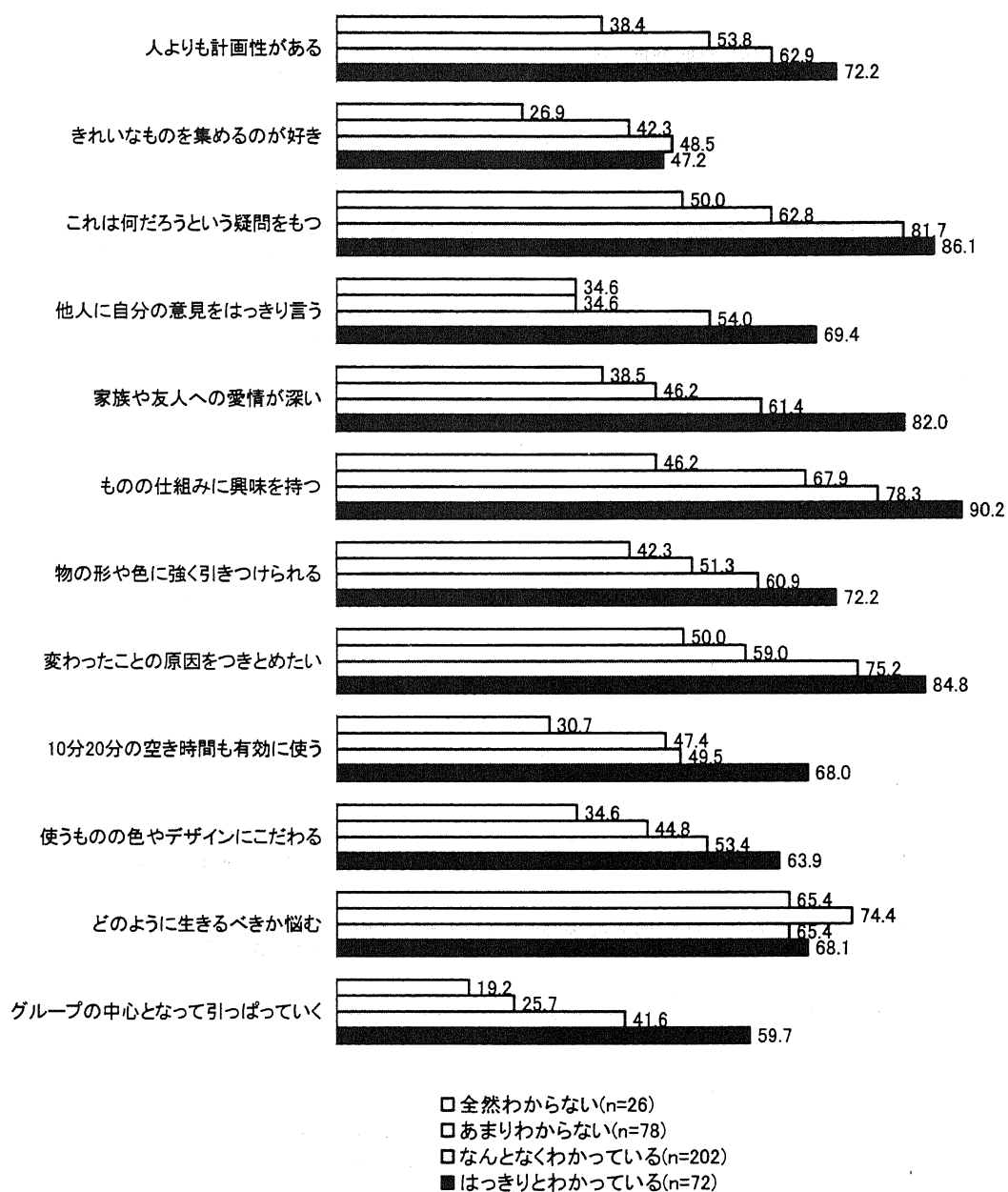
男女にかかわらず、キャリア意識の高い学生にくらべて意識の低い学生では、「人よりも計画性がある」、「家族や友人への愛情が深い」「10分20分の空き時間も有効に使う」「グループの中心となって引っばっていく」ことについて自己評価が低い。

図6 キャリア意識と自己評価(%)



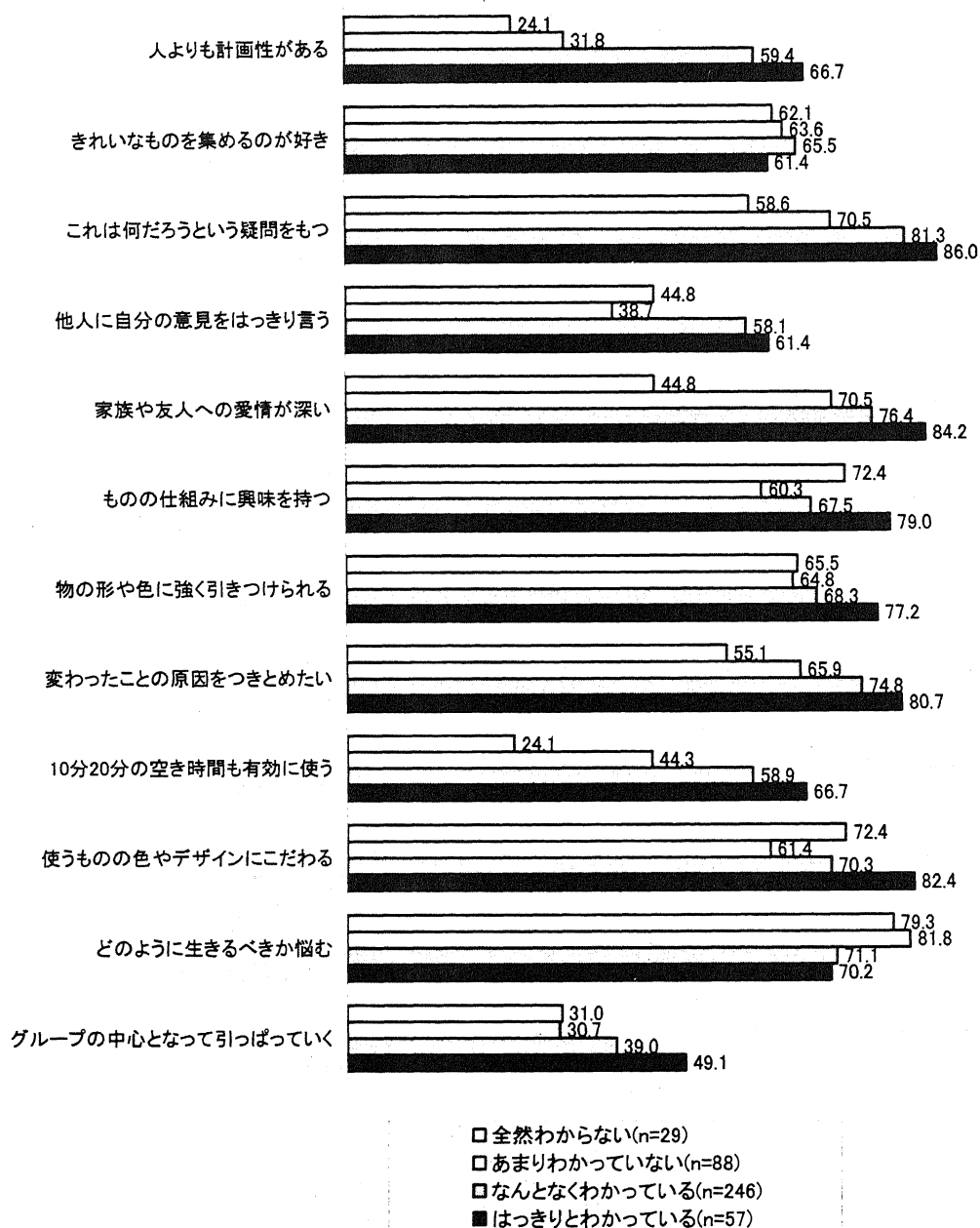
*値は、各項目について「非常にそうである」と「まあそうである」と回答した割合の合計値である。

図7 男性のキャリア意識と自己評価 (%)



*値は、各項目について「非常にそうである」と「まあそうである」と回答した割合の合計値である。

図8 女性のキャリア意識と自己評価 (%)



*値は、各項目について「非常にそうである」と「まあそうである」と回答した割合の合計値である。

5. キャリア意識と資質や能力に対する自己評価

人が自分を高く評価するとき、すなわち自信を持っているとき、それは、1つには自分の能力に対する信頼によって裏づけられている。したがって、自分自身への評価の高さは自己の能力に対する評価の高さであり、自己評価の低さ、自信のなさ、自己能力に対する自信のなさでもあるといえる。

それでは、大学生のキャリア意識の低さをもたらしている自信のなさは、どのような自己能力

とかかわりがあるのだろう。この疑問を明らかにするために、キャリア意識の高い学生（向いている職業がはっきりわかっている）と、意識の低い学生（向いている職業が全然わからない）について、大学時代に身についたと思う資質・能力を見たのが図9である（問20「あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか」。回答の割合の数値は「ともある」「まあまあある」と答えた割合の合計）。

(1)キャリア意識は、「論理的」な思考力や「問題発見力」、持続的な「熱意・意欲」などの資質や能力と関わっている。「コンピュータ活用能力」「専門能力」「体力」では差は少ない。

大学時代に培った資質や能力について、全体的にやはりキャリア意識の高い人の方が評価が高い。キャリア意識の高い人と低い人の間で大きな差（30ポイント以上の差）が見られた資質・能力は、差の大きい順に、「熱意・意欲を維持する力（34.4ポイント差）」、「論理的に考えられる力（33.1ポイント差）」、「問題を発見する力（32.2ポイント差）」、「交渉力（32.1ポイント差）」であった。

すなわち、意欲を維持する力や思考力、交渉力などについて、学生時代に身につけることができた学生とそうでない学生との格差があり、そのことがキャリア意識の形成と関連していることが推察される。

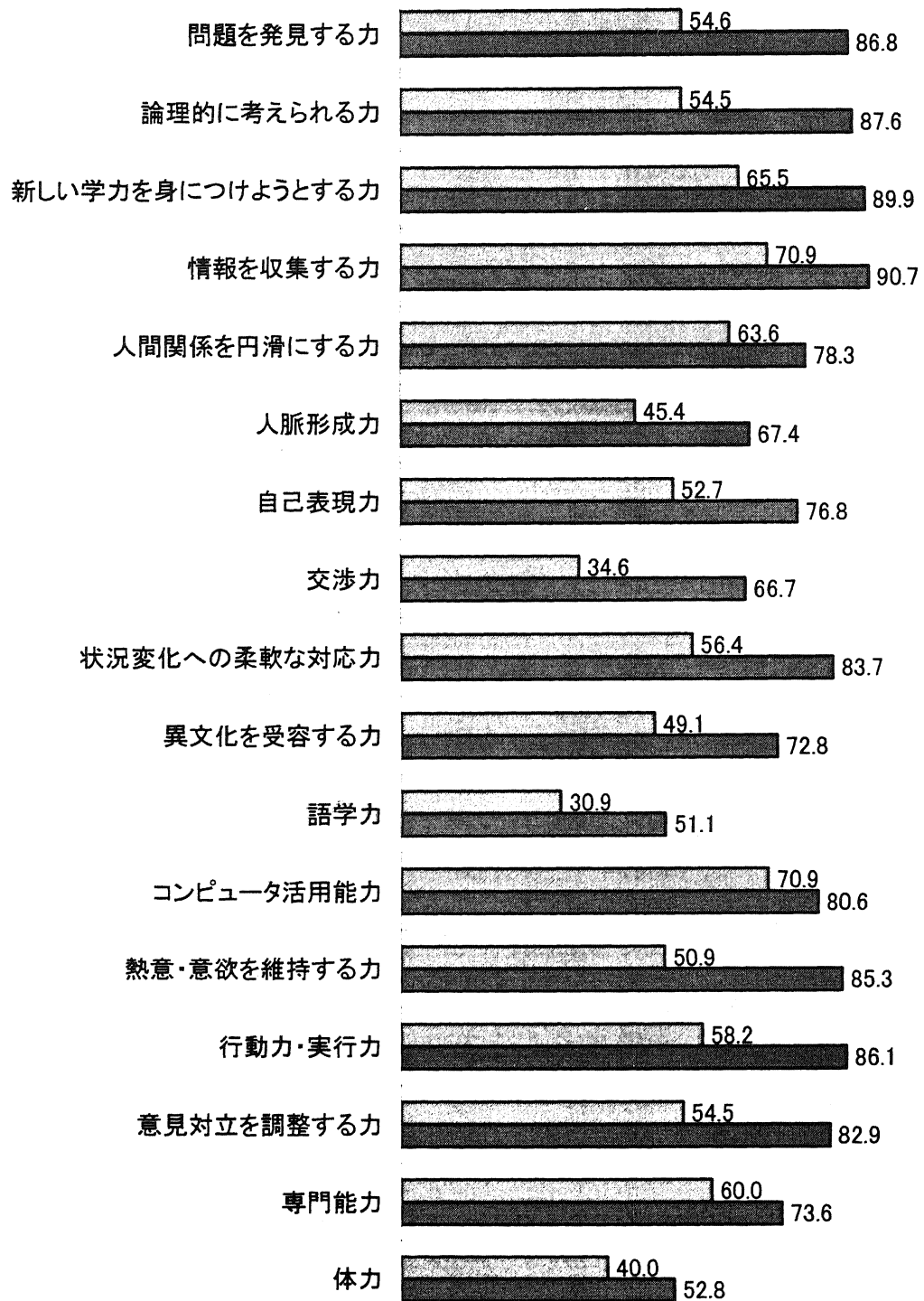
また、「コンピュータ活用能力」「専門能力」「体力」については、比較的差は小さく、このことは次の項にもあるが、性別によってもあまり関係なかった。

(2)キャリア意識によって、男性では、「行動力」や人間関係に関わる力、女性では、「意欲の持続」「論理性」「交渉力」「語学力」への資質・能力評価に差がある。

キャリア意識別の資質・能力評価を性別にみると、全体的に男性では、キャリア意識の高い人と低い人での自己能力に対する評価に差が現れていた。男性では、特に「行動力・実行力」や、「意見や利害の対立を調整する力」をはじめとする人間関係に関わる力について、キャリア意識の高い学生と低い学生で差がある。

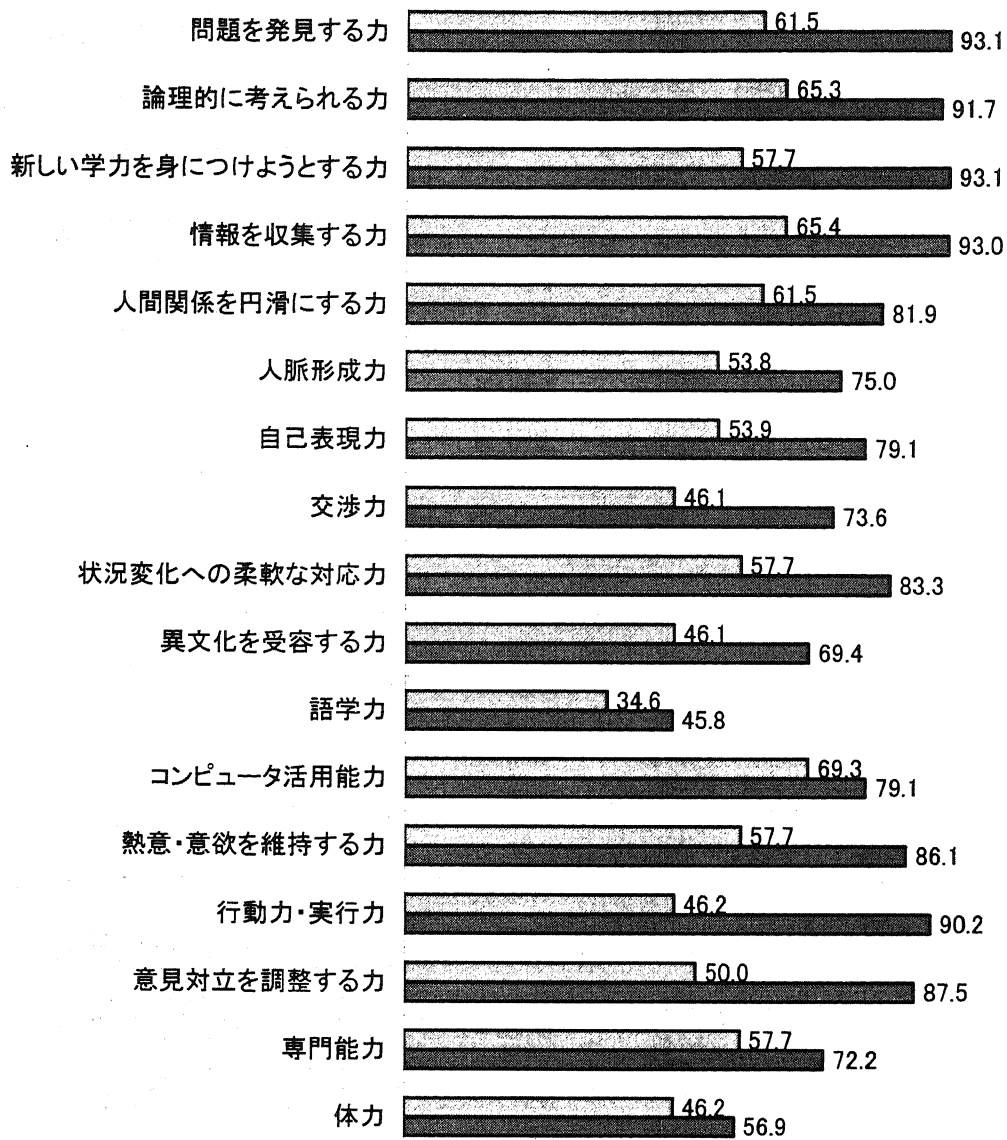
それに対して、女性では、「熱意・意欲を維持する力」、「論理的に考えられる力」「交渉力」「問題を発見する力」「語学力」などでの相違が見られる(図10, 11)。

図9 キャリア意識別、資質・能力評価(「とてもある」+「まあまあある」)(%)



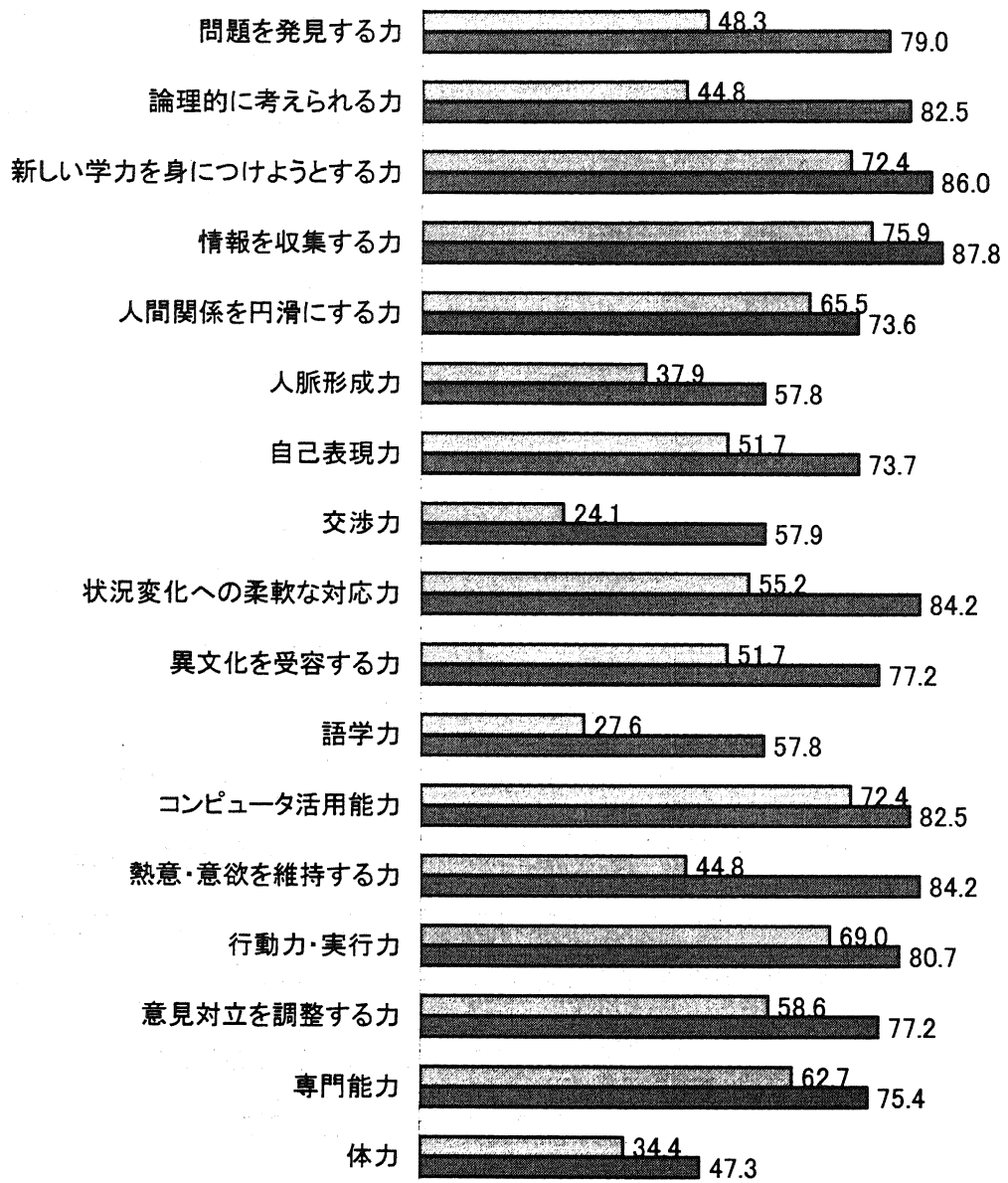
■ はつきりわかっている(n=129) □ 全然わからない(n=55)

図10 男性のキャリア意識別、資質・能力評価(%)



■ はっきりわかっている(n=72) □ 全然わからない(n=26)

図11 女性のキャリア意識別、資質・能力評価(%)



■ はっきりわかっている(n=57) □ 全然わからない(n=29)

6. まとめ

本論での分析は、サンプル数の都合上全体的な傾向の分析にとどまったが、少なくとも次のことが明らかになった。

全体的な傾向として、キャリア意識の低い学生は、意識の高い学生に比べて自己評価が低いのが特徴といえる。ただし、以下に述べるように性別によって評価の内容に相違が見られたり、評価の内容によってはキャリア意識の低い学生でもそれなりのプライドやこだわりが見られたりするなど、キャリア意識が低いからすべて自己評価が低いというほど必ずしも単純ではないということをつけ加えておく。

自己評価の内容別にまとめると、まず他人から見た自分への評価では、キャリア意識の低い大学生は「運動ができる」「勉強ができる」などと人から認められているという意識も低い傾向がある。この傾向は、特に男子学生で強く見られる。

他人からの評価で高く評価されることは「かっこいい」よりも「明るい」「優しい」「頼りになる」ことである。このうち、男女共通してキャリア意識の高低によって差が現れたのが「頼りになる」と認められているという意識であった。すなわち、人から頼りになると思われている、「明るくて優しい」と思われているという自信を持っているということが、キャリア意識の形成に影響していると言える。同時に、キャリア意識の低い学生では、人から見た自分に対する自己評価が全体的に低いながらも、男性であれば「皆に好かれている」、女性であれば「人よりすぐれたところがある」など、プライドの高い側面も見られた。

次に、自分の思考や行動に対する自己評価についてみると、キャリア意識の低い学生は、この自己評価も総じて低い傾向にある。とくにキャリア意識に関わる自分の思考や行動に対する評価項目には、男女に共通するものでは「何、なぜという疑問」「原因・理由」に対する興味関心に加えて、「家族友人への愛情」の深さの項目があげられ、やはり性別によって相違がある。

具体的にあげると、男性では「ものの仕組み」への関心や「グループの中心になる」、女性では「計画性」「空き時間の有効な使用」の項目で、キャリア意識の低い学生は評価が低い。また、「自分はどのように生きるべきかと悩むことがある」についての評価では男性では自己評価が低いのにに対し、女性では、むしろキャリア意識の低い学生ほど悩んでいる傾向が見られた。

大学時代に身についた資質や能力に対する評価との関係で見ると、「専門能力」や「コンピュータ活用能力」のような力よりも、問題発見力や交渉力などの一歩踏み出して他と深く関わる力が身についたという評価が、自分の職業に対する決断と関わっていることも明らかとなった。加えて男性では特に行動力や実行力、女性では意欲の維持や論理的思考力に対する自信が、キャリア意識の形成と関わっていることも見えてきた。

以上の分析結果が学生へのキャリア支援に対して示唆することは、何であろうか。

キャリア意識の低い学生について言えば、意外にプライドが高いところもありながら、自分で一歩を踏み出す勇気や自信がない。自分の生き方に悩みはしても、その悩みを解決したり、欲しいものを手に入れたりするには、自分で決断し動いて、他と関わらなければならないのだということと結びついていないようである。

就職に必要な能力というと、すぐに資格の取れる専門能力やスキルが思い浮かぶ。勿論こうした能力が必要なことは、学生も敏感に反応しており、今回の調査でもコンピュータ活用能力や専

門能力は、キャリア意識にかかわらず大学 4 年間で身についたとする割合が高い。しかしながら、本質的なキャリア意識の形成には、他人に認められたという自信、思考力、コミュニケーション力など、他と直接関わろうとする力を向上させる学習支援が必要であろう。とくに、コミュニケーション力については、近年、学生を採用する側の企業が望む学生の能力の筆頭にあげられており、キャリア意識形成において不可欠の要素と言える。

さらに、キャリア意識の低い学生では、「考える」ということにおいて、ものの仕組みや物事を進める上での計画性など、全体の構造やプロセスを考え組み立てるという力が弱いという意識が見られた。こうした意識の傾向から、キャリア意識の低い学生は、自分自身で目標を設定し、実現のプロセスを設計し、時間管理を行いながら実行して、評価する(振り返る)ことができる、すなわちプロセスで物事を考え行動する力が弱いということがわかる。このことが、結果としてキャリア意識という自分の人生のプロセスを考えることの弱さにつながることは、容易に予想がつく。

また、キャリア意識については、男女の性差によって傾向が異なる点が多く見られた。男性では人からどのように見られているか、人に認められているかがより強く影響していたし、女性では、むしろ「元気よさ」「明るさ」などの外見的な自己評価よりも、論理性や交渉力のような内面的な強さや語学力が、より強く影響していた。このような性別による相違を考慮した支援を考慮する必要がある。

今後は、このような資質や能力の向上に、大学教育においてどのような支援が可能であるのか、その具体的な方策について検討していきたい。

注

(1) 小谷敏『若者たちの変貌』世界思想、1998年、219頁

参考文献

- (1) R.J. スタンバーグ、松村暢隆・比留間太白訳『思考スタイル』新曜社、2000年
- (2) 溝上慎一編『大学生論—戦後大学生論の系譜をふまえて』ナカニシヤ出版、2002年
- (3) 原孝『大学で「自分」を見つけた』プレジデント社、2003年
- (4) 香山リカ『就職がこわい』講談社、2004年

II-3 大学生の就職活動とキャリア発達

独立行政法人労働政策研究・研修機構職業生活グループ副主任研究員

下村 英雄

1. はじめに

子どものキャリア発達の程度が十分なレベルに達したということ、我々はどうのようにして知ることができるだろうか。

子どものキャリア発達の基準としては、これまで様々なものが提案されてきた。例えば、小学生から高校生段階に至るキャリア発達の基準であれば、国立教育政策研究所生徒指導研究センター(2002)が示した「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み」が、現在、日本では最も知られているキャリア発達のガイドラインである。このフレームワークは、専門家による綿密な議論によって理論的にも内容的にも練り上げられたものであり、キャリア教育の実践においても有益なアクションプランを提供する。

それでは、大学生のキャリア発達の基準とは何だろうか。「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み」に基づけば、やはり大学生においても「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」ということになるであろう。

しかし、現在の日本の大学生には、「能力」の観点以外により現実的な基準があるように思われる。例えば、大学生の就職率が6割を切り、相当数の大学生が就職も進学もせず無業のまま卒業していくという日本の現状では、就職先の如何によらず就職することができたか否かも1つの指標となるであろう。フリーターやニートなどの若年不安定就労が問題となっている昨今、大卒時に正規就労できるか否かは、その後の若年キャリアに多大な影響を与える。当然のことながら、大学生にとって就職しやすく、その後の安定的なキャリア形成およびスキル形成に見通しが立てられる臨界期は、求人の絶対量が多い大学卒業時である。日本の大学生の現状に照らしてみた場合、キャリア発達の1つの基準は、一定の就職活動期間中に実際に上首尾に就職を決めることができたか否かということになるのではないだろうか。実際の就職に結びつかないキャリア発達は、たとえどのような面で発達がみられていたとしても、やはり不十分である。小中高のキャリア教育の成果として身に付いた能力は、やはり最終的には具体的な就職先選択に結びつかなければならないのではないだろうか。

以上のことから、本章では、あえて大学生のキャリア発達を「大学生の就職活動が上首尾に終わられたのか否か」といった観点から検討することとする。具体的には、就職を希望して就職活動を行っており、かつ調査時点で就職活動を既に終えた学生を「就職活動終了者」とし、就職活動を行っているにもかかわらず調査時点で就職活動を終わられていない学生を「就職活動未終了者」とし、この両者を比較検討する。

大学生のキャリア発達は、結局のところ、就職先選択の問題に帰着する。大学生のキャリア発達の問題を、あえて就職先の選択がうまくいったか否かという視点から検討することにより、より明確な形で見えてくる問題もあると考える。そして、本章の分析の結果、おぼろげながら見えてくる問題にこそ、極めて現実的な大学生のキャリア発達の基準を考察する手がかりがあるのではないだろうか。

2. 大学生の就職活動状況の違い

図表1に、調査時点における就職活動状況を示した。現在、就職活動中の学生は31.5%、就職活動を終了した学生は31.0%と、ほぼ同じ割合になっている。また、大学院に進学予定の学生も多く22.3%となっている。

現在、就職活動中の学生と就職活動を終了した学生が、ほぼ同数であったが、調査時点で就職活動を終了した学生とそうでない学生では、就職活動にどのような違いがあったのだろうか。本章では、まず、現在の大学生の就職活動の様子を詳しく見ていくこととする。

図表1 就職活動終了者・未終了者別の大学生の就職活動状況

	人数	%
就職活動中	255	31.5%
就職活動は終了した	251	31.0%
就職に関係する「スクール」に進学	35	4.3%
大学院に進学予定	181	22.3%
その他	85	10.5%
無回答	3	0.4%
合計	810	100

(1) 就職活動終了者および未終了者の就職活動の違い

就職活動で行った活動についてみると、「エントリーシート」「会社説明会」「筆記試験」「OB・OG」「面接」の全てにおいて、就職活動を終了した学生よりも未終了の学生の方が、活動量が多いことが示される。

例えば、「就職活動を終了した」は、約9割以上が「エントリーシート」を提出したと回答しているのに対して、就職活動が終わっていない学生では8割弱の学生しか「エントリーシート」を提出していない。その他の全ての活動について同様の傾向がみられる(図表2)。

このことは、具体的に何枚エントリーシートを提出したか、何回会社説明会を行ったかといった観点からみても同様であり、全ての活動において就職活動を終了した者は終わっていない者に比べて活動量が多い(図表3)。

図表2 就職活動終了者・未終了者別の大学生が就職活動で行った活動(その1)

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了 (N=251)
エントリーシートの提出	76.9%	95.6%
会社説明会(セミナー)出席	80.0%	97.2%
筆記試験	78.0%	96.0%
OB・OGと会った	23.9%	37.1%
会社で面接	71.8%	96.0%

X²検定 ** p<.01

図表3 就職活動終了者・未終了者別の大学生が就職活動で行った活動(その2)

	就職活動未終了(N=255)			就職活動終了(N=251)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
エントリーシートの提出(枚)	10.4	12.9	5	18.7	22.0	10
会社説明会(セミナー)出席(回)	10.9	12.6	6	21.8	20.6	15
筆記試験(回)	6.1	7.4	3	12.3	10.4	10
OB・OGと会った人数(人)	0.8	2.0	0	2.8	15.4	0
面接した会社(社)	4.4	5.8	3	10.2	9.7	8
のべ面接回数(回)	6.4	8.6	4	18.9	18.9	15
内定取得数(社)	0.3	0.8	0	1.9	1.4	2

マンホイットニーのU検定 ** p<.01

(2) 就職活動終了者および未終了者が就職活動で重視する情報源の違い

就職活動終了者と未終了者は、それぞれ就職活動でどんな情報を重視し、どんな選択基準を重視し、どんな事ごとに努力を傾けたのだろうか。

まず、就職活動で重視した情報源についてみると、就職活動を終了した学生が重視した情報源と、就職活動が終わっていない学生が重視した情報源に、一定の特徴があることが分かる(図表4)。

図表4 就職活動終了者・未終了者別の大学生が就職活動で重視した情報源

	就職活動未 終了(N=255)	就職活動終 了(N=251)	差	sig.
企業等のホームページで知った	34.1%	<u>56.6%</u>	22.5%	**
会社説明会・セミナー	40.8%	<u>61.4%</u>	20.6%	**
就職情報サイトで知った	42.7%	<u>57.4%</u>	14.6%	**
先輩(OB・OG)から話を聞いた	12.5%	<u>22.7%</u>	10.2%	**
大学の就職部で情報を得た	<u>24.3%</u>	16.3%	-8.0%	*
その仕事をしているところを見た	<u>21.2%</u>	13.1%	-8.0%	**
就職雑誌で調べた	15.3%	21.9%	6.6%	
テレビや映画で見た	<u>11.8%</u>	5.6%	-6.2%	*
就職ガイダンスで紹介された	18.0%	23.9%	5.9%	
本やマンガで読んだ	<u>10.2%</u>	5.2%	-5.0%	*
アルバイトをした	11.4%	6.4%	-5.0%	
ボランティアで体験をした	<u>5.1%</u>	0.4%	-4.7%	**
父親にすすめられた	4.7%	8.8%	4.1%	
友だちとの話で聞いた	13.3%	17.1%	3.8%	
大学の講義で聞いた	15.7%	12.4%	-3.3%	
自分で考えた	55.3%	58.6%	3.3%	
大学に入ってからインターンシップで経験した	3.1%	6.4%	3.2%	
先生から聞いた	10.2%	7.2%	-3.0%	
母親にすすめられた	8.2%	9.2%	0.9%	
父親がその職業に就いている	2.4%	1.6%	-0.8%	
高校までに職場体験をした	1.2%	0.8%	-0.4%	
母親がその職業に就いている	1.2%	0.8%	-0.4%	

χ^2 検定 ** p<.01 * p<.05

例えば、就職活動を既に終了した学生の方が重視した情報は、「企業等のホームページで知った」「会社説明会・セミナー」「就職情報サイトで知った」「先輩（OB・OG）から話を聞いた」であり、どちらかと言えば、企業側から提示された情報を重視している。特に、「会社説明会・セミナー」「先輩（OB・OG）」は、実際の企業人に直接出会うことによって情報が得られるが、こうしたリアルな企業人の情報を特に重視している。

一方、就職活動を未だ終了していない学生が重視した情報は、「大学の就職部で情報を得た」「その仕事をしているところを見た」「テレビや映画で見た」「本やマンガで読んだ」「ボランティアで体験をした」であり、どちらかと言えば、学生の生活圏内で自然に接する情報源を重視していると言える。特に、本・マンガ・テレビ・映画などの情報をより重視しているという結果からは、就職に関するあまりリアルな情報源にアクセスしているとは評価しにくい。

この結果からは、就職活動を既に終了した学生の方が、企業側からのリアルな情報を重視しているといった傾向が読み取れるであろう。

(3) 就職活動終了者および未終了者が就職活動で重視する情報内容の違い

就職活動で重視する情報内容について、就職活動終了者と未終了者が就職先決定に際して重視する事ごらを比較した結果（図表5）、就職活動を既に終了した学生は、「企業名等のブランド」「業績・規模」「将来性」「能力を高める機会があること」「職場の雰囲気」「仕事の社会的意義」「仕事の内容」を重視したことが分かる。概して言えば、就職活動を既に終了した学生は、企業ブランド、規模、将来を含めた企業の属性を厳しく査定しようとしていることが分かる。また、実際に自分が働くにあたって職場の雰囲気が良いか悪いかも判断しようとしている。

そもそも、就職活動が未だ終わっていない者は、基本的にはほとんどの項目を、就職活動が既に終了した者よりも重視しておらず、就職先決定そのものを重視する程度が低いということも考えられるであろう。

図表5 就職活動終了者・未終了者別の就職先を決定する際に重視する情報内容

	就職活動未 終了(N=255)	就職活動終 了(N=251)	差	sig.
企業名等のブランド	2.13	<u>2.50</u>	0.37	**
業績・規模	2.49	<u>2.77</u>	0.28	**
将来性	2.98	<u>3.21</u>	0.23	**
能力を高める機会があること	3.09	<u>3.29</u>	0.21	**
職場の雰囲気	3.34	<u>3.53</u>	0.19	**
仕事の社会的意義	2.92	<u>3.09</u>	0.17	*
勤務地	<u>3.15</u>	2.99	-0.17	
仕事の内容	3.58	<u>3.74</u>	0.16	**
事業や雇用の安定性	3.03	3.16	0.12	
通勤の便	3.04	2.93	-0.12	
自分を生かすこと	3.32	3.44	0.12	
福利厚生充実	2.88	2.98	0.11	
収入	3.02	3.12	0.10	
労働時間	3.10	3.06	-0.04	
専門的な知識や技能をいかせること	2.93	2.93	0.00	
育児休暇や介護休暇などの家庭配慮の制度	2.91	2.90	0.00	

t検定 ** p<.01 * p<.05 「1 全然重視しない」～「4 とても重視する」の4件法

(4) 就職活動終了者および未終了者が就職にあたって努力した事からの違い

それでは、就職活動終了者と未終了者で、どのようなことに努力を傾けたのであろうか。この点について、就職活動を既に終了した学生と未だ終わっていない学生では、「情報を収集する」「人脈をひろげる」「多様な経験により人間的な魅力を高める」「面接のためにプレゼンテーション能力を高める」の面で違いがみられた(図表6)。

就職活動を終了した学生が「情報を収集する」ことに努力したことは、上で、企業側からのリアルな情報を重視していたことと共通する。また、「人脈をひろげる」ことに努力を傾けるのも、あるいは情報源の確保といった面があるかもしれない。「多様な経験により人間的な魅力を高める」ことに努力する理由として、就職活動を終了した学生の向上心や積極性のようなものを推察することもできる。ただし、より現実的には「面接のためにプレゼンテーション能力を高める」といった意味あい、人間的な魅力を高めたいと考えたとも言えるであろう。

図表6 就職活動終了者・未終了者別の職業に就くにあたって努力した事から

	就職活動 未終了 (N=255)	就職活動 終了 (N=251)	差	sig.
面接のためにプレゼンテーション能力を高める	2.29	<u>2.56</u>	0.27	**
多様な経験により人間的な魅力を高める	2.78	<u>3.01</u>	0.23	**
情報を収集する	3.10	<u>3.31</u>	0.21	**
人脈をひろげる	2.16	<u>2.37</u>	0.21	**
就職のための試験勉強をする	2.65	2.54	-0.11	
知識や教養を深める	2.98	3.07	0.09	
専門的な技能や技術をみがく	2.58	2.53	-0.05	
スタイルや容姿を良くする	2.14	2.18	0.05	
資格や検定をとる	2.54	2.56	0.02	
体力をつける	2.34	2.34	0.00	

t検定 ** p<.01 「1 全然努力していない」~「4 とても努力している」の4件法

一方で、これらの項目においても、図表5でみた「就職先決定に際して重視する情報内容」と同様、就職活動が未だ終わっていない学生は、全般的に平均値が低く、そもそも就職活動にそれほど多くの努力を傾けていないという解釈も可能であろう。

以上、就職活動終了者と未終了者が就職活動で重視する事からの違いに関しては、調査時点で就職活動を既に終了している学生は、企業から発信された情報、特に、実際の企業人に接して得られるリアルな情報を重視し、内容的には、企業のブランド、業績・規模、将来性などの企業属性に関する情報を十していたことが分かる。また、こうした情報収集以外にも人脈、人間的な魅力、プレゼンテーション能力などにも、就職活動を既に終了した学生は注力していた。一方、就職活動を未だ終了していない学生は、学生の生活圏内で自然に接する情報源を重視しており、就職活動に際して全般的に何を重視したとか、努力したと回答する程度が、相対的に低い。全般的に、就職活動を未だ終了していない学生に関しては、そもそも就職活動に積極的ではない印象も受ける。

実際、調査時点で未だ就職活動が終わっていない学生の中には、教員や公務員が本命であり、就職活動にはあまり積極的でない学生も含まれている。現在の志望進路に対する自由記述欄に回答があった学生だけでも、約15%が公務員または教員志望である。そのため、企業に就職することそのものに、あまり積極的でないといった結果がみられるのは当然とも言える。しかし、実際には、公務員または教員志望であることが自由記述からはっきりと分かる学生を除いた場合も同様の結果が得られている。また、この時点で就職活動も掛け持ちで行っているという状況からは、教員や公務員もそれほどの真剣さで希望しているのではない可能性も考えられる。

3. 就職活動終了者および未終了者の価値観・社会観の違い

(1) 就職活動終了者および未終了者の価値観の違い

前節では、就職活動終了者と未終了者では、就職活動で何を重視するのか、また、何に努力を傾けたのかに大きな違いがみられる。本節では、こうした就職活動の違いが、どのような意識に基づくのかを見ていく。

まず、就職活動終了者と未終了者の価値観の違いについて検討する。就職活動を既に終了した学生と未だ終わっていない学生で、最も大きな違いがみられた項目は、「就職は有力なコネ（知り合いがいること）で決まる」であり、就職活動が未だ終わっていない学生の方が値が大きかった。同様に、就職活動が未だ終わっていない学生の方が値が大きかった項目は、「同じ組織で一生働くのはつまらない」「職場の人と個人的なつきあいをしたくない」「組織はいつまでも自分を守ってくれない」などの項目であった。これら結果から、就職活動が未だ終わっていない学生では、就職活動が自分の努力というよりはむしろ「コネ」で決まるものであるという認識が強いこと、また、組織との一体感を求める傾向が少なく、ある面では組織一般に対する不信感のようなものを感じていることなどが推測される。

一方で、就職活動が既に終わった者の方が値が大きかった項目は、「たとえ、望む仕事につけなかったとしても、我慢して働くべきである」「仕事は人生における生きがいである」などであった。「仕事」第一主義とも呼べる傾向が強いことが推測される。

就職活動を既に終了した学生と未だ終わっていない学生では、「組織観」「仕事観」といったものに大きな違いがみられることが分かる。この価値観の相違が、本来、持っている価値観の違いであるのか、それとも、就職活動の進行ぐあいによるものであるかは、このデータからは不明である。しかし、就職活動を終了した者と終了していない者が、ちょうど半々になったこの時期に、両者の「組織観」「仕事観」に違いがみられているということは、それほど軽い結果ではない。初職選択の結果が、価値観の相違と密接にリンクしているという結果からは、いくつかの示唆が引き出せる。例えば、就職活動未終了者の「組織忌避」的な価値観、就職活動終了者の「仕事第一主義」的な価値観は、その後の大卒フリーターと大卒正社員の価値観の相違までも予感させるものとも解釈できよう。

図表7 就職活動終了者・未終了者別の価値観

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了 (N=251)	差	sig.
就職は有力なコネ(知り合いがいること)で決まる	2.49	2.12	-0.37	**
たとえ、望む仕事につけなかったとしても、我慢して働くべきである	2.60	2.80	0.20	**
仕事は人生における生きがいである	2.69	2.86	0.17	*
同じ組織で一生働くのはつまらない	2.51	2.34	-0.17	*
職場の人と個人的なつきあいをしたくない	1.98	1.82	-0.16	*
組織はいつまでも自分を守ってくれない	2.99	2.84	-0.15	*
働かなくても批難されない風潮がフリーターを増加させている	2.55	2.67	0.12	
お金に困らなければ、わざわざ望まない仕事につく必要はない	2.75	2.65	-0.10	
キャリアアップのための転職は当然である	2.75	2.84	0.09	
ベンチャー企業につとめたい	2.07	1.99	-0.08	
出世のために能力以上の無理をする必要はない	2.52	2.47	-0.06	
希望する仕事につくために、どういう勉強をすればよいかを考えなければならない	3.11	3.16	0.05	
組織の業績をあげるためにはチームワークよりも構成員の能力や資質が大切である	2.34	2.33	-0.01	

t検定 ** p<.01 * p<.05 「1 全然そう思わない」～「4 とてもそう思う」の4件法

(2) 就職活動終了者および未終了者の社会観の違い

本調査では、価値観に類似の項目として、社会観についても質問を行った。就職活動終了者と未終了者で、最も大きな違いがみられた項目は「今の世の中はこつこつ働いても評価されない」であり、就職活動を未だ終わっていない学生の方が値が大きかった。他に、就職活動未終了者の方が値が大きかった項目は「今の社会は、貧富の差が大きい」であった(図表8)。この両者の項目からは、就職活動が未だ終わっていない者の社会に対する無力感や軽い絶望感のようなものを推測できる。

一方、社会観においても、就職活動を既に終えた学生は、いろいろな意味でポジティブな社会観をもっていた。就職活動を既に終えた学生の方が値が大きかった項目は、「社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である」「社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ」「仕事をするには、都会のほうが都合がよい」「結婚はしたほうがいい」「毎日を大切に生きることが大事である」「努力することは大事である」「約束の時間は、守らなければならない」などである。社会的な評価を重視し、社会保険制度の重要性も認識し、仕事をするために都会が良いと考え、結婚もすべきだと考えている。また、毎日を大切に、努力をし、約束を守るべきだとする考え方には、日々の生活に対する誠実さや生真面目さといったものまで透かし見ることができよう。こうした社会観は、保守的であるとも評価される面もあろうが、一方で、現在の社会に対する信頼感があり、肯定的な感じ方を持っているとも言えるであろう。

図表8 就職活動終了者・未終了者別の社会観

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了 (N=251)	差	sig.
今の世の中はこつこつ働いても評価されない	36.0%	22.8%	-13.2%	**
社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である	28.9%	39.6%	10.7%	*
社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ	46.8%	56.6%	9.8%	*
仕事をするには、都会のほうが都合がよい	52.0%	61.2%	9.2%	*
結婚はしたほうがよい	52.6%	61.7%	9.1%	*
今の社会は、貧富の差が大きい	62.7%	53.6%	-9.1%	*
子どもを育てるべきだ	61.1%	69.2%	8.1%	
毎日を大切に生きることが大事である	75.9%	84.0%	8.1%	*
これからの世の中は夢や希望に満ちている	24.6%	31.6%	7.0%	
努力することは大事である	85.8%	92.4%	6.6%	*
約束の時間は、守らなければならない	86.2%	92.0%	5.8%	*
女の人、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい	30.8%	36.0%	5.2%	
先のことを今考えても仕方がない	20.7%	16.1%	-4.7%	
高齢者の世話は、できるだけしなければいけない	57.1%	61.6%	4.5%	
男の人、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい	62.1%	65.7%	3.7%	
人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない	74.5%	77.6%	3.1%	
女の人、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である	32.4%	34.3%	1.9%	
平凡でも安定した暮らしをしたい	62.5%	62.7%	0.2%	
男の人、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である	32.3%	32.4%	0.1%	

4. 就職活動終了者および未終了者の「大学時代に身についた資質・能力」の違い

現在の社会に対する信頼感や肯定的な構えは、大学時代に身についた資質や能力といった点でも現れている。図表9は、就職活動終了者と未終了者で大学時代にどんな資質や能力が身についたと思うかを訊ねた結果である。

特徴は、ほぼ全ての項目で、就職活動を既に終了した学生の方が大学時代に資質・能力が身についたと回答している点である。なかでも「人脈形成力」「状況の変化に柔軟に対応する力」「自己表現力」「人間関係を円滑にする力」「熱意・意欲を維持する力」「常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力」「行動力・実行力」「意見や利害の対立を調整する力」は、就職活動が未だ終了していない学生と比べて特に値が高くなっている。概して言えば、人脈を作り、自分を適切に表現し、人間関係を円滑にし、意見や利害の調整を行うといった対人コミュニケーションに関連する資質・能力が多く挙げられている。その他、状況に対応し、意欲を維持して、新しい知識や経験を求め、具体的な行動に移す資質・能力も多く挙げられている。

この結果は様々な面から解釈しうるが、少なくとも就職活動を既に終了した学生は、大学教育から多くのことを学んだと感じていることが言えるであろう。そして、大学教育も社会における大がかりなシステムの1つである以上、前節で述べた「現在の社会に対する信頼感や肯定的な構え」を、やはり就職活動を既に終了した学生は持っていると言えるであろう。

図表9 就職活動終了者・未終了者別の大学時代に身についた資質・能力

	就職活動未 終了 (N=255)	就職活動終 了(N=251)	差	sig.
人脈形成力	2.61	<u>2.90</u>	0.29	**
状況の変化に柔軟に対応する力	2.92	<u>3.17</u>	0.25	**
自己表現力	2.74	<u>2.98</u>	0.24	**
人間関係を円滑にする力	2.94	<u>3.16</u>	0.22	**
熱意・意欲を維持する力	2.76	<u>2.97</u>	0.22	**
常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力	3.07	<u>3.27</u>	0.20	**
行動力・実行力	2.96	<u>3.16</u>	0.20	**
意見や利害の対立を調整する力	2.80	<u>2.98</u>	0.18	*
交渉力	2.55	2.69	0.14	
コンピューター活用能力	3.14	3.26	0.13	
問題を発見する力	2.84	2.96	0.12	
論理的に考えられる力	2.96	3.07	0.11	
情報を収集する力	3.22	3.32	0.10	
体力	2.33	2.40	0.07	
語学力	2.26	2.29	0.04	
異文化を受容する力	2.80	2.82	0.03	
専門能力	2.77	2.75	-0.01	

t検定 ** p<.01 * p<.05 「1 全然身についたと思わない」～「4 とても身についたと思う」の4件法

5. 就職活動終了者および未終了者の他者評価および自己評価の違い

(1) 就職活動終了者および未終了者の他者評価の違い

「大学の友人たちから、どのように見られていると思うか」といった他者からの評価の面でも、就職活動を既に終了した学生と未だ終了していない学生では回答傾向が異なっていた。図表10は、その結果であるが、総じて、就職活動を既に終了した学生の方が他人からよく思われていると認識している。特に、「元気な人」「勉強ができる人」「明るい人」「どんなことにも一生懸命である人」「人よりすぐれたところがある人」「みんなに好かれている人」「運動ができる人」「失敗してもくよくよしなない人」などで大きな違いがみられた。

これらの結果から、就職活動を既に終了した学生は、多側面について他者からよく見られていると考えていると言える。ただし、細かくみた場合には、特に、元気であり、明るく、みんなに好かれているという対人的な側面、勉強ができて、人より優れていて、運動もできるという達成的な側面で、他者からよく思われていると考えている。

逆に、就職活動を未だ終了していない学生は、全般的に他者からの評価が良くないと思っており、こうした「他者評価の自己認知」の低さが、就職活動場面における自信の無さにつながっている可能性も指摘できよう。

図表10 就職活動終了者・未終了者別の「他者からの評価」

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了 (N=251)	差	sig.
元気な人	46.1%	61.8%	15.8%	**
勉強ができる人	29.9%	44.6%	14.7%	**
明るい人	55.3%	69.2%	13.9%	**
どんなことにも一生懸命である人	38.9%	52.8%	13.9%	**
人よりすぐれたところがある人	33.5%	46.6%	13.1%	**
みんなに好かれている人	26.6%	38.5%	11.9%	**
運動ができる人	18.2%	28.0%	9.8%	*
失敗してもよくよしない人	40.7%	49.6%	8.9%	*
頼りになる人	40.6%	49.0%	8.4%	
先生に好かれている人	19.8%	24.5%	4.7%	
優しい人	59.7%	62.8%	3.1%	
カッコいい人	14.2%	14.9%	0.7%	

χ²検定 ** p<.01 * p<.05

(2) 就職活動終了者および未終了者の自己評価の違い

図表11には、就職活動終了者と未終了者の自己評価の違いを表にした。この表から、就職活動を既に終了した者は、未だ終わっていない者に比べて、「他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ」「グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ」「どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう」「10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う」「人よりも計画性のある方だ」「誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする」「“これは何だろう”“なぜこうなるのだろう”という疑問をもつ」といった自己認識をもっていることが分かる。自分の意見を述べ、リーダーシップをとり、計画的・効率的に用事を片づけ、同時に、親切でもあり、好奇心もあるといったようにまとめられるだろうか。こうした自己認識が、企業が「良い」と考える価値と一致するように感じられる点も興味深い。

図表11 就職活動終了者・未終了者別の自己評価の違い

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了 (N=251)	差	sig.
他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ	3.25	3.72	0.47	**
自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある	4.05	3.67	-0.38	**
グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ	2.95	3.32	0.37	**
どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう	3.23	3.56	0.33	**
10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う	3.35	3.68	0.33	**
人よりも計画性のある方だ	3.33	3.63	0.30	**
家族や友人に対する愛情が深い方だ	3.81	4.08	0.27	
誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする	3.70	3.87	0.17	*
「これは何だろう」「なぜこうなるのだろう」という疑問をもつ	3.93	4.09	0.16	*
相手の話をよく聞いて、気持ちを受けとめようとする方だ	3.94	4.10	0.16	
きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ	3.40	3.53	0.14	
自分が生まれてきた意味について考えることがある	3.60	3.49	-0.11	
ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ	3.88	4.00	0.11	
人間の運命というものを感じることもある	3.66	3.76	0.10	
間違っことをしている人を見たら、きちんと注意する	3.18	3.28	0.10	
自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ	3.71	3.66	-0.05	
身のまわりの物の形や色に、強心を引きつけられることがある	3.80	3.81	0.01	
何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたいくなる	3.91	3.90	-0.01	

t検定 ** p<.01 * p<.05 「1 全然身についたと思わない」～「5 非常にそうである」の5件法

一方で、就職活動が未だ終わっていない者は、「自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある」の値が、就職活動が既に終わった者よりも大きい。就職活動が終わっていないことと関連して、自分の将来の人生について思い悩む面があることが分かる。

以上、就職活動を既に終了した学生は、対人的な側面および達成的な側面で、他者からよく思われていると考えており、また、同時に自分の意見を述べたり、リーダーシップをとるなどの他、計画的・効率的であるという自己認識をもっていた。反面、就職活動が未だ終わっていない学生は、他人からどう思われているか、また、自分のことをどう思っているかが、相対的にネガティブであり、現在、就職活動が終わっていない状況も反映して、将来の人生に思い悩んでいることも示される。

6. 大学生の就職活動における各意識変数の主成分分析および相関関係の分析

(1) 大学生の就職活動における各意識変数の主成分分析

前節までは、就職活動が既に終了した学生と、未だ終了していない学生の比較を行ってきた。ここからは、「進学者」「無業者」も含めた大学生全体の傾向にまで視野を広げて検討していくこととする。

大学生の就職活動の背景にある要因を整理して理解するために、各質問項目ごとに主成分分析（いずれも主成分分析後、バリマックス回転をかけて解釈）を行って検討した。まず、「就職活動で重視した情報源」は7つの主成分に分かれた。各主成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「就職情報メディア」「教員・先輩」「両親」「両親の仕事」「マスメディア」「職業体験・アルバイト」「インターンシップその他」と命名した（図表12）。

図表12 「就職活動で重視した情報源」の主成分分析

	就職情報 メディア	教員・ 先輩	両親	両親の 仕事	マスメ ディア	職業体験・ アルバイト	インターシ ップその他
就職情報サイトで知った	.797						
会社説明会・セミナー	.754						
企業等のホームページで知った	.747						
就職ガイダンスで紹介された	.638						
就職雑誌で調べた	.527						
大学の就職部で情報を得た	.485						
先生から聞いた		.744					
大学の講義で聞いた		.739					
先輩(OB・OG)から話を聞いた		.563					
母親にすすめられた			.802				
父親にすすめられた			.795				
父親がその職業に就いている(その仕事をしている)				.767			
母親がその職業に就いている(その仕事をしている)				.737			
本やマンガで読んだ					.773		
テレビや映画で見た					.762		
高校までに職場体験をした						.665	
アルバイトをした						.628	
ボランティアで体験をした						.438	
その仕事をしているところを見た						.431	
大学に入ってからインターンシップで経験した							.670
友だちとの話で聞いた							.487
自分で考えた							.430
説明率(%)	13.1	8.1	7.0	6.8	6.7	6.6	5.9

次に、「就職先を決定する際に重視する情報内容」は4つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「仕事内容」「福利厚生」「知名度」「労働条件」と命名した(図表13)。

図表13 「就職先を決定する際に重視する情報内容」の主成分分析

	仕事内容	福利厚生	知名度	労働条件
能力を高める機会があること	.827			
自分を生かすこと	.824			
専門的な知識や技能をいかせること	.690			
仕事の内容	.618			
仕事の社会的意義	.513			
育児休暇や介護休暇などの家庭配慮の制度		.678		
福利厚生の充実		.662		
事業や雇用の安定性		.653		
職場の雰囲気		.520		
企業名等のブランド			.844	
業績・規模			.809	
将来性			.512	
通勤の便				.839
勤務地				.730
労働時間				.545
収入				.432
説明率(%)	17.4	15.7	13.4	12.3

「職業に就くにあたって努力した事がら」は2つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「専門性」「表現力」と命名した(図表14)。

図表14 「職業に就くにあたって努力した事がら」の主成分分析

	専門性	表現力
知識や教養を深める	.768	
専門的な技能や技術をみがく	.745	
就職のための試験勉強をする	.689	
資格や検定をとる	.655	
情報を収集する	.539	
スタイルや容姿を良くする		.814
体力をつける		.764
面接のためにプレゼンテーション能力を高める		.645
人脈をひろげる		.628
多様な経験により人間的な魅力を高める		.568
説明率(%)	27.7	26.2

大学生の「価値観」は4つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「個人志向」「転職独立志向」「仕事志向」「努力志向」と命名した(図表15)。

図表15 大学生の「価値観」の主成分分析

	個人志向	転職独立志向	仕事志向	努力志向
出世のために能力以上の無理をする必要はない	.676			
組織はいつまでも自分を守ってくれない	.622			
職場の人と個人的なつきあいをしたくない	.584			
お金に困らなければ、わざわざ望まない仕事につく必要はない	.538			
就職は有力なコネ(知り合いがいること)で決まる				
同じ組織で一生働くのはつまらない		.717		
ベンチャー企業につとめたい		.702		
キャリアアップのための転職は当然である		.668		
組織の業績をあげるためにはチームワークよりも構成員の能力や資質が大切である		.446		
希望する仕事につくために、どういう勉強をすればよいかを考えなければならない			.855	
仕事は人生における生きがいである			.687	
たとえ、望む仕事につけなかったとしても、我慢して働くべきである				.690
働かなくても批難されない風潮がフリーターを増加させている				.560
説明率(%)	14.4	14.1	10.8	10.5

大学生の「社会観」は7つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「規範」「家庭」「安定」「達成」「家事」「無力」「希望」と命名した(図表16)。

図表16 大学生の「社会観」の主成分分析

	規範	家庭	安定	達成	家事	無力	希望
努力することは大事である	.785						
毎日を大切に生きることが大事である	.716						
約束の時間は、守らなければならない	.711						
人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない	.670						
結婚はしたほうがいい		.847					
子どもを育てるべきだ		.830					
高齢者の世話は、できるだけしなければならない		.424					
女の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい			.823				
男の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい			.692				
平凡でも安定した暮らしをしたい							
社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ							
仕事をするには、都会の方が都合がよい				.782			
社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である				.750			
男の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である					.832		
女の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である					.677		
今の世の中はこつこつ働いても評価されない						.742	
先のことを今考えても仕方がない						.680	
今の社会は貧富の差が大きい						.423	
これからの世の中は夢や希望に満ちている							.769
説明率(%)	13.4	11.1	8.0	7.2	7.2	7.1	6.5

「大学時代に身についた資質・能力」は4つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「対人能力」「論理能力」「行動力」「語学力」と命名した(図表17)。

図表17 「大学時代に身についた資質・能力」の主成分分析

	対人能力	論理能力	行動力	語学力
人脈形成力	.821			
人間関係を円滑にする力	.789			
自己表現力	.730			
交渉力	.698			
状況の変化に柔軟に対応する力	.597			
意見や利害の対立を調整する力	.506			
常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力		.724		
論理的に考えられる力		.699		
情報を収集する力		.683		
問題を発見する力		.636		
コンピューター活用能力		.574		
体力			.762	
熱意・意欲を維持する力			.600	
専門能力			.477	
行動力・実行力			.469	
語学力				.846
異文化を受容する力				.800
説明率(%)	22.1	18.2	10.4	9.1

大学生の「他者からの評価」は3つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「成績」「性格」「勉強」と命名した(図表18)。

図表18 大学生の「他者からの評価」の主成分分析

	成績	性格	外見
勉強ができる人	.699		
頼りになる人	.657		
先生に好かれている人	.598		
どんなことにも一生懸命である人	.593		
優しい人	.567		
人よりすぐれたところがある人	.552		
明るい人		.809	
元気な人		.803	
失敗してもくよくよしない人		.541	
みんなに好かれている人		.540	
カッコいい人			.798
運動ができる人			.660
説明率(%)	19.8	18.5	12.1

大学生の「自己評価」は6つの主成分に分かれた。各種成分の項目内容をもとに、第一主成分から順に「好奇心」「リーダーシップ」「計画性」「優しさ」「思索」「センス」と命名した(図表19)。

図表19 大学生の「自己評価」の主成分分析

	好奇心	リーダーシップ	計画性	優しさ	思索	センス
ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ	.831					
何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたいくなる	.800					
「これは何だろう」「なぜこうなるのだろう」という疑問をもつ	.791					
身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある	.628					
他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ		.861				
グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ		.752				
間違っただけを覚えている人を見たら、きちんと注意する		.608				
人よりも計画性のある方だ			.771			
どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう			.740			
10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う			.598			
家族や友人に対する愛情が深い方だ				.788		
誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする				.711		
相手の話をよく聞いて、気持ちを受けとめようとする方だ				.596		
自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある					.825	
自分が生まれてきた意味について考えることがある					.819	
人間の運命というものを感じることもある					.560	
自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ						.820
きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ						.804
説明率(%)	14.4	10.7	10.5	10.3	10.0	9.1

(2) 大学生の就職活動における各意識変数間の相関関係

ここまで各変数の主成分分析結果をみてきたが、各変数の各主成分全てについて主成分得点を算出し、その相関係数を求めた。

統計的に1%水準で有意な相関関係は多数みられたが、なかでも.30以上の比較的強い相関関係がみられたものについて、その対応関係を表にした(図表20)。図表20から、以下の対応関係で関連が強かったことが示される。

- (1) 就職先を決定する際に重視する情報内容「仕事内容」と職業に就くにあって努力した事から「専門性」、価値観「仕事志向」、大学時代に身についた資質・能力「論理能力」、
- (2) 職業に就くにあって努力した事から「専門性」と価値観「仕事志向」、大学時代に身についた資質・能力「論理能力」、
- (3) 価値観「仕事志向」と社会観「規範」、
- (4) 職業に就くにあって努力した事から「表現力」と大学時代に身についた資質・能力「対人能力」、
- (5) 大学時代に身についた資質・能力「対人能力」と他者からの評価「性格」、自己評価「リーダーシップ」

図表20 大学生の就職活動における各意識変数間の相関係数(.30以上)

就職先を決定する際に重視する情報内容 仕事内容	職業に就くにあたって努力した事から 専門性	.44
	価値観 仕事志向	.46
	大学時代に身についた資質・能力 論理能力	.36
職業に就くにあたって努力した事から 専門性	価値観 仕事志向	.34
	大学時代に身についた資質・能力 論理能力	.38
	社会観 規範	.31
価値観 仕事志向	社会観 規範	.31
職業に就くにあたって努力した事から 表現力	大学時代に身についた資質・能力 対人能力	.36
大学時代に身についた資質・能力 対人能力	他者からの評価 性格	.37
	自己評価 リーダーシップ	.37

これらの結果から、大まかに、(1)「仕事内容、専門性、仕事志向、論理能力」の系統と、(2)「表現力、対人能力、性格、リーダーシップ」の系統の2つの相関係数がまとまって現れていることが分かる。これは、.30以下の相関係数について調べてみても同様であった。こうした相関係数に関する結果からは、「大学で論理能力を身につけ、専門性を活かして仕事中心に就職活動をした群」と、「大学で対人能力を身につけ、性格やリーダーシップなどの人間性を磨いて就職にあたっては表現力の面で努力した群」の2つの系統があることが推測される。

さらに、これらの結果から、大学で習得される能力には専門性や論理能力といった一般に大学教育に期待される能力と、それに付随して身につく対人能力などの能力の両面があり、それぞれ何を重視して就職活動に至るのかまでを、ある程度、規定していることが分かる。

7. 大学生の進路別の意識の違い

前節では、各変数間にある程度、系統だった関連性があることが示された。こうした関連性は、大学生の進路別の傾向性とも密接に関連していることが推測される。そこで、本節では、調査時点での進路状況別（就職活動終了群、就職活動未終了群、進学希望群、その他未定群）に各変数を比較検討した（図表21）。

その結果、次のような結果がみられた。

(1)就職活動を既に終了した学生は、就職活動で「就職情報メディア」「インターンシップその他」などの情報源を重視し、「教員・先輩」「マスメディア」などの情報源を重視していなかった。就職先を決定するにあたっては「知名度」を重視し、「表現力」の面で努力をした。価値観は「個人志向」ではなく組織・職場志向であり、「無力」感はなく、将来に対して「希望」をもっていた。大学時代に身についた能力は「対人能力」であると考えており、他者からは「性格」面で評価されておりと考え、「リーダーシップ」「計画性」「優しさ」の面で自己評価が高く、

「思索」の面では自己評価が低かった。

(2)就職活動を未だ終了していない学生は、「職業体験・アルバイト」などの情報源を重視し、就職先の決定に際して「仕事内容」や「知名度」は重視していない。「仕事志向」的な価値観はもっておらず、「無力」感を強く感じていた。

(3)進学希望の学生は、「教員・先輩」の情報源を重視し、「就職情報メディア」「職場体験・アルバイト」などの情報源は重視していなかった。就職先を決定するにあたっては「仕事内容」と「知名度」を重視し、就職するにあたっては「専門性」に努力し、「表現力」の面では努力していない。「仕事志向」的な価値観をもっており、大学時代には「論理能力」が身につく、「対人能力」が身についたとは考えていない。「性格」面での他者からの評価は低いと考えており、「優しさ」の面での自己評価も低い。

(4)進路状況がその他未定の学生は、就職活動にあたって「両親の仕事」「マスメディア」「インターンシップその他」などの情報源を重視し、「就職情報メディア」「インターンシップその他」などの情報源は重視していない。就職先を決定するにあたって「知名度」を重視せず、就職活動で「表現力」の面では努力していない。「個人志向」的な価値観をもっている一方、「努力志向」的な価値観をもっておらず、将来に対して「希望」をもっていない。大学では「行動力」を身につけたとは思っておらず、「語学力」を身につけたと考えている。「計画性」の面で自己評価が低い。

以上の結果から、「就職活動終了群」「就職活動未終了群」「進学希望群」「その他未定群群」の4つの群には、それぞれ特徴的な違いがあることが示された。特に、就職活動を既に終了した学生は、大学教育で対人能力を身につけ、対人能力面に自身をもち、将来に対して希望をもっていた。いわば就職活動を上首尾に終えた学生は、大学時代に対人能力を中心としたキャリア発達がなされ、そうしたキャリア発達を就職活動に直結させていったと言える。一方、進学を希望する大学生は、大学教育で「論理能力」が身についたと考えており、専門性や仕事能力を重視している。どちらかと言えば、もともとオーソドックスな意味での大学教育が狙いとしている知的能力や専門知識を中心にキャリア発達がなされており、こうしたキャリア発達を進学へと結びつけていったと言える。

また、就職活動が未だ終了していない学生は無力感を感じており、調査時点で進路未定の学生は将来に対して希望をもっていなかった。この両者に共通するのは、身近なアルバイトや両親の仕事、マスメディアといった面からしか職業情報を得ていない点である。いわば日常生活を送っていれば受け身的に入ってくる情報からしか職業情報を入手していないということは、自覚的・意識的な情報収集を行っていないということである。こうした職業情報入手経路の偏りが原因なのか結果なのかは判断が難しいが、情報の面からも際だった特徴があることが示される。

図表21 大学生の進路別の意識の違い

	就職活動終了(N=251)	就職活動未終了(N=255)	進学(N=216)	その他未定(N=86)	sig.
就職活動で重視した情報源					
就職情報メディア	0.497	0.135	-0.484	-0.631	**
教員・先輩	-0.214	-0.080	0.299	0.130	**
両親	0.105	-0.021	-0.049	-0.117	
両親の仕事	-0.122	-0.048	0.036	0.420	**
マスメディア	-0.170	0.053	0.050	0.207	**
職業体験・アルバイト	-0.103	0.180	-0.164	0.168	**
インターンシップその他	0.130	-0.144	-0.082	0.272	**
就職先を決定する際に重視する情報内容					
仕事内容	-0.006	-0.222	0.243	0.104	**
福利厚生	0.126	-0.023	-0.102	-0.050	
知名度	0.181	-0.181	0.203	-0.488	**
労働条件	-0.106	0.105	0.027	-0.048	
職業に就くにあたって努力した事から					
専門性	-0.105	-0.137	0.270	0.010	**
表現力	0.214	0.021	-0.186	-0.217	**
価値観					
個人志向	-0.233	0.013	0.117	0.333	**
転職独立志向	-0.024	0.055	0.007	-0.107	
仕事志向	-0.007	-0.170	0.174	0.085	**
努力志向	0.128	-0.026	0.007	-0.344	**
社会観					
規範	0.105	-0.080	-0.059	0.088	
家庭	0.096	-0.055	-0.015	-0.074	
安定	0.079	-0.030	0.036	-0.243	
達成	0.132	-0.134	0.040	-0.111	*
家事	-0.019	0.063	-0.023	-0.043	
無力	-0.150	0.153	0.015	-0.061	*
希望	0.159	-0.111	0.079	-0.323	**
大学時代に身についた資質・能力					
対人能力	0.259	-0.059	-0.263	0.072	**
論理能力	0.020	-0.126	0.157	-0.083	*
行動力	0.034	-0.039	0.106	-0.251	*
語学力	-0.115	-0.075	0.096	0.269	**
他者からの評価					
成績	0.127	-0.099	-0.056	0.056	
性格	0.250	-0.066	-0.169	-0.098	**
外見	0.020	-0.095	0.058	0.061	
自己評価					
好奇心	-0.004	-0.019	0.076	-0.130	
リーダーシップ	0.195	-0.126	-0.036	-0.109	**
計画性	0.178	-0.060	-0.039	-0.238	**
優しさ	0.169	-0.018	-0.172	0.030	**
思索	-0.168	0.080	0.031	0.140	*
センス	0.051	0.044	-0.088	-0.032	

※分散分析 ** p<.01 * p<.05

※絶対値が0.150以上のセルに太字下線を付した

8. 大学生の就職活動と大学属性・学歴および家庭

大学生の就職活動と本人の大学属性および父親の学歴も比較検討した(図表22)。その結果、本人の大学属性・父親の学歴いずれも統計的に有意な違いがみられた。

まず、本人の学歴では、いわゆる「有名私立」大学または「国公立」大学に通う学生で、既に就職活動が終了した学生が多く、「その他私立」大学に通う大学生では、就職活動が未だ終了していない学生が多かった。本人が通う大学によって、就職活動が上首尾に終わるかどうか明確に異なることが分かる。

図表22 大学生の就職活動と本人の大学属性

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了(N=251)	差
国公立	42.4%	57.6%	15.2%
有名私立	29.8%	70.2%	40.4%
その他私立	57.4%	42.6%	-14.8%

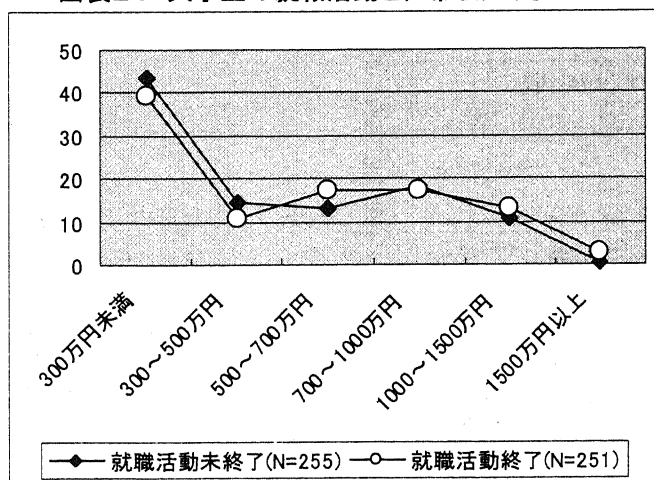
また、父親の学歴に関しては、「大卒以上」の場合に就職活動を既に終了した学生が多くなっていた。一方、就職活動が未だ終わっていない学生では、父親の学歴が「中卒、無回答」である場合が多かった(図表23)。

図表23 大学生の就職活動と父親の学歴

	就職活動未終了 (N=255)	就職活動終了(N=251)	差
中卒、無回答	58.0%	42.0%	-15.9%
高卒	45.3%	54.7%	9.3%
大卒以上	38.0%	62.0%	24.1%

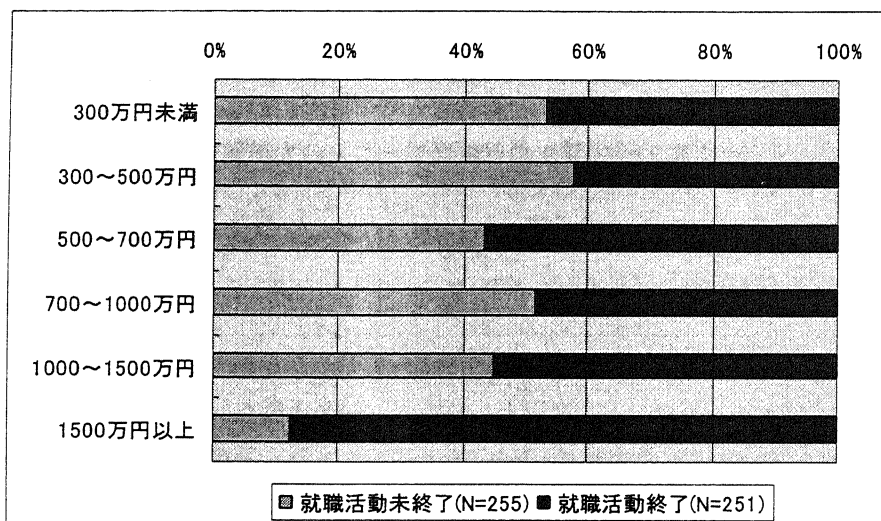
さらに、世帯収入との関連も検討した(図表24)。図表24で「300万未満」が突出しているのは、本人が一人暮らしである場合が多いからだと推測される。この図表からは、世帯収入が「300万未満」には、就職活動が未だ終わっていない若者が相対的に若干多い。また、図表24からは、就職活動が未だ終わっていない者の世帯収入のピークが「700~1000万円」にもある。つまり、就職活動が未だ終わっていない学生には、一人暮らしなど何らかの形で世帯収入が少ない場合と、同居しているなどある程度世帯収入がある場合の2通りがあることが分かる。ただし、全般的にみれば、就職活動を既に終了した学生の方が世帯収入は多いと言える。

図表24 大学生の就職活動と世帯収入(その1)



特に、図表25のように、各世帯収入ごとに就職活動終了者と未終了者が何割含まれるかといった視点で図表化すると、「1500万円以上」の高額所得者では就職活動が終了している者が明らかに多いことが分かる。

図表25 大学生の就職活動と世帯収入(その2)



9. 大学生の就職活動に影響を与える要因 (まとめ)

ここまで大学生の就職活動について検討を行ってきたが、結局のところ、大学生の就職活動に影響を与えているのは何の要因なのか。本節では、本章のまとめとして、大学生の就職活動に影響を与える要因を回帰分析の手法を用いて検討する。

図表26 大学生の就職活動に影響を与える要因

	B	Exp(B)	sig.
大学属性(vs.その他私立)			
国公立大学	0.76	2.13	**
有名私立大学	0.95	2.57	*
就職活動状況			
面接会社数	1.66	5.28	**
就職活動で重視した情報源			
就職情報メディア	0.32	1.38	*
教員・先輩	-0.33	0.72	*
マスメディア	-0.43	0.65	**
職業体験・アルバイト	-0.44	0.64	**
就職先を決定する際に重視する情報内容			
福利厚生	0.35	1.42	**
社会観			
無力	-0.37	0.69	**
希望	0.28	1.32	*
自己評価			
リーダーシップ	0.33	1.38	*
思索	-0.49	0.61	**
性別(男性)(vs.女性)	0.60	1.82	*
定数	-1.65		

※ロジスティック回帰分析 ** p<.01 * p<.05

Cox & Snell R² 乗 0.31

図表26は、就職活動を既に終了した学生と未だ終了していない学生の2群の学生を分ける要因を、ステップワイズによるロジスティック回帰分析で検討したものである。図表のうち、「 $\text{Exp}(\beta)$ 」は、その要因がある場合、就職活動未終了の学生に比べて就職活動終了の学生が何倍になるかを示す値である。したがって、図表26では、面接会社数が多い学生は少ない学生に比べて、「5.28倍」、就職活動を終了した学生になっていると解釈することができる。そして、この面接会社数の $\text{Exp}(\beta)$ がこの図表26では最も大きいことから、大学生の就職活動に最も大きな影響を与える要因であると言える。

その他、大学属性も大きな影響を与える要因となっており、「国公立大学」「有名私立大学」の学生は「その他私立」の学生に比べて、約2倍程度、就職活動を終了した学生になっている。同様に、就職活動で重視した情報源では、「就職情報メディア」を重視したか否かが重要であり、「教員・先輩」「マスメディア」「職場体験・アルバイト」などの情報を重視した場合は、就職活動未終了の学生になりやすい。同様に、「福利厚生」を重視した場合、社会観では「希望」をもっていた場合、「リーダーシップ」の自己評価が高い場合、「男子」学生である場合に、就職活動を既に終了した学生になりやすい。逆に、社会観では「無力」感をもっていたり、「思索」面での自己評価が高い場合には、就職活動未終了の学生になりやすい。

なお、図表26で最も大きな影響力をもっていた「面接会社数」の要因であるが、図表27の相関係数に示されるとおり、面接会社数が多いのは、筆記試験数が多いからであり、筆記試験数が多いのは会社説明会への出席数が多いからであり、会社説明会への出席数が多いのはエントリーシートの提出数が多いからであるという相関関係がみられる。いわば、大学生の就職活動は最初のエントリーシートの提出数が多ければ、その後の就職活動が上首尾にいくことが多いと言える。

図表27 大学生の就職活動に相関関係

	エントリーシートの提出	会社説明会出席	筆記試験	OB・OGと会った人数	のべ面接回数
エントリーシートの提出					
会社説明会(セミナー)出席	.58				
筆記試験	.55	.73			
OB・OGと会った人数	.22	.19	.17		
のべ面接回数	.56	.65	.66	.25	

※順位相関係数 全て1%水準以下で有意

そこで、就職活動の初期段階におけるエントリーシートの提出数に影響を与える要因についてもステップワイズによるロジスティック回帰分析によって検討を行った。

その結果、大学属性が大きな影響を与える要因となっており、「有名私立大学」の学生である場合にエントリーシートの提出数が多くなっていた。その他、「就職情報メディア」を重視した場合、社会観では「規範」「達成」志向をもっていた場合、自己評価では「リーダーシップ」「優しさ」「センス」をもっていた場合にエントリーシートも提出数が多くなっていた。「規範」志向は「努力することは大事である」「毎日を大切に生きることが大事である」「約束の時間は、守らなければならない」などの質問項目に代表される社会観、また、「達成」志向は「仕事をす

るには、都会の方が都合がよい」「社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である」などの質問項目に代表される社会観であり、やるべきことをやるといった強い意志、社会的な地位や立場を求めるといった意識が就職活動に密接に関連していることが分かる。さらに、自己評価に関しては、「他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ」「グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ」「間違っただけをしている人を見たら、きちんと注意する」などの質問項目で示される「リーダーシップ」面での自己評価の高さが就職活動に密接に関連していることが分かる。ただし、「家族や友人に対する愛情が深い方だ」「誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする」に示される「優しさ」、「自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ」「きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ」に示される「センス」なども就職活動に関連しており、興味深い。

図表28 大学生の就職活動開始時期のエントリーシート記入に影響を与える要因

	B	Exp(B)	sig.
大学属性 (vs. その他私立)			
国公立大学	-0.01	0.99	
有名私立大学	1.08	2.95	**
就職活動で重視した情報源			
就職情報メディア	0.30	1.35	**
社会観			
規範	0.33	1.39	*
達成	0.23	1.26	*
自己評価			
リーダーシップ	0.25	1.29	*
優しさ	0.37	1.45	**
センス	0.27	1.32	**
定数	-0.71		

※ロジスティック回帰分析 ** p<.01 * p<.05

Cox & Snell R² 乗 0.15

10. 終わりに

以上、本章では、大学生の就職活動について検討を行った。調査時点で就職活動を終わられた学生を「就職活動終了者」、未だ終わられていない学生を「就職活動未終了者」として、この両者を比較した。

基本的には、就職活動終了者は、活発に就職活動を行っており、企業での成功を目指している。そのため、プレゼンテーションや人間的な魅力、人脈など、主にヒューマンスキルに努力を傾けており、こうした能力を大学時代に身に付けたと考えている。価値観・社会観ともに希望にあふれており、仕事での成功を望み、そのためには我慢したり、約束を守ったりすることを大事に考えている。自分は人間的な魅力に優れていると認知しており、特にリーダーシップや決まりを守るといった面で自己評価が高い。

一方で、就職活動未終了者は、あまり活発には就職活動を行っておらず、そもそも企業で働く

ということに、十分に意識が向いていない。背後には、企業も含む社会や組織に対する不信感があるようにも思われる。そのため、努力して働いても報われるとは限らないと考え、現代社会では貧富の差が大きいと考える。そして、基本的には、就職活動未終了者は、自分の生き方に悩んでいる。この背景には、必ずしも相対的に恵まれているとは言えない家計の社会経済的な基盤も伏在している。

この両者の比較から言えることは数多くある。しかし、ここでは差し当たって、若者が企業で働くということ、そのために就職活動をするということ、どのように考えるべきなのかという点について問題提起をしておきたい。現在、大学生の就職活動に成功する若者とは、大学時代から極めて企業的な価値を身に付けた若者である。高度に発達した資本主義社会に生きる我々にとって、このタイプの若者はやはり1つのキャリア発達がなされた姿として重視しなければならない。異論はあるだろうが、企業社会で活躍する若者を送り出すことも、1つのキャリア発達のゴールであることには変わらない。

ただし、一方で、こうした自由主義的な、競争主義的な価値観に基づくゴールが、本当にキャリア発達のゴールなのかという反省が、おもにヨーロッパのキャリアガイダンスの文献にはかなり多くみられるようになってきている。そのため、若者のキャリアガイダンスを社会的なシチズンシップ、自由競争主義への抵抗、差別やステレオタイプからの解放の拠り所としてみていこうという議論も出てきている。

こうしたキャリア支援を支える社会的なコンセンサスの問題は、現在、キャリアガイダンス理論の最先端のトピックの1つでもある(Watts, 1996; Gothard, Mignot, Offer, and Ruff 2001; Irving and Malik, 2005)。これらの議論では、「エンプロイアビリティ」に対して「シチズンシップ」を対置させて、両者の長短を論じている。

今後の日本のキャリア発達、キャリア教育、キャリアガイダンスの行く末は、どのように考えるべきであろうか。今回のデータを手がかりにさらに考察を深めていけるのではないかと考える。

引用文献

Gothard, B., Mignot, P., Offer, M. and Ruff, M. 2001 Career Guidance in Context, London: Sage.

Irving, B. A., & Malik, B. 2005 Critical Reflections on Career Education and Guidance: Promoting Social Justice within a Global Economy. Oxon: RoutledgeFalmer.

Watts, A. G. 1996 Socio-political ideologies in guidance, in A. G. Watts, B. Law, J. Killeen, J. Kidd, and R. Hawthorn (eds) Rethinking Career Education and Guidance. London: Routledge.

II-4 大学生のキャリア意識と心理社会的発達

帝塚山学院大学大学院人間科学研究科助教授

藤田博康

はじめに

従来、キャリア教育は、勤労を通じて「能力、個性を生かす」、職業に「夢や希望を実現しようと意欲的に取り組む」、仕事を通じて「自己を実現する」等の「望ましい職業観、勤労観(7)」の育成に重点が置かれてきたといえる。しかし、実際のところ、勤労に「生き生きとしたやりがい」を感じられたり、職業に「夢や希望を実現」できたりする者は限られているという現実がある。(表1)、(表2)

表1 あなたの現在の仕事は、あなたが本当につきたい理想の仕事でしたか

はい	44.3%
いいえ	55.3%

国立教育政策研究所 2005 生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究 社会人調査より

表2 あなたは現在の仕事をもし変えることができるとしたらどうしますか

すぐに、あるいはしばらく考えてから変える	43.3%
わからない	24.2%
変えない	31.4%

国立教育政策研究所 2005 生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究 社会人調査より

そこで、筆者は、キャリア発達においては、勤労のポジティブな側面のみならず、たとえ、「つまらない」、「積極的な価値が見出せない」と感じられるような仕事であっても、時と場合によっては引き受けねばならないという現実原則的側面をどう統合していくかということが重要であると考え、小中高の児童・生徒が、「生きがいとしての仕事、自己実現のための仕事」と「生活の維持のためには避けられない勤労、生きる枠組みとしての仕事」といった相反する可能性もある就労価値観、職業観を、どのようなバランスで発達させていくのかという観点からの調査分析を行った。(2)

その際、児童・生徒を

1. 現実生活やその限界を踏まえたくて自己実現や生きがいを追求しようとする群
2. 自己実現・生きがい追求を優先する群

3. 現実生活を優先する群

4. どちらにも関心がない虚無群（就労消極群）

の4群に分類、分析したところ、適性認知、自己肯定感、勤勉性、学校適応、楽観性、親子関係等との関連から、第1群がもっとも望ましい群であることが判明し、改めて二側面の統合的キャリア発達の重要性が示された。加えて、発達段階として、小学段階：未成熟な勤労観と夢としての希望の仕事との遊離、中学段階：自己概念や適性認知の揺らぎのなかでの仕事に関する自己実現追求志向、高校段階：現実に即した希望職業の形成、勤労観の自己実現的側面と義務的側面の統合というプロセスが考察された。

I 大学生調査

1. 「生きがい・自己実現追求のための仕事」と「生活の維持のための仕事」の統合的キャリア発達～

大学生調査においても同様の観点からの分析を行った。具体的には中高生調査と同様に、問 16. 1), 2) 「仕事は人生における生きがいである一望む仕事に就けなかったら我慢して働くべき」という質問項目への回答により、以下の4群に分類した。

	仕事は人生における生きがいである	望む仕事に就けなかったら我慢して働く
1. 諦めを視野に入れた生きがい追求群	○	○
2. 生きがい追求優先群	○	×
3. 現実生活優先群	×	○
4. 就労消極群	×	×

大学生における各群の割合は（表3）のとおりである。（参考として、中高における各群の割合も示した）

表3 「仕事は人生における生きがいである一望む仕事に就けなくても我慢して働くべき」の組み合わせタイプ別割合

	諦めを視野に入れた生きがい追求群	生きがい追求優先群	現実生活優先群	就労消極群
中学2年	53.7%	15.6%	22.8%	7.9%
高校2年	48.6%	17.8%	24.1%	9.5%
大学3年	42.8%(341人)	25.6%(205人)	17.4%(139人)	14.2%(114人)

各群における、適性認知度 自己肯定感 勤勉性・真面目さ 将来への楽観性得点の平均値

の順位は(表4)のとおりである。(小中高調査と同様、適性認知度については、「問14. 自分がどんな職業に向いているのかどのくらいわかっていますか」、自己肯定感については、「問21.1) ~12) 明るい人、カッコいい人、元気な人、勉強ができる人、やさしい人、頼りになる人、運動ができる人、先生に好かれている人、人より優れたところがある人、どんなことにも一生懸命である人、失敗してもくよくよしない人、クラスの人気者」、勤勉性・真面目さについては、「問23. 9) 11) 12) 13) 毎日を大切に生きることが大切である、努力することは大事である、人が見ていなくても悪いことはしてはいけない、約束の時間は守らなければならない」等の項目により得点を算出した)

表4 「仕事は人生における生きがいである—望む仕事に就けなくても我慢して働くべき」の組み合わせタイプ別 生活適応感の比較(平均値の順位)

	適性 認知度	自己 肯定感	勤勉性・ 真面目さ	家庭の 安心感	友人との 親和性	授業 理解度	学校 帰属感	将来への 楽観性	親への同 化傾向	親との将 来の仕事 の会話
中学2年	諦めを視野に入れた生きがい追求群	1	1	2	1	1	2	1	1	1
	生きがい追求優先群	2	3	1	2	3	2	1	2	2
	現実生活優先群	3	4	3	3	2	3	3	4	3
	就労消極群	4	2	4	4	4	4	4	3	4
	平均値の有意差	△	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎
高校2年	諦めを視野に入れた生きがい追求群	2	2	1	1	1	2	1	1	1
	生きがい追求優先群	1	1	2	3	3	2	1	2	2
	現実生活優先群	4	3	3	2	2	4	3	4	3
	就労消極群	3	4	4	4	4	3	4	3	4
	平均値の有意差	◎	○	◎	◎	×	◎	×	◎	◎
大学3年	諦めを視野に入れた生きがい追求群	2	1	1				1		
	生きがい追求優先群	1	2	2				2		
	現実生活優先群	3	3	3				4		
	就労消極群	4	4	4				3		
	平均値の有意差	○	◎	◎				◎		

◎ p<.01, ○ p<.05, △ p<.1, × 有意差なし

「諦めを視野に入れた生きがい追求群」の得点が、適性認知度を除いた自己肯定感、勤勉性・真面目さ、将来への楽観性において最上位であった。また、調査時点における就職活動終了者の割合は38.5%に達しており、他の群に比べても有意に高かった(表5)。したがって、この群がキャリア発達上もっとも望ましい群とみなされ、小中高調査と同様、「生きがいとしての仕事」と「生活の維持のための仕事」の統合的キャリア発達の重要性が示されたといえる。

表5 就職活動は終了したか

	就職活動は終了	就職活動は未終了	その他(進学も含む)
諦めを視野に入れた生きがい追求群	38.5%	26.8%	34.7%
生きがい追求優先群	22.0%	28.8%	49.2%
現実生活優先群	33.1%	40.3%	26.6%
就労消極群	22.8%	40.4%	36.8%

カイ2乗検定 p<.01

II 就労消極群と大学生の心理社会的発達プロセス

1. 就労消極群の問題

さて、上述の4群の発達の変遷(表3)において、第1群の統合群が漸減であるとともに、第2群の生きがい追求優先群および第4群の就労消極群が、高校2年から大学3年にかけて急増している。このことは、二側面の統合がそれほど容易に達成されるものではなく、いざ、就職を目の前にして、現実的にはあきらめを視野に入れる必要性を感じながらも、いやな仕事をする事は避け少しでも生きがいにつながる仕事を選ぼうとするか、就職そのものに消極的になってしまうかのどちらかの志向性が強まる可能性があるといえる。

ここで、後者に関しては、そもそも就職活動に積極的にコミットしていないばかりか(表5)、「もし就きたい仕事につけなかった場合には、ほかの仕事にはつかない」と答える者の割合も相対的に高く(表6)、また、「仮に仕事についたとしても、数年経って転職すると思う」という質問項目に肯定的な回答をしている者が過半数(50.9%)を超えている。(表7)。したがって、この群は特に就労不適應に陥りやすい層と考えられ、次節では、就労消極群のキャリア発達上の問題点等について考察する。

表6 つきたい仕事につけなかった場合どうするか

	他に就職しあきらめる	他に就職しながらつきたい仕事を目指す	他の仕事にはつかない
諦めを視野に入れた生きがい追求群	35.6%	53.6%	10.5%
生きがい追求優先群	18.5%	59.0%	22.0%
現実生活優先群	51.8%	42.4%	5.8%
就労消極群	19.3%	51.8%	27.2%

カイ2乗検定 $p < .01$

表7 仕事についても数年経って転職すると思う

	転職する	転職しない
諦めを視野に入れた生きがい追求群	38.2%	60.9%
生きがい追求優先群	43.9%	55.0%
現実生活優先群	37.4%	61.0%
就労消極群	50.9%	45.6%

カイ2乗検定 $p < .05$

2. 社会人、職業人としてのアイデンティティ形成不全

日頃、大学教員として、大学生の就職活動に接し、常に実感を持つのは、積極的で行動力があり、友人や教員らとの交流が頻繁な、いわゆる「外向的」といった印象を与える学生ほど、早く就職先が決まり、一方、思春期におけるさまざまな「悩み」にとらわれてしまい、自己理解や自分の適性に迷い、他者とのかかわりにも消極的な学生ほど、なかなか就職が決まらないという、当たり前のような現実である。この現象は、その個人の学業成績や知的能力などに単純に比例するというものでもない。むしろ、本人の悩みの深さや自信のなさなど、思春期特有の主観的心理状況の影響が強く、職業人として社会に出ていくことへのひるみや躊躇、回避、拒否などが、そこに顕著に表れているように思われる。つまり、学生というモラトリアム期から、職業役割を持った社会人への移行の基盤となる、自他への信頼感や行動力などといった「活力」に不足している状態であろう。

この点について、本研究の大学生調査結果から下村は、大学4年時の7月末における就職活動未終了者と就職活動終了者を比較して、この時期にまだ就職が内定していない学生は、向上心、積極性、行動力に劣り、自己評価も、(自身が認知する)他者からの評価も低く、自分の生き方に比較的強く悩んでおり、無力感や、組織一般に対する不信感、社会に対する軽い絶望感のようなものを抱いていると指摘している。(8)

したがって、青年層の不就労問題の多くは、思春期的な悩みの強さ、自分や他者、社会に対する信頼感、肯定感の乏しさ、主体性や行動力の不十分さなどに特徴づけられると考えられ、このことは、言い換えれば、青年期に至るまでの心理社会的発達における躓き、つまり、青年期以前の発達課題である信頼性、自律性、自主性、勤勉性等の獲得が不十分であるために、社会人、職業人としての自己同一性形成が困難になっている状態像といえるであろう。

このような、いわゆるアイデンティティ混乱と未就業の問題は、現在に始まった問題ではない(注1)。例えば、1960年代には既に、職業選択ができない青年には無能感、無価値感、自尊心の低さなどが見られ、特に、Erickson, E.H.のライフサイクル論による「勤勉性」、Hershenson, D.B.の職業的発達段階論(5)による「有能性」の面での問題を有しているという研究がみられる(4),(11)。

しかしながら、これまでは、そのような「活力」が十分でない学生たちも、「大卒」であるがゆえに、とりあえず比較的条件に恵まれた会社の内定を得ることも可能であった。そして、いったん入社してしまえば、たとえそれが理想の仕事、職場ではなくとも、会社のブランドや待遇、OJT・企業内教育や、人間関係、経済的安定などのさまざまな要因に支えられ、積極的にではないにしても徐々に社会人、職業人としてのアイデンティティを確立していくケースも少なくなかった。その意味では、終身雇用制や年功序列による昇進制度は、特に、「活力」に比較的劣る青年層にとっては、自己確立はもちろん、社会にコミットしながら生きていくための意味のある「枠組み」、「安全弁」であった。とりもなおさず、「定職」があり、自立的な生活が維持できるということは、それだけで、確実なアイデンティティとなることは言うまでもない。

しかし、いわゆる就職不況の昨今では、「年功賃金の崩壊、能力主義、成果主義の拡大、即戦力重視、短期決済型産業社会(12)」のもと、一般的に、就職活動においても、就職後の会社への適応や生き残りにおいても、積極性、主体性、人間関係力、(専門的)能力等の「活力」が要

求される時代になってきている。そのため、どうしても、「活力」に不足する青年たちは、就職、就業という形態での社会参加の可能性がますます狭められ、さらに同一性が定まらず、自信も行動力もなくなり、より一層、社会参加が困難となる。このような悪循環が、大卒無業者やニートと呼ばれる層を増加させている大きな要因になっているだろう。

(注 1) ただし、モラトリアムに関しては、かつてのモラトリアム青年が半人前意識を持ち、その負い目と共に、早く大人になり社会人としての地位を確立したいという志向が強かったのに対し、現代のモラトリアム青年は、物質的豊かさや消費社会を背景として、ある種の全能感を持ち、自立志向に乏しいといわれている。

Ⅲ キャリア教育に向けての提言

1. 統合的・循環的キャリア発達の重要性 ～現実の枠組み（制約、不自由）あってこそ自己実現、自己同一性の主体的獲得（自由）～

筆者は、多少、自身の希望とそぐわなかったとしても、とりあえず働いてみることにより、仕事の意義や、面白さやつまらなさ、自分の適性や、能力の可能性や限界などを現実的に知ることによってこそ、実際のかつ高次のキャリア発達を遂げる事が可能となるといった循環的なキャリア発達の重要性を論じた(3)。これはすなわち、行動や活動に支えられた統合的なキャリア発達の実現ということでもある。

さて、就労消極群の心理的状況が典型的に表れていると思われる自己同一性の不全感に悩む心理的不適応の青年らへの心理臨床的治療、援助等の実践知から、思春期的な自己不確実感に悩むものほど、現実的な制約を無視して、自己実現や生きがいにつながる仕事を求めがちであり、ますます、活動や就職に向けての一步が踏み出せなくなることが指摘されている(3),(6),(10)。本件大学生調査においても、先の4群を比較した際、一気に成功を狙おうとする傾向(「平凡でも安定した暮らしがしたい[逆転項目]」、「今の世の中はこつこつ働いても評価されない」の質問項目を合わせて得点化した)は就労消極群がもっとも高かった。(表8)

表8 一気に成功を求める傾向(平均値と順位)

諦めを視野に入れた生きがい追求群	4.48(第3位)
生きがい追求優先群	4.69(第2位)
現実生活優先群	4.43(第4位)
就労消極群	4.75(第1位)

分散分析 $p < .05$

したがって、彼/彼女らの現実に根ざした社会参加を通じての同一性の主体的な獲得は難しくなり、より強まった自己の不確実感を一気に挽回するためには、平凡で地道な下積みが要される職業では満足できず、さらに誇大な職業志望を募らせていく傾向がある。これは、先に述べた循

環的なキャリア発達とは正反対の悪循環プロセスであり、そこには、マイナスを一気にプラスに、黒をひっくり返して白にという、人生の一発逆転志向が働いており、特に自己不全感が強い青年らは、「職業を通じての自己実現」に、ある意味、自己治癒を映し合わせているともいえる。従って、キャリアガイダンスに当たっては、彼/彼女ら特有の「自己実現志向」に留意する必要がある、それをポジティブな側面からばかりとらえることは危険であろう。

以上で述べた青年層の傾向は、就職不況といえども、GNP 世界 2 位の物質的には我慢を強いられることが比較的少ない物質的豊かさのなかで、「勝ち組、負け組」という言葉に象徴されるようにプロセスよりも結果が最重視され、即時の成功をよしとしがちな短期決済型社会でこそより顕著になろう。自己同一性の主体的な獲得や自己実現は、現実的な制約や避けられない不自由を前提としてこそなされるものである。社会的規制や不自由などの「枠組み」に反目し、制約のない自由を求めようとすればするほど、自己理解や適性認知が混沌とし、同一性は拡散する。この点、統合群が、就労消極群に比較して、自己肯定感、自他への信頼感、勤勉性、主体性等を基盤に、現実的制約の枠組みの中での不自由、不確実性を前提として、第一歩を踏み出し、社会、職業にコミットして行こうとするのとはまったく対照的である。

2. 社会人としてのアイデンティティ形成の基盤となる心理社会的発達を目指す教育の必要性～「勤勉性」とプロセス主義という観点から～

従って、現代青年へのキャリア支援、キャリア教育においては、「自己理解」や「適性認知」を高める、「職種や仕事内容の情報」を充実させる、「職業を通じての自己実現」を目指すなどといった従来の発想だけでは不十分であり、自他への信頼感、自律性、主体性、勤勉性などの青年期以前の心理社会的発達課題を見据えて関わっていく必要があるものと思われる。この点、いわゆる心理カウンセリングとキャリアカウンセリングの統合が重要になってくるであろうし、小学、中学、高校段階におけるキャリア教育というものが、実際的な重みを持つてくるだろう。

これは、おそらく、「人間力」、「人間関係力」、「生きる力」など様々な言われ方をするものを目指す教育理念とおおむね共通の方向性を持つものであり、家庭教育の充実なども含めた長期的視野に立った対策が不可欠であろう。また、「人間として基本的な毎日をどう生きるか」、「何が喜びで、どう生きていくのか」などといった「人格的教育」を、少人数の対話を重視した教育のなかで行っていく必要(1)もあるだろう。ただし、このような学校場面だけに特化されない、いわゆる「人格的成長」に重なる分野は、教育政策の最もおよびにくいところでもあろう。

ここでは、それを前提としたうえで、あえて、信頼感、自律性、主体性、勤勉性と続く心理社会的発達のうち、「勤勉性(注 2)」すなわち「現実的な地についての行動や活動に支えられた自己効力感、自己肯定感、有能感」を育てる教育の重要性に言及したい。その理由として、まず第一に、それら心理社会的発達段階はすなわち社会化の過程でもあり、その早期段階になればなるほど、生い立ちや家庭環境、親子関係などの影響を受けやすく、公教育により馴染みにくくなるであろうこと、逆に、現実的かつ地道な行動や活動のプロセスを正當に評価することにより児童・生徒の自己効力感、有能感、自己肯定感を育てるという姿勢は、教育の本質に比較的沿っていると思われること。第二に、心理的不適応青年らへの臨床援助経験を踏まえて、勤勉性がある程度高い者は、たとえ信頼性や自主性等に不足していたとしても、それがよりどころとなって職業適応を

果たし、好循環サイクルに移行するケースが少なからずあり、逆に、どんなに高い知的能力等を有するものであっても、勤勉性に欠ける場合、社会適応がより困難となりやすいということが挙げられる。努力や真面目さにより、万人が裕福あるいは有名になれるというわけでは決してないが、地道な努力の継続はそのような意味で報われるケースが少なくない。

したがって、やや大胆な提言であるとは思われるが、結果主義ではなく、日々、地道な活動が心かける者や実直な努力をつぎ込んだ事から等に高い評価を与えることによって、「勤勉性」、すなわち、「現実的かつ実直な行動、活動に支えられた自己効力感、有能感」を育てるといったプロセス主義の教育の重要性を再度、主張したい。たとえ、資質や環境条件などに必ずしも恵まれているとはいえない者であっても、地道に活動に取り組むプロセスそのものによって、能力に恵まれ短期決済型に試験で高得点を挙げる者たちと同程度以上の評価を得られることが望ましい。そうすることにより、生まれも、生い立ちも、能力も、親も、家庭も、経済的基盤も異なる一人ひとりが、ニヒリズムに陥ることなく、自身の能力を最大限伸ばそうと前向きに生きてゆく、つまり、個性を十分に生きられる可能性により開かれるのではなからうか。

(注2) ただし、「勤勉性」の名称は、一時代前、特に高度経済成長期の一律の「がんばり主義」や「根性論」などを連想させるため、誤解を受ける可能性があり、必ずしも適当な名称ではないとも思われる。

参考文献

- 1) 江上節子 2005 企業からみたキャリア形成 ―若年者を中心として― 国立教育政策研究所 生涯キャリア発達に関する研究会議発表 (2005.11.11 質疑応答による)
- 2) 藤田博康 2005 職業生活へのコミットメント過程に影響を及ぼす要因 国立教育政策研究所 生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究報告書所収 I 143-153
- 3) 藤田博康 2005 「生きがいとしての仕事」と「生きる枠組みとしての仕事」の循環的キャリア発達 ～心理臨床の現場から～ 生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する総合的研究報告書所収 I 37-41
- 4) Galinsky, M.D. & Fast, I. 1966 Vocational choices as a focus of the identity search, *Journal of Counseling Psychology*, 13, 89-92
- 5) Hershenson, D.B. 1968 Life-stage vocational development system. *Journal of Counseling Psychology*, 15, 23-30
- 6) 香山リカ 2004 就職がこわい 講談社
- 7) 国立教育政策研究所 2002 児童生徒の職業観・勤労感を育む教育の推進について
- 8) 下村英雄 2006 大学生の就職活動とキャリア発達 本報告書所収
- 9) 下坂幸三 1999 社会変容と心理療法 精神療法 25-5 399-408
- 10) 下坂幸三 2001 心理療法としつけ ―境界例の場合― 精神療法 27-3 268-270
- 11) 鑪幹八郎 山本力 宮下一博 編 1984 自我同一性研究の展望 ナカニシヤ出版
- 12) 龍井葉二 2005 働く側からみたキャリア教育・キャリア開発 国立教育政策研究所 生涯キャリア発達に関する研究会議発表 (2005.10.14)

資 料

1 単純集計表

クロス集計結果(性別)

性別 × 問1. あなたは男ですか、女ですか。あてはまる数字をお選びください。

			問1. あなたは男ですか、女ですか。あてはまる数字をお選びください。			
			合計	男	女	無回答
性別 区分	合計	度数	810	383	427	
		行%	100.0	47.3	52.7	
	男性	度数	383	383		
		行%	100.0	100.0		
	女性	度数	427		427	
		行%	100.0		100.0	

性別 × 問2. あなたの就職活動についてお伺いします。あなたの現在の就職活動についてあてはまる番号をお選びください。

			問2. あなたの就職活動についてお伺いします。あなたの現在の就職活動についてあてはまる番号をお選びください。						
			合計	就職活動 中	就職活動 は終了した	就職に関 係する「ス クール」に 進学	大学院に 進学予定	その他	無回答
性別 区分	合計	度数	810	255	251	35	181	85	3
		行%	100.0	31.5	31.0	4.3	22.3	10.5	.4
	男性	度数	383	109	120	11	118	24	1
		行%	100.0	28.5	31.3	2.9	30.8	6.3	.3
	女性	度数	427	146	131	24	63	61	2
		行%	100.0	34.2	30.7	5.6	14.8	14.3	.5

性別 × Q2-2. 内定時期を書いてください 大学()年生

			大学()年生		
			合計	3	4
性別 区分	合計	度数	249	24	225
		行%	100.0	9.6	90.4
	男性	度数	116	12	104
		行%	100.0	10.3	89.7
	女性	度数	133	12	121
		行%	100.0	9.0	91.0

性別 × Q2-2. 内定時期を書いてください

			Q2-2. 内定時期を書いてください												無回答
			合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
性別 区分	合計	度数	251	1	2	17	66	69	66	22		1	1	3	3
		行%	100.0	.4	.8	6.6	26.3	27.5	26.3	8.8		.4	.4	1.2	
	男性	度数	120	1	10	34	27	33	9		1	1	1		3
		行%	100.0	.8	8.3	28.3	22.5	27.5	7.5		.8	.8	.8		2.5
	女性	度数	131	1	7	32	42	33	13					2	2
		行%	100.0	.8	.8	5.3	24.4	32.1	25.2	9.9				1.5	

性別 × 問3. あなたは次のようなことをどれくらいしましたか。あてはまる数字を記入してください

			問3. あなたは次のようなことをどれくらいしましたか。あてはまる数字を記入してください								
			合計	エントリー シートの提 出	会社説明 会(セミ ナー)出席	筆記試験	OB・OGと 会った人数	面接(集団 面接、グ ループデ スカシヨ ンを含む) した会社数	のべ面接 回数	内定取得 数	無回答
性別 区分	合計	度数	810	497	517	493	193	465	467	311	214
		行%	100.0	61.4	63.8	60.9	23.8	57.4	57.7	38.4	26.4
	男性	度数	383	222	232	219	85	206	200	140	111
		行%	100.0	58.0	60.6	57.2	22.2	53.8	52.2	36.6	29.0
	女性	度数	427	275	285	274	108	259	267	171	103
		行%	100.0	64.4	66.7	64.2	25.3	60.7	62.5	40.0	24.1

性別 × 問7. その職業は、本当に就きたい理想の仕事ですか。

		問7. その職業は、本当に就きたい理想の仕事ですか。				
		合計	はい	いいえ	無回答	
性別区分	合計	度数	810	563	191	56
		行%	100.0	69.5	23.6	6.9
	男性	度数	383	263	86	34
		行%	100.0	68.7	22.5	8.9
女性	度数	427	300	105	22	
	行%	100.0	70.3	24.6	5.2	

性別 × 問8. 就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業)について、次のどの情報源を参照しましたか。あてはまるすべての数字をお選びください。

		問8. 就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業)について、次のどの情報源を参照しましたか。あてはまるすべての数字をお選びください。																								
		合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
性別区分	合計	度数	810	64	38	74	75	185	260	227	242	154	119	147	9	31	82	39	24	17	119	150	194	218	26	17
		行%	100.0	7.9	4.7	9.1	9.3	22.9	32.1	27.9	15.4	14.5	14.6	14.5	1.8	3.8	10.1	4.8	2.9	2.1	14.7	18.5	23.5	24.6	3.2	2.1
男性	合計	度数	383	18	14	31	32	118	144	122	88	62	46	5	12	31	5	8	7	4	44	46	41	228	11	7
		行%	100.0	4.7	3.7	8.1	8.4	31.1	37.6	31.9	21.4	15.9	15.9	1.3	3.1	8.1	3.1	1.8	1.8	1.8	11.5	12.0	10.7	59.3	2.9	1.8
女性	合計	度数	427	46	24	43	43	167	216	120	154	72	91	42	17	19	51	34	17	13	75	104	153	197	15	10
		行%	100.0	10.8	5.6	10.1	10.1	39.1	50.6	28.1	36.3	16.9	21.3	10.0	4.0	4.0	11.9	7.9	4.0	3.9	17.6	24.4	35.6	46.4	3.5	2.3

性別 × 問9. 就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業)は、ご両親の職業と同じですか。あてはまる数字一つをお選びください。

		問9. 就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業)は、ご両親の職業と同じですか。あてはまる数字一つをお選びください。				
		合計	はい	いいえ	無回答	
性別区分	合計	度数	810	57	741	12
		行%	100.0	7.0	91.5	1.5
	男性	度数	383	25	353	5
		行%	100.0	6.5	92.2	1.3
女性	度数	427	32	388	7	
	行%	100.0	7.5	90.9	1.6	

性別 × 問9. 母親か父親かをお答えください

		問9. 母親か父親かをお答えください				
		合計	母親	父親	無回答	
性別区分	合計	度数	57	21	46	
		行%	100.0	36.8	80.7	
	男性	度数	25	3	25	
		行%	100.0	12.0	100.0	
	女性	度数	32	18	21	
		行%	100.0	56.3	65.6	

性別 × 問10. 就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業)に就きたいと思ったのはいつですか。あてはまる数字一つをお選びください。

		問10. 就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業)に就きたいと思ったのはいつですか。あてはまる数字一つをお選びください。									
		合計	小学校に入る前から	小学校に入ってから()年のとき	中学校に入ってから()年のとき	高校に入ってから()年のとき	大学に入ってから()年のとき	いま考えた	忘れた	無回答	
性別区分	合計	度数	810	13	35	39	134	441	61	65	22
		行%	100.0	1.6	4.3	4.8	16.5	54.4	7.5	8.0	2.7
	男性	度数	383	6	10	20	67	199	31	40	10
		行%	100.0	1.6	2.6	5.2	17.5	52.0	8.1	10.4	2.6
	女性	度数	427	7	25	19	67	242	30	25	12
		行%	100.0	1.6	5.9	4.4	15.7	56.7	7.0	5.9	2.8

性別 × 問10. 小学校に入ってから()年のとき。

			2. 小学校に入ってから()年のとき						
			合計	1	2	3	4	5	6
性別 区分	合計	度数	32	2	2	6	7	8	7
		行%	100.0	6.3	6.3	18.8	21.9	25.0	21.9
	男性	度数	9		1	2	1	2	3
		行%	100.0		11.1	22.2	11.1	22.2	33.3
	女性	度数	23	2	1	4	6	6	4
		行%	100.0	8.7	4.3	17.4	26.1	26.1	17.4

性別 × 問10. 中学校に入ってから()年のとき。

			3. 中学校に入ってから()年のとき			
			合計	1	2	3
性別 区分	合計	度数	39	4	19	16
		行%	100.0	10.3	48.7	41.0
	男性	度数	20	1	10	9
		行%	100.0	5.0	50.0	45.0
	女性	度数	19	3	9	7
		行%	100.0	15.8	47.4	36.8

性別 × 問10. 高校に入ってから()年のとき。

			4. 高校に入ってから()年のとき			
			合計	1	2	3
性別 区分	合計	度数	131	21	56	54
		行%	100.0	16.0	42.7	41.2
	男性	度数	67	6	36	25
		行%	100.0	9.0	53.7	37.3
	女性	度数	64	15	20	29
		行%	100.0	23.4	31.3	45.3

性別 × 問10. 大学に入ってから()年のとき。

			5. 大学に入ってから()年のとき				
			合計	1	2	3	4
性別 区分	合計	度数	438	50	68	216	104
		行%	100.0	11.4	15.5	49.3	23.7
	男性	度数	196	27	38	95	36
		行%	100.0	13.8	19.4	48.5	18.4
	女性	度数	242	23	30	121	68
		行%	100.0	9.5	12.4	50.0	28.1

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			情報を収集する					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	270	372	115	41	12
		行%	100.0	33.3	45.9	14.2	5.1	1.5
	男性	度数	383	128	165	59	27	4
		行%	100.0	33.4	43.1	15.4	7.0	1.0
	女性	度数	427	142	207	56	14	8
		行%	100.0	33.3	48.5	13.1	3.3	1.9

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			就職のための試験勉強をする					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	169	275	243	110	13
		行%	100.0	20.9	34.0	30.0	13.6	1.6
	男性	度数	383	78	131	118	51	5
		行%	100.0	20.4	34.2	30.8	13.3	1.3
	女性	度数	427	91	144	125	59	8
		行%	100.0	21.3	33.7	29.3	13.8	1.9

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			人脈をひろげる					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	93	220	313	167	17
		行%	100.0	11.5	27.2	38.6	20.6	2.1
	男性	度数	383	47	103	154	72	7
		行%	100.0	12.3	26.9	40.2	18.8	1.8
	女性	度数	427	46	117	159	95	10
		行%	100.0	10.8	27.4	37.2	22.2	2.3

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			知識や教養を深める					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	263	375	122	32	18
		行%	100.0	32.5	46.3	15.1	4.0	2.2
	男性	度数	383	124	183	53	16	7
		行%	100.0	32.4	47.8	13.8	4.2	1.8
	女性	度数	427	139	192	69	16	11
		行%	100.0	32.6	45.0	16.2	3.7	2.6

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			多様な経験により人間的な魅力を高める					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	199	363	170	61	17
		行%	100.0	24.6	44.8	21.0	7.5	2.1
	男性	度数	383	97	159	90	33	4
		行%	100.0	25.3	41.5	23.5	8.6	1.0
	女性	度数	427	102	204	80	28	13
		行%	100.0	23.9	47.8	18.7	6.6	3.0

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			専門的な技能や技術をみがく					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	190	308	209	90	13
		行%	100.0	23.5	38.0	25.8	11.1	1.6
	男性	度数	383	85	168	92	34	4
		行%	100.0	22.2	43.9	24.0	8.9	1.0
	女性	度数	427	105	140	117	56	9
		行%	100.0	24.6	32.8	27.4	13.1	2.1

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			資格や検定をとる					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	171	274	220	132	13
		行%	100.0	21.1	33.8	27.2	16.3	1.6
	男性	度数	383	72	127	116	64	4
		行%	100.0	18.8	33.2	30.3	16.7	1.0
	女性	度数	427	99	147	104	68	9
		行%	100.0	23.2	34.4	24.4	15.9	2.1

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			面接のためにプレゼンテーション能力を高める					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	88	254	286	166	16
		行%	100.0	10.9	31.4	35.3	20.5	2.0
	男性	度数	383	44	131	130	72	6
		行%	100.0	11.5	34.2	33.9	18.8	1.6
	女性	度数	427	44	123	156	94	10
		行%	100.0	10.3	28.8	36.5	22.0	2.3

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			スタイルや容姿を良くする					
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	無回答
性別区分	合計	度数	810	42	208	331	214	15
		行%	100.0	5.2	25.7	40.9	26.4	1.9
	男性	度数	383	15	81	168	114	5
		行%	100.0	3.9	21.1	43.9	29.8	1.3
	女性	度数	427	27	127	163	100	10
		行%	100.0	6.3	29.7	38.2	23.4	2.3

性別 × 問11. あなたはその職業(就職しようと考えている職業(大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業))に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

			体力をつける					無回答
			合計	とても努力している	まあ努力している	あまり努力していない	全然努力していない	
性別 区分	合計	度数	810	80	232	325	154	19
		行%	100.0	9.9	28.6	40.1	19.0	2.3
	男性	度数	383	41	98	157	83	4
		行%	100.0	10.7	25.6	41.0	21.7	1.0
	女性	度数	427	39	134	168	71	15
		行%	100.0	9.1	31.4	39.3	16.6	3.5

性別 × 問12. あなたは、もし就きたい仕事につけなかった場合、どうすることがよいと思いますか。あてはまる数字一つをお選びください。

			問12. あなたは、もし就きたい仕事につけなかった場合、どうすることがよいと思いますか。あてはまる数字一つをお選びください。				無回答
			合計	ほかに就職し就きたい仕事をあきらめる	ほかの仕事しながら就きたい仕事を目指す	ほかの仕事には就かない	
性別 区分	合計	度数	810	256	424	120	10
		行%	100.0	31.6	52.3	14.8	1.2
	男性	度数	383	130	183	66	4
		行%	100.0	33.9	47.8	17.2	1.0
	女性	度数	427	126	241	54	6
		行%	100.0	29.5	56.4	12.6	1.4

性別 × 問12-1. その場合、卒業後どうしたいと思いますか。あてはまる数字一つをお選びください。

			問12-1. その場合、卒業後どうしたいと思いますか。あてはまる数字一つをお選びください。							無回答	
			合計	当分の間アルバイトで生活をする	希望ではない仕事だが正社員として働く	就職に係る「スクール」(専門学校等)に行く	留年する	大学院に進学する	わからない		その他
性別 区分	合計	度数	544	107	230	43	17	51	51	26	19
		行%	100.0	19.7	42.3	7.9	3.1	9.4	9.4	4.8	3.5
	男性	度数	249	42	107	20	10	29	28	5	8
		行%	100.0	16.9	43.0	8.0	4.0	11.6	11.2	2.0	3.2
	女性	度数	295	65	123	23	7	22	23	21	11
		行%	100.0	22.0	41.7	7.8	2.4	7.5	7.8	7.1	3.7

性別 × 問13. あなたは、数年たって転職すると思いますか。

			問13. あなたは、数年たって転職すると思いますか。			
			合計	はい	いいえ	無回答
性別 区分	合計	度数	810	331	461	18
		行%	100.0	40.9	56.9	2.2
	男性	度数	383	155	220	8
		行%	100.0	40.5	57.4	2.1
	女性	度数	427	176	241	10
		行%	100.0	41.2	56.4	2.3

性別 × 問14. あなたは、自分がどんな職業にむいているかどのくらいわかっていますか。あてはまる数字一つをお選びください。

			問14. あなたは、自分がどんな職業にむいているかどのくらいわかっていますか。あてはまる数字一つをお選びください。					
			合計	はっきりとわかっている	なんとなくわかっている	あまりわからない	全然わからない	無回答
性別区分	合計	度数	810	129	448	166	55	12
		行%	100.0	15.9	55.3	20.5	6.8	1.5
	男性	度数	383	72	202	78	26	5
		行%	100.0	18.8	52.7	20.4	6.8	1.3
	女性	度数	427	57	246	88	29	7
		行%	100.0	13.3	57.6	20.6	6.8	1.6

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			収入					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	209	455	120	15	11
		行%	100.0	25.8	56.2	14.8	1.9	1.4
	男性	度数	383	103	214	47	13	6
		行%	100.0	26.9	55.9	12.3	3.4	1.6
	女性	度数	427	106	241	73	2	5
		行%	100.0	24.8	56.4	17.1	.5	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			労働時間					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	219	422	141	17	11
		行%	100.0	27.0	52.1	17.4	2.1	1.4
	男性	度数	383	110	196	61	10	6
		行%	100.0	28.7	51.2	15.9	2.6	1.6
	女性	度数	427	109	226	80	7	5
		行%	100.0	25.5	52.9	18.7	1.6	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			通勤の便					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	201	419	150	29	11
		行%	100.0	24.8	51.7	18.5	3.6	1.4
	男性	度数	383	98	181	76	22	6
		行%	100.0	25.6	47.3	19.8	5.7	1.6
	女性	度数	427	103	238	74	7	5
		行%	100.0	24.1	55.7	17.3	1.6	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			仕事の内容					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	566	209	21	2	12
		行%	100.0	69.9	25.8	2.6	.2	1.5
	男性	度数	383	257	105	13	2	6
		行%	100.0	67.1	27.4	3.4	.5	1.6
	女性	度数	427	309	104	8		6
		行%	100.0	72.4	24.4	1.9		1.4

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			職場の雰囲気					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	382	370	38	8	12
		行%	100.0	47.2	45.7	4.7	1.0	1.5
	男性	度数	383	167	182	25	4	5
		行%	100.0	43.6	47.5	6.5	1.0	1.3
	女性	度数	427	215	188	13	4	7
		行%	100.0	50.4	44.0	3.0	.9	1.6

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			仕事の社会的意義					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	244	359	162	33	12
		行%	100.0	30.1	44.3	20.0	4.1	1.5
	男性	度数	383	119	158	79	21	6
		行%	100.0	31.1	41.3	20.6	5.5	1.6
	女性	度数	427	125	201	83	12	6
		行%	100.0	29.3	47.1	19.4	2.8	1.4

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			事業や雇用の安定性					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	234	405	132	27	12
		行%	100.0	28.9	50.0	16.3	3.3	1.5
	男性	度数	383	107	189	64	16	7
		行%	100.0	27.9	49.3	16.7	4.2	1.8
	女性	度数	427	127	216	68	11	5
		行%	100.0	29.7	50.6	15.9	2.6	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			将来性					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	255	407	116	19	13
		行%	100.0	31.5	50.2	14.3	2.3	1.6
	男性	度数	383	134	190	41	10	8
		行%	100.0	35.0	49.6	10.7	2.6	2.1
	女性	度数	427	121	217	75	9	5
		行%	100.0	28.3	50.8	17.6	2.1	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			専門的な知識や技能をいかにせること					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	296	312	158	31	13
		行%	100.0	36.5	38.5	19.5	3.8	1.6
	男性	度数	383	143	151	71	11	7
		行%	100.0	37.3	39.4	18.5	2.9	1.8
	女性	度数	427	153	161	87	20	6
		行%	100.0	35.8	37.7	20.4	4.7	1.4

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			能力を高める機会があること					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	357	316	108	19	10
		行%	100.0	44.1	39.0	13.3	2.3	1.2
	男性	度数	383	164	156	46	12	5
		行%	100.0	42.8	40.7	12.0	3.1	1.3
	女性	度数	427	193	160	62	7	5
		行%	100.0	45.2	37.5	14.5	1.6	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			自分を生かすこと					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	429	297	60	13	11
		行%	100.0	53.0	36.7	7.4	1.6	1.4
	男性	度数	383	193	153	24	7	6
		行%	100.0	50.4	39.9	6.3	1.8	1.6
	女性	度数	427	236	144	36	6	5
		行%	100.0	55.3	33.7	8.4	1.4	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			企業名等のブランド					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	65	274	303	158	10
		行%	100.0	8.0	33.8	37.4	19.5	1.2
	男性	度数	383	43	143	117	75	5
		行%	100.0	11.2	37.3	30.5	19.6	1.3
	女性	度数	427	22	131	186	83	5
		行%	100.0	5.2	30.7	43.6	19.4	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			勤務地					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	242	379	134	44	11
		行%	100.0	29.9	46.8	16.5	5.4	1.4
	男性	度数	383	113	158	78	28	6
		行%	100.0	29.5	41.3	20.4	7.3	1.6
	女性	度数	427	129	221	56	16	5
		行%	100.0	30.2	51.8	13.1	3.7	1.2

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			業績・規模					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	96	364	262	77	11
		行%	100.0	11.9	44.9	32.3	9.5	1.4
	男性	度数	383	56	183	100	39	5
		行%	100.0	14.6	47.8	26.1	10.2	1.3
	女性	度数	427	40	181	162	38	6
		行%	100.0	9.4	42.4	37.9	8.9	1.4

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			福利厚生の実					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	182	397	179	41	11
		行%	100.0	22.5	49.0	22.1	5.1	1.4
	男性	度数	383	85	181	89	23	5
		行%	100.0	22.2	47.3	23.2	6.0	1.3
	女性	度数	427	97	216	90	18	6
		行%	100.0	22.7	50.6	21.1	4.2	1.4

性別 × 問15. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください

			育児休暇や介護休暇などの家庭配慮の制度					
			合計	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない	無回答
性別区分	合計	度数	810	194	385	180	39	12
		行%	100.0	24.0	47.5	22.2	4.8	1.5
	男性	度数	383	66	187	103	22	5
		行%	100.0	17.2	48.8	26.9	5.7	1.3
	女性	度数	427	128	198	77	17	7
		行%	100.0	30.0	46.4	18.0	4.0	1.6

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			仕事は人生における生きがいである					
			合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全然そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	148	402	213	40	7
		行%	100.0	18.3	49.6	26.3	4.9	.9
	男性	度数	383	75	176	100	28	4
		行%	100.0	19.6	46.0	26.1	7.3	1.0
	女性	度数	427	73	226	113	12	3
		行%	100.0	17.1	52.9	26.5	2.8	.7

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			希望する仕事につくために、どういう勉強をすればよいかを考えなければならない					
			合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全然そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	279	416	98	9	8
		行%	100.0	34.4	51.4	12.1	1.1	1.0
	男性	度数	383	131	187	52	9	4
		行%	100.0	34.2	48.8	13.6	2.3	1.0
	女性	度数	427	148	229	46		4
		行%	100.0	34.7	53.6	10.8		.9

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			たとえ、望む仕事につけなかったとしても、我慢して働くべきである					
			合計	とてもそう思う	まあそう思う	あまりそう思わない	全然そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	76	406	261	58	9
		行%	100.0	9.4	50.1	32.2	7.2	1.1
	男性	度数	383	34	192	126	27	4
		行%	100.0	8.9	50.1	32.9	7.0	1.0
	女性	度数	427	42	214	135	31	5
		行%	100.0	9.8	50.1	31.6	7.3	1.2

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			お金に困らなければ、わざわざ望まない仕事につく必要はない					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	187	328	229	58	8
		行%	100.0	23.1	40.5	28.3	7.2	1.0
	男性	度数	383	91	155	106	27	4
		行%	100.0	23.8	40.5	27.7	7.0	1.0
	女性	度数	427	96	173	123	31	4
		行%	100.0	22.5	40.5	28.8	7.3	.9

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			就職は有力なコネ(知り合いがいること)で決まる					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	71	289	307	134	9
		行%	100.0	8.8	35.7	37.9	16.5	1.1
	男性	度数	383	41	137	141	59	5
		行%	100.0	10.7	35.8	36.8	15.4	1.3
	女性	度数	427	30	152	166	75	4
		行%	100.0	7.0	35.6	38.9	17.6	.9

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			同じ組織で一生働くのはつまらない					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	110	234	352	106	8
		行%	100.0	13.6	28.9	43.5	13.1	1.0
	男性	度数	383	57	109	156	57	4
		行%	100.0	14.9	28.5	40.7	14.9	1.0
	女性	度数	427	53	125	196	49	4
		行%	100.0	12.4	29.3	45.9	11.5	.9

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			キャリアアップのための転職は当然である					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	158	328	277	36	11
		行%	100.0	19.5	40.5	34.2	4.4	1.4
	男性	度数	383	70	145	143	21	4
		行%	100.0	18.3	37.9	37.3	5.5	1.0
	女性	度数	427	88	183	134	15	7
		行%	100.0	20.6	42.9	31.4	3.5	1.6

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			出世のために能力以上の無理をする必要はない					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	98	297	341	65	9
		行%	100.0	12.1	36.7	42.1	8.0	1.1
	男性	度数	383	57	119	162	41	4
		行%	100.0	14.9	31.1	42.3	10.7	1.0
	女性	度数	427	41	178	179	24	5
		行%	100.0	9.6	41.7	41.9	5.6	1.2

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			ベンチャー企業につとめたい					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	41	161	386	211	11
		行%	100.0	5.1	19.9	47.7	26.0	1.4
	男性	度数	383	28	88	185	76	6
		行%	100.0	7.3	23.0	48.3	19.8	1.6
	女性	度数	427	13	73	201	135	5
		行%	100.0	3.0	17.1	47.1	31.6	1.2

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			組織の業績を上げるためにはチームワークよりも構成員の能力や資質が大切である					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	37	266	436	63	8
		行%	100.0	4.6	32.8	53.8	7.8	1.0
	男性	度数	383	26	139	179	35	4
		行%	100.0	6.8	36.3	46.7	9.1	1.0
	女性	度数	427	11	127	257	28	4
		行%	100.0	2.6	29.7	60.2	6.6	.9

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			職場の人と個人的なつきあいをしたくない					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	30	144	389	235	12
		行%	100.0	3.7	17.8	48.0	29.0	1.5
	男性	度数	383	16	71	171	119	6
		行%	100.0	4.2	18.5	44.6	31.1	1.6
	女性	度数	427	14	73	218	116	6
		行%	100.0	3.3	17.1	51.1	27.2	1.4

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			組織はいつまでも自分を守ってくれない					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	197	397	173	34	9
		行%	100.0	24.3	49.0	21.4	4.2	1.1
	男性	度数	383	92	172	93	22	4
		行%	100.0	24.0	44.9	24.3	5.7	1.0
	女性	度数	427	105	225	80	12	5
		行%	100.0	24.6	52.7	18.7	2.8	1.2

性別 × 問16.あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			働かなくても批難されない風潮がフリーターを増加させている					
			合計	とてもそう 思う	まあそう思 う	あまりそう 思わない	全然そう思 わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	135	311	248	106	10
		行%	100.0	16.7	38.4	30.6	13.1	1.2
	男性	度数	383	75	144	108	51	5
		行%	100.0	19.6	37.6	28.2	13.3	1.3
	女性	度数	427	60	167	140	55	5
		行%	100.0	14.1	39.1	32.8	12.9	1.2

性別 × 問17 あなたはインターンシップ、教育実習、工場実習、アルバイト、ボランティアの経験がありますか

			問17 あなたはインターンシップ、教育実習、工場実習、アルバイト、ボランティアの経験がありますか							
			合計	インターンシップ	教育実習	工場実習	アルバイト	ボランティア	上記のどの経験もない	無回答
性別区分	合計	度数	810	117	85	24	659	219	101	13
		行%	100.0	14.4	10.5	3.0	81.4	27.0	12.5	1.6
	男性	度数	383	57	27	15	288	64	72	6
		行%	100.0	14.9	7.0	3.9	75.2	16.7	18.8	1.6
	女性	度数	427	60	58	9	371	155	29	7
		行%	100.0	14.1	13.6	2.1	86.9	36.3	6.8	1.6

性別 × 問17-1. インターンシップをするきっかけはなんでしたか。最もあてはまる数字一つをお選びください

			問17-1. インターンシップをするきっかけはなんでしたか。最もあてはまる数字一つをお選びください。						
			合計	大学の必修科目として単位取得のため	大学の選択科目として単位取得のため	自分で必要と考えたため	先輩からのすすめ	その他	無回答
性別区分	合計	度数	117	31	13	57	4	11	1
		行%	100.0	26.5	11.1	48.7	3.4	9.4	.9
	男性	度数	57	14	5	30	3	4	1
		行%	100.0	24.6	8.8	52.6	5.3	7.0	1.8
	女性	度数	60	17	8	27	1	7	
		行%	100.0	28.3	13.3	45.0	1.7	11.7	

性別 × 問17-2. インターンシップの受入れ先は、誰が決めましたか

			問17-2. インターンシップの受入れ先は、誰が決めましたか。					
			合計	自分	指導教官	大学就職部	その他	無回答
性別区分	合計	度数	117	67	19	13	9	9
		行%	100.0	57.3	16.2	11.1	7.7	7.7
	男性	度数	57	36	6	7	3	5
		行%	100.0	63.2	10.5	12.3	5.3	8.8
	女性	度数	60	31	13	6	6	4
		行%	100.0	51.7	21.7	10.0	10.0	6.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			就きたい仕事について基礎知識を得た					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	117	26	40	20	8	23
		行%	100.0	22.2	34.2	17.1	6.8	19.7
	男性	度数	57	14	17	10	6	10
		行%	100.0	24.6	29.8	17.5	10.5	17.5
	女性	度数	60	12	23	10	2	13
		行%	100.0	20.0	38.3	16.7	3.3	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			仕事の厳しさを知った					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	117	39	33	16	6	23
		行%	100.0	33.3	28.2	13.7	5.1	19.7
	男性	度数	57	18	15	10	4	10
		行%	100.0	31.6	26.3	17.5	7.0	17.5
	女性	度数	60	21	18	6	2	13
		行%	100.0	35.0	30.0	10.0	3.3	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			その仕事に向いていないことがわかった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	117	11	24	38	20	24
		行%	100.0	9.4	20.5	32.5	17.1	20.5
	男性	度数	57	6	10	18	12	11
		行%	100.0	10.5	17.5	31.6	21.1	19.3
	女性	度数	60	5	14	20	8	13
		行%	100.0	8.3	23.3	33.3	13.3	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			視野が広がった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	117	46	39	4	5	23
		行%	100.0	39.3	33.3	3.4	4.3	19.7
	男性	度数	57	22	18	3	4	10
		行%	100.0	38.6	31.6	5.3	7.0	17.5
	女性	度数	60	24	21	1	1	13
		行%	100.0	40.0	35.0	1.7	1.7	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			働く意味を感じた					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	117	31	34	22	7	23
		行%	100.0	26.5	29.1	18.8	6.0	19.7
	男性	度数	57	17	15	9	6	10
		行%	100.0	29.8	26.3	15.8	10.5	17.5
	女性	度数	60	14	19	13	1	13
		行%	100.0	23.3	31.7	21.7	1.7	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			人脈がひろがった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	117	19	34	33	8	23
		行%	100.0	16.2	29.1	28.2	6.8	19.7
	男性	度数	57	13	14	13	7	10
		行%	100.0	22.8	24.6	22.8	12.3	17.5
	女性	度数	60	6	20	20	1	13
		行%	100.0	10.0	33.3	33.3	1.7	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			忍耐力がついた					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	117	19	43	25	7	23
		行%	100.0	16.2	36.8	21.4	6.0	19.7
	男性	度数	57	8	20	13	6	10
		行%	100.0	14.0	35.1	22.8	10.5	17.5
	女性	度数	60	11	23	12	1	13
		行%	100.0	18.3	38.3	20.0	1.7	21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	117	24	49	15	6	23
		行%	100.0	20.5	41.9	12.8	5.1	19.7
	男性	度数	57	15	20	6	6	10
		行%	100.0	26.3	35.1	10.5	10.5	17.5
	女性	度数	60	9	29	9		13
		行%	100.0	15.0	48.3	15.0		21.7

性別 × 問18-1. インターンシップの経験がある方はお答えください

			人間関係の難しさを知った					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	117	17	44	21	12	23
		行%	100.0	14.5	37.6	17.9	10.3	19.7
	男性	度数	57	7	20	12	8	10
		行%	100.0	12.3	35.1	21.1	14.0	17.5
	女性	度数	60	10	24	9	4	13
		行%	100.0	16.7	40.0	15.0	6.7	21.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			就きたい仕事について基礎知識を得た					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	85	41	25	12	7	
		行%	100.0	48.2	29.4	14.1	8.2	
	男性	度数	27	12	9	4	2	
		行%	100.0	44.4	33.3	14.8	7.4	
	女性	度数	58	29	16	8	5	
		行%	100.0	50.0	27.6	13.8	8.6	

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			仕事の厳しさを知った					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	85	51	26	5	2	1
		行%	100.0	60.0	30.6	5.9	2.4	1.2
	男性	度数	27	16	6	3	2	
		行%	100.0	59.3	22.2	11.1	7.4	
	女性	度数	58	35	20	2		1
		行%	100.0	60.3	34.5	3.4		1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			その仕事に向いていないことがわかった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	17	12	38	17	1
		行%	100.0	20.0	14.1	44.7	20.0	1.2
	男性	度数	27	6	2	14	5	
		行%	100.0	22.2	7.4	51.9	18.5	
	女性	度数	58	11	10	24	12	1
		行%	100.0	19.0	17.2	41.4	20.7	1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			視野が広がった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	43	35	5	1	1
		行%	100.0	50.6	41.2	5.9	1.2	1.2
	男性	度数	27	11	13	2	1	
		行%	100.0	40.7	48.1	7.4	3.7	
	女性	度数	58	32	22	3		1
		行%	100.0	55.2	37.9	5.2		1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			働く意味を感じた					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	40	29	14	1	1
		行%	100.0	47.1	34.1	16.5	1.2	1.2
	男性	度数	27	11	8	7	1	
		行%	100.0	40.7	29.6	25.9	3.7	
	女性	度数	58	29	21	7		1
		行%	100.0	50.0	36.2	12.1		1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			人脈がひろがった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	24	32	25	3	1
		行%	100.0	28.2	37.6	29.4	3.5	1.2
	男性	度数	27	7	9	8	3	
		行%	100.0	25.9	33.3	29.6	11.1	
	女性	度数	58	17	23	17		1
		行%	100.0	29.3	39.7	29.3		1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			忍耐力がついた					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	34	37	11	2	1
		行%	100.0	40.0	43.5	12.9	2.4	1.2
	男性	度数	27	11	10	4	2	
		行%	100.0	40.7	37.0	14.8	7.4	
	女性	度数	58	23	27	7		1
		行%	100.0	39.7	46.6	12.1		1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	41	33	8	2	1
		行%	100.0	48.2	38.8	9.4	2.4	1.2
	男性	度数	27	12	9	4	2	
		行%	100.0	44.4	33.3	14.8	7.4	
	女性	度数	58	29	24	4		1
		行%	100.0	50.0	41.4	6.9		1.7

性別 × 問18-2. 教育実習の経験がある方はお答えください

			人間関係の難しさを知った					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	85	31	34	16	3	1
		行%	100.0	36.5	40.0	18.8	3.5	1.2
	男性	度数	27	8	11	6	2	
		行%	100.0	29.6	40.7	22.2	7.4	
	女性	度数	58	23	23	10	1	1
		行%	100.0	39.7	39.7	17.2	1.7	1.7

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			就きたい仕事について基礎知識を得た					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	7	6	7	1	3
		行%	100.0	29.2	25.0	29.2	4.2	12.5
	男性	度数	15	5	4	3	1	2
		行%	100.0	33.3	26.7	20.0	6.7	13.3
	女性	度数	9	2	2	4		1
		行%	100.0	22.2	22.2	44.4		11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			仕事の厳しさを知った					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	5	9	5	2	3
		行%	100.0	20.8	37.5	20.8	8.3	12.5
	男性	度数	15	2	5	4	2	2
		行%	100.0	13.3	33.3	26.7	13.3	13.3
	女性	度数	9	3	4	1		1
		行%	100.0	33.3	44.4	11.1		11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			その仕事に向いていないことがわかった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	2	7	6	6	3
		行%	100.0	8.3	29.2	25.0	25.0	12.5
	男性	度数	15	1	3	4	5	2
		行%	100.0	6.7	20.0	26.7	33.3	13.3
	女性	度数	9	1	4	2	1	1
		行%	100.0	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			視野が広がった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	6	12	2	1	3
		行%	100.0	25.0	50.0	8.3	4.2	12.5
	男性	度数	15	2	8	2	1	2
		行%	100.0	13.3	53.3	13.3	6.7	13.3
	女性	度数	9	4	4			1
		行%	100.0	44.4	44.4			11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			働く意味を感じた					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	6	12	1	2	3
		行%	100.0	25.0	50.0	4.2	8.3	12.5
	男性	度数	15	3	7	1	2	2
		行%	100.0	20.0	46.7	6.7	13.3	13.3
	女性	度数	9	3	5			1
		行%	100.0	33.3	55.6			11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			人脈がひろがった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	5	6	8	2	3
		行%	100.0	20.8	25.0	33.3	8.3	12.5
	男性	度数	15	2	5	5	1	2
		行%	100.0	13.3	33.3	33.3	6.7	13.3
	女性	度数	9	3	1	3	1	1
		行%	100.0	33.3	11.1	33.3	11.1	11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			忍耐力がついた					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	6	7	7	1	3
		行%	100.0	25.0	29.2	29.2	4.2	12.5
	男性	度数	15	2	5	5	1	2
		行%	100.0	13.3	33.3	33.3	6.7	13.3
	女性	度数	9	4	2	2		1
		行%	100.0	44.4	22.2	22.2		11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	3	11	6	1	3
		行%	100.0	12.5	45.8	25.0	4.2	12.5
	男性	度数	15	1	7	4	1	2
		行%	100.0	6.7	46.7	26.7	6.7	13.3
	女性	度数	9	2	4	2		1
		行%	100.0	22.2	44.4	22.2		11.1

性別 × 問18-3. 工場実習の経験がある方はお答えください

			人間関係の難しさを知った					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	24	4	6	9	2	3
		行%	100.0	16.7	25.0	37.5	8.3	12.5
	男性	度数	15	1	2	8	2	2
		行%	100.0	6.7	13.3	53.3	13.3	13.3
	女性	度数	9	3	4	1		1
		行%	100.0	33.3	44.4	11.1		11.1

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			就きたい仕事について基礎知識を得た					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	659	56	142	234	220	7
		行%	100.0	8.5	21.5	35.5	33.4	1.1
	男性	度数	288	25	60	89	110	4
		行%	100.0	8.7	20.8	30.9	38.2	1.4
	女性	度数	371	31	82	145	110	3
		行%	100.0	8.4	22.1	39.1	29.6	.8

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			仕事の厳しさを知った					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	659	210	315	104	24	6
		行%	100.0	31.9	47.8	15.8	3.6	.9
	男性	度数	288	86	140	46	13	3
		行%	100.0	29.9	48.6	16.0	4.5	1.0
	女性	度数	371	124	175	58	11	3
		行%	100.0	33.4	47.2	15.6	3.0	.8

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			その仕事に向いていないことがわかった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	659	74	162	290	127	6
		行%	100.0	11.2	24.6	44.0	19.3	.9
	男性	度数	288	31	77	126	51	3
		行%	100.0	10.8	26.7	43.8	17.7	1.0
	女性	度数	371	43	85	164	76	3
		行%	100.0	11.6	22.9	44.2	20.5	.8

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			視野が広がった					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	659	264	307	63	19	6
		行%	100.0	40.1	46.6	9.6	2.9	.9
	男性	度数	288	103	134	36	11	4
		行%	100.0	35.8	46.5	12.5	3.8	1.4
	女性	度数	371	161	173	27	8	2
		行%	100.0	43.4	46.6	7.3	2.2	.5

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			働く意味を感じた					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	659	228	287	111	27	6
		行%	100.0	34.6	43.6	16.8	4.1	.9
	男性	度数	288	90	134	45	16	3
		行%	100.0	31.3	46.5	15.6	5.6	1.0
	女性	度数	371	138	153	66	11	3
		行%	100.0	37.2	41.2	17.8	3.0	.8

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			人脈がひろがった					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	659	191	244	161	57	6
		行%	100.0	29.0	37.0	24.4	8.6	.9
	男性	度数	288	77	108	70	30	3
		行%	100.0	26.7	37.5	24.3	10.4	1.0
	女性	度数	371	114	136	91	27	3
		行%	100.0	30.7	36.7	24.5	7.3	.8

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			忍耐力がついた					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	659	235	294	95	27	8
		行%	100.0	35.7	44.6	14.4	4.1	1.2
	男性	度数	288	97	136	39	12	4
		行%	100.0	33.7	47.2	13.5	4.2	1.4
	女性	度数	371	138	158	56	15	4
		行%	100.0	37.2	42.6	15.1	4.0	1.1

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	659	257	292	82	23	5
		行%	100.0	39.0	44.3	12.4	3.5	.8
	男性	度数	288	93	137	39	16	3
		行%	100.0	32.3	47.6	13.5	5.6	1.0
	女性	度数	371	164	155	43	7	2
		行%	100.0	44.2	41.8	11.6	1.9	.5

性別 × 問18-4. アルバイトの経験がある方はお答えください

			人間関係の難しさを知った					
			合計	とても そう である	まあ そう である	あまり そう でない	全然 そう でない	無回答
性別 区分	合計	度数	659	203	299	114	36	7
		行%	100.0	30.8	45.4	17.3	5.5	1.1
	男性	度数	288	80	134	53	18	3
		行%	100.0	27.8	46.5	18.4	6.3	1.0
	女性	度数	371	123	165	61	18	4
		行%	100.0	33.2	44.5	16.4	4.9	1.1

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			就きたい仕事について基礎知識を得た					
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	無回答
性別 区分	合計	度数	219	25	58	74	59	3
		行%	100.0	11.4	26.5	33.8	26.9	1.4
	男性	度数	64	6	16	27	14	1
		行%	100.0	9.4	25.0	42.2	21.9	1.6
	女性	度数	155	19	42	47	45	2
		行%	100.0	12.3	27.1	30.3	29.0	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			仕事の厳しさを知った					
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	無回答
性別 区分	合計	度数	219	54	75	59	29	2
		行%	100.0	24.7	34.2	26.9	13.2	.9
	男性	度数	64	16	21	18	9	
		行%	100.0	25.0	32.8	28.1	14.1	
	女性	度数	155	38	54	41	20	2
		行%	100.0	24.5	34.8	26.5	12.9	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			その仕事に向いていないことがわかった					
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	無回答
性別 区分	合計	度数	219	25	55	91	46	2
		行%	100.0	11.4	25.1	41.6	21.0	.9
	男性	度数	64	6	17	24	17	
		行%	100.0	9.4	26.6	37.5	26.6	
	女性	度数	155	19	38	67	29	2
		行%	100.0	12.3	24.5	43.2	18.7	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			視野が広がった					
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	無回答
性別 区分	合計	度数	219	109	80	18	10	2
		行%	100.0	49.8	36.5	8.2	4.6	.9
	男性	度数	64	29	23	8	4	
		行%	100.0	45.3	35.9	12.5	6.3	
	女性	度数	155	80	57	10	6	2
		行%	100.0	51.6	36.8	6.5	3.9	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			働く意味を感じた					
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	無回答
性別 区分	合計	度数	219	70	77	49	21	2
		行%	100.0	32.0	35.2	22.4	9.6	.9
	男性	度数	64	20	26	14	4	
		行%	100.0	31.3	40.6	21.9	6.3	
	女性	度数	155	50	51	35	17	2
		行%	100.0	32.3	32.9	22.6	11.0	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			人脈がひろがった					無回答
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	
性別区分	合計	度数	219	66	78	46	27	2
		行%	100.0	30.1	35.6	21.0	12.3	.9
	男性	度数	64	21	24	15	4	
		行%	100.0	32.8	37.5	23.4	6.3	
	女性	度数	155	45	54	31	23	2
		行%	100.0	29.0	34.8	20.0	14.8	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			忍耐力がついた					無回答
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	
性別区分	合計	度数	219	69	81	48	19	2
		行%	100.0	31.5	37.0	21.9	8.7	.9
	男性	度数	64	22	22	16	4	
		行%	100.0	34.4	34.4	25.0	6.3	
	女性	度数	155	47	59	32	15	2
		行%	100.0	30.3	38.1	20.6	9.7	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ					無回答
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	
性別区分	合計	度数	219	58	80	60	19	2
		行%	100.0	26.5	36.5	27.4	8.7	.9
	男性	度数	64	16	27	15	6	
		行%	100.0	25.0	42.2	23.4	9.4	
	女性	度数	155	42	53	45	13	2
		行%	100.0	27.1	34.2	29.0	8.4	1.3

性別 × 問18-5. ボランティアの経験がある方はお答えください

			人間関係の難しさを知った					無回答
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	
性別区分	合計	度数	219	48	75	65	26	5
		行%	100.0	21.9	34.2	29.7	11.9	2.3
	男性	度数	64	16	15	23	10	
		行%	100.0	25.0	23.4	35.9	15.6	
	女性	度数	155	32	60	42	16	5
		行%	100.0	20.6	38.7	27.1	10.3	3.2

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			働きたくても、働くところがないから					無回答
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	
性別区分	合計	度数	810	194	447	125	41	3
		行%	100.0	24.0	55.2	15.4	5.1	.4
	男性	度数	383	94	198	62	27	2
		行%	100.0	24.5	51.7	16.2	7.0	.5
	女性	度数	427	100	249	63	14	1
		行%	100.0	23.4	58.3	14.8	3.3	.2

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			働くところをやめさせられたから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	153	490	140	23	4
		行%	100.0	18.9	60.5	17.3	2.8	.5
	男性	度数	383	79	226	65	10	3
		行%	100.0	20.6	59.0	17.0	2.6	.8
	女性	度数	427	74	264	75	13	1
		行%	100.0	17.3	61.8	17.6	3.0	.2

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			就きたい職業がないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	212	442	112	39	5
		行%	100.0	26.2	54.6	13.8	4.8	.6
	男性	度数	383	97	204	57	22	3
		行%	100.0	25.3	53.3	14.9	5.7	.8
	女性	度数	427	115	238	55	17	2
		行%	100.0	26.9	55.7	12.9	4.0	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			健康ではないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	42	240	370	154	4
		行%	100.0	5.2	29.6	45.7	19.0	.5
	男性	度数	383	17	98	176	90	2
		行%	100.0	4.4	25.6	46.0	23.5	.5
	女性	度数	427	25	142	194	64	2
		行%	100.0	5.9	33.3	45.4	15.0	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			人と仲良くできないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	82	360	291	72	5
		行%	100.0	10.1	44.4	35.9	8.9	.6
	男性	度数	383	51	150	137	42	3
		行%	100.0	13.3	39.2	35.8	11.0	.8
	女性	度数	427	31	210	154	30	2
		行%	100.0	7.3	49.2	36.1	7.0	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			だらしがないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	194	357	192	63	4
		行%	100.0	24.0	44.1	23.7	7.8	.5
	男性	度数	383	118	146	91	26	2
		行%	100.0	30.8	38.1	23.8	6.8	.5
	女性	度数	427	76	211	101	37	2
		行%	100.0	17.8	49.4	23.7	8.7	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			仕事をする能力がないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	103	255	330	117	5
		行%	100.0	12.7	31.5	40.7	14.4	.6
	男性	度数	383	64	127	137	52	3
		行%	100.0	16.7	33.2	35.8	13.6	.8
	女性	度数	427	39	128	193	65	2
		行%	100.0	9.1	30.0	45.2	15.2	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			何をしたらいいか、わからないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	348	347	83	27	5
		行%	100.0	43.0	42.8	10.2	3.3	.6
	男性	度数	383	150	170	42	18	3
		行%	100.0	39.2	44.4	11.0	4.7	.8
	女性	度数	427	198	177	41	9	2
		行%	100.0	46.4	41.5	9.6	2.1	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			仕事を一つに決められないから					無回答
			合計	とても そう である	まあ そうで ある	あまり そうで ない	全然 そうで ない	
性別 区分	合計	度数	810	135	290	281	98	6
		行%	100.0	16.7	35.8	34.7	12.1	.7
	男性	度数	383	71	143	120	46	3
		行%	100.0	18.5	37.3	31.3	12.0	.8
	女性	度数	427	64	147	161	52	3
		行%	100.0	15.0	34.4	37.7	12.2	.7

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			働くのが嫌いだから					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	810	231	354	180	39	6
		行%	100.0	28.5	43.7	22.2	4.8	.7
	男性	度数	383	120	155	87	17	4
		行%	100.0	31.3	40.5	22.7	4.4	1.0
	女性	度数	427	111	199	93	22	2
		行%	100.0	26.0	46.6	21.8	5.2	.5

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			他にしたいことがあるから					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	810	193	383	171	53	10
		行%	100.0	23.8	47.3	21.1	6.5	1.2
	男性	度数	383	78	164	94	40	7
		行%	100.0	20.4	42.8	24.5	10.4	1.8
	女性	度数	427	115	219	77	13	3
		行%	100.0	26.9	51.3	18.0	3.0	.7

性別 × 問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください

			働かなくても、暮らしていけるから					
			合計	とてもそうである	まあそうである	あまりそうでない	全然そうでない	無回答
性別区分	合計	度数	810	197	366	174	69	4
		行%	100.0	24.3	45.2	21.5	8.5	.5
	男性	度数	383	86	174	86	35	2
		行%	100.0	22.5	45.4	22.5	9.1	.5
	女性	度数	427	111	192	88	34	2
		行%	100.0	26.0	45.0	20.6	8.0	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			問題を発見する力					
			合計	とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	154	452	174	26	4
		行%	100.0	19.0	55.8	21.5	3.2	.5
	男性	度数	383	88	215	67	11	2
		行%	100.0	23.0	56.1	17.5	2.9	.5
	女性	度数	427	66	237	107	15	2
		行%	100.0	15.5	55.5	25.1	3.5	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			論理的に考えられる力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	222	418	136	26	8
		行%	100.0	27.4	51.6	16.8	3.2	1.0
	男性	度数	383	127	190	45	14	7
		行%	100.0	33.2	49.6	11.7	3.7	1.8
	女性	度数	427	95	228	91	12	1
		行%	100.0	22.2	53.4	21.3	2.8	.2

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	311	367	114	15	3
		行%	100.0	38.4	45.3	14.1	1.9	.4
	男性	度数	383	141	172	59	9	2
		行%	100.0	36.8	44.9	15.4	2.3	.5
	女性	度数	427	170	195	55	6	1
		行%	100.0	39.8	45.7	12.9	1.4	.2

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			情報を収集する力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	305	405	82	14	4
		行%	100.0	37.7	50.0	10.1	1.7	.5
	男性	度数	383	147	186	40	8	2
		行%	100.0	38.4	48.6	10.4	2.1	.5
	女性	度数	427	158	219	42	6	2
		行%	100.0	37.0	51.3	9.8	1.4	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			人間関係を円滑にする力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	225	374	170	35	6
		行%	100.0	27.8	46.2	21.0	4.3	.7
	男性	度数	383	111	162	84	22	4
		行%	100.0	29.0	42.3	21.9	5.7	1.0
	女性	度数	427	114	212	86	13	2
		行%	100.0	26.7	49.6	20.1	3.0	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			人脈形成力					
			合計	とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	164	316	269	55	6
		行%	100.0	20.2	39.0	33.2	6.8	.7
	男性	度数	383	90	140	125	25	3
		行%	100.0	23.5	36.6	32.6	6.5	.8
	女性	度数	427	74	176	144	30	3
		行%	100.0	17.3	41.2	33.7	7.0	.7

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			自己表現力					
			合計	とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	177	358	232	38	5
		行%	100.0	21.9	44.2	28.6	4.7	.6
	男性	度数	383	94	149	117	20	3
		行%	100.0	24.5	38.9	30.5	5.2	.8
	女性	度数	427	83	209	115	18	2
		行%	100.0	19.4	48.9	26.9	4.2	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			交渉力					
			合計	とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	112	341	277	70	10
		行%	100.0	13.8	42.1	34.2	8.6	1.2
	男性	度数	383	64	166	117	31	5
		行%	100.0	16.7	43.3	30.5	8.1	1.3
	女性	度数	427	48	175	160	39	5
		行%	100.0	11.2	41.0	37.5	9.1	1.2

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			状況の変化に柔軟に対応する力					
			合計	とてもあると思う	まああると思う	あまりあると思わない	全然あると思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	216	410	157	24	3
		行%	100.0	26.7	50.6	19.4	3.0	.4
	男性	度数	383	91	199	76	15	2
		行%	100.0	23.8	52.0	19.8	3.9	.5
	女性	度数	427	125	211	81	9	1
		行%	100.0	29.3	49.4	19.0	2.1	.2

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			異文化を受容する力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	218	317	208	63	4
		行%	100.0	26.9	39.1	25.7	7.8	.5
	男性	度数	383	81	149	112	39	2
		行%	100.0	21.1	38.9	29.2	10.2	.5
	女性	度数	427	137	168	96	24	2
		行%	100.0	32.1	39.3	22.5	5.6	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			語学力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	113	225	296	167	9
		行%	100.0	14.0	27.8	36.5	20.6	1.1
	男性	度数	383	41	104	147	86	5
		行%	100.0	10.7	27.2	38.4	22.5	1.3
	女性	度数	427	72	121	149	81	4
		行%	100.0	16.9	28.3	34.9	19.0	.9

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			コンピューター活用能力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	332	330	109	34	5
		行%	100.0	41.0	40.7	13.5	4.2	.6
	男性	度数	383	165	147	48	20	3
		行%	100.0	43.1	38.4	12.5	5.2	.8
	女性	度数	427	167	183	61	14	2
		行%	100.0	39.1	42.9	14.3	3.3	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			熱意・意欲を維持する力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	172	375	216	41	6
		行%	100.0	21.2	46.3	26.7	5.1	.7
	男性	度数	383	85	177	102	15	4
		行%	100.0	22.2	46.2	26.6	3.9	1.0
	女性	度数	427	87	198	114	26	2
		行%	100.0	20.4	46.4	26.7	6.1	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			行動力・実行力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	225	401	154	25	5
		行%	100.0	27.8	49.5	19.0	3.1	.6
	男性	度数	383	103	180	82	14	4
		行%	100.0	26.9	47.0	21.4	3.7	1.0
	女性	度数	427	122	221	72	11	1
		行%	100.0	28.6	51.8	16.9	2.6	.2

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			意見や利害の対立を調整する力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	161	398	208	38	5
		行%	100.0	19.9	49.1	25.7	4.7	.6
	男性	度数	383	76	187	99	18	3
		行%	100.0	19.8	48.8	25.8	4.7	.8
	女性	度数	427	85	211	109	20	2
		行%	100.0	19.9	49.4	25.5	4.7	.5

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			専門能力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	222	321	219	43	5
		行%	100.0	27.4	39.6	27.0	5.3	.6
	男性	度数	383	108	155	99	19	2
		行%	100.0	28.2	40.5	25.8	5.0	.5
	女性	度数	427	114	166	120	24	3
		行%	100.0	26.7	38.9	28.1	5.6	.7

性別 × 問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

			体力					
			合計	とてもある と思う	まああると 思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	78	254	318	152	8
		行%	100.0	9.6	31.4	39.3	18.8	1.0
	男性	度数	383	47	124	140	67	5
		行%	100.0	12.3	32.4	36.6	17.5	1.3
	女性	度数	427	31	130	178	85	3
		行%	100.0	7.3	30.4	41.7	19.9	.7

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			明るい人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	478	157	171	4
		行%	100.0	59.0	19.4	21.1	.5
	男性	度数	383	194	97	89	3
		行%	100.0	50.7	25.3	23.2	.8
	女性	度数	427	284	60	82	1
		行%	100.0	66.5	14.1	19.2	.2

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			カッコいい人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	123	364	319	4
		行%	100.0	15.2	44.9	39.4	.5
	男性	度数	383	56	187	137	3
		行%	100.0	14.6	48.8	35.8	.8
	女性	度数	427	67	177	182	1
		行%	100.0	15.7	41.5	42.6	.2

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			元気な人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	404	213	188	5
		行%	100.0	49.9	26.3	23.2	.6
	男性	度数	383	169	119	93	2
		行%	100.0	44.1	31.1	24.3	.5
	女性	度数	427	235	94	95	3
		行%	100.0	55.0	22.0	22.2	.7

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			勉強ができる人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	306	271	229	4
		行%	100.0	37.8	33.5	28.3	.5
	男性	度数	383	137	134	109	3
		行%	100.0	35.8	35.0	28.5	.8
	女性	度数	427	169	137	120	1
		行%	100.0	39.6	32.1	28.1	.2

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			優しい人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	459	126	220	5
		行%	100.0	56.7	15.6	27.2	.6
	男性	度数	383	223	61	96	3
		行%	100.0	58.2	15.9	25.1	.8
	女性	度数	427	236	65	124	2
		行%	100.0	55.3	15.2	29.0	.5

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			頼りになる人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	343	215	248	4
		行%	100.0	42.3	26.5	30.6	.5
	男性	度数	383	157	105	119	2
		行%	100.0	41.0	27.4	31.1	.5
	女性	度数	427	186	110	129	2
		行%	100.0	43.6	25.8	30.2	.5

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			運動ができる人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	184	420	199	7
		行%	100.0	22.7	51.9	24.6	.9
	男性	度数	383	114	160	105	4
		行%	100.0	29.8	41.8	27.4	1.0
	女性	度数	427	70	260	94	3
		行%	100.0	16.4	60.9	22.0	.7

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			先生に好かれている人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	187	302	312	9
		行%	100.0	23.1	37.3	38.5	1.1
	男性	度数	383	80	153	143	7
		行%	100.0	20.9	39.9	37.3	1.8
	女性	度数	427	107	149	169	2
		行%	100.0	25.1	34.9	39.6	.5

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			人よりすぐれたところがある人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	318	190	295	7
		行%	100.0	39.3	23.5	36.4	.9
	男性	度数	383	166	91	123	3
		行%	100.0	43.3	23.8	32.1	.8
	女性	度数	427	152	99	172	4
		行%	100.0	35.6	23.2	40.3	.9

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			どんなことにも一生懸命である人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	354	215	236	5
		行%	100.0	43.7	26.5	29.1	.6
	男性	度数	383	162	112	105	4
		行%	100.0	42.3	29.2	27.4	1.0
	女性	度数	427	192	103	131	1
		行%	100.0	45.0	24.1	30.7	.2

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			失敗してもくよくよしない人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	348	225	232	5
		行%	100.0	43.0	27.8	28.6	.6
	男性	度数	383	154	116	110	3
		行%	100.0	40.2	30.3	28.7	.8
	女性	度数	427	194	109	122	2
		行%	100.0	45.4	25.5	28.6	.5

性別 × 問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			みんなに好かれている人				
			合計	そう思われている	そう思われていない	わからない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	240	175	385	10
		行%	100.0	29.6	21.6	47.5	1.2
	男性	度数	383	126	90	160	7
		行%	100.0	32.9	23.5	41.8	1.8
	女性	度数	427	114	85	225	3
		行%	100.0	26.7	19.9	52.7	.7

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			人よりも計画性のある方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	154	298	137	149	66	6
		行%	100.0	19.0	36.8	16.9	18.4	8.1	.7
	男性	度数	383	88	144	60	65	21	5
		行%	100.0	23.0	37.6	15.7	17.0	5.5	1.3
	女性	度数	427	66	154	77	84	45	1
		行%	100.0	15.5	36.1	18.0	19.7	10.5	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	150	295	162	138	58	7
		行%	100.0	18.5	36.4	20.0	17.0	7.2	.9
	男性	度数	383	48	124	90	75	43	3
		行%	100.0	12.5	32.4	23.5	19.6	11.2	.8
	女性	度数	427	102	171	72	63	15	4
		行%	100.0	23.9	40.0	16.9	14.8	3.5	.9

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			「これは何だろう」「なぜこうなるのだろう」という疑問をもつ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	262	363	118	49	13	5
		行%	100.0	32.3	44.8	14.6	6.0	1.6	.6
	男性	度数	383	125	166	65	16	7	4
		行%	100.0	32.6	43.3	17.0	4.2	1.8	1.0
	女性	度数	427	137	197	53	33	6	1
		行%	100.0	32.1	46.1	12.4	7.7	1.4	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			自分が生まれてきた意味について考えることがある						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	229	259	147	111	59	5
		行%	100.0	28.3	32.0	18.1	13.7	7.3	.6
	男性	度数	383	113	108	89	40	29	4
		行%	100.0	29.5	28.2	23.2	10.4	7.6	1.0
	女性	度数	427	116	151	58	71	30	1
		行%	100.0	27.2	35.4	13.6	16.6	7.0	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	171	257	183	147	48	4
		行%	100.0	21.1	31.7	22.6	18.1	5.9	.5
	男性	度数	383	83	114	93	70	20	3
		行%	100.0	21.7	29.8	24.3	18.3	5.2	.8
	女性	度数	427	88	143	90	77	28	1
		行%	100.0	20.6	33.5	21.1	18.0	6.6	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			家族や友人に対する愛情が深い方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	250	295	175	67	18	5
		行%	100.0	30.9	36.4	21.6	8.3	2.2	.6
	男性	度数	383	102	128	111	28	10	4
		行%	100.0	26.6	33.4	29.0	7.3	2.6	1.0
	女性	度数	427	148	167	64	39	8	1
		行%	100.0	34.7	39.1	15.0	9.1	1.9	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	263	316	144	58	20	9
		行%	100.0	32.5	39.0	17.8	7.2	2.5	1.1
	男性	度数	383	140	150	61	15	9	8
		行%	100.0	36.6	39.2	15.9	3.9	2.3	2.1
	女性	度数	427	123	166	83	43	11	1
		行%	100.0	28.8	38.9	19.4	10.1	2.6	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	238	282	161	92	32	5
		行%	100.0	29.4	34.8	19.9	11.4	4.0	.6
	男性	度数	383	99	128	94	40	18	4
		行%	100.0	25.8	33.4	24.5	10.4	4.7	1.0
	女性	度数	427	139	154	67	52	14	1
		行%	100.0	32.6	36.1	15.7	12.2	3.3	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたいくなる						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	250	334	135	67	15	9
		行%	100.0	30.9	41.2	16.7	8.3	1.9	1.1
	男性	度数	383	123	151	69	25	9	6
		行%	100.0	32.1	39.4	18.0	6.5	2.3	1.6
	女性	度数	427	127	183	66	42	6	3
		行%	100.0	29.7	42.9	15.5	9.8	1.4	.7

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			人間の運命というものを感じることもある						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	222	297	143	93	48	7
		行%	100.0	27.4	36.7	17.7	11.5	5.9	.9
	男性	度数	383	100	125	80	44	28	6
		行%	100.0	26.1	32.6	20.9	11.5	7.3	1.6
	女性	度数	427	122	172	63	49	20	1
		行%	100.0	28.6	40.3	14.8	11.5	4.7	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	177	338	200	73	16	6
		行%	100.0	21.9	41.7	24.7	9.0	2.0	.7
	男性	度数	383	73	153	107	35	11	4
		行%	100.0	19.1	39.9	27.9	9.1	2.9	1.0
	女性	度数	427	104	185	93	38	5	2
		行%	100.0	24.4	43.3	21.8	8.9	1.2	.5

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	179	249	176	149	53	4
		行%	100.0	22.1	30.7	21.7	18.4	6.5	.5
	男性	度数	383	75	120	99	61	25	3
		行%	100.0	19.6	31.3	25.8	15.9	6.5	.8
	女性	度数	427	104	129	77	88	28	1
		行%	100.0	24.4	30.2	18.0	20.6	6.6	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			相手の話をよく聞いて、気持ちを受けとめようとする方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	246	362	140	40	17	5
		行%	100.0	30.4	44.7	17.3	4.9	2.1	.6
	男性	度数	383	106	169	84	10	10	4
		行%	100.0	27.7	44.1	21.9	2.6	2.6	1.0
	女性	度数	427	140	193	56	30	7	1
		行%	100.0	32.8	45.2	13.1	7.0	1.6	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			間違っただけをしている人を見たら、きちんと注意する						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	70	239	295	157	44	5
		行%	100.0	8.6	29.5	36.4	19.4	5.4	.6
	男性	度数	383	38	109	147	66	19	4
		行%	100.0	9.9	28.5	38.4	17.2	5.0	1.0
	女性	度数	427	32	130	148	91	25	1
		行%	100.0	7.5	30.4	34.7	21.3	5.9	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	174	211	185	166	70	4
		行%	100.0	21.5	26.0	22.8	20.5	8.6	.5
	男性	度数	383	84	94	99	72	31	3
		行%	100.0	21.9	24.5	25.8	18.8	8.1	.8
	女性	度数	427	90	117	86	94	39	1
		行%	100.0	21.1	27.4	20.1	22.0	9.1	.2

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	208	291	158	98	48	7
		行%	100.0	25.7	35.9	19.5	12.1	5.9	.9
	男性	度数	383	72	127	93	52	34	5
		行%	100.0	18.8	33.2	24.3	13.6	8.9	1.3
	女性	度数	427	136	164	65	46	14	2
		行%	100.0	31.9	38.4	15.2	10.8	3.3	.5

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	270	304	132	66	32	6
		行%	100.0	33.3	37.5	16.3	8.1	4.0	.7
	男性	度数	383	112	146	76	26	19	4
		行%	100.0	29.2	38.1	19.8	6.8	5.0	1.0
	女性	度数	427	158	158	56	40	13	2
		行%	100.0	37.0	37.0	13.1	9.4	3.0	.5

性別 × 問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ						
			合計	非常にそうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうではない	全然そうではない	無回答
性別区分	合計	度数	810	106	211	213	186	86	8
		行%	100.0	13.1	26.0	26.3	23.0	10.6	1.0
	男性	度数	383	58	95	120	76	28	6
		行%	100.0	15.1	24.8	31.3	19.8	7.3	1.6
	女性	度数	427	48	116	93	110	58	2
		行%	100.0	11.2	27.2	21.8	25.8	13.6	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			女の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	279	397	130	4
		行%	100.0	34.4	49.0	16.0	.5
	男性	度数	383	91	217	72	3
		行%	100.0	23.8	56.7	18.8	.8
	女性	度数	427	188	180	58	1
		行%	100.0	44.0	42.2	13.6	.2

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			女の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	251	337	216	6
		行%	100.0	31.0	41.6	26.7	.7
	男性	度数	383	126	171	82	4
		行%	100.0	32.9	44.6	21.4	1.0
	女性	度数	427	125	166	134	2
		行%	100.0	29.3	38.9	31.4	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			男の人は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	496	243	65	6
		行%	100.0	61.2	30.0	8.0	.7
	男性	度数	383	213	128	38	4
		行%	100.0	55.6	33.4	9.9	1.0
	女性	度数	427	283	115	27	2
		行%	100.0	66.3	26.9	6.3	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			男の人は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	250	395	158	7
		行%	100.0	30.9	48.8	19.5	.9
	男性	度数	383	115	187	76	5
		行%	100.0	30.0	48.8	19.8	1.3
	女性	度数	427	135	208	82	2
		行%	100.0	31.6	48.7	19.2	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			高齢者の世話は、できるだけしなければいけない				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	480	256	68	6
		行%	100.0	59.3	31.6	8.4	.7
	男性	度数	383	223	122	35	3
		行%	100.0	58.2	31.9	9.1	.8
	女性	度数	427	257	134	33	3
		行%	100.0	60.2	31.4	7.7	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			結婚はしたほうがよい				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	461	237	105	7
		行%	100.0	56.9	29.3	13.0	.9
	男性	度数	383	229	109	41	4
		行%	100.0	59.8	28.5	10.7	1.0
	女性	度数	427	232	128	64	3
		行%	100.0	54.3	30.0	15.0	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			子どもを育てるべきだ				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	520	199	86	5
		行%	100.0	64.2	24.6	10.6	.6
	男性	度数	383	261	89	31	2
		行%	100.0	68.1	23.2	8.1	.5
	女性	度数	427	259	110	55	3
		行%	100.0	60.7	25.8	12.9	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			これからの世の中は夢や希望に満ちている				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	209	349	246	6
		行%	100.0	25.8	43.1	30.4	.7
	男性	度数	383	114	159	107	3
		行%	100.0	29.8	41.5	27.9	.8
	女性	度数	427	95	190	139	3
		行%	100.0	22.2	44.5	32.6	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			毎日を大切に生きることが大事である				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	640	140	26	4
		行%	100.0	79.0	17.3	3.2	.5
	男性	度数	383	265	97	19	2
		行%	100.0	69.2	25.3	5.0	.5
	女性	度数	427	375	43	7	2
		行%	100.0	87.8	10.1	1.6	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			先のことを今考えても仕方がない				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	145	296	361	8
		行%	100.0	17.9	36.5	44.6	1.0
	男性	度数	383	66	139	173	5
		行%	100.0	17.2	36.3	45.2	1.3
	女性	度数	427	79	157	188	3
		行%	100.0	18.5	36.8	44.0	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			努力することは大事である				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	718	77	8	7
		行%	100.0	88.6	9.5	1.0	.9
	男性	度数	383	321	55	5	2
		行%	100.0	83.8	14.4	1.3	.5
	女性	度数	427	397	22	3	5
		行%	100.0	93.0	5.2	.7	1.2

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	599	163	41	7
		行%	100.0	74.0	20.1	5.1	.9
	男性	度数	383	246	106	29	2
		行%	100.0	64.2	27.7	7.6	.5
	女性	度数	427	353	57	12	5
		行%	100.0	82.7	13.3	2.8	1.2

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			約束の時間は、守らなければならない				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	715	79	10	6
		行%	100.0	88.3	9.8	1.2	.7
	男性	度数	383	317	54	8	4
		行%	100.0	82.8	14.1	2.1	1.0
	女性	度数	427	398	25	2	2
		行%	100.0	93.2	5.9	.5	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			今の社会は、貧富の差が大きい				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	469	245	91	5
		行%	100.0	57.9	30.2	11.2	.6
	男性	度数	383	211	128	42	2
		行%	100.0	55.1	33.4	11.0	.5
	女性	度数	427	258	117	49	3
		行%	100.0	60.4	27.4	11.5	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			仕事をするには、都会のほうが都合がよい				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	455	234	115	6
		行%	100.0	56.2	28.9	14.2	.7
	男性	度数	383	191	125	65	2
		行%	100.0	49.9	32.6	17.0	.5
	女性	度数	427	264	109	50	4
		行%	100.0	61.8	25.5	11.7	.9

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	281	341	184	4
		行%	100.0	34.7	42.1	22.7	.5
	男性	度数	383	149	150	82	2
		行%	100.0	38.9	39.2	21.4	.5
	女性	度数	427	132	191	102	2
		行%	100.0	30.9	44.7	23.9	.5

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			平凡でも安定した暮らしをしたい				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別 区分	合計	度数	810	481	242	81	6
		行%	100.0	59.4	29.9	10.0	.7
	男性	度数	383	199	137	44	3
		行%	100.0	52.0	35.8	11.5	.8
	女性	度数	427	282	105	37	3
		行%	100.0	66.0	24.6	8.7	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			今の世の中はこつこつ働いても評価されない				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	241	369	195	5
		行%	100.0	29.8	45.6	24.1	.6
	男性	度数	383	129	157	95	2
		行%	100.0	33.7	41.0	24.8	.5
	女性	度数	427	112	212	100	3
		行%	100.0	26.2	49.6	23.4	.7

性別 × 問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください

			社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ				
			合計	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	無回答
性別区分	合計	度数	810	399	325	79	7
		行%	100.0	49.3	40.1	9.8	.9
	男性	度数	383	177	152	51	3
		行%	100.0	46.2	39.7	13.3	.8
	女性	度数	427	222	173	28	4
		行%	100.0	52.0	40.5	6.6	.9

性別 × 問25. (1)あなたの大学は次のどれですか。あてはまる数字をお選びください。

			問25. (1)あなたの大学は次のどれですか。あてはまる数字をお選びください。			
			合計	国立大学	公立大学	私立大学
性別区分	合計	度数	810	221	49	540
		行%	100.0	27.3	6.0	66.7
	男性	度数	383	130	21	232
		行%	100.0	33.9	5.5	60.6
	女性	度数	427	91	28	308
		行%	100.0	21.3	6.6	72.1

性別 × 問25. (3)あなたの在籍する学部・学科は次のどの分野ですか。

			問25. (3)あなたの在籍する学部・学科は次のどの分野ですか。																					
			合計	法学系	経済商	文学系	社会学系	教育学系	外国語学系	教員養成	理学系	工学系	水産学系	農獣医学系	医学系	歯学系	薬学系	保健看護学系	福祉学系	家政学系	芸術学系	体育学系	情報学系	その他
性別区分	合計	度数	810	69	139	74	50	25	38	11	31	130	27	10	1	27	9	17	16	29	2	67	34	4
		行%	100.0	8.5	17.2	9.1	6.2	3.1	4.7	1.4	3.8	16.0	3.3	1.2	.1	3.3	1.1	2.1	2.0	3.6	.2	8.3	4.2	.5
	男性	度数	383	36	81	16	11	3	6	6	24	101	12	4	1	11		4		6	2	44	12	3
		行%	100.0	9.4	21.1	4.2	2.9	.8	1.6	1.6	6.3	26.4	3.1	1.0	.3	2.9		1.0		1.6	.5	11.5	3.1	.8
	女性	度数	427	33	58	58	39	22	32	5	7	29	15	6		16	9	13	16	23		23	22	1
		行%	100.0	7.7	13.6	13.6	9.1	5.2	7.5	1.2	1.6	6.8	3.5	1.4		3.7	2.1	3.0	3.7	5.4		5.4	5.2	.2

性別 × 問26. あなたが女性の場合、自分はどのタイプの人生を選びたいですか。あなたが男性の場合は、どのタイプの女性をパートナーにしたいですか。あてはまるタイプの数字一つをお選びください。

			問26. あなたが女性の場合、自分はどのタイプの人生を選びたいですか。あなたが男性の場合は、どのタイプの女性をパートナーにしたいですか。あてはまるタイプの数字一つをお選びください。									
			合計	職業継続(結婚しない、職業を持ち続ける)	職業継続+結婚(結婚し、出産しない、職業を持ち続ける)	職業継続+結婚⇒出産(結婚し、出産する、職業を持ち続ける)	職業継続+結婚⇒職業中断(離婚)+出産(結婚で職業をやめる)	職業+結婚⇒出産⇒職業中断(離婚)	職業+結婚⇒出産⇒職業中断⇒復帰	職業+結婚⇒出産⇒職業中断⇒復帰	結婚+出産(結婚し、出産する、職業につかない)	無回答
性別区分	合計	度数	810	64	49	283	41	60	70	197	32	14
		行%	100.0	7.9	6.0	34.9	5.1	7.4	8.6	24.3	4.0	1.7
	男性	度数	383	25	13	116	26	34	42	89	24	14
		行%	100.0	6.5	3.4	30.3	6.8	8.9	11.0	23.2	6.3	3.7
	女性	度数	427	39	36	167	15	26	28	108	8	
		行%	100.0	9.1	8.4	39.1	3.5	6.1	6.6	25.3	1.9	

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
面接官とのジェネレーションギャップをどう埋めるかを考えること	システムエンジニア	その職に興味があるので。
あまり活動してないので大変には思っていない。	研究者	自分が興味のあることを研究していきたいから
勉強	公務員	収入が安定しているから
志望業種がなかなか決まらなかったこと	公務員	特に理由は無い
自分自身をしる事 自己理解が大変でした	倉庫	堅実経営で不況に強そうだから
交通費が掛かったこと。	SE	PC関係の職につきたかった この仕事をする事でさまざまな人に貢献できると考えたから
時間がなかった	証券員	金融知識を身につけたいから
スーツが嫌い。暑いから。	営業職	やはり自分の力を試したいから
就職活動していない。	小売業。	興味があるため。
	半導体の研究職。	大学院で勉強した分野だから。
会社説明会に取り組む前の事前準備	福祉介護職員	
スケジュール管理	エンジニア	好きだから
早起き。費用。		
2次、3次試験のための移動	SE。	大学の専攻がそれだから。
学校に行けない。日程が重なりすぎ。交通費がかかりすぎ。	銀行員	安定しているから
交通費がかかること。	証券	つきたくない。
公務員志望をあきらめて5月から活動したため、活動時期が遅くなり苦労した。	エンジニア	理系だから
どの会社が自分にマッチしているのか、将来何がしたいのか、悩んだ。	流通業	大学時代の活動と結びつくため
面接です。	半導体・機械メーカーの品証	その職業につきたかった理由はない。その会社に憧れて入社することを決めた。
春休みなのにほとんど外出していたこと(笑)	建築業界	専攻とつながってますから。
結果が出るまでに長く不安だったこと。希望している企業に落ちたショックから立ち直るのが大変だったこと。	アウトソーシング業	様々な技術を習得できるから
張るにしっかりと就職活動をやっていなかったため最後はとでも慌ててしまった。	技術コンサルタント	さまざまな技術を学べ後々に役に立っていくから。
	自動車部品メーカー	紹介だったから
就職活動はしていない	警察官	
説明会会場までの移動。	教員	教育実習をして、生徒とのふれあいに興味を持った
あせりや、不安で仕方なかった。	技術者	夢だったから。
電車賃	流通業	興味関心があるから。
大学院の入試の勉強が大変です。	介護職員	なりたいたから
交通費がかかったこと。普段は着ることの無いスーツを着ていたこと。	電気機器メーカー	研究職に就きたいので
内定がもらえないこと。暑い中スーツででかけなくてははいけないこと。	事務員	特になし
おこなったことはない	出版関係の編集	編集をしてみたいから
していない	製造業	ものづくりが好きだから
交通費	ソフトウェア関係	その分野の勉強をしているので
特になし	SE	なりたかったから
面接。	特になし	特になし
毎日毎日でゆっくりする暇がない上精神的に追い込まれる	ラジオ局。	好きだから。
たくさんの会社を同時に受けていたのでスケジュールが重なることもあった。	商社	大きなビジネスが手がけられる
面接や筆記といった各種選考対策を会社ごとにするのは当然大変だったが、学校とバイトを両立させつつ時間をやりくりしたり、意外と交通費もバカにならなかった。	システムエンジニア	性格が向いていると思うから。コンピュータのスキルを持っているから。
進学したのでしていません	マスコミ(新聞)	仕事内容に興味があり、勤務形態もフリーだから。なにより報道に携われるのがよい。
やってない	研究職	勉強するのが好きだから。
移動の交通費	銀行員	銀行員の親戚がいるから
	まだ不明	特になし

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
交通費が高い	葬儀社	安定している
状況が普通と異なるので、一般的な就職活動とは違うところ。	環境関連の仕事。公的機関など。	専攻が環境学であり、しかも政治的な分野なので、そういう分野があてはまるのは国連や環境庁などの機関が多いから。
「縁があったら連絡します」というように結果が分かるのが遅く、判断基準が不明瞭な点。	サラリーマン	自分の力を試してみたいから。
時間が限られること	エンジニア	大学の専攻から
緊張と暑さで汗がたくさん出てしまっただけじゃなくなつたとき。	ビューティーカウンセラー	昔からなりたいて考えていてあこがれていたから。人をきれいにすることで喜んでもらい、その喜びを自分の喜びにしたいと思った。
精神的にきつい	秘密。	秘密。
まだやってないのでわからない	教職員	学生時代にお世話になったから
自分の熱意を伝える事	情報系	大学で学んだことが生かせるから
特に無い	言いたくない	やりたいから
	開発職	ものづくりが好きで、好きなことを進んでいきたいから。
就職活動は行ってない。	就職活動は行ってない。	就職活動は行ってない。
大学院へ進学するため就活をしていない。	ネットワーク関係、通信関係	自分の行っている研究が通信関係の分野だから
面接の受け答え		
該当なし	弁護士	やりがいがあるから
していない。	公務員(地方上級)	地元で貢献したい。
就職活動は行ってない	企業の研究職かあるいは大学教員	大学またはそれ以降で学んだことを直接生かしたいから。
自己分析。エントリーシートを書くこと。	研究開発職、または公務員。	昔からの夢だから。
面接の練習	コンピュータ関連	コンピュータに詳しいから
履歴書の作成。手書きなので時間がかかる。	ネットワークエンジニア	将来はSEかネットワークエンジニアにしようと、大学1年の時から決めていたので。IT業界が面白いと感じているため。
1度説明会にいったけなので、特になし。	公認会計士	自分の性格を考え適していると思ったから。
就職活動はしていません	病院薬剤師 製薬会社の研究員	薬学部なので薬に関する仕事に就きたいから
自己分析をかなり悩みました。普段考えないことなので、難しかったです。		
なし	デザイナー	好みに合う
まだしていないのでなし。	投資信託会社、証券会社。	マーケットの動きをみるのが好きなので。
就職活動は行ってない。	今所属している学科に関する技術職	せっかく大学・大学院と勉強してきたことを生かすためにも。
面接でキツイ質問をされること。	損害保険会社	営業の仕事をしたから。
自分の希望する会社を選ぶこと	エンジニア	機械について学んできたから
教育実習との兼ね合い	マスコミ(テレビ・ラジオ)	自分にとって1番身近な存在だから
集団面接をしている時に、周りの学生が無理をした言葉遣いをしていて自分もそういう風な堅苦しい言葉遣いになればと思ったことが大変でした。	信用金庫の職員です。	地域に密着した活動ができ、営利を目的としてないからです。
金銭面	システムエンジニア	パソコンが好きだから
面接対策	技術・開発	もともと理系だから
・居住地～大阪までの交通費が、傷手であった。・途中に空いた時間を使う場所が、見あたらないこともあった。	システムエンジニア	幼い頃からコンピュータに興味があり、今でもなお興味があるため。
面接で緊張したこと	整備士	車が好きだから
面接で緊張してしまったこと	公務員	安定しているから
就職活動で遠隔地に行く際の交通費や土地勘がないために試験場所が見つかりにくかったことです。	図書館職員(司書)	
	民間研究職	この学部でやったことを活かしたいから
具体的に何をするのか分からなくて困った	車関係	環境面や人の生活に密着しているものだから
特にない	県庁職員	安定してるから

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
体調管理。ほかの事で気分転換しようとしても、疲れてて難しかった。	ホテルマン	人間的に大きな人になりたかったから。
スケジュールを把握して、提出書類を準備すること。また、選考が進むにつれて面接がバッティングする会社において、どちらを選び辞退するかなど。	肥料メーカーの総合職。	農業産業に関する仕事をしたかったから。
時間(スケジュール)調整が難しい。大学の授業に影響が大きい。	教育関係	目に見えないけど、とても大事な仕事で、やりがいがある。喜んでもらえる。
時間調整	認可法人職員	社会貢献のため
交通費がかなりかかった	コンサルティング関係	会計が得意だから
地元へ帰省しての就職活動で、大学と実家の移動が大変だった。また、説明会から最終面接までが長い。時間がかかる。	JA職員	つぶれることがない安定した職場だから。
希望の仕事の求人が少ない	レコーディングエンジニア	
	研究職(R&D)	興味深いから
勉強する科目がたくさんあったこと。	地方公務員	営利を追及する民間企業よりも、その自治体に住む住民全体にサービスを提供することができる地方公務員にあこがれていたから。
学生時代に取り組んだことをアピールすること。	市役所職員	仕事以外に時間を割きやすい。
業界や企業の実情を詳しく調べること。	公認会計士	会計のプロとして、いろんな業界を見ることができる。それによって、将来目指しているコンサルタントへの下積みを得られることを願っている。
特に無し	公務員	収入・生活が比較的安定しているから
企業が何をやっているか	SE	パソコンに従事してるから
全て	システムエンジニア	なんとなく
志望動機(理由)	研究職、物造りする職	物を造るのが好きだから
自己紹介書の作成		
面接で緊張したこと	銀行員	給与が比較的いいから
してないです	製薬系	薬を作りたいから
	外交官、シンクタンク研究員	日本のために働けるから。
駅からの面接会場へのアクセスがわかりにくいところがあった。特に本社などはビル内にあり、見つかりにくかった。	自動車メーカー	車が好きでその方面で貢献したいから。
最終面接で落ちること。	メーカー営業	車に携わる仕事をしたかったから。
	県職員	安定
面接で自分の思っていることを相手に分かるように正確に伝えること。	システムエンジニア	モノを作る仕事であり、パソコンを使う仕事でありながら、人とのコミュニケーションも重要とされる仕事だったため、色々なスキルが身に付き、やりがいのある仕事だと思ったため。
上がり症というもあり、面接では緊張しすぎ	設計開発	今まで学んできたことを生かしたい
自分を表現すること	県庁職員	県内で働きたいから
スーツ、電車代等お金がかかる。精神的に疲れる。	小売り業	そこしか内定が出なかった。
していない	公認会計士	経営のコンサルタントの仕事をやりたい。
していない	製造業	専門だから
自己分析	エンジニア	やりたい職種だから
面接で自分の考えを述べるのが大変だった。	システムエンジニア	コンピュータの技術を身につけたいから。
近くで説明会が開催される事が少なく、参加が大変。	マスコミ、出版・印刷	自分に合っていると思うから。
とにかく暑い	コンピュータ関係	興味があるし、将来性もあり、やりがいがあるから。
スーツ姿は窮屈。	会社員	機械に興味があるから
お金がかかる、はじめていくところばかりだから迷う。	SE	勉強している事がそのあたりのことだから
やりたいことが分からず、漠然とただ活動をしているのが大変。	商社	父親の進め
炎天下の中、スーツを着て歩き回ったこと。	県庁職員	地元で人の役に立てる仕事で、大局的な政策に携われるから。
自分にはいい所がないのがとく回ってしまう事。	システムエンジニア	大学でプログラムを作る授業がありそこでSEの面白さを知ったから。
精神的なゆとりがなかったこと。	福祉職員。	人のために役立つ職業で働きたい思っていたので。
将来設計を全く立ててなかったのでものをしているかよく分からなかった。	自動車技師。	車が好きだから。

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
面接の練習	デザイン系。ウェブデザイナーか舞台設営	自分の好きなことだから
面接などで必要以上にあがってしまう。	SE(システムエンジニア)	自分の好きなことを生かしたい。
会場に行くこと	IT	自分にあっていると思うから
動き方がわからない。	福祉	そういう大学に通っているから
交通費とスケジュール管理	金融業・先物取引	世間的にイメージが薄く、これから発展して行くであろう。
まだ就職活動はしていません。	国家公務員など。	安定しているから。
職業のイメージがなかなか頭に浮かばなく、自己分析に時間をかけたこと。	技術職 設計	楽しそうだったので。やりがいがあると感じたから。
やってもやってもやった気がしない。	小学校教員。	子どもが好きだから。
特になし	ドライバー	運転が好きだから
最終面接まで行ってもそこから採用されるのが難しいこと	アパレル関係 自動車メーカー	ファッション業界に興味があるから 大学で学んだことを活かせるから
暑い中スーツを着て歩き回ることや、朝早くから満員電車に乗り出かけること。	システムエンジニア	自らのアイディアで新システムや新製品の開発をしたいから。
教員採用試験の勉強	東京都中学校数学教員	中学時代から教職に就くことを志望していた。
スーツがめんどい。移動がめんどい	薬剤師 (調剤薬局)	薬剤師の資格を活かすため
何もしていない。	SE	興味があるから。
今までとは違い、本当の意味で自分の力だけが頼りだったこと。	某運用会社IT部門	IT関係の仕事ならどこでもよかったから
暑い日の移動	公務員 大学職員	安定している、社会に貢献できる まだまだ勉強したいから
	企業	
面接や結果などを待っているときに精神的につぶれないようにすること	TV業界(技術職)	あこがれ。
何度も失敗すると段々鬱になること	SE	自分の知識を生かせる場だから
試験の通過者のみの連絡だったので、すごく学生に対して失礼だと思いました。	金融業です。	資産管理がしたいからです。
スケジュールリング。学業との両立と、企業の説明会や面接の日程が重ならないようにするのが大変だった。	大学院進学予定だが、必ずしも専門の分野に就職しようとは思わない。	自分の力を生かしてやりがいのある仕事をして面白い人生を送れそうだから。
	シンクタンクの研究員	環境問題に関する仕事がしたいからです
メールが多すぎて読みきれなかった。Uターン就職をしているので、会社説明会や応募締め切りなどの情報が手に入りやすく、受験のチャンスを逃してしまった。	営業職	人と接し、直接人の役に立ちたいと考えているから。
交通費		会社の雰囲気がよかったので。
自分にあっているかどうかを知ること	コンピューターエンジニア	これからはITだと思うので
とにかく時間がないこと。	銀行員。	中小企業の支援。
相手に自分の意志が伝わらない	製造業	物を作りたい
交通費がかかる	警察	正義を正したいから
特になし	未定	未定
毎日プレッシャーを感じる		
自己分析	銀行 商社	昔からの夢
情報収集	県庁職員	安定しているから
	国家公務員	
移動	自動車業界	車がすきだから
なんといってもお金。	リース営業	自分が主役になれる仕事
自分にウソをついているような気がして、その自分を戒めるのが大変だった。	自動車関係	何となく

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
まだやったことはない とにかくすべてが大変	とりあえず医師	もう選択の余地はないから
面接の圧迫感とSPI試験	企業の研究職	毎日をやりがいのある日々として過ごすことができると考えているため。研究が好きだから。
特に無し	ITコンサルティング	今、バイトをしているから
暑い中でのリクルートスーツはとでもきつかった。	マスコミ(放送局)	小さいときから興味がある業界であり是非働きたいと思っていたから。
面接の基準が分からない	なし	なし
大学院に進学するつもりだったので就職活動をしていない	研究職	自分に向いていると思うから
交通費	販売職	自分にあっているから
	大手企業の研究職に就きたいと思います	あこがれ
1日に2, 3つの説明会などがあつたり、予定を調整するのがとても大変でした。また忙しい中、バイトもできずに交通費がとてもかかって大変でした。	総合職(SE)	コンピューターを使うのがもともと好きで、情報の分野にとでも興味をもっていた。また、ITの知識とスキルをつけ、コンサルタントになりたかったから。
地図と乗り換えなどの確認。		
交通費がかかる		
いい企業を見つけること。	コンサルタント	自分の腕で稼ぐことができるから。
言葉使い。丁寧語など		研究者に成りたいから
手書きのエントリーシートを書くのに時間がかかったこと、就職活動をはじめめるまではどういふモノか感覚がつかめず気がめいいた	会社員	面白い人材が多く、仕事内容にやりがいを感じられそうだから
就職活動を行っていない	研究職	勉強してきたことを活用したいから
自己分析の方法、ESの効果的な書き方、企業の見えない部分の知り方、何が本当に自分に向いているのか知ること。	ビジネスマン(民間企業)	最も機会があつたため。
なし	公認会計士	仕事の内容がおもしろそうだから
何ができるかについては意見を言えたが何をしていきたいかについてはなかなか考えがまとまっていなかったため回答に困つた。	システムエンジニア	プログラムだけでなくネットワークなど幅広い業務内容に接しながら知識を得ていきたい。
面接が難しかった	プログラマー	大学の学科が情報を専攻していたから
もともと大学院進学予定だったので・・・	電器メーカー設計開発	電気電子工学科なので
やってない	進学して大学に残りたい	ラクそうだから
	製造業	電気、機械にとでも興味があり、それを職にしたい。
スケジュール管理、モチベーション管理	IT関係	パソコンが好きだから
なし。	コンサルティング会社	高度で専門的な知識を身につけ、仕事をしたいから。
情報収集	地方公務員	職業が比較的安定している、勤務時間がほぼ一定
道のりが長かつたこと。	銀行	好きだから
経団連の覚え書きのせいで、4月前半に選考が集中し、数社の企業の先行が同時にある日が多くて日程調整が大変だった。	不動産マン	自分の考えをダイナミックに表現できる。
大学院への進学予定なので、あまり就職活動をやってません。エントリーカードを書くのが面倒だったので。	地方公務員	地元で働きたいので！！
通勤ではないが、電車での移動が疲れた	食品関係	海外に工場があるから
学校に行けない事、今テストが大変	信販、クレジットの営業	いろいろなサービスが考えられ、非常に面白そうだったから
	エンジニア(自動車関連)	自動車が好き
早起き	政府系銀行員	がんばる企業を長期的視点からアシストしつつ自分も成長して行きたい
セミナーや面接の時間の管理 日程が重なつた時、どの企業を選択するべきか	広告業界	ゼミで広告を専攻し、大変興味が引かれたから
就職活動をしていない。	ゲームクリエイター	ゲームが好きで、自分でも作りたいと思っているから。
年1度の試験をパスしないといけないので、失敗できない。	教員	子ども達と触れ合うことによって、未来の主役の人格形成に携わって行きたい。

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
就職活動をしていないので、わからない。	プログラマ、システム管理者	今勉強していることだから
スーツのズボンの裾上げ糸が切れてしまったこと	SE	多分好きなこと。将来マネージメントを視野に考えている。さらに、将将来、技術営業のようなキャリアでやっていきたいと思う。
交通手段。 行っていない	パイロット。	以前から航空機が好きだったから。
日にちをあわせること	研究所、メーカー等 パソコン関係	自分のやりたいことだから 興味があるから
先生を目指しているの、まだしていません。	音楽系企業 全部	音楽がすきだから。ピアノが得意 ずっとなりたかったから
就職活動は行っていない	小学校の先生	憧れの先生がいたから。
特にはなかった 面接がうまくいかないこと	システムエンジニア等のIT関連 の職種	現在コンピュータについて学んでいて、また興味があるから。
特にありませんでした。強いて言うなら、筆記試験が苦手でしたが自分が 勉強しなかったためだから。	メーカー システムエンジニア	地元の元気のある企業だから コンピュータがすきなもので
学校の授業との折り合い 就職活動を行っていない	不動産業	職業に興味は無かったが、会社・社長・従業員に惹かれ、自分が一番成長できると感じたため
自分の本当にしたいことは何か？とういうことのを答えを出すことが大変でした。(自己分析)	活字メディアの記者	目指しているものだから 最新の技術開発に関われるから。
金。交通費が一番キツかった… 就活をしていたためアルバイトができず交通費、飲食代など金銭的な部分が厳しかった。時間にゆとりがもてなかった。選考の結果を待っている時間が嫌だった。	測量会社、もしくは公務員	測量関係が分野であるから。公務員というのは今の時勢を考慮してのこと。
時間とお金 していない	エンジニア	小さいころからの夢
お金、特に交通費。 していない	食品卸売業	需要が必ずあるし、世の中に必要とされ、人々のために貢献できる仕事だから。
特になし。	広告代理店	アイデアで勝負。情報を使って面白いものを世の中に生み出したい(情報商社と考えます)
魅力が伝わらない。	IT関連	興味があり得意としているから。 就職活動をしていない
先が全くない 将来、「毎日満員電車に乗って通勤するのか」と思いながら、あまり好きじゃない電車で移動していたこと。 手書きで提出する書類 筆記試験の実施。不合理なので。	クリエイター 研究開発	趣味が講じて 社会に役立つ商品を作ることができるから。
公務員対策の勉強。 スケジュールの調整。 競争が激しかった	臨床心理士として心理職につき たい	ころに対してずっと興味があり、他者のためと同時に自己実現のため心理職につきたい
就職が大学院で迷ったことが一番苦痛だった。 企業研究、業界研究。たくさん調べても落とされた時はつらかった。	外食産業	将来へのステップとして、社員教育が整っている。
	歯科医	自分が歯並びが悪く、口を開けて笑うのが辛かったので他の人はそういう思いをしなくていいように助けてあげたいから。
	司法修習所	昔からの夢
	SE	技術を身に付けたかったことと、昔からコンピュータに興味があったから。
	銀行員	なんとなく
	国家公務員	安定性
	公務員(地方上級、教育公務 ソフトウェア開発。	子供とかかわり続けることのできる職業に就きたかったから。 世の中を便利にしたいから。
	情報処理関係の技術研究者	自分の研究を生かしていくため
	臨床薬学系大学院	臨床の場で活躍する専門的な薬剤師になりたいから。
	SE	昔からやりたいと考えていたし、自分に合うと思うので。

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
勉強との両立	製薬会社	学んだことを将来にいかしたいから。
暑いし、雨は降るし、決まらないし、ろくなことはない。	特になし	
お金がかかること	販売職	ものをうりたいから
同じ業界の会社の志望動機を考えること。	SE	コンピュータでエンジニアをやってみたかったから。
交通費がかかった。		
わかりません	医師	病に苦しむ人の助けになりたいから。
あまり勉強していなかったから、面接のときに大学時代に力を入れた勉強についてうまくしゃべれなかった。	事務職員	事務をやってみたかったから。
活動していない	製薬会社	給料が良いから
	税理士	専門知識を活かした仕事できて、やりがいがある。さらに仕事の幅を広げて、様々な体験をしたいと考えている。
電車賃がかさむ	不動産	自分に役に立ちと思ったため
まだしてません	SE	興味があるから
お金	SE	興味があるから
	大阪府職員	安定しているから
していない	特になし。	特になし。わたしは起業を予定していますので！
あまり就職のための時間がなかったこと。	警察官	昔からなりたい職業だったから。
なかなか受からない場合の精神的プレッシャーと移動交通費と時間の実質的足りなさ。	営業	成長企業の利益に直接関わるので
まず、何が大変かが分からなかったこと。次に最初の3社程度は捨てないと慣れないので面倒臭さがりな自分にとっては調子が出るまで時間がかった事。	ソフトウェア開発、保守。	現在の世の中、パソコンの前にいる時間をカウントしてみたい。それほどパソコンは身近だし、その分奥深い。
エントリーシート・履歴書を書いたり、写真撮ったりと前準備が一番大変だった。	通信業界	今後一番大きな市場になると思うから
自分のやりたいことがなんなのかあまり決まっていなかったから決めなきゃいけないで大変だった	システムエンジニア	とりあえず就職しておきたいので
面接	ノーコメント	好きだから
スケジュールの組み方	セールススタッフ	人をキレイにしたいから
自己分析。	コンサルタント	感謝される仕事がしたいから
まだ本格的にはしていない	自動車関連 研究開発	ビックマネー 車がすき
目的地までも移動。	カウンセラー	大学に入る以前からの目標だったため。
履歴書を書くこと	ルートセールス	夢
就職活動はしていません。	大学院進学後、製薬企業にて研究職を考えています。	医療に携わる仕事である一方、未知の医薬品の探求と開発に奮闘できる。魅力的な職業であるから。
言葉使いの気配り、授業(ゼミ)との兼ね合い	IT企業の社員	定時でも帰れる保障があったため
していない	していない	していない
院に進学予定	研究職	新しいものを作り出すことに興味があるから
朝起きること	メーカー事務職	自分に最も合っていると思うから
正解がないところ。	住宅	興味がある。
会社によっての志望理由を変更していくこと。また、自己分析が大変だった	医薬情報担当者	医薬品を通じて医療に関わりたかったから
交通費がばかにならない。	技術系もしくは 公務員	自分のやりたいことがあるから
	研究職	現在自分が行っていることがもっとも生かせそうだから。
誇れるものがないので、どうアピールするかを考えるのがしんどい。	システムエンジニア	プログラミングに興味があるため。
行っていない	研究員	好きな研究ができそうだから。

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
なかなか内定がもらえない	システムエンジニア	好きな事だから
ストレスがたまって胃痛になったこと	トヨタ	好きだから
なし	アカデミックに残る	就職活動が面倒 研究が好き
精神的につらい。	研究職。	生産的な仕事がしたいから。
特になし	弁護士	高給とやりがい
スーツが暑かった。深刻な問題だ。ばかばかしい。	電機メーカー	モノづくりに関わりたいから。
面接官に罵倒されること。9月卒業なのに入社は4月だということ。	情報処理	頭脳労働が向いていると思うから。
制作系の職業を目指していたので、リクナビなどの就職ページにはあまり情報が載っていなかった	クリエイター	昔から目指していたから
特になかった。	広告業界	楽しそうだから
	公務員	非行臨床に関する仕事を前々からしたいと思っていたから
自分について聞かれてもうまく答えられない。一言でしか答えられないようなことばかり聞かれる。そのたびもう二度と面接なんかしたくないとひどくいやな気持ちにならされる。	教師、講師など。	大学でやってきたことを生かすため。将来はインターナショナルスクールなどで外国人に日本語を教えたいから。
自分の意思を相手に伝える難しさ	酒造メーカー	ずっとその仕事があったから
履歴書とエントリーシートを書くことが大変です。	輸送用機器、金属製品、プラスチック製品、食品などの製造職	手に職をつけたいし、物を作りたいから。
自分という人間について明確に知ること	自動車メーカー	車、バイクが好きだから
特になし。	技術職	自分の身につけた技能を活かしたいから。
なし	作曲家	音楽が好きだから。
なし		
自己分析、やりたい仕事をみつけること	プログラマ	大学で習って面白かったから
日程調整	教師	やりがいがある。
とりあえず筆記試験をやらされること。	出版業	モノをつくる仕事がしたいから。
金銭面	メーカー技術者	機械が好きだから
求人があまりないこと。	税理士	この勉強ならばしていて楽しいから。
やっていませんが、友達がやっていて見ているとすごく大変だと思います。	会社員。研究職。企画など	自分の今、大学で勉強していることと直結しているから。
精神力	製造	研究職に就きたかった
特にありません。	教職	何となく安定してそうだから
地下鉄に迷った。	SE。	PCがすきだから。
大学院進学予定なので、おこなっていない。	環境問題について研究する仕事	世界の人々の幸せにつながる仕事だから。
内定が重なるといういろいろ面倒	食品	大学で勉強していたから
長距離移動	商社系	父親の会社を継ぐ為
面接や筆記の後連絡を待っている期間がストレスがたまった。また、周囲は院に進学する人がおかったので相談できなかったこと。	IT企業のシステムエンジニア	SEをやりたいとおもっていたため。
試験勉強	県庁職員	
学校で判断されてしまうところ		
就職活動は行っていない	大学院進学後研究職	時間が自由で、自分の好きなことが出来るから
地方なので東京などの会社を受けるのに交通費などが結構かかる	電力関係	今専攻しているのがそれ関係だし興味があるから
エントリーシートを書くこと		
面接で自分をどう表現していいかわからず、焦った。	コンサルタント	厳しい業界だから
試験勉強。	教員	素晴らしい教員に出会ったから。
北海道からなので東京に出向くのが大変してない。	製薬会社の研究者	薬学部だから
スケジュール調整、交通費	特殊法人	人の役に立てる
情報の整理	情報系	学科が情報系なので

【男子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
交通費など以外に出費が多い。	地方公務員。	収入、身分の安定のため。
交通費がかなりかかる。	システムエンジニア	自分に向いてる気がするから。
内定が出ない。	販売員、営業の仕事。	人と話すのが好きだから。
情報収集が大変	情報系	興味があるから
自分のやりたいことがはっきりしていない		
面接の際に短い時間で自分を出すために自分のことを一言で表すようにしたこと。	インターネット関係	これからもっとも必要になると思ったから。
していない	土木系	大学での分野
	弁護士。	専門性が高いから。
していない	小説家	文章を書くのが好きだから
就職試験勉強	公務員	人のためになる仕事だから
夏のスーツは暑い	レコード会社	浜崎あゆみと結婚して金持ちになりたいあとトランスとかvelfarreが好き
とくになかった。	社会福祉施設職員	事務とか外回りがきらいだから。
資金面の問題	商社	お客様の希望に合ったものを見つけて提供する仕事に興味があった。
面接		
していない。	国家公務員か教職。もしくは研究者。かな。	人の役に立ちたい。それが無理なら自分のためにやりたいことをやる。
自分が本当に何をやりたいのか、何に向いているのか理解し、それに見合った仕事を探すこと。	金融業	お金のスペシャリストになりたいから。
特になし	建設業	幼少の頃からの夢
エントリーシートを書くこと	県庁職員。	自分にあっていると思うから。
	建築業	学んでいる内容だから
まだ分からない	会計関係	数字に関する事が好きだから。
企業研究	コンピュータ関連	コンピュータが好きだから
就職活動していない	裁判所職員	専門的な仕事をしたいから
コツがないこと。はっきりとしていないので、自分の置かれている立場が見えない	メーカーの研究開発職	自分のこれまで学んできたことを生かせると思ったから
不慣れな言葉使い 不慣れな服装、等	考察中	何がしたいのかが見つからない為
ある意味情報が多すぎて整理にとまどった事	流通業	接客も出来るし巨大なマーケットを自分の手で動かす事ができるかもしれないので
スケジュール管理	公務員、もしくは建設業界	今何かと問題になっている業界だから、逆に興味があって。
していない	ソフトウェア開発	自分が興味のある分野での開発だから
情報収集。とにかく大変だった。毎日来るメールや先輩などの話。企業独自のホームページなどを見たり毎日追われていた。	SE	学んだことが活かせる
自宅からの移動時間が長いこと	銀行員。	お客様の生活を支えたい。お手伝いしたい。
企業研究が大変だった。	販売員	アルバイトの経験を生かすため
説明会の予約がとれないこと	建設業	人が快適に暮らせるかを左右する住環境の存在にとっても大きな重要性をかんじるから。
エントリーシートの書き方やメールの書き方が難しかった。	SE	やりたいことができるから
交通費が馬鹿にならない。	流通	地域に根付いた企業だったので
交通費がバカにならないくらいかかること	卸し、商社	たくさんの商品を扱うことができ、楽しいから。
交通費や大学の授業への出席	システムエンジニア	自分にむいていそうだから
企業への就職活動はまだ行ってないので何とも言えません。	技術者	車が好きて作りたいと思ったから
試験勉強	研究職に就こうと思っています。	専攻している学問に興味があるので。
全て	臨床心理士	自分の体験を生かし、様々な人と接し、心に向き合いたいため
	営業職	他に内定が取れなかったから

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
面接で、自分をアピールすること。どのようにアピールすればいいか、かなり迷って大変だった。	教員になりたいが、教員採用試験がまだなので、どうなるかわからない	教育実習に行ってみて、自分に向いていると思ったから。
・面接場所への下見・エントリーシートに書く内容	県(市)職員、PG	・県職員→安定しているから・PG→パソコンが好きで興味があるから。
面接に到達するまでが大変だった。数学が苦手な非言語の筆記は殆どできなかった。	電話会社事務職	事務職がやりたかったから。
就職活動は、まったく行っていませんのでわかりません。	製薬会社、医療産業などの臨床開発。	そのような分野に興味があり、大学院もその勉強ができるような分野に進もうと思っているから。
就職活動は行っていない	研究者	今までの知識、経験を活かしたいから
交通費が沢山かかること。	小売業の販売員	小売業が好きだから
暑くなるという		
交通費が痛いこと。面接等で精神的に落ち込むこと。リクスーが暑い(寒い)こと。等。	内定3社もらって今どれに行こうかとても迷っているところです。職種はバラバラです。	興味が持てたから。
就職活動をしていない	医師(まだ2年後だが)	…といわれても
	化学系の企業で、技術職として	せっかく今まで学んだことを生かしたいから
自己PRがうまくできない。	システムエンジニア	プログラミングが得意だから。最先端の技術を取り入れて、みんなが使い易いシステムを作りたい。
緊張する	薬剤師	特になし
一般教養の時点で終わる	事務	デスクワークがいいから
特になし	まだ学生	特になし
面接でなかなか思っている事を伝えられず、なかなか面接が通らないことが大変だった。そして意外に交通費がかかる。	営業	お客様の要望に最も応えられる仕事だから。
第一志望の企業の選考に途中で敗退し、その後1ヶ月ほど途方にきてしまったこと。自分が何をやりたいのか、どんなところで働きたいのかわからなくなってしまったこと。	宝石会社。	きらきらしたものの、宝石に興味があるので。
やってないです。	フリーター	なんとなく
就職活動はしていません。	公認会計士	日本の経済活動を縁の下の力持ち的な存在で支えるという役割が自分にあっているから、浪人してでもなりたい。
交通費などいろいろお金がかかった。	SE	もの作りがしたかったから
就活していない	演奏家	子供の頃からの夢だから
不況の影響がまだある。	旅行業	いきがいがあるから。
採用がないのに、女子も説明会や面接があったこと。	営業	自分にあっていると思うから。
夏になるとスーツで暑かったこと。	銀行員	お金について興味があるので。
まだ活動していないのでわからない	社会福祉士を取得し、福祉用具を扱っている企業に就職したい。	始めは介護やケースワーカーなど現場の職業を希望していたが、大学でいろいろなことを学ぶうちに現場ではない部分から自分の興味のある分野に関わっていきたいと思ったから。
今年は早くから猛暑が続き、スーツが暑かったこと。	エステティシャン	楽しそうだから。
		美に興味があるから
1つしか受験しないので、特に就職活動はしていません。	ヤマハ音楽教室システム講師	大学でも音楽教育を勉強し、幅広い年齢層の方々に音楽の楽しさを伝えていきたいから。
自己分析	薬剤師	大学で学んだ事を生かしたいから。
まだしていない	フライトアテンダント	飛行機に乗るといつもワクワクするから。
慣れない革靴で一日中歩くのがつらかった。	公務員	大学で学んだことが生かせると思った
同じ日に違う選考がぶつかること。	コンビニエンスストア総合職	総合職の給与がいいから
スケジュール管理と面接や説明会に出る為の体力です。	SE	文系でもコンピューターや開発にかかわれるから。

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
なかなか決まらない	商社	特になし
学校が忙しくて時間がとれない。情報がすくない。	県庁職員	安定
何をしたいかわからない	公務員	生活するため
家が遠いので体力が持たない	出版社、	プライベートが充実するから。
途中で飽きてしまったこと。自分と向き合わねばならないこと。体調が悪くて挫折したこと。	事務職。	ものごとを発信することで世の中に影響を与えたいので
暑い	アパレル販売員	淡々とした仕事につきたい。
ストレスで自暴自棄になったこと	製造業	ファッションがすきだから。
就職活動というより、教職希望なので、筆記と実技の勉強に追われてい	小学校教員	自分にあってるから
落されても何が悪かったのかはつきり教えてもらえないところ。金銭的なこと。精神的に追い詰められてくること。	コンサルタント営業	ずっとなりたい職業であったこと、子どもとかかわることが大好きだから。
就職活動はしておりません。	大学附属病院の〇〇科医局。	ただの営業ではなく自分のアイデアや人間性がものを言う仕事だと思ふから。そこで得られることはとても大きいと思うから。
教育実習	教職	家業だからです。
大変だった	営業	夢であったから
面接に慣れるまでに時間がかかったこと。	百貨店	お客様の生活に必要な商品を扱い、その手助けをしたいのと運営に興味があるから。
特になし	化粧品会社	今の化粧品業界に疑問と興味があるから
自己分析		
学生と社会人との考え方のギャップ。就活をやって初めて、今まで社会人と交流する機会がなかった事に気づき、物事に対する考え方のギャップに悩んだ。	照明関係の会社で総合職(営業)	会社がまず魅力的。面接を重ねるうちに信頼関係も生まれたし、会社が本当に私が必要だと言ってくれたから。
筆記試験がうまくいかないこと	教員。旅行代理店	小さい頃から職業だから。
移動が面倒	公務員	安定しているから
電車代やスーツ代などお金がかかる		
地元と東京での行き来が週一回あり移動するのが大変だった。	事務	幅広い事業に携わることができるから。
交通費がかかる、お金がかかるので説明会を断念した会社もあった。	SE(システムエンジニア)	手に職。実力があれば男女かわりなく活躍できる。
交通費がかかった	県庁職員	時間や休み、給料が安定しているから
授業に出られないこと	病院	その業種が好きだから
エントリーシートの記入	美容部員	化粧品をすることが好き
スーツが暑い。スーツの着まわしが大変。予定のブッキング。学業やバイトとの両立。	製薬会社営業	いろんな人の役に立てる。幅広い見方をする事で、自分を上げられそう。
なし	精密機械メーカー	あこがれ
暑くても、スーツを着なければならなかったこと。	市役所職員	親の期待や自分自身の夢の実現のため。
住まいが東北なので、試験のたびに東京に行くのが大変でした。	CMプランナー	CMを作りたいからです。
面接などの会場にたどりつくこと	日本語教師	自分の生活環境からとても近い職業であり、大学の1年生のころからコースを専攻してがんばってきた
交通費がばかにならない。	SE。	手に職。
面接で自分の伝えたいことが言えなかったこと	銀行員か仲介不動産	人のためになる仕事だから
あちらこちらに、出かけること。	銀行員	人と接する仕事があったから。
女子の一般職の募集が昔より少ないこと	運輸業事務	内定をもらったから
1社だけ受けて見て、就活していないので要領が分からなくて苦 労した	エンジニア	研究開発したいので
交通費がかさむこと。行きたい企業の説明会が重なること。	服の販売員。	服に興味があったから。
	企画・開発	世の中に自分がほしいと思うものがない。私だったらこんなのがほしい！こういうものがあればいいな！というものを形にしたいから
自己分析	サービス業(コンピューター)	パソコンが嫌いではないし、サービス業に興味があったので。

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
	経理職	
	映画の配給・宣伝など	ハリウッドだけでなく様々な国の様々な映画を好みに応じて選択し、見られる環境を提供したい
希望の企業から内定をもらえない場合は公務員試験の受験を希望していたので、企業の就職活動と公務員試験の両立が大変だった(結局企業から内定がもらえ、公務員試験は受験しませんでした)	出版流通	出版界の中で中心に位置する会社の為、出版界全体を見ることが出来る。業務内容の幅が広い。
自分の自己アピールをすること。	教師	生涯誇りを持ってできる職業だとおもうから。こどもに教えるということが責任もあるが、魅力をかんじるから。
自己分析です。面接中も自己PRをしながら、「私ってこんな性格だったっけ？」と臍に落ちないまま話していました。	アパレルの販売員	人を喜ばせることが好きで、服に興味もあるので、両方を行かせるアパレルを目指したいと決めていました。
アルバイトを減らしたためお金が足りなくなり、途中から昼抜き生活になった面接の進み具合の影響で、日々気分の変化が激しいこと。	銀行員	社会的に悪い(汚い)仕事でなければよいと思った。
スーツでの移動	生命保険業	高価格商品を売り、長期間一人の消費者と付き合いたかったから。
	SE	コンピューター関係の仕事に就きたかったから
	建築・インテリア関係	大学で専門的に学んでいるので。
なかなか決まらない		
普段、電車を全く利用しないので乗り換えに本当に苦労しました。	洋服、又はジュエリーの販売員	接客業が好きというのと上の二つに興味があるので。
食費と交通費がかさむこと。面接や試験から帰ると夕食を作る気になれず、コンビニに寄ってしまい、つつい甘いものなども買ってしまふ。	内定はもらったが、専門学校に通うことにした。	子供の頃からの夢があるので。
下調べ。どんな企業があるのか調べるのが大変	広告代理店 ホテル・観光業	憧れ
履歴書を一枚一枚書き上げるが面倒くさかったです。お金に関してもかなり苦労しました。交通費やリクルートスーツ、バックなど、また証明写真や証明書類など、かなり消費しました。	プログラマ	パソコンを使用して一つの商品をつくってみたいと思ったから。もともとパソコンが好きだから。
公務員試験を受験しているので、民間の友達と話が合わないこと	都庁職員	やりがいがありそうだし、働き続けられそうだから。
自分に自信が持てなかったことが大変でした。(自信がないと、書類や面接にもそれが出てしまうので)	(まだ決めた訳ではありませんがおそらく)銀行員	自分の性格に合っていそうなので。
	市役所職員	会社で働くより、生活そのものを支える公務員の仕事がしたいから
面接の時の緊張を抑えることが大変だった。	運送会社の営業	自分自身、荷物を送るという利用者であり、その立場を今度は利用してもらう側へと就きたかったから。
	SE、研究職	今まで勉強してきたことが生かせるし、つくるとい事が好きだから。
お金がかかる。なかなか受からない。	一般事務員。	事務仕事に向いていると思ったから。
就職活動はしていません。		
グループディスカッションや集団面接で何を見られているのかわからず、落ち続けたことがあった。途中で希望職種を変更したため、他の人より出スケジュールに追われる事。スケジュール調整が大変だった。希望の会社の面接日が重なりどちらかを選ばなければならなかったり。とにかく、気分的に気が重かった。	MR(医薬品情報担当者、営業)	やりがいを感じられると思ったから。多く人と接することができるから。
	印刷業	広告関係につきたいというのがあったから。文章や絵や写真など見えるものを作ってみたいという気持があったから。
	看護師/教員	保育・教育を通して、子どもと共に自分自身も成長することができるから。
活動にお金がかかる。夏が苦手な私には今の季節スーツを着て企業を回るのがとてもつらい。	空港で働きたい、または旅行会社のカウンター業務に携わりた	誰かの役に立ちたい。これから旅をする人を気持ちよく送り出したいから。
交通費と卒業研究と就職活動の兼ね合い。大学院に進学しようかずっと迷っていた	技術	自分の手で製品を開発し、その物を実際に手に取ってみたい
1日に何社もはしごしなければならぬので、時間をうまく調整するのが大変でした。あとお昼食べる時間なかったのでやせて大変でした。	損害保険業界。	損保はいまや人々の生活に幅広く深くかかわっていて、なくてはならないものだから。お客様に安全と安心を提供できる手段の一つだから。
面接までもいけな	販売職	自分に向いていると思うから
資格を目指しているので、就職活動はその後だと思います。	商業翻訳士	自分の性格にあっているものだから。その後興味のある職業ができて、英語ができるとう便利だから。

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
金銭面の負担が大きかった	書店員	昔からの夢だったから
交通費、食事などにかくお金がかかること。スケジュールの調整が大変だったこと。授業に出られない。精神的にも肉体的にも疲れる。	商社	楽しそうだから
大学の授業と両立させなくてはならないこと		
交通費などお金がかかること、ストレスなどで肌が荒れた	SE	プログラムに興味があるから
時間とお金の管理が予想以上に大変だった	政府系金融	小さい頃から農業に携わる職業に就きたかったから。
まだしていない。	病院	看護学科専攻で看護師になるために勉強してきたから。
筆記試験。対策をあまりしてなかった。	システムエンジニア	システムを構築する事に前から興味があった。お客様と一緒に考えていく仕事だと思う。
移動		
面接がうまくいかないこと	IT	インターネットを最大限に使いたいから
地方に住んでいるため、面接や試験を受けに行く交通費などの捻出が大変だった。	パソコンサポート	人に物を教えるのが好きだから。パソコンを使うのが好きだから。
	臨床心理士	昔からの夢だから
体調管理、エントリーシートの記入に時間がかかってしまったこと、スケジュール管理	広告代理店マーケター	広告に携わりたかったため。また、広告を打ったり、調査・分析などで得意先の企業に貢献することができるという魅力があるため。
自己分析が一番大変でした。いかに自分の性格を理解しているか、自分が将来何をしたいかななどを明確にすることがとても重要で大変なことでした。	薬剤師	子供の頃からの夢で、多くの人の助けになれるような仕事をしたいと思っていたから
なし	図書館職員	小さい頃からの夢であるというのもあるけど、生涯学習の一環としてもっと色々な人に図書館を利用してもらうことに一役買いたいと思うから。
これからは本格的になるので、まだあまりありません。	社会福祉・病院系。若しくは公務員。	公務員は臨時職員をしていて、興味をもったから。福祉系はそのような大学に通っているから。
移動がとても疲れた		
交通費がかかること。忙しく、朝がはやいこと。就職活動が嫌になった時期があったこと。	食品卸の事務職	食品卸の仕事に興味を持ったから
特になし。むしろ全く就職活動をしていなかった。周囲の様子を見て意味もなく焦ってしまいました。	研究職か教育職に就けたらと思っています。	自分自身が勉強することや、人に伝えることが好きなので。
とにかく精神的にも体力的にも大変。	商品企画(建築設備機器)	
今年は暑かった。スーツがつかった。エントリーシートで、いかに相手が自分に興味を持つように書くか悩んだ。	広報	自分の力で何かを宣伝をしたりするのが、自分に合っていると思ったから。
死にたくなるくらいに悩んだこと。	言いたくない	考えてみて、自分がやりたいことがそれだったので。
してません。	臨床心理士	需要が高まっていると聞いたから。
学業との両立	コンサートなどのイベントスタッフ	自分の手でコンサートを創りあげてみたい。また、イベントの際に出るゴミの減量化を図りたい
自己分析		
就職活動を行わなかった		小さい頃からの夢だから。
自分自身をどれだけ相手に伝えることができるか。自分のことであってもそれを他人に私という存在を理解してもらうには自己分析を相当しっかりとしていないと難しいと思った。あとは、筆記試験対策を早めにやっておくほうがよいと思った。就活最盛期に入ると面接の準備やエントリーシート、説明会等に追われてなかなか時間がとれない。	システムエンジニア	大学での勉強が少しでも活かせると思ったから。
毎日毎日予定がはいつて忙しいこと。そして、日程が重なるかもしれない予定のたたない状態。	コンビニ本部	生活に根ざした分野の商品開発をしたく、食品に興味があったため、コンビニの商品開発をしたいと思ったから。また、商品開発ができなくても、実際に多くの人が知るコンビニ自体を動かせる影響力に惹かれた。
進学希望なので就職活動をしていない	SE	パソコンを触るのが好き、プログラムを組み立てるのが好きだから

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
	システムエンジニアまたはプログラマ	手に職をつけられるから。専門性があるから。
スケジュール管理やエントリーシートを書くこと。	販売員	なんとなく。
交通費が高つく。授業との兼ね合いが大変。スーツや革靴などの手入	教職またはSEまたは図書館関係	その職業でできることに興味があるから。
自分探しがなかなか難しいこと。	職業はないですが、人と関わりたい職業に就きたいです。	色々な人と接することにより、色々な発見があると思うから。
履歴書を書くこと、自己分析をすること	物流関係の職業	就職活動をしていて興味を持ったから
交通費やスーツなどでとてもお金がかかる。	通訳か翻訳、海外に関わる仕事(外資系)を希望している。	留学して外国語を身につけてくるから、それを生かしたい。
すべてが就職活動中心になり、精神的に追い詰められた。	会社員(広告)	選考を通して(面接、作文など)自分らしさが一番、いかせる職業だと思ったから。
交通費などの金銭面	住宅関係	住宅は人間にとっての憧れであり、夢であるから。
一般常識問題が全般的すぎて、よく分からないものが多かった。勉強に苦しんだ。	塾関係 院に受ければ、そのまま研究していきたい	今も講師をバイトでやって、仕事をしていて楽しいから。
面接での対応	NGO	途上国で生活してきたなかで、同じ平等であるはずの人間のあいだに貧富の差があり、また、それはあってはならないことと強く思い、発展途上国に生きる人、生活を助けていきたいため。
金銭的に大変なのと、自己分析	警察官	公務員だから。あこがれる。
お金がかかること。	システムエンジニア	大学での専攻を生かせるから。
自分が求める条件の会社がなかなか見つからない。見つかったも、とても倍率が高くてむずかしい	デザイン関係	自分の小さいときからの夢だから
まだ就職活動を始めていない。	障害児の施設職員	音楽療法の実習をしていて、自分は子供が好きだと気づいたから。
	研究職	
なかなか内定がもらえなかったこと。最終選考で2社落とされた。2~4月は予定がぎっしりで肉体的にも金銭的にも精神的にも辛かった。	自動車部品メーカー	自動車関係の企業に就職したいと思っていたから。
まだわかりません。	出版・印刷を第一志望にしています。特に校閲部です。	昔から本が好きで、出版前の本に携われる唯一の仕事だからです。
	福祉機器の開発	機械と人体に興味があるので。
何をしようのか分からず、大学の就職活動に関する講座をすべて受けても不安だったこと。	(雑誌など印刷業界の)デザイン関係の仕事	自分がやりたいことだから。
	調査会社	専門社会調査士資格をとるために院に行くから
行ったり来たりを繰り返すこと	特に希望なし	将来のことを考えるのが嫌なので
	声優	就職活動をしようというときに普通の会社員にはなりたくないという気持ちが強くて
ES、面接の準備、スケジュール調整。	システムエンジニア	技術が身に付くから。
1日に何件も掛け持ちで説明会に出席したり、試験を受けたり、面接を受けたりするためのスケジュール管理が大変でした。	一般企業の事務職で海外とのやりとりをメインとする部署	インターナショナルな舞台で働くことが長年の希望であり、大学でもそれに役立つような勉強をしてきたから。
はじめようとしてすぐに大学院進学希望にしたのでとくにありません。	システムエンジニア。	情報系に携わりたいので。
学校との両立、アルバイトとの両立が大変だった。一般常識の勉強もむずかしかった	観光会社	旅行が好きで学生時代から留学など何度もしていたから
交通費の確保 必修授業が毎日1つあることによる、出席時間の確保 自分にあった会社探し	情報系の事務業務	一番興味あることとぴったり当てはまる仕事をできそうだから
特に大変さは感じていない。	看護師	看護の勉強をしているため。
	薬剤師	
内定がとれるかどうかの不安。授業との調節。	販売職	扱っている商品に興味があるから
エントリーシート、履歴書の記入。	銀行員	昔からあこがれていたから。
履歴書の作成時、在学中に力を入れたことや志望動機を書く時	一般事務	身体的理由で、消去法でいくとこれしかない。

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
筆記試験や面接はひとつの時期に集中するので、スケジュール管理が大変だった。	システムエンジニア	パソコンソフトの接客販売の経験から、人から話を聞いてそれにあったソフトやシステムをおすすめするのが楽しかったから。
看護師志望なのでまだまだ就職活動が始まったばかり。今のところはとくにありません。	看護師	看護に興味があり、現在の学部(看護学部)を選択した。
興味のある会社はすべて同じ時期にやるため、どれを捨てるか迷った。志望動機を考える事。自分が何をしたいのかわからない。	保険業 出版関係の仕事	女性の活躍できる場であり、環境も整っているから。 本が好きだから
なし	ひみつ 教員	ひみつ 小さい頃からのなりたいてって思ってた教育実習で本当にやりたいと感じた夢がある
なし	歌手	夢がある
一方的に連絡を待っているのが辛かった。忙しくて体調を壊した。スケジュール管理が大変	損保の一般職	一般職が向いていると思ったから、その中でも金融・保険業界が性格にあっていると感じたため。
就職活動はしませんでした。	理学療法士	高齢者のリハビリテーションに関わっていきたいから。
すべて。筆記試験対策から企業分析、面接対策、企業に選考のたびに何度も足を運ばなくてはいけないこと、予想以上にお金がかかったこと(交通費や昼食代など)等。		興味のある分野で、身近な職業に就きたかった。
女性は差別がある	大学の副手	とにかくやりたいから
していない。	保育士、美容関係	自分の好きなことを仕事にしたいから。
秋から始める予定なので・・・	日本語教師	営業や事務の仕事に興味をもてないため。
暑い。先月から異様に暑いです。長袖シャツにスーツがこんなに暑いとは…。サラリーマンの方々に敬意を表します。後は、交通費がかさむことです。親に頼らず自腹で活動していたので、アルバイトも休まず続けています。	営業職、営業アシスタント、販売職が良いです。	友人や先生、人事の方から「営業職に向いてる」と言われたことがきっかけでした。自分も人と接することが好きでしたので、自分に合っているかもと思うからです。
エンタリーシートなどを書く作業。	大手建築設計事務所 HP管理者。	今の段階で考えた場合、自分に一番あっているのではないと思うから好きだから。
地方から都内に出るのに、時間がかかりすぎて大変だった。	銀行員	金融経験があれば、将来、結婚出産してもその職に就くことができるから、長い目で見るといい職業かなと思ったため。
試験や教育実習と重なり、思うように就職活動ができないこと。	中学校英語教員。	中学校の時から夢で、子供が成長していくのを間近で見たいから。
自分をうまく伝えられないこと	銀行	無難だから
勉強	公務員	安定してる
希望していた会社に落ちてしまったときに精神的につらくなり、体調を崩したことです。また1日に何社もまわらなくてはならなく、体力的にもつらかったです。	銀行員です。	母親が長い間銀行に勤めていて銀行の仕事が自分にとって身近なものであったからです。安定しているし、プライベートも充実させることができると感じたからです。
交通費と食費がかかる。	事務	会社の景気が良いから。
企業はどこも同じ内容ばかりだった。	歌手	それしかないと思ったから。
なかなか面接で通過しなかったこと。自分の言いたいことを初めて会った人にわかりやすく伝えることに苦労しました。	保険の総合職	総合職と言っても営業ではなく、同業他社に見られない職業(仕事内容)だったから。
行くのが大変	今は考えてない	
すごい緊張感があること	教師	好きだから
交通費がかかる。バイトもできないうえ、遠出なので外食の食費も大変	製薬会社	人と感染症に関する卒論を書いているから。
時間的な拘束(待ち時間)が長いこと 移動が多く暑い中大変だったこと(国家1種の官庁訪問は6月21日～7月2日と、一般企業よりかなり遅い)	国家公務員1種	国の政策作りにかかわりたかったから。広いフィールドで自分の力を活かしたかったから
交通費や食事代がかかる	SE	資格をいかせるから
移動が大変。交通費がかかる。	公務員	安定してるから。結婚しても続けられるから。
あまりの情報の多さに、全部をちゃんと検討することは難しかった。	パソコンインストラクター	パソコンに興味があるから。
交通費がかかった	エステティシャン	
自己分析	接客業	接客が好きだから

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
ぜんぜん就職に関する資料が足りなかったこと。	公務員(保育職)、化粧品関係の販売スタッフ。	子供が好きなので。4年間接客業をやってきて、おもしろかった ので。
	薬剤師	薬剤師免許をとるから
まず、交通費が恐ろしくらいにかかりました。6万くらい？ 後はパンプスの靴擦れが両足で6箇所出来てしまったり…。 精神面では落ち続けた時すごく自己否定してしまって危険でした。	専門店販売員	アルバイトの経験がとても役立ちそうなので。
交通手段	DTPオペレーター	デザインの仕事がしたかった。
	未定(コンサルタント、シンクタンク、住宅メーカー、公務員)	まだ分からない。
自己分析	デザイナー	デザインが得意だから
求人がない	医療事務	病院が好きだから
面接が重なった時、どれをとるか。	総合商社	あらゆる事業に取り組んでいるため。
学校が普通の欠席扱いになってしまい単位取得がぎりぎりだった	IT関連	興味があるから
していません。	公認会計士	男女差別がなく、女性でも活躍できる仕事であるし、色々な企業に関われるところに惹かれたから。
筆記試験が一番大変でした。学校では高校までで習ったことが出ると言っておいて、実際は応用問題ばかりで理解できずそのせいで何度も落ちました。本当、今ではトラウマというくらい筆記試験がだめです。	タバコメーカー	タバコは人体に悪影響を与えているので、自分の力で少しでも影響の少ないタバコを開発したり、タバコのマナーについて理解を 深める仕事がしたいと思います。
結果が合否のみでどこが悪かったのかというフィードバックが一切ない	会社員	フリーターは嫌なので
エントリーシートを書くこと。	マーケティングリサーチ	興味があり、専門性を高めていきたいと思えた。この仕事なら、大変でもがんばれそうと思えたこと。
会社の本社まで面接に行くのが大変だった。自宅から遠いところで、朝早くに面接があるのがきつかった。	販売員	接客が好きだから。
志望業界から内定をもらえず、今後どのように就職活動を行って良いのか分からない。	研究職	大学で学んだことを生かしたかった
	薬剤師	
交通費がかかった	事務員	楽そうだから
就職活動をしていない。	市場調査、シンクタンク、リサー	面白そうだから。
毎日分刻みのスケジュールも大変だし、何より行きたかったところに落ちたときなど精神的に辛くなった。出版系などのエントリーシートは書くのが大変だった。	銀行員	人の役にたてる仕事だし、収入が良いし、地元で働けるし、面接などで出会った行員が皆良い人だったから。
していない	薬剤師	資格をもっているから
就職活動は行っていない。	大使館広報部、政府観光局	自分が学んできたことを生かせるから。
田舎なので会場に行くのが大変だった。内定をもらうまで精神的につらかった。本当にやりたいことと就職が結びつかず行きたい会社が見付からなかった。	情報システムエンジニア	勉強してきたことが活かせるから
	旅行業、もしくは留学アドバイ	海外に興味があるから。英語を仕事に生かしたいから。
就職活動はしていない	公務員	自分に合っていると思うから
歩きにくい靴で面接に行くこと。	プログラマー	パソコンが好きで企業に入ってもっと勉強したいから。大学で学んだものを役立てることができるから。
授業との両立	弁護士事務所など	一般企業は避けたいので。
スクールに通うので特別活動はしていません	ファッション関係	自分の個性を出せる
留年したことを思わせないようにすること。	銀行	格があると思う。
	幼稚園教諭	毎日、好きな子どもたちと過ごすことができ、やりがいのある仕事であるから。
していないのでわかりません	企業の研究職か、教育関係。	頭を使う仕事が好きだから。
何をしたいのかわからない		憧れ

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
精神的ストレス	事務職	営業などをする自信がないから
エントリーシートを書くこと。自分に必要な情報を集めること。	研究員	普通にOLするのは嫌だから。
エントリーシートの作成に時間がかかる。また、学校の授業が公休にならないので、予定を組むのが難しい	公立学校教員	小さい頃からの夢だったから。
自己分析が難しい。	警察官または公務員	警察官は小さいころからなりたかったから
暑さ	銀行職員	安泰
就活してません	教員	小さい頃からの夢だから
面接に関して色々な大変なことがあった。	芸能人	自分を磨きたいから。
	日本語教師	日本語教育に興味があるから。
	看護師	
面接の練習はしました	ネットショップがやりたい。自分で作って販売する事を仕事としてやってみたいと思っている。	ずっとやりたかった
スケジュール管理が大変。	学校職員。	やりがいがありそうだから。
公務員試験を目指していましたが、大学院進学との勉強の両立が難しく、諦めました。	公務員	就労地を希望できること。(地方公務員希望のため)
とりえず勉強の毎日で、テストも1回しかないのに、プレッシャーが大きい	中学校数学教諭	子どもに教えたいという思いが強かったから。
いつ、欠員が出るか分からなかった。	文筆業	その分野に一番自信があって、どうしてもやりたい仕事だから。
遠方の就職活動	施設職員	福祉系大学で4年間学び、それを生かした職に就きたいと思ったから。
あがりしょうなので、自分の言いたいことを的確に相手に伝えることが出来なくて面接で苦勞した。	SE	将来性・専門性。…でも自殺者が多い職業…らしいです
自分自身の人物分析は、他の人からみたら異常なのか、と自分自身を見失いそうになってしまったこと	イベント企画	大学生活でイベント企画をたくさん経験し、作り上げて成功させることの楽しさを知ったから。
受ける企業によって、面接に答える内容を変えることが大変だった。	製造業・電設資材の営業	父も同じ業種で働いており、父を尊敬しているので私も同じ業種で自分の力を試してみたいと思ったから
職種や業種が違う会社に応募する時、エントリーシートや履歴書をいちいち書き直さないといけなかったこと。	金融関係	小さい頃からの憧れであったから
毎回、その会社や指定されたところに行くまでがとても大変でした。エントリーシートを書いたり、企業分析したりするのも大変です。	税理士	一生続く資格を持ちたいのと、一人でも生きていけるくらい稼ぎたいから。
アルバイトを思うように出来ず、お金がなかったこと。ストレスで体調を崩した。卒業論文の執筆がほぼストップしてしまったこと。	社会福祉の施設職員(相談員)。または、公務員関係。	専門分野として学んできたことでもあるし、資格も取得予定なので、それを生かしたいため。また、何より自分がやりたい、と思っている職なので。
	SE(システムエンジニア)	社会の基幹システムの構築に関わりたかったため。自分に適していると思ったため。
お金がかかったこと・内定がとれなくてあせったことです。内定を取るためにあまり興味のない会社までつぎつぎと応募してしまい、一社にかける労力が小さくなっていき、結局企業研究ができず…という悪循環に陥りました。また、学業がおろそかになりました。	おもちゃメーカー企画職と、教育業界でなやんでいます。おもちゃメーカーは自分の趣味の延長のようなかんじなので働きたい度95・働きやすさ100(勤務地限定)・会社の安定性50 教育業界は社会貢献度が高いので働きたい度100・働きやすさ30(かなり全国転勤があり、ハードワーク・車の免許が必)	子ども関連の職業に就きたいと思っていました。子供の好奇心をぐいぐいと引き出すことがしたかったのです。
最後まで就職活動をしなかったのも特にありませんが、複数の企業説明会に行ったり、各企業の比較研究をするのも大変だと感じました。	特に考えていません	まだ研究中です

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
エントリーシートの締め切り。	製菓	OB訪問や会社説明会にいて興味があた。病院などに足を運んで考え自分もMRとしてかつやくしたいと思った。
バイトができないので、金銭面的に大変だった	金融関係の営業	自分のしたことが結果に結びつきやすいから
大学にあまりOBやOGがいないため、情報があまりなかったこと	証券	自分で資産のことについて勉強できるため
自己分析が難しかった。		
自分との戦い 常に大変.....	販売・プレス	ファッションに興味があるから
	病院薬剤師	以前からあこがれていた。
書類選考、筆記試験などで面接に進めないことが多かった。なかなか、内定をもらえない。	コピーライター、雑誌記者などライター系	書くことが好きだから。
大学院に推薦進学なので、特に何もなし	電力関係のエンジニア	現在研究している内容に直結しているため
大学の授業と両立させることが大変でした。	情報システム系の会社でSE。	パソコンを触るのがすきで、プログラミングなどが得意だから。
理系なので研究との両立がほぼ不可能でした。教授の理解が得られないのでまともに就職活動はできませんでした。	一般事務	そのくらいしか定時に帰れる仕事はないから。
細かすぎるエントリーシートの記入。スケジュール調整。	書籍編集者	大学の専攻を生かせるから。面白そうでやりがいがありそうだから。
部活との両立	自動車メーカー	自動車が好きだから。
交通費がかかるので、アルバイトを同時におこなっていて大変だった。	接客	人と接する仕事がしたいから
面接で上手く話せない。	事務	自分に向いていると思うから。
スーツ暑かった	司書	落ち着いて出来そうな仕事だから
交通費がかかる	国際会議の準備スタッフ	国際会議という仕事に携わりたいから
私の家は千葉の田舎なので、都内まで面接や筆記試験などに出向くのが一番大変でした。特に電車賃なんかは、会場が横浜だったりすると、片道1620円もかかるので、そんだけかけて毎回行ったのに落ちたりするとかなりヘコみます。	英会話スクールの営業・事務	英語に触れる職に就きたいから。将来は翻訳家になりたいけど、それまでに色々経験を積んでおきたいし、留学コーディネーターをやりたいとずっと思っていたから。(その会社でもできるから)
交通費、スーツを着て暑い中歩くこと。	営業	一番求められているから
	考え中である	
エントリーシートや履歴書を好印象を抱くように書くこと 面接で印象を良くすること、企業に必要な人材になること	公務員	安定だから
自己分析	国立大学法人職員	以前から教育や研究に貢献のできる仕事がしたいと思っていたため。国立大学は研究活動などで最先端の機関が多く、広く自分の志す分野の貢献ができると思った。
なし	IBM	コンピューターに興味がある
公務員試験のために勉強をしているのですが、内容が幅広く、非常に難しいこと。	公務員(職種は未定)	安定しているから。親にすすめられているから。
してない	日本語教師	教える事が好きだから
暑い中スーツを着ての企業訪問	バイヤー	買い物が好きだから
精神的に不安定になったこと。		
エントリーシートの記入。面接での緊張。	ローカライザ	将来映像翻訳の仕事がしたい。その夢をかなえるまでのステップ。
活動していない	エステティシャン	昔から、美容関係に興味があったから
まだ就職活動ははじまっていない。	作業療法士	
自己分析	教員	夢
お金がかかる。何をしたらいいのかわからない。	服飾デザイナー	昔からの夢だった。
	イラストレーター	絵が好きだから
	編集者	書籍雑誌が好きだから。その魅力を普及していきたいから。
ESがかなりたいへんで、引き籠り気味になり鬱になること。		
自分という人間がよくわからなくて、自己アピールが書けない。面接で言うことが全く思いつかない。上手にしゃべれない。	IT関連、金融関係	IT関連は昔からパソコンが好きだから。金融は親がその職業だから興味がある。

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
交通費、お金がかかる。	グラフィックデザイナー	以前からその職業に就きたかったし、その勉強を大学でしてきたため。
交通費などのお金すべて!	医療福祉系 メーカーの営業	医療に携わっていたい。人の役に立ちたい。 特になし 会社が気に入ったから
交通費がかかること。	裁判所職員	裁判制度に興味があり、実際に実務につきたいから
今は暑い。交通費もかなりかかる。学校、バイト、就職活動同時進行で疲	営業	自分に向いている仕事だと思ったから。
試験がある	今は未定。	
東京へ行ったときの交通費。お金がないので夜行バスで節約。次々に来るエントリーシートの締め切り。短時間で大量の文章を書けないので困った。周りで内定者が増えてきた頃のプレッシャー。最初の頃、自己分析だの業界・企業研究といった世間一般の就職マニュアルに馴染めなかった。合わないと思い、結局自己流で乗り切る。5月ともなるとリクルートスーツは暑い……	未定	本と関わっていけるところ。
試験勉強	司書	昔からの夢だったし、仕事内容に魅力を感じるの。
交通ひ	金融	安定してる
やはり実際どんな分野の企業においても男子や理系出身者が優位でいいところまでいっても結局落とされてしまうことばかりだったこと。	法律事務所	将来できれば産業翻訳などをやってみたいと考えているのでできるだけ それにプラスになるような仕事をしたいから。
地方に住んでいるので関東圏での就職活動は行いにくい。	旅行業またはホテル業	それ関係の専攻だから。
これから就職活動です	社会福祉士	福祉の仕事がしたいので
大阪まで毎日のように行かなければならなかったこと。	銀行員	金融関係に興味があったから。
面接	流通	流通業関心
自分がどんな仕事をしたいのかわからない	総合商社	社会に役立つ仕事をしたい
活動をしてみて、就職しなくてもいいという結論に至ってしまった。精神的なモチベーションを維持できなかった。	WEBデザイナー	ものをつくる仕事だから
電車代がかかる。精神的に負担が大きい。	研究職(化学)	大学での知識を生かせるため
面接のたび、緊張の連続だったこと。	営業職	いろいろな人と出会いたいから
地方なので、交通費がかかったこと。周りに内定が出始めた時の焦り。	空港職員	空港や飛行機が好きだから。国際的な仕事をしたいから。
交通費などお金がかかった。納得のいく就職活動が出来ず焦りと不安が多かった。社会の厳しさを知って社会に出ることに不安を覚えた。	コンサルティング系の会社(企画提案型の営業)	スキルアップ。自分自身を成長させるため
していない	しない	しない
行きたくない企業(滑り止め)のための面接対策	銀行員(都銀)	安定しているから
卒論との両立	メガネの販売員	自分に一番身近で、お客様と接することができる仕事だから。
朝早い事、遠くまで移動しなければならない事。	薬剤師	薬学部なので。
面接がうまくいかないこと		
午前、午後とセミナーや面接などがあり、夜はエントリーシートの記入など、と自分自身のプライベートな時間がほとんどとれなかった。また、選考が進むという面接が入るかもわからず、予定を組み立てるのが大変だった。アルバイトもなかなかできないので、お金のやりくりも大変だった。エントリーシートの記入の際、答えにくいような質問も多く、それを考えまとめるのに苦労した。	製薬会社	大学で勉強していることの延長上であること、自分自身も薬の知識を豊富に持っていると思ったし、人に貢献できる仕事だと思った。
自己分析	出版業界	編集したりすることが好きだから
まだ就職活動を始めたばかりなので、何ともいえません。	看護師	人に必要とされる職業につきたいと思ったから。再就職がしやすいから。

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
	会計士	会計士が専門知識を持って行う仕事内容自体に魅力を感じたことに加え、大変だけれども正義感を持って責任のある仕事することに憧れたため。また自分は女性なので結婚や子育てといった今後の予測の難しいライフスタイルを考えると、会計士という資格を持っていれば、仕事もプライベートも充実したものになるのではないかと考えているため。
交通費がかかる	コンサルタント	人の話を聞くのが好きで、その情報を分析して提案するのが得意だから
今でこそ慣れましたが、面接を始めた頃は赤面症だったので、必要以上にあがってしまっていました。	SE	手に職をつけたいとおもったからです。
自己分析	雑貨屋	前からやりたかったので
まだ、本格的に動いてないのでわからない。	医療関係	医療関係に従事できる資格を持っているため
ご飯を食べる時間がないときがあった。	経営コンサルタント	自分が今まで学んできたことを活かせる。優秀な人と一緒に仕事ができる。能力が高められる。
行っていない		
交通費がかかりすぎる。将来への不安や、周りが内定していく事へのあせりなどは確かにあるが、何もかも別に自分の為なので気にはならない。それよりは、実質的な問題の方が大きい。	メーカー系企業の事務系社員	日本の基盤を支える仕事だから。
まだしてないです	小学校の先生	自分が小学生だった時の担任の先生のようになりたいと思ったのがキッカケ。子供が大好きだし、教えることも大好き。
交通の便、交通費、授業を欠席しなければならないこと、就職したい会社が新卒者を募集していきなりすること。	農業関係	今大学で学んでいることを生かしたいから。
選考段階がとにかく多いこと！		自分の経験を活かした仕事・好きを仕事にしたかったから
福祉系の大学でまだ求人が出ていない状況なのでまだ就職活動は序盤です。これから大変な事があると思う。	デイサービスのケアワーカーか相談員です。	子供の頃からの夢だったし老人が好きだから。
精神状態をコントロールすること	小学校教師	昔からの夢で、子どもが大好きだから。また最近起っている犯罪の低年齢化を防ぐ教育をしたいから。
待遇面ではよいと思うところは競争率が高いこと、面接官と相性が悪い場合は間違いなく落とされる。資格が少ないので、アピールポイントを探すのに苦労する。	事務系が第一希望だが、あまりにも内定が取れないと営業の職種も考えている。業界は商社。	自分の時間もある程度取れるところを希望しているから。
特になし	まだ決めていない	まだわからない
エントリーシートを書くのに意外と時間がかかった。	出版関連会社	もともと興味があったから。
	弁護士	資格のある仕事につきたいから
住んでいるところは京都なのに、多くの面接は大阪であったこと。	内定をいただいた会社には入社しません。就職は今のところしなつもりです。	自分のやりたいことをやるため、就職はしません。
活動していません	活動はしていませんが、将来は動物関係の仕事がしたいと思っています。	動物が好きだから
やってみたい仕事は「新卒向け」でないこと。適性検査がなかなか通らない	ウェブプログラマー	ウェブ制作が好きだから
自己分析	まだ考え中	
スーツ代や問題集代、交通費や雑費、などの金銭面や、精神面、さらに時間と体力の浪費。	マスコミ	興味があるから。やりがいがありそうだから。
	公務員	
	法律家	人生を豊かにできそうだから。
特になし	劇団員	人々に電撃的なショックを与えたいから
交通費などの金額	大学事務	大学改革を専門に研究しているから

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
・スケジュール調整・なかなか選考が進まない時期の心情	【職種】一般職の事務職またはDTP CADオペレーター【業種】アパレル、繊維、インテリア、住宅、情報 のメーカー、商社	一般職→転勤をしたくないので 事務職→人をサポートする方が性格的にあっているの で パソコンを使う事務仕事がしたいので 業 種→少しでも自分の興味のあることに関わりたいため
東京まで通うのが大変	音楽教室	ピアノをずっと弾いてきたので
短時間で自分の思ってる事を伝えられない	システムエンジニア、ネットワークエンジニア	ネットワーク系をずっと学んでいるので
	教育関係の職業。児童相談所、教員など	教育関係に興味があるから。心理学系の学部にいるから
いろいろなところに行って とても疲れた	通訳です	言語学科ですから
試験勉強と自己分析	県庁職員	自分が生まれた県のために働きたい。やりがいがある仕事だと思うから。
まだ特にない	進学の可能性大	就職が厳しいので
していない	監査法人。	会計士になって働きたいから。
	web系制作会社	自分の力が一番発揮できる場と考えているため
まだ迷ってる段階で活動という程の事をしていないですが、	英会話講師、英会話学校のお	留学して英語を身に付けたから。
交通費がかさむ。学校の授業に出席できない。リクルートスーツなどのクリーニングのタイミング。		
・自己分析…社会人として自分が活かせる強みやその強みを発揮できる環境、共に働きたい理想の社員像等を見つけ出すのに本当に苦労した。学生としてではなく「社会人としての目」をもって、社会で活用される人間としての自分を分析できなければ、面接で言う事にも説得力が無いのだと痛感した。・社会人としての考え方への頭の切り替え…上記と少し重複するが、自分の能力を活かし、他の社員と共に会社や社会に利益をもたらすために 働くという考え方に頭を切り替える事ができなかった。だから入社後やりたい事も全然見えなかった。	銀行員(一般職)	・私の持っている事務処理能力や会話好きな自分を活かせる仕事だと思ったので。・大企業から個人の生活まで幅広く支える銀行の役割に魅力を感じたので。・OG訪問した際、銀行員になった先輩が学生時代よりもさらにいきいきと活躍されていて理想の社会人だと感じたので。
	貿易関係の仕事	語学力を生かしたいから
エントリーシートや履歴書書き。	薬剤師	そのための学校(学部)に通っているから
自分のエントリーシートが正しいのかわからなかった。	バイオ系の派遣会社	高校のころからDNA関係につきたかった。
面接の日程が重なって、受けられなかった会社があったこと。	製造業	自分の興味のある分野だから
交通費がばかにならない。	税理士	身近な人が、その職業だから。
エントリーシートの記入	モバイルコンテンツ企画	楽しそうだから
初めて利用する駅が多かったので会社までの道に迷うことが多かった。遅刻しかけたことが何度もある。	公務員	安定感があるから
自己分析をして自分がどんな人間であるかを考え、学生時代になにをやってきたのかを履歴書に記入する時、どのような書き方をすれば自分の熱意が伝わるかを考慮しながら履歴書やエントリーシートの記入する事。		仕事にするならこの仕事しかないから。
とくになし		興味があったので
	劇団員	好きだから。
東京までの交通費をためるのが大変でした。	IT関連事業	専門が生かせるので
進学予定のため、就職活動はしてません	公務員、研究職、	自分の研究分野を仕事でも生かしたいから
いきたい就職先は県外で、説明会などわざわざ県外まで聞きに行ったこと。	インテリア関係。	インテリアが好きだから。
選択肢の少なさ	教員	好きだから

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
就職活動をしていなかったの、特にない。	弁護士	法律が好きで、何か法律に関係する職業につきたいと思ったから。人の役に立てる職業につきたいと思ったから。女性でも自立して生活していかなければならないから。昔、弁護士の先生にお世話になったことがあって、憧れたから。
医療技術系大学に通っているが、就職活動の時期が他大学の学生と異なり四年生の夏から冬にかけてがピークで、他の学生と比較して焦ってしまう	作業療法士	大学でその職業についての知識を勉強しているため
なし	看護師	昔からの夢
自分に向いてる職業	販売員	自分に向いてると思ったから
県外・都会へ行く時間と交通費。	システムエンジニア	大学の専門との関連性と、興味から。
自己分析をして、自分自身を知ること。	公務員	
交通費、食事代などのお金がかかること	コンピュータ関係の仕事。	大学でコンピュータを学び、中でもプログラミングの授業に興味を持ったから
移動	接客業	人と接することが好きだから
内定がでない	新聞記者、大学教授	小さいときからの憧れの職業だった。
交通費	技術職	大学で学んだことを生かしたいと思ったから。
ほとんど行っていないので、経験のために行えばよかったかなって思っています。周りは本当にとにかく大変そうです。	最終的には研究者を目指しているの、博士に進んだ後、教育学者になりたいと考えています。就職するなら、ゲームメーカーのプランナーなんかいいなあって思っています。	尊敬する、憧れの人に少しでも近づきたいからです。ゲームプランナーは、漠然といいなあって思います。
就職活動はまだしてない	医者	何か資格が持てる学部に行きたかったから
初めて内定をもらうまでは決まらないかも…という精神的なプレッシャーがありました。	銀行員	金融に興味があったから。
行っていないのでわからない。	オーケストラ楽団員	音楽が好きだから。
	教員	小さいころからの夢
暑い中、スーツを着て就職活動する事は、予想以上に大変なことです。	旅行代理店カウンターサービスホテル	接客業が好きで、旅行のサポートができる職業に魅力を感じたからです。
就職活動をしていません	公務員(教師)	学校という現場で心理学を生かした援助をしていきたいから
みんなと出遅れた感があって、つらかった。自分のPRポイントを見失ったときはつらくて、どうしようもなくなった。助け合える仲間が近くにいなかった。	MR	瞬間的に魅力にひかれてしまったため、うさんくさいなあとは思っているけれど、それにかけてみたいと思った。がんばれば自分が絶対に成長できる仕事だと思ったから。
まだ具体的にはないのであまりありません	公務員(市役所か県庁の職員)	安定してそうだし、世の中を変えるなら上のほうからじゃないと日本は変わらないと思ったから
知識の少なさ	システムエンジニア	知識の追求
首都圏まで出ていくこと。交通費がイタイ。	デザイナー	幼い頃からの夢だから。創り出すことに喜びを感じるから。
その会社について知ること。インターネットの情報だけでは分りにくく、表面的な文章やイメージしかつかめないの、OBOG訪問をする事で研究した。	重メーカー	海外の仕事に携わりたいから。社会や地球を大きく支えているから。
電車代	アニメーションの制作進行	消費者と間接的に関わる仕事、かつ作品を創ることのできる職業だから。
あがり症なので面接の練習を何度もした事		
勉強しているので、就職活動はしていない。	公認会計士	やってみたい仕事の内容だし、資格を取れば、一生働けると思うから。
面接	薬剤師	人の役に立てる仕事だから。
先に進まない	一流企業	やりがいを見つけたい

【女子学生】

問4(就職活動で大変だったこと)	問5(就職しようと考えている職業)	問6(その理由)
書かなくてはならないエントリーシートの枚数が溜まってくることや、一日にいくつもの説明会や面接が重なってしまっはしごをしたこと	コンサルタント	いろんな視点から経営を考えて、企業の経営者とともに社会に役立てるようになることや、自分自身が一番成長できそうだと考えたため。
試験勉強	弁護士	昔からの夢だから。
自分のイイ所を探す事。	営業	人と接する事が好きだから。
していない	エネルギー系	やりがいがあると思うので。
金銭面。特に交通費。エントリーシートの郵送料も、ばかにならない。40万以上は費やした。	広告代理店の営業志望だが、悩み中。	たくさんの事業に関われる、刺激の多い仕事に就きたかったから。
自分のやりたいことが何なのか分からなくなってきたこと。グループ面接などで緊張して自分の言いたいことの半分も言えずに落ちてしまったりすると、不完全燃焼な感じで後に引きずりやすくなってしまったこと。	金融系の営業職	人事の方の印象がよく、待遇はよいので。もう就職活動がやりたくなかったので妥協した。
	美術関係	自分の能力の中で人の役に立ちそうだから
大学の授業と就職活動の兼ね合いが大変でした。		
お金がなくなる。交通費など	営業	人よ接するのが好き
何度も落ちると人間性をすべて否定されたような気がして精神的に辛い。	研究職	当たり前前の職業に就きたくなかったから。
自分は何がやりたいのか、何を大切にしたいのか、自分に合った会社とはなど、それを明確にすることが一番大変だった。	不動産の営業	もともと不動産業に興味があったわけではなく、その会社がとても魅力的だったから。社風など、そこで働いている社員の人から話を伺ってこの会社でなら自分もイキイキと、そして人のためになる仕事ができると思った。
	公認会計士	どこにいっても通用する専門職だから。
スケジュール管理と一人暮らしの雑用をこなすこと。	SE	大学で学んだことが少しでも活かせると思ったから。
みだしなみ	なし	なし

23. その他（具体的にお書きください：_____）

問9. 就職しようと考えている職業（大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業）は、ご両親の職業と同じですか。あてはまる数字一つをお選びください。

1. はい（母親か父親かをお答えください。1. 母親 2. 父親）
2. いいえ

問10. 就職しようと考えている職業（大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業）に就きたいと思ったのはいつですか。あてはまる数字一つをお選びください。

1. 小学校に入る前から
2. 小学校に入ってから（ ）年のとき
3. 中学校に入ってから（ ）年のとき
4. 高校に入ってから（ ）年のとき
5. 大学に入ってから（ ）年のとき
6. いま考えた
7. 忘れた

問11. あなたはその職業（就職しようと考えている職業（大学院等に進学する場合は卒業後就職予定の職業））に就くためにどのような努力をしましたか。またどのような努力をしていますか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

	とても努力 している	まあ努力 している	あまり努力 していない	全然努力 していない
1) 情報を収集する.....	4	3	2	1
2) 就職のための試験勉強をする.....	4	3	2	1
3) 人脈をひろげる.....	4	3	2	1
4) 知識や教養を深める.....	4	3	2	1
5) 多様な経験により人間的な魅力を高める.....	4	3	2	1
6) 専門的な技能や技術をみがく.....	4	3	2	1
7) 資格や検定をとる.....	4	3	2	1
8) 面接のためにプレゼンテーション能力を高める.....	4	3	2	1
9) スタイルや容姿を良くする.....	4	3	2	1
10) 体力をつける.....	4	3	2	1
11) その他（具体的にお書きください_____）				

問12. あなたは、もし就きたい仕事につけなかった場合、どうすることがよいと思いますか。あてはまる数字一つをお選びください。

1. ほかに就職し就きたい仕事をあきらめる → 問13にすすんでください。
2. ほかの仕事をしながら就きたい仕事を目指す
3. ほかの仕事には就かない

問12-1 は問12で、「2. ほかの仕事をしながら就きたい仕事を目指す」「3. ほかの仕事には

「就かない」と回答した方にお聞きします。

問 12-1. その場合、卒業後どうしたいと思いますか。あてはまる数字一つをお選びください。

1. 当分の間アルバイトで生活をする
2. 希望ではない仕事だが正社員として働く
3. 就職に関係する「スクール」(専門学校等)に行く
4. 留年する
5. 大学院に進学する
6. わからない
7. その他 (具体的にお書きください: _____)

問 1 3. あなたは、数年たって転職すると思いますか。

1. はい
2. いいえ

問 1 4. あなたは、自分がどんな職業にむいているかのどのくらいわかっていますか。あてはまる数字一つをお選びください。

1. はっきりとわかっている
- 2.なんとなくわかっている
3. あまりわからない
4. 全然わからない

問 1 5. あなたが就職先を決定する際に重視することは何ですか。それぞれについて、あてはまるものをお選びください。

	とても重視する	まあ重視する	あまり重視しない	全然重視しない
1) 収入	4	3	2	1
2) 労働時間	4	3	2	1
3) 通勤の便	4	3	2	1
4) 仕事の内容	4	3	2	1
5) 職場の雰囲気	4	3	2	1
6) 仕事の社会的意義	4	3	2	1
7) 事業や雇用の安定性	4	3	2	1
8) 将来性	4	3	2	1
9) 専門的な知識や技能をいかせること	4	3	2	1
10) 能力を高める機会があること	4	3	2	1
11) 自分を生かすこと	4	3	2	1
12) 企業名等のブランド	4	3	2	1
13) 勤務地	4	3	2	1
14) 業績・規模	4	3	2	1
15) 福利厚生の充実	4	3	2	1
16) 育児休暇や介護休暇などの家庭配慮の制度	4	3	2	1
17) その他 (具体的にお書きください: _____)				

問16. あなたは、次のような意見についてどのように思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください。

	とても そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	全然そう 思わない
1) 仕事は人生における生きがいである……………	4	3	2	1
2) 希望する仕事につくために、どういう勉強を すればよいかを考えなければならない……………	4	3	2	1
3) たとえ、望む仕事につけなかったとしても、 我慢して働くべきである……………	4	3	2	1
4) お金に困らなければ、わざわざ望まない仕事につく必要はない…	4	3	2	1
5) 就職は有力なコネ（知り合いがいること）で決まる……………	4	3	2	1
6) 同じ組織で一生働くのはつまらない……………	4	3	2	1
7) キャリアアップのための転職は当然である……………	4	3	2	1
8) 出世のために能力以上の無理をする必要はない……………	4	3	2	1
9) ベンチャー企業につとめたい……………	4	3	2	1
10) 組織の業績をあげるためにはチームワークよりも 構成員の能力や資質が大切……………	4	3	2	1
11) 職場の人と個人的なつきあいをしたくない……………	4	3	2	1
12) 組織はいつまでも自分を守ってくれない……………	4	3	2	1
13) 働かなくても批難されない風潮がフリーターを 増加させている……………	4	3	2	1

問17. あなたはインターンシップ、教育実習、工場実習、アルバイト、ボランティアの経験がありますか。あてはまる数字すべてをお選びください。（複数回答可）

1. インターンシップ（教育実習、工場実習を除く）
2. 教育実習 →問18へ
3. 工場実習 →問18へ
4. アルバイト →問18へ
5. ボランティア →問18へ
6. 上記のどの経験もない →ページ最下部の「次へ進む」ボタンを押してください

問17-1～17-3は問17で、「1. インターンシップ」と回答した方にお聞きします。

問17-1. インターンシップをするきっかけはなんでしたか。最もあてはまる数字一つをお選びください。

1. 大学の必修科目として単位取得のため
2. 大学の選択科目として単位取得のため
3. 自分で必要と考えたため
4. 先輩からのすすめ
5. その他（具体的にお書きください）

問17-2. インターンシップの受入れ先は、誰が決めましたか。

1. 自分
2. 指導教官
3. 大学就職部
4. その他（具体的にお書きください）

問17-3. あなたが経験したインターンシップについて、具体的に下記に書いてください。複数ある場合は、重要であったもの3つまで書いてください。

1. 内 容（どこで・どんな方法で）	2. 期 間

問18は問17で「1. インターンシップ」、「2. 教育実習」、「3. 工場実習」、「4. アルバイト」、「5. ボランティア」の経験があると回答した方にお聞きします。

問18. それらの経験の中で、どのようなことが役に立ちましたか。あてはまる経験をお選びのうえで、それぞれの経験について回答してください。

1. インターンシップ



インターンシップの経験がある方はお答えください

	とても そうである	まあ そうである	あまりそう でない	全然そう でない
1) 就きたい仕事について基礎知識を得た.....	4	3	2	1
2) 仕事の厳しさを知った.....	4	3	2	1
3) その仕事に向いていないことがわかった.....	4	3	2	1
4) 視野が広がった.....	4	3	2	1
5) 働く意味を感じた.....	4	3	2	1
6) 人脈がひろがった.....	4	3	2	1
7) 忍耐力がついた.....	4	3	2	1
8) 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ	4	3	2	1
9) 人間関係の難しさを知った.....	4	3	2	1
10) その他（具体的にお書きください：_____）				

2. 教育実習



教育実習の経験がある方はお答えください

	とても そうである	まあ そうである	あまりそう でない	全然そう でない
1) 就きたい仕事について基礎知識を得た.....	4	3	2	1
2) 仕事の厳しさを知った.....	4	3	2	1
3) その仕事に向いていないことがわかった.....	4	3	2	1
4) 視野が広がった.....	4	3	2	1

5) 働く意味を感じた……………	4	3	2	1
6) 人脈がひろがった……………	4	3	2	1
7) 忍耐力がついた……………	4	3	2	1
8) 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ	4	3	2	1
9) 人間関係の難しさを知った……………	4	3	2	1
10) その他（具体的にお書きください：_____）				

3. 工場実習

↓
工場実習の経験がある方はお答えください

	とても そうである	まあ そうである	あまりそう でない	全然そう でない
1) 就きたい仕事について基礎知識を得た……………	4	3	2	1
2) 仕事の厳しさを知った……………	4	3	2	1
3) その仕事に向いていないことがわかった……………	4	3	2	1
4) 視野が広がった……………	4	3	2	1
5) 働く意味を感じた……………	4	3	2	1
6) 人脈がひろがった……………	4	3	2	1
7) 忍耐力がついた……………	4	3	2	1
8) 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ	4	3	2	1
9) 人間関係の難しさを知った……………	4	3	2	1
10) その他（具体的にお書きください：_____）				

4. アルバイト

↓
アルバイトの経験がある方はお答えください

	とても そうである	まあ そうである	あまりそう でない	全然そう でない
1) 就きたい仕事について基礎知識を得た……………	4	3	2	1
2) 仕事の厳しさを知った……………	4	3	2	1
3) その仕事に向いていないことがわかった……………	4	3	2	1
4) 視野が広がった……………	4	3	2	1
5) 働く意味を感じた……………	4	3	2	1
6) 人脈がひろがった……………	4	3	2	1
7) 忍耐力がついた……………	4	3	2	1
8) 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ	4	3	2	1
9) 人間関係の難しさを知った……………	4	3	2	1
10) その他（具体的にお書きください：_____）				

5. ボランティア

↓
ボランティアの経験がある方はお答えください

	とても そうである	まあ そうである	あまりそう でない	全然そう でない
1) 就きたい仕事について基礎知識を得た……………	4	3	2	1
2) 仕事の厳しさを知った……………	4	3	2	1

3) その仕事に向いていないことがわかった……………	4	3	2	1
4) 視野が広がった……………	4	3	2	1
5) 働く意味を感じた……………	4	3	2	1
6) 人脈がひろがった……………	4	3	2	1
7) 忍耐力がついた……………	4	3	2	1
8) 挨拶、報告、時間管理などの社会的マナーを学んだ	4	3	2	1
9) 人間関係の難しさを知った……………	4	3	2	1
10) その他 (具体的に書きください：)				

問19. あなたは、仕事に就いていない人がいるのはなぜだと思いますか。それぞれについてあてはまる数字をお選びください。

	とても そうである	まあ そうである	あまりそう でない	全然そう でない
1) 働きたくても、働くところがないから……………	4	3	2	1
2) 働くところをやめさせられたから……………	4	3	2	1
3) 就きたい職業がないから……………	4	3	2	1
4) 健康ではないから……………	4	3	2	1
5) 人と仲良くできないから……………	4	3	2	1
6) だらしがないから……………	4	3	2	1
7) 仕事をする能力がないから……………	4	3	2	1
8) 何をしたらいいか、わからないから……………	4	3	2	1
9) 仕事を一つに決められないから……………	4	3	2	1
10) 働くのが嫌いだから……………	4	3	2	1
11) 他にしたいことがあるから……………	4	3	2	1
12) 働かなくても、暮らしていけるから……………	4	3	2	1

問20. あなたは、大学時代を通じて、次のような資質・能力が身についたと思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

	とてもある と思う	まあある と思う	あまりある と思わない	全然あると 思わない
1) 問題を発見する力……………	4	3	2	1
2) 論理的に考えられる力……………	4	3	2	1
3) 常に新しい知識・経験・学力を身につけようとする力	4	3	2	1
4) 情報を収集する力……………	4	3	2	1
5) 人間関係を円滑にする力……………	4	3	2	1
6) 人脈形成力……………	4	3	2	1
7) 自己表現力……………	4	3	2	1
8) 交渉力……………	4	3	2	1
9) 状況の変化に柔軟に対応する力……………	4	3	2	1
10) 異文化を受容する力……………	4	3	2	1
11) 語学力……………	4	3	2	1
12) コンピューター活用能力……………	4	3	2	1
13) 熱意・意欲を維持する力……………	4	3	2	1

14) 行動力・実行力……………	4	3	2	1
15) 意見や利害の対立を調整する力……………	4	3	2	1
16) 専門能力……………	4	3	2	1
17) 体力……………	4	3	2	1
18) その他（具体的にお書きください）				

問21. あなたは、大学の友人たちから、どのように見られていると思いますか。それぞれについてあてはまる数字に○をつけてください。

	そう思われ ている	そう思われて いない	わからない
1) 明るい人……………	3	2	1
2) カッコいい人……………	3	2	1
3) 元気な人……………	3	2	1
4) 勉強ができる人……………	3	2	1
5) 優しい人……………	3	2	1
6) 頼りになる人……………	3	2	1
7) 運動ができる人……………	3	2	1
8) 先生に好かれている人……………	3	2	1
9) 人よりすぐれたところがある人……………	3	2	1
10) どんなことにも一生懸命である人……………	3	2	1
11) 失敗してもくよくよしない人……………	3	2	1
12) みんなに好かれている人……………	3	2	1

問22. あなたは、次のようなことにどのくらいあてはまりますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

	非常にそ うである	まあそ うである	どちら ともいえない	あまりそ うでない	全然そ うでない
1) 人よりも計画性のある方だ……………	5	4	3	2	1
2) きれいなものを集めたり飾ったりすることが好きだ	5	4	3	2	1
3) 「これは何だろう」「なぜこうなるのだろう」という疑問をもつ	5	4	3	2	1
4) 自分が生まれてきた意味について考えることがある	5	4	3	2	1
5) 他人に対して、自分の意見をはっきり言う方だ……	5	4	3	2	1
6) 家族や友人に対する愛情が深い方だ……………	5	4	3	2	1
7) ものの仕組みがどうなっているのか、興味を持つ方だ	5	4	3	2	1
8) 身のまわりの物の形や色に、強く心を引きつけられることがある	5	4	3	2	1
9) 何か変わったことに気づくと、その原因や理由をつきとめたいくなる	5	4	3	2	1
10) 人間の運命というものを感ずることがある……………	5	4	3	2	1
11) 誰かが困っているのを見たら、進んで手助けする…	5	4	3	2	1
12) 10分や20分の空き時間・待ち時間も、なるべく有効に使う	5	4	3	2	1

13) 相手の話をよく聞いて、気持ちを受けとめようとする方だ	5	4	3	2	1
14) 間違っただけをしている人を見たら、きちんと注意する…	5	4	3	2	1
15) どうせやらなくてはならない雑用は、早めに片付けてしまう	5	4	3	2	1
16) 自分が普段使うものは、色やデザインにこだわる方だ…	5	4	3	2	1
17) 自分はどのように生きるべきかと、悩むことがある…	5	4	3	2	1
18) グループの中心になって、他の人を引っばっていかうとする方だ	5	4	3	2	1

問23. あなたは、次のようなことについてどのように思いますか。それぞれについてあてはまるものをお選びください。

	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
1) 女の方は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい…	3	2	1
2) 女の方は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である…	3	2	1
3) 男の方は、ずっと続けられる職業を持ったほうがよい…	3	2	1
4) 男の方は、子どもを育てたり、家を掃除したり、ごはんを作ったりすることが大切である…	3	2	1
5) 高齢者の世話は、できるだけしなければいけない…	3	2	1
6) 結婚はしたほうがよい…	3	2	1
7) 子どもを育てるべきだ…	3	2	1
8) これからの世の中は夢や希望に満ちている…	3	2	1
9) 毎日を大切に生きることが大事である…	3	2	1
10) 先のことを今考えても仕方がない…	3	2	1
11) 努力することは大事である…	3	2	1
12) 人が見ていなくても、悪いことをしてはいけない…	3	2	1
13) 約束の時間は、守らなければならない…	3	2	1
14) 今の社会は、貧富の差が大きい…	3	2	1
15) 仕事をするには、都会のほうが都合がよい…	3	2	1
16) 社会的に評価される地位や立場に就くことは大事である…	3	2	1
17) 平凡でも安定した暮らしをしたい…	3	2	1
18) 今の世の中はこつこつ働いても評価されない…	3	2	1
19) 社会保険制度は自分の将来の生活のために必要だ…	3	2	1

問24. あなたが将来安定した暮らしをするためには、毎月、だいたいどのくらい給料をもらいたいと思いますか。その金額を書いてください（0の数を確認してまちがいないよう書いてください。）

*単位は「万円」

毎月 _____ 万円

問25. あなたが在籍する大学についてお聞きします。

(1) あなたの大学は次のどれですか。あてはまる数字をお選びください。

1. 国立大学
2. 公立大学
3. 私立大学

(2) 差し支えなければ、あなたの在籍する大学名を書いてください。

(3) あなたの在籍する学部・学科は次のどの分野ですか。

- | | | |
|---------------|-----------------------------|-------------|
| 1. 法学系 | 2. 経済・商学系 | 3. 文学系 |
| 4. 社会学系 | 5. 教育学系 | 6. 外国語学系 |
| 7. 教員養成学系 | 8. 理学系 | 9. 工学系 |
| 10. 農・獣医・水産学系 | 11. 医学系 | 12. 歯学系 |
| 13. 薬学系 | 14. 保健・看護学系 | 15. 介護・福祉学系 |
| 16. 家政・生活科学系 | 17. 芸術学系 | 18. 体育学系 |
| 19. 情報学系 | 20. その他 (具体的に書いてください _____) | |

問26. つぎにあるのは女性の職業、結婚、出産についての人生の8つのタイプです。あなたが女性の場合、自分はどのタイプの人生を選びたいですか。あなたが男性の場合は、どのタイプの女性をパートナーにしたいですか。あてはまるタイプの数字一つをお選びください。

1. 職業継続 (結婚しない、職業を持ち続ける)
2. 職業継続+結婚 (結婚し、出産しない、職業を持ち続ける)
3. 職業継続+結婚⇒出産 (結婚し出産する、職業を持ち続ける)
4. 職業+結婚⇒職業中断 (離職) + 出産 (結婚で職業をやめる)
5. 職業+結婚+出産⇒職業中断 (離職) (結婚し出産で職業をやめる)
6. 職業+結婚⇒職業中断+出産⇒職業復帰
(結婚で職業を離れ出産し、子どもが一定の年齢に達したら再び職業につく)
7. 職業+結婚+出産⇒職業中断⇒職業復帰
(結婚し出産で職業を離れ、子どもが一定の年齢に達したら再び職業につく)
8. 結婚+出産 (結婚し出産する、職業につかない)

問27. あなたのご両親について、さしつかえなければ、下記にご記入ください。

	職 業	最終学歴
父 親		
母 親		

問28. あなたの将来（大学卒業後）を想像し、仕事、結婚・独身生活、子ども、死のことなどをいれての文章を作ってください。

たとえば、私は・・・

○歳で○○○の仕事につき、○歳で結婚し何人ぐらいの子どもを持ち、あるいは独身のまま過ごし、○歳まで生きたい・・・など

私は・・・

() 歳で	
() 歳で	
() 歳で	
() 歳で	
() 歳で	

●上記に書ききれない場合は、続けてこちらにお書きください。

<ご協力どうもありがとうございました>

生涯にわたるキャリア発達の形成過程に関する
総合的研究報告書（Ⅱ）

－大学生のキャリア発達に関する質問紙調査－

平成15－17年度 国立教育政策研究所 政策研究課題リサーチ経費研究

研究代表者：山田 兼尚（国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長）

連絡先：〒153-8681 東京都目黒区下目黒 6-5-22

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部

電話：03-5721-5045 ファックス：03-5721-5173

印刷：株式会社プリカ
平成18年3月30日 印刷
平成18年3月31日 発行